

佐倉市
こども計画策定のためのニーズ調査
結果報告書

令和6年9月

佐 倉 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果からみる特徴や課題	3
1	就学前保護者・小学生・中学生保護者の特徴や課題	3
2	小学生本人	5
3	中学生本人	7
4	青少年	9
III	調査結果	12
1	就学前児童保護者	12
(1)	お住まいの地域について	12
(2)	お子さまとご家族の状況について	13
(3)	お子さまの保護者の働き方について	16
(4)	こどもの育ちをめぐる環境について	18
(5)	土日、夜間の教育・保育事業（幼稚園・保育園など）の利用状況について	35
2	小学生保護者	63
(1)	お住まいの地域について	63
(2)	宛名のお子さまの放課後の過ごし方について	80
(3)	お住まいの地域における子育ての環境や支援について	94
3	中学生保護者	103
(1)	お住まいの地域について	103
(2)	お子さんの放課後の過ごし方について	119
(3)	お住まいの地域における子育ての環境や支援について	132
4	小学生本人	141
5	中学生本人	168
6	青少年	196

IV 自由回答..... 239

1 就学前児童保護者..... 239

2 小学生保護者..... 242

3 中学生保護者..... 246

4 小学生本人..... 249

5 中学生本人..... 251

6 青少年..... 252

I 調査の概要

1 調査の目的

こども・青少年の健やかな成長を支える社会の実現に向けて、こども施策に関する現状やニーズを把握し、佐倉市こども計画を策定するための調査を実施しました。

2 調査対象

調査の種類	調査対象
就学前児童保護者	市内にお住まいの就学前児童を持つ保護者の中から、無作為に 400 名
小学生保護者	回答いただいた小学生本人の保護者 327 名
中学生保護者	回答いただいた中学生本人の保護者 350 名
小学生本人	小学 5 年生 327 名。地域性・学年人数を考慮して学校を選定
中学生本人	中学 2 年生 350 名。地域性・学年人数を考慮して学校を選定
青少年	15 歳～39 歳の方の中から、無作為に 900 名

3 調査期間

調査の種類	調査期間	調査方法
就学前児童保護者	令和 6 年 5 月 13 日～令和 6 年 6 月 12 日	郵送配布、web による回答
青少年		
小学生保護者	令和 6 年 5 月 15 日～令和 6 年 6 月 12 日	学校に配布、web による回答
中学生保護者		
小学生本人		
中学生本人		

4 調査方法

郵送による配布、web による回答

5 回収状況

調査の種類	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	400通	201通	50.3%
小学生保護者	327通	155通	47.4%
中学生保護者	350通	179通	51.1%
小学生本人	327通	211通	64.5%
中学生本人	350通	322通	92.0%
青少年	900通	226通	25.1%

6 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答対象が限定されている質問項目とのクロス集計の場合、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致いたしません。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果からみる特徴や課題

1 就学前保護者・小学生・中学生保護者の特徴や課題

① 保護者の働き方について

母親・父親の現在の働き方について、就学前児童保護者の父親は突出して「フルタイムで働いており、育休・介護休業中でない」の割合が高くなっている一方で、母親の回答は広く分布していることがわかります。【就学前児童保護者：問4（P16）】

小学生保護者の母親では、平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。【小学生保護者：問3（P66）】

また、中学生保護者では、父親が「フルタイムで働いており、育休・介護休業中でない」の割合が最も高い一方で、母親は、「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が48.3%と最も高くなっています。【中学生保護者：問3（P105）】

保護者の就労状況を見ると、就学前児童保護者・小学生保護者の母親ではフルタイムでの就労が増加しており、保育を必要とする市民が多く存在することが想定されます。今後も共働きや保育ニーズの多様化により、一時的な預かり・託児等の需要が見込まれますが、少子化に伴い利用児童数が減少することも想定されることから、地域ごとの動向も見据えて、教育・保育等のニーズの変化に対応していく必要があります。

② こどもの育ちをめぐる環境について

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無について、就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者で「いる／ある」の割合が8割以上と高くなっています。【就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者：問6（P18）、（P68）、（P107）】

また、その相手は誰（どこ）かについて、就学前児童保護者では、「祖父母等の親族」の割合が最も高く、次いで「友人や知人」、「保育士」となっています。一方、小学生保護者・中学生保護者では、「友人や知人」の割合が最も高く、次いで「祖父母等の親族」、「学校の先生」となっています。【就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者：問7（P19）、（P69）、（P108）】

困難を抱える家庭の状況を行政が把握するためには、公的機関への相談割合をより高くすることが必要です。公的機関への相談が容易かつ気軽に行うことができるよう、教育・保育施設や関係団体と連携しながら周知を行っていく必要があります。

子育てにおいて、悩みや不安を持っているかについて、就学前児童保護者では、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」、「病気や発育・発達に関すること」等の割合が高くなっています。【就学前児童保護者：問9（P25）】

小学生保護者・中学生保護者では、「こどもの教育に関すること」の割合が高くなっています。【小学生保護者・中学生保護者：問9（P74）、（P113）】

小学生保護者・中学生保護者では、教育や進路に関する悩みが多くなっており、学業や進学に関するサポートが重要となっています。育児と仕事の両立支援や健康に関する相談体制の充実、教育に関する情報提供や学習サポートの強化が必要です。

③こどもの放課後の過ごし方について

こどもを放課後に、すごさせたい場所について、小学生保護者では、「自宅」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 50.3%、「公園」の割合が 45.8%となっています。【小学生保護者：問 13（P82）】

中学生保護者では、「自宅」の割合が 80.4%と最も高く、次いで「部活動」の割合が 73.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 39.7%となっています。【中学生保護者：問 13（P121）】

自宅での過ごし方に加え、習い事や公園などの活動をバランスよく提供できる環境が求められます。

④地域における子育て支援について

事業や場所の認知度について、就学前児童保護者では、『⑤保育園や幼稚園などの園庭開放』の認知度が高くなっています。一方、『⑬SNS 等を活用した相談事業（親子のための SNS 相談@ちば）』の認知度は低くなっています。

また、平成 30 年度調査と比較すると、『⑦市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）』の認知度が増加しています。【就学前児童保護者：問 22（P54）】

保護者が必要な情報にアクセスしやすく、多様な支援を受けられる環境を整えることが重要です。特に、オンライン相談事業の認知度向上と利用促進に注力することで、保護者の不安や悩みを解消する支援体制の充実が必要です。

⑤お住まいの地域における子育ての環境や支援について

地域活動の情報取得について、小学生保護者・中学生保護者ともに、「回覧板」の割合が最も高く、次いで「学校を通じたチラシ」、「市の広報紙」の割合が高くなっています。【小学生保護者・中学生保護者：問 24（P96）、（P134）】

回覧板、学校のチラシ、市の広報紙以外にも、デジタルメディアや SNS などの情報提供手段の導入を検討することが必要です。

⑥こどもの権利について

「子どもの権利条約」の認知度について、就学前児童保護者では、「言葉も内容も知っている」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 39.3%、「知らない」の割合が 19.4%となっています。【就学前児童保護者：問 25（P62）】

小学生保護者・中学生保護者ともに、「言葉だけは聞いたことがある」の割合が最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」、「知らなかった」の割合が高くなっています。

【小学生保護者・中学生保護者：問 28（P101）、（P139）】

「こども基本法」の理念の実現を図るためには、こどもを権利ある存在として適切に扱うことが求められます。佐倉市において、「子どもの権利条約」の内容について知っている割合は 50%を下回る状況となっており、今後、更なる周知が必要です。

2 小学生本人

①生活・学校について

平日の起床時間では「午前6時ごろ」の割合が、就寝時間では「午後9時ごろ」の割合が高くなっています。「午後10時ごろ」「午後11時ごろ」に就寝している割合も高くなっています。【問3（P141）、問5（P143）】

朝ごはんの欠食状況については、「ほとんど食べない」の割合が1.4%となっており、夕ごはんをこどもだけで食べることがあるかについては、「ほとんど毎日」の割合が10.4%となっています。【問4（P142）、問6（P144）】

約4割のこどもが午後10時頃以降に就寝しており、睡眠不足につながる可能性があります。睡眠不足は学業成績や健康に悪影響を及ぼすため、早寝早起きの習慣づけが重要です。

また、朝ごはんを欠食する割合は低いものの、朝食は一日のエネルギー補給や集中力向上に重要なため、朝食をしっかりとする習慣をつけるための教育や、簡単に準備できる健康的な朝食の提案などを行うことが必要です。

また、共食は家族のコミュニケーションやこどもの情緒安定に重要な役割を果たします。共食の重要性を啓発し、家庭での食事時間を増やす工夫が求められています。

②放課後の過ごし方について

放課後に過ごす場所について、「自分の家」の割合が80.1%と最も高く、次いで「習いごと」の割合が36.0%、「公園」の割合が27.5%となっています。【問10（P147）】

放課後に過ごしたい場所について「自分の家」の割合が82.0%と最も高く、次いで「公園」の割合が32.7%、「祖父母の家や友人・知人の家」の割合が23.2%となっています。【問11（P148）】

自分の家で過ごす割合、過ごしたい割合が非常に高い一方で、公園や友人の家など外部での活動場所への関心も高いことが分かります。地域の公共施設や安全で活動しやすい環境の整備が必要です。

③ヤングケアラーについて

ヤングケアラーの認知度について、「知らない」の割合が73.0%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が17.5%となっています。【問14（P151）】

大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしているかについて、「している」の割合が44.1%、「していない」の割合が55.9%となっています。【問15（P152）】

ヤングケアラーについて、約9割を超える人が内容を知らず、4割を超える人が日常的に家事や家族のお世話をしている状況から、周知が必要と考えられます。

④心配ごと・悩みごと

相談したいと思っていることについて、「とくにない」の割合が59.7%と最も高く、次いで「勉強のこと」、「しょうらい・進路のこと」の割合が10.0%となっています。【問17（P153）】

周りの大人に望むことについて、「こまっていることやなやみごとを話した時に味方になってほしい」の割合が28.0%と最も高く、次いで「話したいときに、自分の話を聞いてほしい」、「こども（自分たち）が取り組んでみたいことをおうえんしてほしい」の割合が27.0%となっています。【問19（P159）】

また、勉強や将来の進路に関することについての相談支援が必要であり、周りの大人に望むことについては、こどもたちは自分の気持ちや課題に対して理解と支持を求めている、自分自身の成長や挑戦に対しても支援を望んでいることがわかります。これらのニーズに応じたサポート体制の充実が必要です。

⑤人との付き合い・居場所について

インターネット上における人やグループとの関わり方について、『(3) 楽しく話せる時がある』『(4) こまったときは助けてくれる』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『(1) 会話やメール等をよくしている』『(5) 他の人には言えない本音を話せることがある』で「そう思わない」の割合が高くなっています。【問 20 (P160)】

また、スマートフォン等の利用時間について、平日では、「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 17.5%、「1 時間より少ない」の割合が 16.1%となっています。土日祝日では、「4 時間以上」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 17.1%、「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合が 16.1%となっています。【問 21 (P160)】

また、居場所の有無について、「ある」の割合が 91.9%、「ない」の割合が 4.3%となっています。その居場所がどこかについて、「家庭」の割合が 91.2%と最も高く、次いで「学校」の割合が 39.2%、「じゅく・習いごとの場」の割合が 24.7%となっています。

【問 23 (P165)、問 24 (P165)】

インターネット上での交流は一部で楽しい時間やサポートとして役立っているものの、本音で話すなどの深いコミュニケーションにはあまり利用されていません。また、インターネットを利用して、嫌な思いをしたり、困ったりしたことがあると回答した方がいることから、こどものスマートフォン、インターネットの適切な利用や危険性についての啓発など、情報教育の推進が必要です。さらに、多くのこどもたちは家庭を主要な居場所と感じているなかで、学校や塾、公園も重要な居場所となっていることから、公園や学校外での安心・安全なこどもの居場所作りが求められています。

⑥こどもの権利について

「子どもの権利条約」の認知度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 33.6%、「知らなかった」の割合が 23.7%となっています。【問 25 (P166)】

また、周りに「外国にルーツを持つこども」がいるかについて、「いない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「いる」の割合が 31.8%となっています。外国をルーツに持つ人の困りごとについて、「特にない」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「授業内容の理解」、「日本文化や日本での生活」の割合が 26.7%となっています。【問 27 (P167)、問 28 (P167)】

子どもの権利条約については一定の認知度がある一方で、さらなる周知、啓発が必要です。また、外国にルーツを持つこどもが一定の割合でいるため、言語や文化の面での支援が必要となっています。

3 中学生本人

①生活・学校について

平日の起床時間では「午前6時頃」の割合が、就寝時間では「午後10時頃」の割合が高くなっています。「午後11時頃」「午前0時頃」に就寝している割合も高くなっています。

【問3 (P168)、問5 (P170)】

朝ごはんの欠食状況については、「ほとんど食べない」の割合が5.6%となっています。

【問4 (P169)】

約8割のこどもが午後10時頃以降に就寝しており、小学生と比べて遅い時間に就寝している傾向があります。睡眠不足は学業成績や健康に悪影響を及ぼすため、早寝早起きの習慣づけが重要です。

また、朝ごはんを欠食する割合は低いものの、小学生と比べて、割合は高くなっています。朝食をしっかり取る習慣をつけるための教育や、簡単に準備できる健康的な朝食の提案などを行うことが必要です。

②放課後の過ごし方について

放課後に過ごす場所について、「自宅」の割合が86.6%と最も高く、次いで「部活動」の割合が66.8%、「習い事」の割合が31.7%となっています。【問10 (P174)】

放課後に過ごしたい場所について「自宅」の割合が86.3%と最も高く、次いで「部活動」の割合が35.1%、「公園」の割合が16.8%となっています。【問11 (P175)】

放課後に過ごしたい場所として、自宅や部活動を除くと公園の割合が高いことから、公園を適切に管理し、こどもたちが安全に過ごせる環境を整えることが重要です。

③ヤングケアラーについて

ヤングケアラーの認知度について、「知らない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が31.7%、「言葉だけは聞いたことがある」の割合が22.4%となっています。【問14 (P178)】

大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしているかについて、「している」の割合が18.6%、「していない」の割合が80.7%となっています。【問15 (P178)】

ヤングケアラーについて、約7割の人が内容を知らず、周知が必要と考えられます。

④心配ごと・悩みごと

相談したいと思っていることについて、「とくにない」の割合が49.7%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が22.7%、「将来・進路のこと」の割合が19.9%となっています。

【問17 (P180)】

周りの大人に望むことについて、「自分の意見や希望を受け入れてほしい」の割合が36.3%と最も高く、次いで「自分を否定しないでほしい」の割合が35.1%、「こども（自分たち）が取り組んでみたいことを応援してほしい」の割合が34.2%となっています。【問19 (P186)】

また、こどもたちが相談しやすい環境を整え、教育や進路の相談を充実させることも重要です。

周りの大人に対して望むこととして、こどもの意思や意見を尊重することを求める声が多

くなっています。また、こどもの視点に立ち、応援する姿勢が求められています。

⑤人との付き合い・居場所について

インターネット上における人やグループとの関わり方について、『(3) 楽しく話せる時がある』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『(1) 会話やメール等をよくしている』『(5) 他の人には言えない本音を話せることがある』で「そう思わない」の割合が高くなっています。【問 21 (P188)】

また、スマートフォン等の利用時間について、平日では、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が 21.4%、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が 20.8%となっています。土日祝日では、「4時間以上」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「3時間以上、4時間より少ない」の割合が 20.5%、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が 15.5%となっています。【問 22 (P189)】

また、居場所の有無について、「ある」の割合が 95.3%、「ない」の割合が 4.7%となっています。その居場所がどこかについて、「家庭」の割合が 89.6%と最も高く、次いで「学校」の割合が 40.1%、「部活動」の割合が 34.9%となっています。【問 24 (P193)、問 25 (P193)】

インターネット上での交流は一部で楽しい時間やサポートとして役立っているものの、本音で話すなどの深いコミュニケーションにはあまり利用されていません。また、インターネットを利用して、嫌な思いをしたり、困ったりしたことがあると回答した方がいることから、こどもスマートフォン、インターネットの適切な利用や危険性についての啓発など、情報教育の推進が必要です。

こどもたちが家庭や学校、部活動以外にも安心して過ごせる場所を増やすことが求められます。地域社会やコミュニティセンターなど、さまざまな居場所を提供し、こどもたちが多様な環境で自分を表現し、成長できる機会を増やすことが重要です。

⑥こどもの権利について

「子どもの権利条約」の認知度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 22.4%、「知らなかった」の割合が 12.7%となっています。【問 26 (P194)】

また、周りに「外国にルーツを持つこども」がいるかについて、「いない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「いる」の割合が 45.3%となっています。外国をルーツに持つ人の困りごとについて、「特にない」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「将来の進路選択」の割合が 28.6%、「友達づくり」、「授業内容の理解」、「日本語の習得状況」、「日本文化や日本での生活」、「名前や見た目」の割合が 14.3%となっています。【問 28 (P195)、問 29 (P195)】

子どもの権利条約の認知度は6割半ばとなっていますが、さらなる啓発・周知が必要です。

また、外国にルーツを持つこどもが一定の割合でいるため、言語や文化の面での支援が必要となっています。

4 青少年

①就寝時間と朝食の摂取状況について

就寝時間について、「午前0時頃」の割合が26.5%、「午前1時頃」の割合が15.9%、「午前2時頃」の割合が7.5%、「午前3時頃以降」の割合が3.1%と回答者の半数以上が午前0時以降に就寝しています。【問8（P201）】

朝食の摂取状況について、「ほとんど毎日食べる」の割合が69.9%と最も高くなっています。一方で「ほとんど食べない」の割合が12.8%と1割を超える人が朝食をほとんど食べていない状況です。【問7（P200）】

就寝時間が遅くなることで、起床時間が遅くなり、朝食の欠食につながっていることが考えられます。生活リズムの改善を行い、食生活の改善につなげることで、健やかな体の育成につなげていく必要があります。

②ヤングケアラーについて

ヤングケアラーの認知度について、「言葉も内容も知っている」の割合が63.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が24.3%、「言葉だけは聞いたことがある」の割合が12.4%となっています。【問9（P201）】

大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしているかについて、「いる」の割合が11.5%、「いない」の割合が71.2%となっています。【問10（P202）】

ヤングケアラーについて、6割を超える人が内容を知っている一方で、内容について知らない人は3割を超えており、依然周知が必要と考えられます。

③居場所について

ほっとできる場所、安心できる場所について、「家庭」の割合が92.4%と最も高く、次いで「学校・職場」の割合が23.3%、「商業施設」の割合が11.9%となっています。【問13（P207）】

どのような居場所があれば行ってみたいと思うかについて、「ひとりで過ごせたり、何もせずのんびりできる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」、「好きなことをして自由に過ごせる」の割合が43.8%と最も高くなっています。【問14（P210）】

若者向けにどんな場所が佐倉市にあればよいかについて、「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が54.0%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が36.7%、「気軽におしゃべりできる場所」の割合が33.2%となっています。【問15（P211）】

若者が身体を動かせる場所や趣味仲間が集まれる場所、気軽におしゃべりできる場所のニーズが高まっており、家庭以外にも安心できる場所を提供し、ストレスを感じずに過ごせる環境を整える必要があります。

④外出について

普段どのくらい外出するかについて、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が73.5%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が10.6%となっています。一方、「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」から「8. 自宅からはほとんど出ない」に回答したほとんど外出しない割合は7.1%となっています。

【問16（P212）】

外出しなくなったのはいつ頃かについて、「20 歳～24 歳」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「15 歳～19 歳」の割合が 25.0%、「25 歳～29 歳」、「30 歳～34 歳」、「35 歳～39 歳」の割合が 12.5%となっています。【問 17 (P213)】

外出しなくなってからどのくらい経過したかについて、「1 年～3 年未満」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「3 年～5 年未満」、「10 年～15 年未満」の割合が 18.8%となっています。【問 18 (P214)】

ほとんど外出しなくなったきっかけについて、「病気になったこと」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「就職活動がうまくいかなかったこと」の割合が 25.0%、「学校・職場になじめなかったこと」、「妊娠・出産をしたこと」の割合が 12.5%となっています。【問 19(P215)】

外出しなくなる傾向が「15 歳～24 歳」の若年層に集中していることから、この年齢層への早期介入が重要です。特に、学校や職場での適応支援や、就職活動におけるサポートを強化することが求められます。

また、長期的に外出しなくなる人々に対して持続的なサポートが必要です。他にも、育児中の女性に対する支援体制を強化する必要があります。

⑤相談について

困っていることや悩んでいることについて、「将来のこと」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が 34.1%、「仕事のこと」の割合が 24.3%となっています。【問 20 (P217)】

また、相談相手について、「親」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」の割合が 31.0%、「学生時代の友人・先輩」の割合が 30.5%となっています。

【問 21 (P223)】

相談窓口の認知度について、「佐倉市ヤングプラザ」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「こども家庭センター」の割合が 20.8%、「チャイルドライン」の割合が 10.6%となっています。【問 22 (P229)】

青少年の多くが将来や生活費、仕事に関する不安を抱えているため、これらの問題に対する支援策が求められています。

また、困りごとや悩みごとについて、親や身近な人に相談している一方で、公的な相談窓口の割合が低く、認知度も比較的低いことがうかがえます。これらの窓口の周知・啓発が必要です。

⑥インターネットの利用について

スマートフォン等の利用時間について、平日では、「4 時間以上」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 22.6%、「3 時間以上、4 時間より少ない」の割合が 16.8%となっています。土日祝日では、「4 時間以上」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「3 時間以上、4 時間より少ない」、「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 13.7%となっています。【問 23 (P229)】

また、インターネットを利用して、嫌な思いをしたり、困ったりしたことについて、「ない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「有害なホームページにつながったり、怪しい

メールが届いた」の割合が 14.2%となっています。【問 24 (P234)】

平日・土日祝日ともにスマートフォンの利用時間が長いことから、適切な利用時間を促す対策が必要です。特に、長時間の利用が健康や学業、生活に与える影響について啓発し、バランスの取れたデジタルライフを推奨する取組が求められます。

また、一部の人が有害なサイトや怪しいメールに遭遇していることから、インターネットリテラシーの向上が重要です。安全なインターネットの利用方法や危険なサイト・メールへの対処法を教育し、トラブルを未然に防ぐための知識を提供することが必要です。

⑦こどもの権利について

「子どもの権利条約」の認知度について、「知らなかった」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 34.5%、「言葉も内容も知っている」の割合が 27.4%となっています。【問 25 (P236)】

多くの青少年が「子どもの権利条約」について知らない、または表面的な理解にとどまっていることから、条約の内容や重要性を広く周知・啓発する取組が必要です。

Ⅲ 調査結果

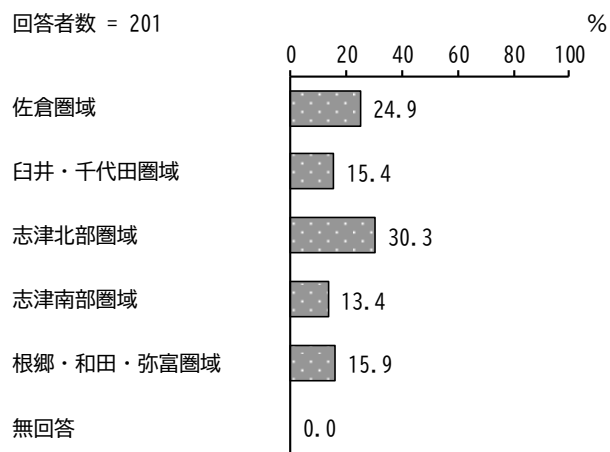
1 就学前児童保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
※封筒の宛名ラベルの右下に印字されている数字に○をつけてください。

「志津北部圏域」の割合が30.3%と最も高く、
次いで「佐倉圏域」の割合が24.9%、「根郷・和
田・弥富圏域」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 201

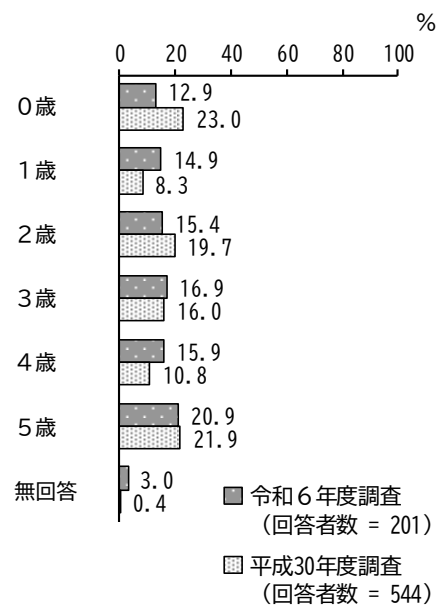


(2) お子さまとご家族の状況について

問2 宛名のお子さまの令和6年4月1日時点の年齢をお答えください
(口内に数字でご記入ください)。

「5歳」の割合が20.9%と最も高く、次いで
「3歳」の割合が16.9%、「4歳」の割合が15.9%
となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」「4歳」
の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が
減少しています。

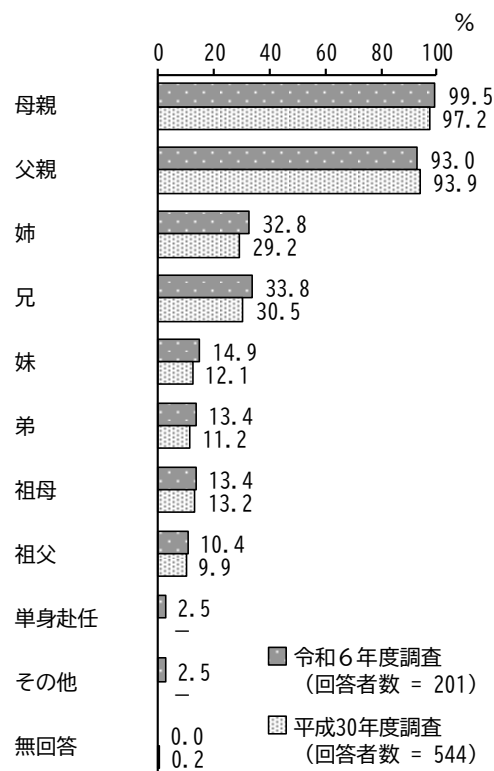


問3 宛名のお子さまと同居しているご家族の方はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※「9. 単身赴任」の場合は（ ）内に続柄を入れてください。

「母親」の割合が 99.5%と最も高く、次いで「父親」の割合が 93.0%、「兄」の割合が 33.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「単身赴任」、「その他」の選択肢はありませんでした。

【単身赴任の続柄】

- ・父・父親（5件）

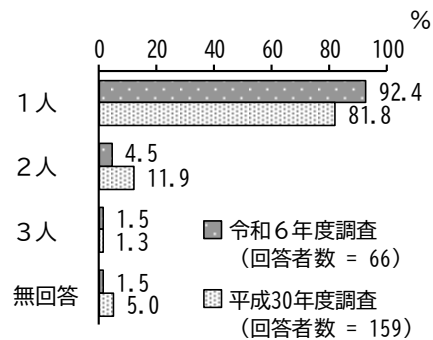
【その他の意見】

- ・叔父、曾祖母（1件）
- ・伯母（1件）
- ・里親として父親と母親（1件）
- ・曾祖母（1件）
- ・曾祖母、曾祖父、叔父、叔母（1件）

姉の人数

「1人」の割合が92.4%と最も高くなっています。

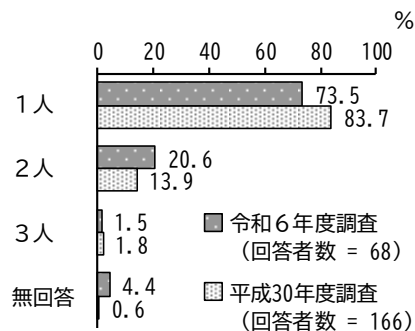
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。



兄の人数

「1人」の割合が73.5%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.6%となっています。

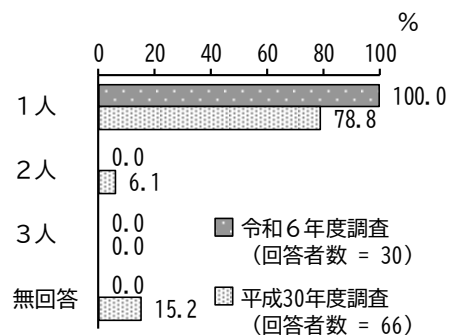
平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。一方、「1人」の割合が減少しています。



妹の人数

「1人」の割合が100.0%と最も高くなっています。

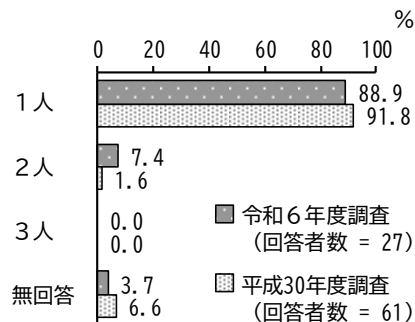
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。



弟の人数

「1人」の割合が88.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。



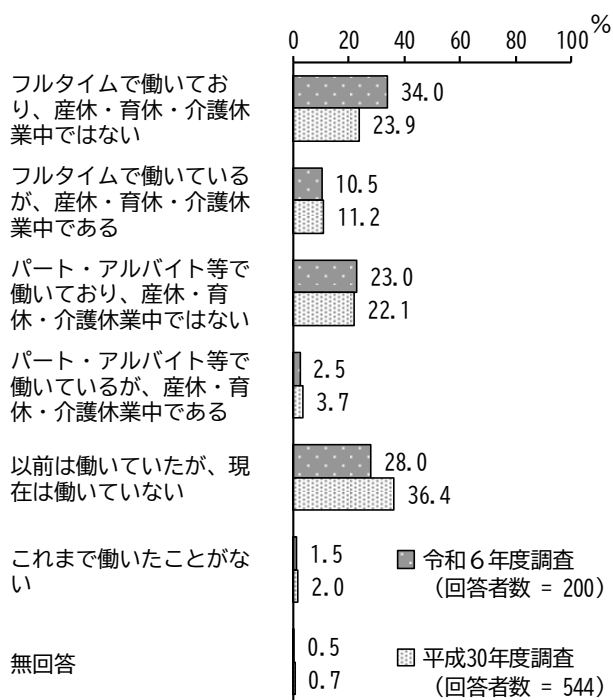
(3) お子さまの保護者の働き方について

問4 問3で「1. 母親」「2. 父親」「9. 単身赴任（母親・父親）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さまの母親・父親の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が28.0%、「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が23.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少しています。



【年齢別（母親）】

年齢別にみると、0歳で「フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまで働いたことがない	無回答
全 体	200 100.0	68 34.0	21 10.5	46 23.0	5 2.5	56 28.0	3 1.5	1 0.5
0歳	26 100.0	3 11.5	11 42.3	2 7.7	2 7.7	7 26.9	1 3.8	-
1歳	30 100.0	15 50.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7	10 33.3	-	-
2歳	30 100.0	11 36.7	3 10.0	6 20.0	-	9 30.0	1 3.3	-
3歳	34 100.0	12 35.3	2 5.9	8 23.5	-	11 32.4	-	1 2.9
4歳	32 100.0	7 21.9	2 6.3	11 34.4	1 3.1	11 34.4	-	-
5歳	42 100.0	17 40.5	1 2.4	15 35.7	-	8 19.0	1 2.4	-

父親

「フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない」の割合が97.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない

フルタイムで働いているが、育休・介護休業中である

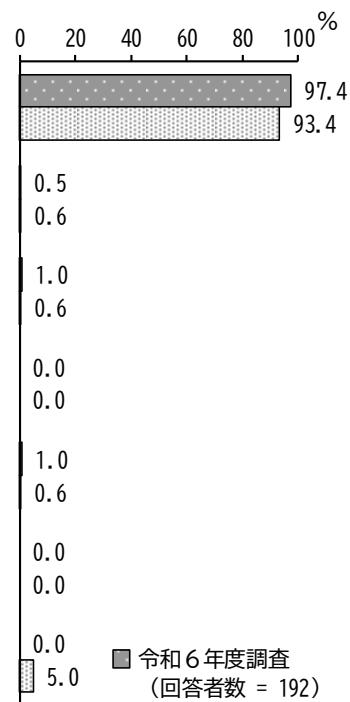
パート・アルバイト等で働いており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で働いているが、育休・介護休業中である

以前は働いていたが、現在は働いていない

これまで働いたことがない

無回答



令和6年度調査
(回答者数 = 192)

平成30年度調査
(回答者数 = 544)

問5 世帯の年収はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「360万円以上720万円未満」の割合が50.2%と最も高く、次いで「720万円以上」の割合が39.8%、「360万円未満」の割合が10.0%となっています。

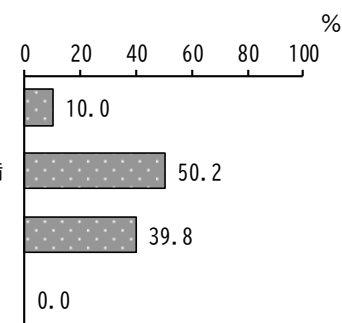
回答者数 = 201

360万円未満

360万円以上720万円未満

720万円以上

無回答

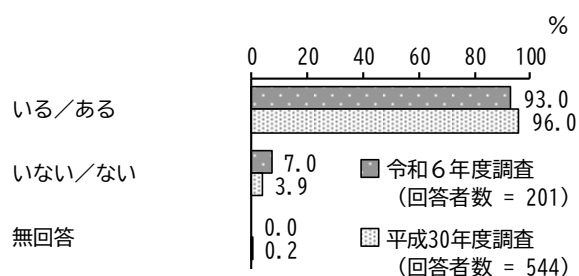


(4) こどもの育ちをめぐる環境について

問6 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が93.0%、「いない／ない」の割合が7.0%となっています。

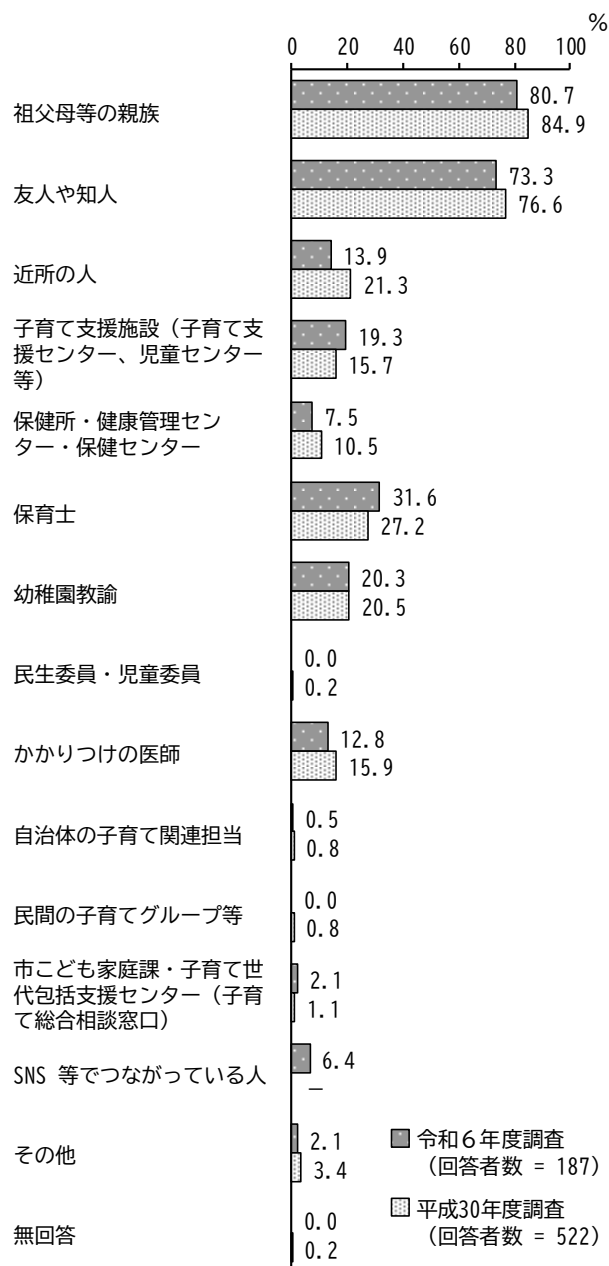
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談したり、頼れる相手は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 73.3%、「保育士」の割合が 31.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少しています。



※前回調査では、「市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）」の選択肢は「子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）」となっていました。

※前回調査では、「SNS 等でつながっている人」の選択肢はありませんでした。

【その他の意見】

・子育てコンシェルジュ（1件）

・職場（1件）

・配偶者（1件）

【居住地区別】

居住地区別にみると、根郷・和田・弥富圏域で「かかりつけの医師」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
佐倉圏域	50 100.0	43 86.0	34 68.0	3 6.0	13 26.0	2 4.0	14 28.0	11 22.0
臼井・千代田圏域	27 100.0	24 88.9	19 70.4	2 7.4	7 25.9	3 11.1	12 44.4	6 22.2
志津北部圏域	56 100.0	38 67.9	43 76.8	14 25.0	6 10.7	5 8.9	18 32.1	10 17.9
志津南部圏域	24 100.0	22 91.7	17 70.8	3 12.5	5 20.8	3 12.5	4 16.7	5 20.8
根郷・和田・弥富圏域	30 100.0	24 80.0	24 80.0	4 13.3	5 16.7	1 3.3	11 36.7	6 20.0

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SS等につながっている人	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
佐倉圏域	- -	4 8.0	- -	- -	1 2.0	4 8.0	2 4.0	- -
臼井・千代田圏域	- -	1 3.7	- -	- -	- -	- -	1 3.7	- -
志津北部圏域	- -	8 14.3	- -	- -	2 3.6	6 10.7	1 1.8	- -
志津南部圏域	- -	3 12.5	1 4.2	- -	1 4.2	- -	- -	- -
根郷・和田・弥富圏域	- -	8 26.7	- -	- -	- -	2 6.7	- -	- -

【年齢別】

年齢別にみると、2歳で「子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
0歳	23 100.0	21 91.3	18 78.3	3 13.0	6 26.1	1 4.3	4 17.4	- -
1歳	29 100.0	22 75.9	19 65.5	1 3.4	9 31.0	3 10.3	9 31.0	2 6.9
2歳	30 100.0	26 86.7	19 63.3	3 10.0	11 36.7	1 3.3	13 43.3	6 20.0
3歳	29 100.0	25 86.2	23 79.3	2 6.9	3 10.3	2 6.9	10 34.5	5 17.2
4歳	30 100.0	23 76.7	24 80.0	4 13.3	5 16.7	2 6.7	7 23.3	11 36.7
5歳	41 100.0	31 75.6	31 75.6	11 26.8	2 4.9	4 9.8	14 34.1	13 31.7

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SS等につながっている人	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
0歳	- -	2 8.7	- -	- -	- -	3 13.0	- -	- -
1歳	- -	4 13.8	- -	- -	1 3.4	4 13.8	1 3.4	- -
2歳	- -	5 16.7	- -	- -	2 6.7	1 3.3	1 3.3	- -
3歳	- -	3 10.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
4歳	- -	3 10.0	1 3.3	- -	- -	2 6.7	- -	- -
5歳	- -	7 17.1	- -	- -	1 2.4	2 4.9	1 2.4	- -

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
ふたり親世帯	173 100.0	140 80.9	126 72.8	23 13.3	33 19.1	14 8.1	54 31.2	37 21.4
ひとり親世帯	13 100.0	10 76.9	10 76.9	2 15.4	3 23.1	- -	4 30.8	1 7.7
その他（不明等）	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	公民館等であつてゐる人	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
ふたり親世帯	- -	22 12.7	1 0.6	- -	2 1.2	10 5.8	3 1.7	- -
ひとり親世帯	- -	2 15.4	- -	- -	1 7.7	2 15.4	- -	- -
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプBフル×フルで「保育士」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
タイプAひとり親	13 100.0	10 76.9	10 76.9	2 15.4	3 23.1	- -	4 30.8	1 7.7
タイプBフル×フル	74 100.0	58 78.4	54 73.0	10 13.5	14 18.9	6 8.1	37 50.0	9 12.2
タイプCフル×パート	43 100.0	33 76.7	28 65.1	8 18.6	8 18.6	3 7.0	12 27.9	9 20.9
タイプD専業主婦（夫）	54 100.0	47 87.0	42 77.8	5 9.3	11 20.4	5 9.3	3 5.6	19 35.2
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

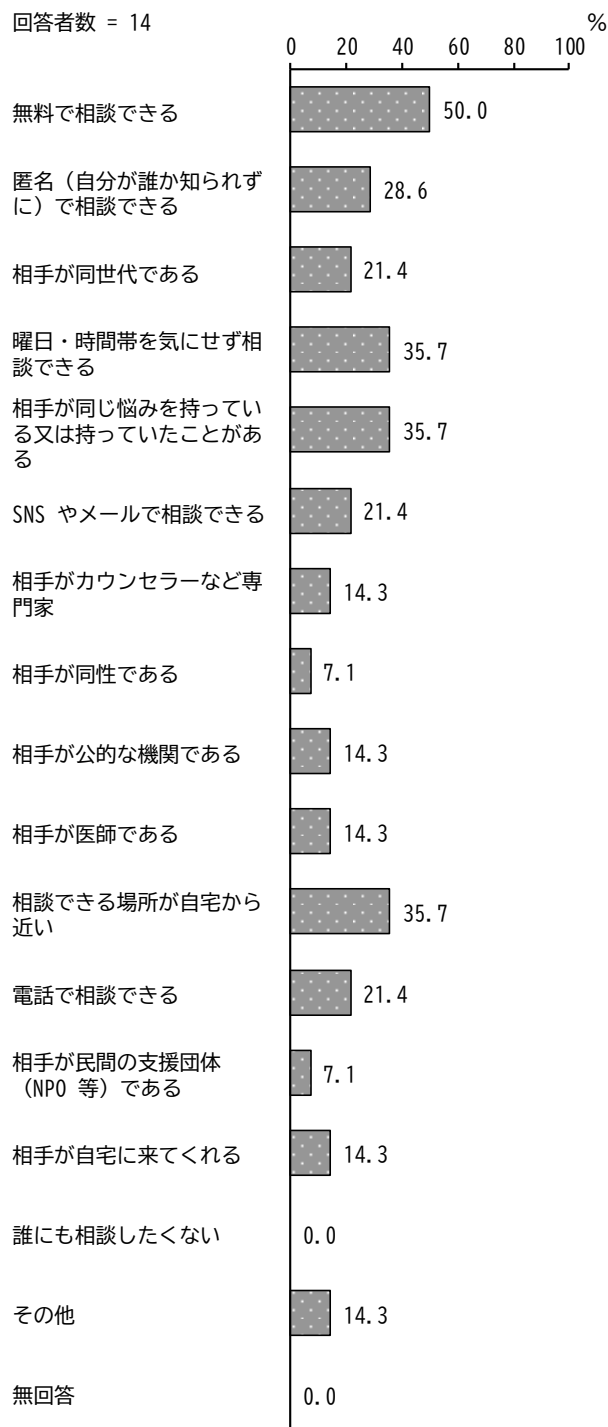
区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SNS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
タイプAひとり親	- -	2 15.4	- -	- -	1 7.7	2 15.4	- -	- -
タイプBフル×フル	- -	11 14.9	- -	- -	1 1.4	7 9.5	2 2.7	- -
タイプCフル×パート	- -	5 11.6	1 2.3	- -	1 2.3	1 2.3	- -	- -
タイプD専業主婦（夫）	- -	6 11.1	- -	- -	- -	2 3.7	1 1.9	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問8 問6で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

どのような人や場所なら相談したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「無料で相談できる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「曜日・時間帯を気にせず相談できる」、「相手が同じ悩みを持っている又は持っていたことがある」、「相談できる場所が自宅から近い」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 14



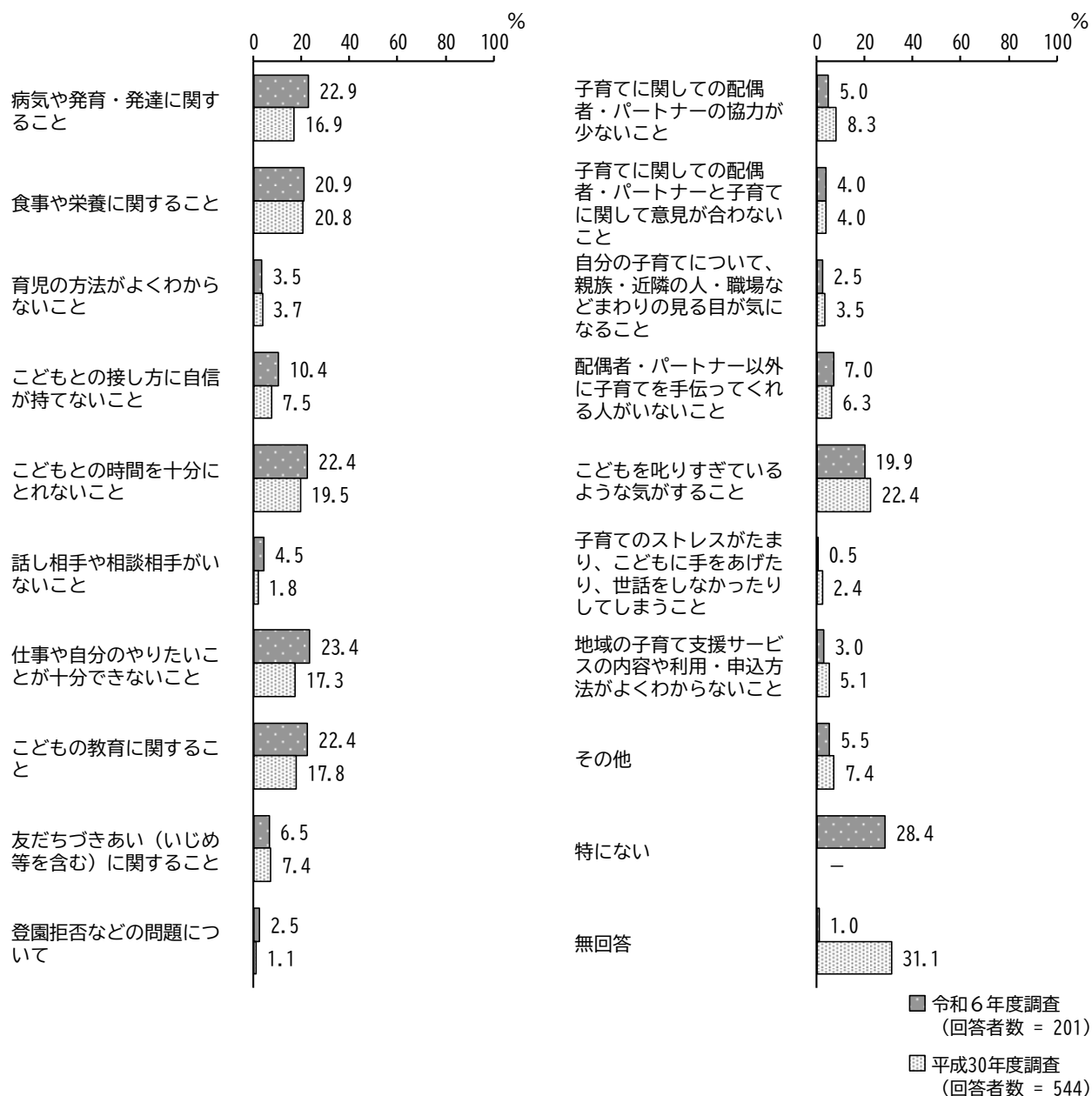
【その他の意見】

- ・ コミュニティーセンター等の子育て中のお母さん、お父さんと話せる機会があると良い。（1件）
- ・ 相談してもらっていただけでは解決できないので、話しても、相談しても、くるしいだけ。かわらなかった。（1件）

問9 子育て（教育を含む）において、現在、何か悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が28.4%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が23.4%、「病気や発育・発達に関すること」の割合が22.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が増加しています。



※前回調査では、「特にない」の選択肢はありませんでした。

【その他の主な意見】

- ・イヤイヤ期に入ってその場その場の対応に追われる事。(1件)
- ・どうしたらこの子育てのなやみ、苦しみ、からのがれられるのか、ねむれない。(1件)
- ・過疎地、限界集落。スクールバスが無理なら早く廃校にしてほしい。(1件)
- ・近くの公立幼稚園が閉園し、現在通っている幼稚園が遠くて通園が大変。(1件)

- ・休みたい。有給はたまに取れるが、休みの時は保育園や学童は使えない、と言われており、結局休めない。うまくやればいいと思うが嘘をつくのも負担。なぜたまの有給で子どもを預けてはいけないのか。誰にも邪魔されずに昼寝したい。(1件)
- ・友人は独身や子どものいない人も多く、子育てについては色々話せない。(1件)
- ・養育費は貰っているが、父親が居ないこと。(1件)
- ・保育園入園希望時期に入園が困難であること。(1件)
- ・教育関連の資金。(1件)
- ・人と関わりたくない。(1件)

他1件

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「こどもの教育に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
0歳	26 100.0	7 26.9	7 26.9	3 11.5	4 15.4	4 15.4	3 11.5	8 30.8	8 30.8	2 7.7	- -
1歳	30 100.0	10 33.3	8 26.7	1 3.3	5 16.7	8 26.7	2 6.7	9 30.0	3 10.0	- -	1 3.3
2歳	31 100.0	9 29.0	7 22.6	3 9.7	5 16.1	7 22.6	1 3.2	9 29.0	4 12.9	3 9.7	1 3.2
3歳	34 100.0	5 14.7	4 11.8	- -	3 8.8	7 20.6	1 2.9	8 23.5	10 29.4	- -	1 2.9
4歳	32 100.0	8 25.0	10 31.3	- -	2 6.3	4 12.5	- -	7 21.9	11 34.4	4 12.5	1 3.1
5歳	42 100.0	6 14.3	5 11.9	- -	1 2.4	14 33.3	1 2.4	6 14.3	7 16.7	3 7.1	- -

区分	子育てに 関する 協力が 少ない こと	子育てに 関する 配偶者・ パート ナーと 意見が 合わない こと	自分の 子育て について 親族・ 近隣の 人・職 場など まわり の意見 が気にな ること	配偶者・ パート ナー以外 に子育て を手伝 ってくれる 人がいな いこと	こどもを 叱りすぎ ているよ うな気が すること	こどもに 手をつけ たり、世 話をしな かったり してしまう こと	子育ての ストレス がたまり、 こどもに 手をつけ たり、世 話をしな かったり してしまう こと	地域の 子育て支 援サービ スの内容 や利用・ 申込方法 がよくわ からない こと	その他	特にな い	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0	
0歳	1 3.8	1 3.8	2 7.7	2 7.7	4 15.4	- -	- -	1 3.8	6 23.1	- -	
1歳	2 6.7	- -	2 6.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	3 10.0	1 3.3	8 26.7	- -	
2歳	2 6.5	2 6.5	- -	4 12.9	7 22.6	- -	1 3.2	3 9.7	8 25.8	- -	
3歳	- -	2 5.9	- -	1 2.9	8 23.5	- -	1 2.9	1 2.9	10 29.4	1 2.9	
4歳	- -	- -	- -	1 3.1	8 25.0	- -	1 3.1	2 6.3	7 21.9	- -	
5歳	5 11.9	2 4.8	1 2.4	3 7.1	8 19.0	- -	- -	2 4.8	15 35.7	1 2.4	

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「こどもとの時間を十分にとれないこと」の割合が高くなっています。また、ひとり親世帯で「病気や発育・発達に関すること」、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」、「こどもを叱りすぎているような気がする」との割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいなこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
ふたり親世帯	187 100.0	41 21.9	40 21.4	7 3.7	18 9.6	43 23.0	9 4.8	40 21.4	42 22.5	13 7.0	5 2.7
ひとり親世帯	13 100.0	5 38.5	2 15.4	- -	3 23.1	2 15.4	- -	7 53.8	3 23.1	- -	- -
その他(不明等)	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0
ふたり親世帯	9 4.8	8 4.3	5 2.7	14 7.5	35 18.7	1 0.5	4 2.1	9 4.8	54 28.9	2 1.1
ひとり親世帯	1 7.7	- -	- -	- -	5 38.5	- -	2 15.4	2 15.4	2 15.4	- -
その他(不明等)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「病気や発育・発達に関すること」、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が高くなっています。また、720 万円以上で「こどもの教育に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
360万円未満	20 100.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	- -	5 25.0	4 20.0	3 15.0	- -
360万円以上 720万円未満	101 100.0	20 19.8	21 20.8	4 4.0	11 10.9	22 21.8	4 4.0	27 26.7	17 16.8	5 5.0	3 3.0
720万円以上	80 100.0	19 23.8	18 22.5	2 2.5	8 10.0	21 26.3	5 6.3	15 18.8	24 30.0	5 6.3	2 2.5

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0
360万円未満	2 10.0	1 5.0	- -	1 5.0	2 10.0	- -	- -	1 5.0	7 35.0	1 5.0
360万円以上 720万円未満	4 4.0	4 4.0	4 4.0	6 5.9	22 21.8	1 1.0	4 4.0	4 4.0	30 29.7	- -
720万円以上	4 5.0	3 3.8	1 1.3	7 8.8	16 20.0	- -	2 2.5	6 7.5	20 25.0	1 1.3

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいなこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
タイプAひとり親	13 100.0	5 38.5	2 15.4	- -	3 23.1	2 15.4	- -	7 53.8	3 23.1	- -	- -
タイプBフル×フル	81 100.0	19 23.5	17 21.0	3 3.7	10 12.3	28 34.6	5 6.2	23 28.4	22 27.2	7 8.6	2 2.5
タイプCフル×パート	46 100.0	7 15.2	9 19.6	2 4.3	4 8.7	11 23.9	2 4.3	8 17.4	12 26.1	3 6.5	- -
タイプD専業主婦(夫)	57 100.0	14 24.6	14 24.6	2 3.5	4 7.0	3 5.3	2 3.5	9 15.8	7 12.3	3 5.3	3 5.3
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

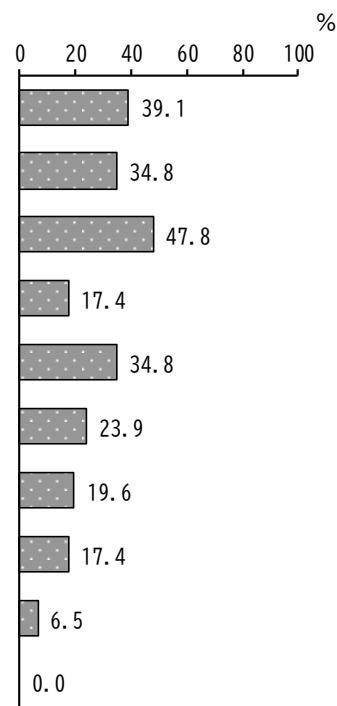
区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0
タイプAひとり親	1 7.7	- -	- -	- -	5 38.5	- -	2 15.4	2 15.4	2 15.4	- -
タイプBフル×フル	2 2.5	1 1.2	2 2.5	6 7.4	17 21.0	- -	2 2.5	7 8.6	15 18.5	1 1.2
タイプCフル×パート	2 4.3	6 13.0	1 2.2	3 6.5	12 26.1	- -	- -	1 2.2	15 32.6	- -
タイプD専業主婦(夫)	5 8.8	1 1.8	2 3.5	5 8.8	6 10.5	1 1.8	2 3.5	1 1.8	23 40.4	1 1.8
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

問10 問9で「1. 病気や発育・発達に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
子育ての悩みや、不安だと思うことは何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「行動面（落ち着きがない、かんしゃく等）」の割合が47.8%と最も高く、次いで「生活習慣（食生活やトイレトレーニング）」の割合が39.1%、「コミュニケーションやことばの発達」、「こどもの成長発達を促すための関わり方」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 46

生活習慣（食生活やトイレトレーニング）
コミュニケーションやことばの発達
行動面（落ち着きがない、かんしゃく等）
就園・就学
こどもの成長発達を促すための関わり方
成長（身長や体重の伸び）
発達障害に関すること
病気に関すること
その他
無回答



【その他の意見】

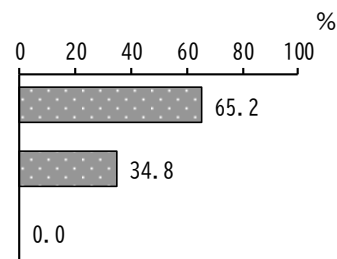
- ・まだ5ヶ月だが、これから先発達障害等だったらどうしようという不安。（1件）
- ・保育園に通い始めて咳や発熱が続くので心配。仕事に行けない日もあるのが悩み。（1件）

問11 問10で○をつけた方にうかがいます。
市内には専門の相談機関がありますが、ご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が65.2%、「知らない」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 46

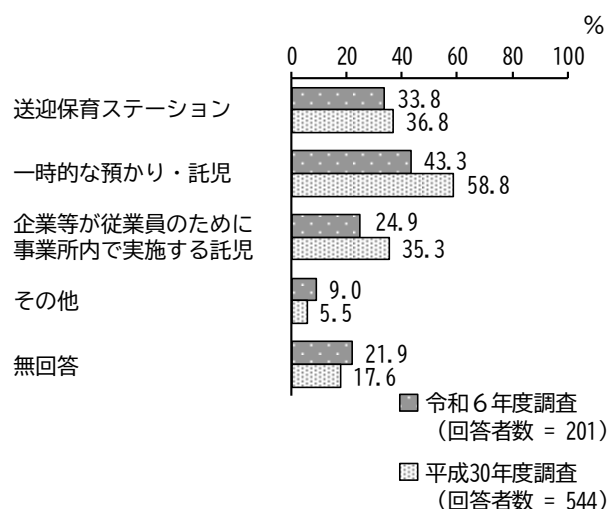
知っている
知らない
無回答



問 12 すべての方にうかがいます。今後、あれば利用したいと思う事業は何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

「一時的な預かり・託児」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「送迎保育ステーション」の割合が 33.8%、「企業等が従業員のために事業所内で実施する託児」の割合が 24.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「一時的な預かり・託児」「企業等が従業員のために事業所内で実施する託児」の割合が減少しています。



※前回調査では、「送迎保育ステーション」の選択肢は「送迎保育ステーション（送迎拠点から、定員に余裕のある保育施設へお子さんをバスで送迎するもの）」となっていました。

※前回調査では、「一時的な預かり・託児」の選択肢は「単発で気軽に利用できる託児」となっていました。

【その他の主な意見】

- ・地域での関わりが非常に浅い、薄いので、年一回でも各地域の同世代が集まって行える行事（広域避難場所説明などでも可）（2 件）
- ・親が休みの日に休息を取るため保育園に預けるのを認めて欲しい。（2 件）
- ・臼井地区に雨でも無料でアクティブに遊べる施設がほしい！（2 件）
- ・土日祝日に数時間でもいいので子どもを預かって欲しい。（2 件）
- ・それぞれ民間サービスを充実させるべきであり、すでに保育所等で公金支出は大きいのでから拡大すべきではない。（1 件）
- ・習い事への送迎。姉兄の習い事や個人面談、授業参観（6 時間目に行われることが多い為）送迎との兼ね合いから、送迎や預かりが小学生に上がっても利用できると有り難い。（1 件）
- ・子供を見守りながら年代別に遊べるフリースペースやそれを完備しているカフェ。（1 件）
- ・職場復帰の為の一時預かり（1 件）
- ・スクールバス（1 件）
- ・病児預りの施設（1 件）
- 他 1 件

【年齢別】

年齢別にみると、1歳で「一時的な預かり・託児」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	送迎保育ステーション	児 一時的な預かり・託	企業等が従業員の ために事業所内で 実施する託児	その他	無回答
全 体	201 100.0	68 33.8	87 43.3	50 24.9	18 9.0	44 21.9
0歳	26 100.0	14 53.8	14 53.8	5 19.2	- -	1 3.8
1歳	30 100.0	10 33.3	21 70.0	12 40.0	4 13.3	3 10.0
2歳	31 100.0	11 35.5	11 35.5	6 19.4	3 9.7	8 25.8
3歳	34 100.0	11 32.4	16 47.1	8 23.5	3 8.8	7 20.6
4歳	32 100.0	8 25.0	8 25.0	10 31.3	4 12.5	10 31.3
5歳	42 100.0	13 31.0	15 35.7	7 16.7	3 7.1	13 31.0

【現在の家庭類型別】

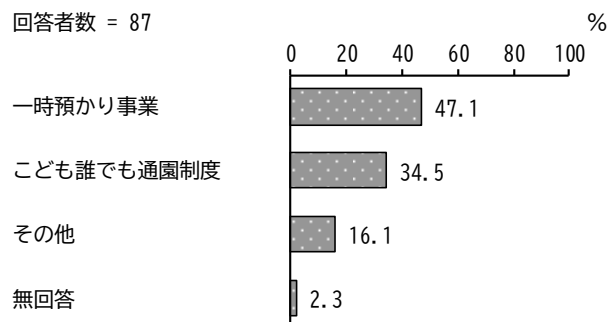
現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「送迎保育ステーション」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	送迎保育ステーション	児 一時的な預かり・託	企業等が従業員の ために事業所内で 実施する託児	その他	無回答
全 体	201 100.0	68 33.8	87 43.3	50 24.9	18 9.0	44 21.9
タイプAひとり親	13 100.0	7 53.8	6 46.2	3 23.1	- -	1 7.7
タイプBフル×フル	81 100.0	32 39.5	28 34.6	20 24.7	9 11.1	19 23.5
タイプCフル×パート	46 100.0	13 28.3	20 43.5	13 28.3	4 8.7	8 17.4
タイプD専業主婦（夫）	57 100.0	13 22.8	33 57.9	12 21.1	5 8.8	15 26.3
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0

問13 問12で「2. 一時的な預かり・託児」に○をつけた方にうかがいます。
次の事業のうち、一番利用したいと思う事業は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

「一時預かり事業」の割合が47.1%、「こども誰でも通園制度」の割合が34.5%となっています。



【その他の意見】

- ・登録しておけば、私用で利用でき、前日申込みでも数時間から半日ぐらい預けられる施設。(3件)
- ・土曜日や日曜日の2-3時間の預かりなど。(3件)
- ・小学生対象のサービス(2件)
- ・双子の2歳児を育てています。託児の一時利用は2枠予約を取ることが難しいため、双子の一時利用をいつでも受け入れてくれる、断らない制度がほしい。(1件)
- ・単純に、保育園や学童を、有給の際も利用できるようにしてほしい。(頻度の制約があってもよいので)(1件)
- ・仕事をする上で保育所が見つからない場合の託児所を利用したい。(1件)
- ・夜間及び泊まりでみてもらえるところ。(1件)
- ・小学生の学童(1件)
- ・病児保育(1件)

(5) 土日、夜間の教育・保育事業（幼稚園・保育園など）の利用状況について

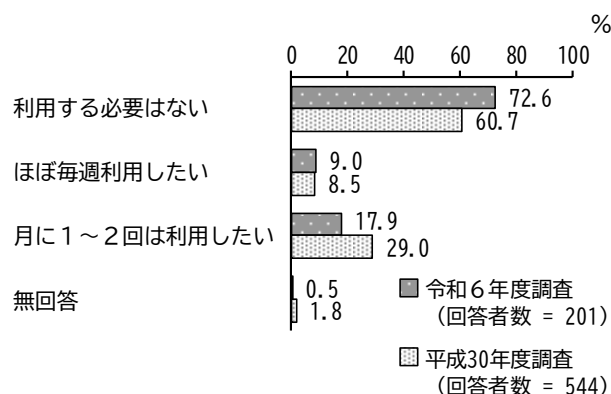
問 14 宛名のお子さまについて、土曜日・日曜日・祝日・夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望として、当てはまる番号 1 つに○をつけてください（一時的な利用は除きます）。

「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に 1～2 回は利用したい」の割合が減少しています。



【居住地区別（(1) 土曜日）】

居住地区別にみると、臼井・千代田圏域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

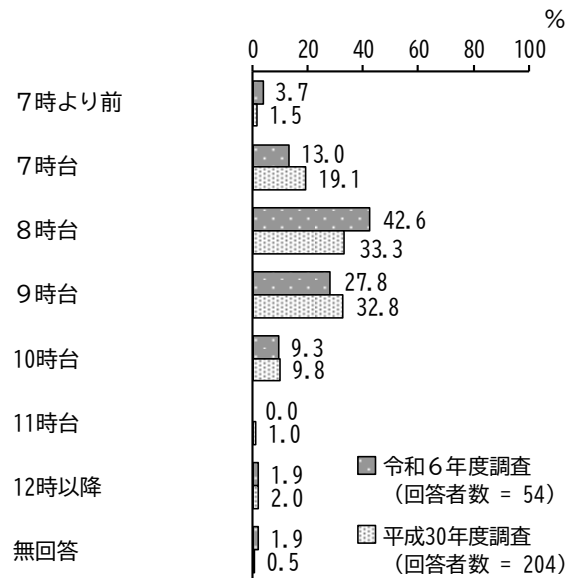
区分	回答者数	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全 体	201 100.0	146 72.6	18 9.0	36 17.9	1 0.5
佐倉圏域	50 100.0	40 80.0	2 4.0	8 16.0	-
臼井・千代田圏域	31 100.0	26 83.9	-	5 16.1	-
志津北部圏域	61 100.0	41 67.2	6 9.8	13 21.3	1 1.6
志津南部圏域	27 100.0	17 63.0	4 14.8	6 22.2	-
根郷・和田・弥富圏域	32 100.0	22 68.8	6 18.8	4 12.5	-

利用したい時間帯

開始時間

「8 時台」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 27.8%、「7 時台」の割合が 13.0%となっています。

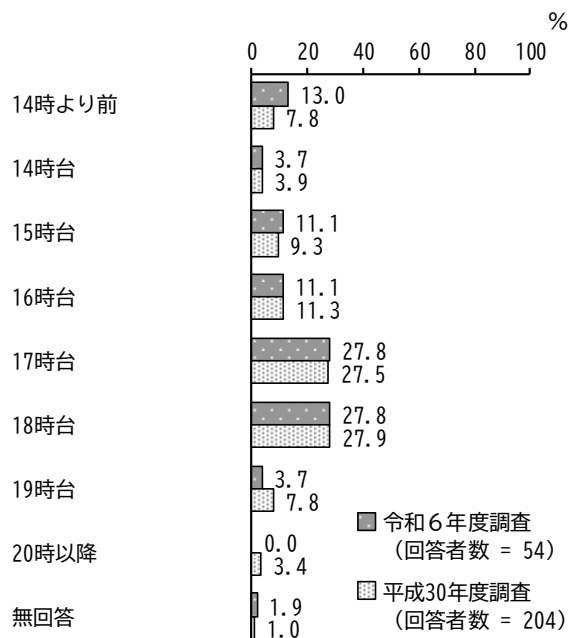
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時台」の割合が増加しています。一方、「7 時台」「9 時台」の割合が減少しています。



終了時間

「17 時台」「18 時台」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「14 時より前」の割合が 13.0%となっています。

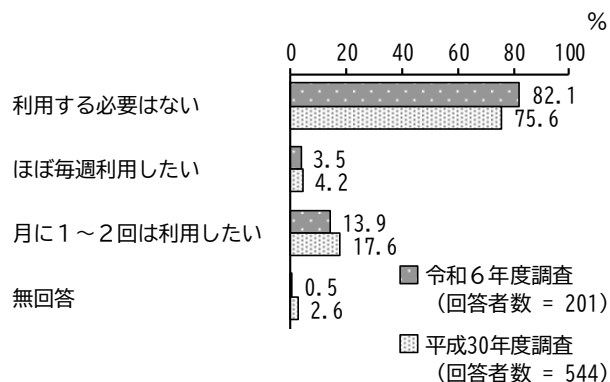
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時より前」の割合が増加しています。



(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が82.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

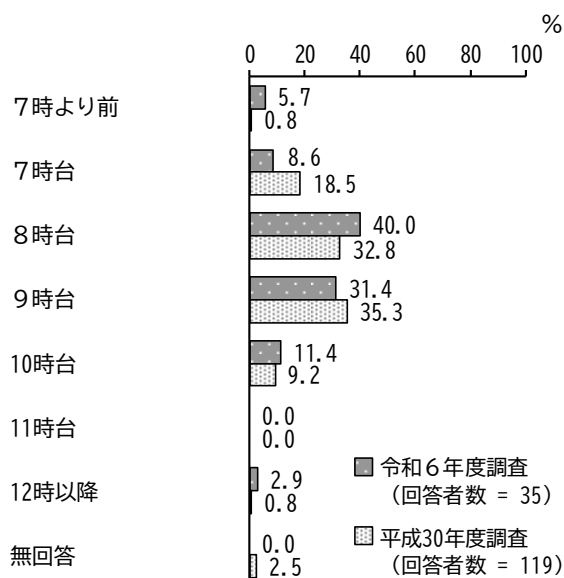


利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.4%、「10時台」の割合が11.4%となっています。

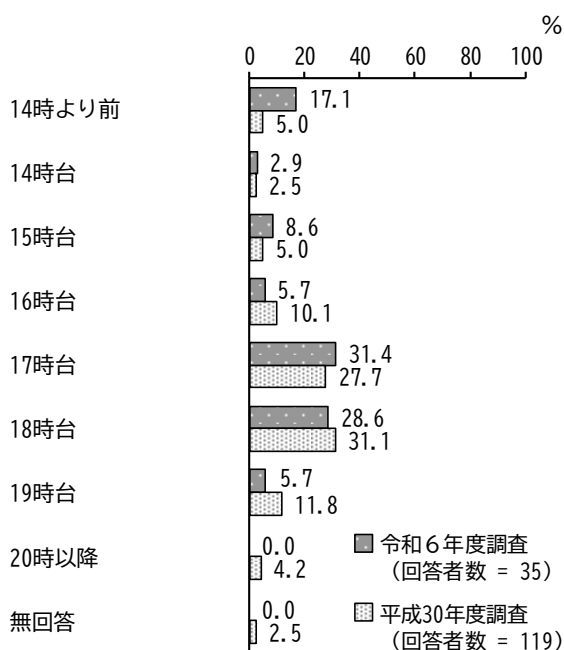
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。



終了時間

「17時台」の割合が31.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が28.6%、「14時より前」の割合が17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時より前」の割合が増加しています。一方、「19時台」の割合が減少しています。



(3) 夜間

「利用する必要はない」の割合が 95.5%と最も高くなっています。

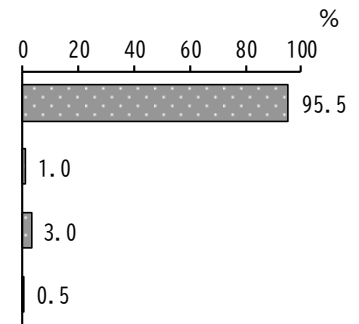
回答者数 = 201

利用する必要はない

ほぼ毎週利用したい

月に1～2回は利用したい

無回答



利用したい時間帯

開始時間

「18 時より前」、「18 時台」、「20 時台」が2件となっています。

回答者数 = 8

18時より前

18時台

19時台

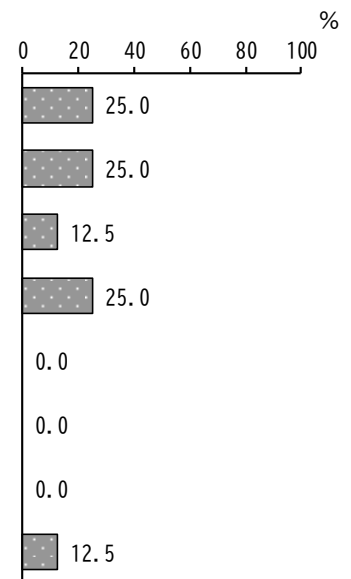
20時台

21時台

22時台

23時以降

無回答



終了時間

「12 時以降」が5件となっています。「9 時台」、「10 時台」が1件となっています。

回答者数 = 8

7時より前

7時台

8時台

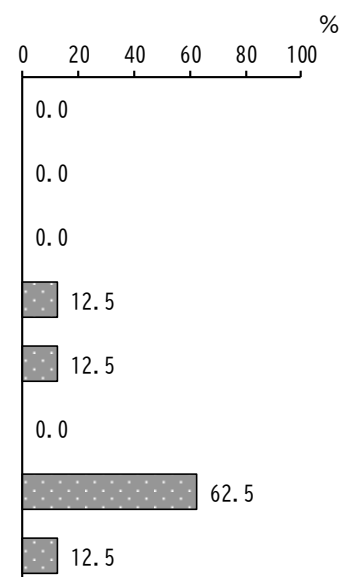
9時台

10時台

11時台

12時以降

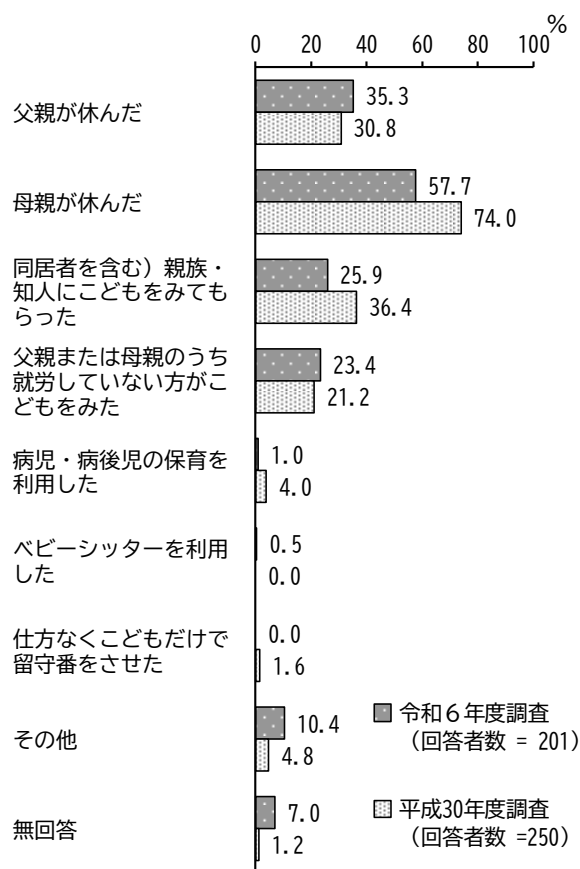
無回答



問 15 この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください（数字は一桁に一字）。

「母親が休んだ」の割合が57.7%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が35.3%、「同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「母親が休んだ」、「同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった」の割合が減少しています。



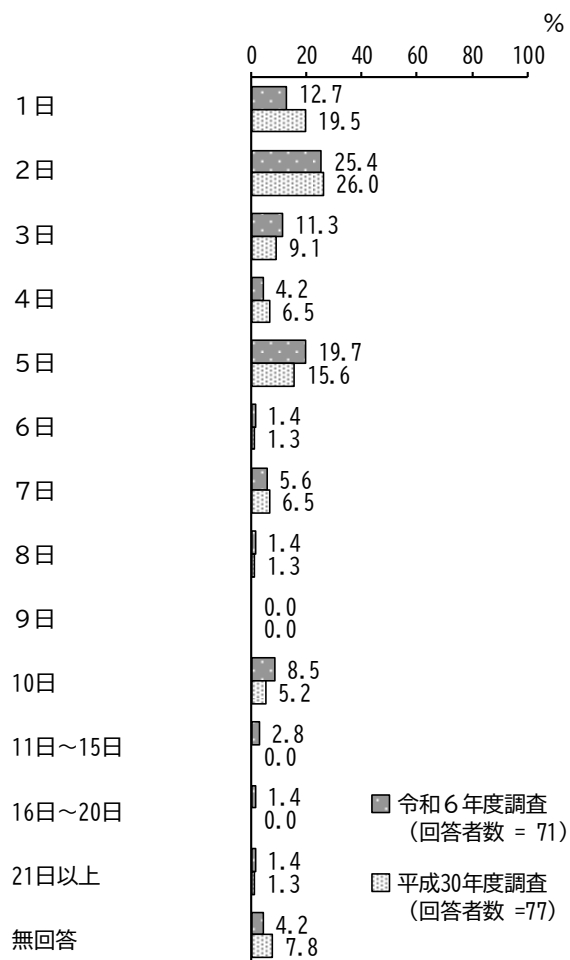
【その他の意見】

- ・そういった事業をまだ利用していない。(6件)
- ・リモート勤務にし、子供を見つつ、仕事をした。(4件)
- ・産休中・育休中なので母が自宅でみた。(3件)
- ・未就園児なので常に母がいる。(2件)
- ・父親が仕事場に連れて行った。(1件)
- ・まだ休んだことはないが、状況に応じて父母どちらかが休むか、祖母に見てもらおう予定。(1件)
- ・まだ実績がない。おそらく母親が休むことになっていると思っている。(1件)
- ・普段常に、教育、保育事業を利用していないので、解答の仕方がわからないが、子どもの風邪等で病院に行くために、夫に休んでもらったり、祖母に来てもらったりした日数を回答した。(1件)

ア. 父親が休んだ日数

「2日」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「5日」の割合が 19.7%、「1日」の割合が 12.7%となっています。

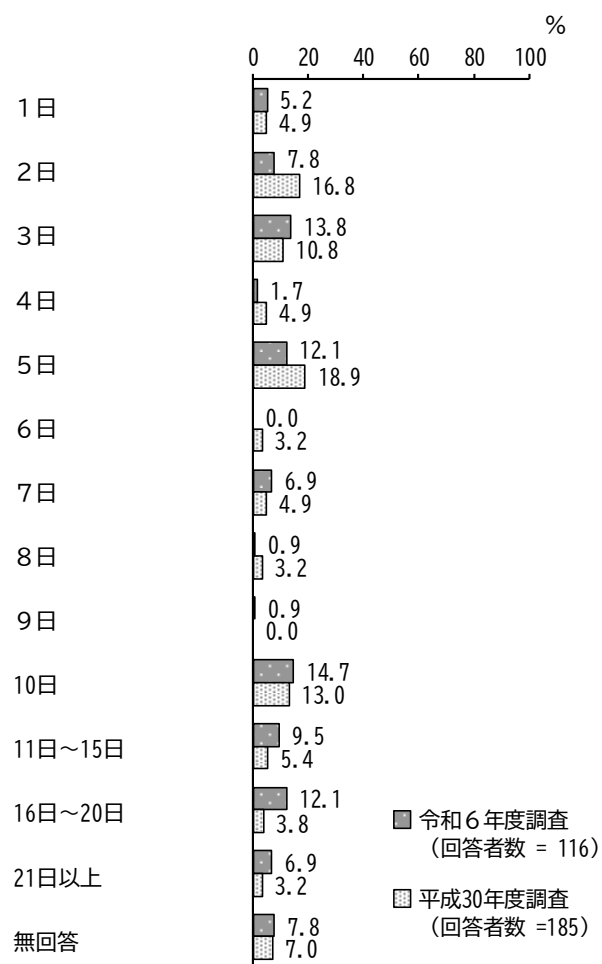
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



イ. 母親が休んだ日数

「10 日」の割合が 14.7%と最も高く、次いで「3 日」の割合が 13.8%、「5 日」、「16 日～20 日」の割合が 12.1%となっています。

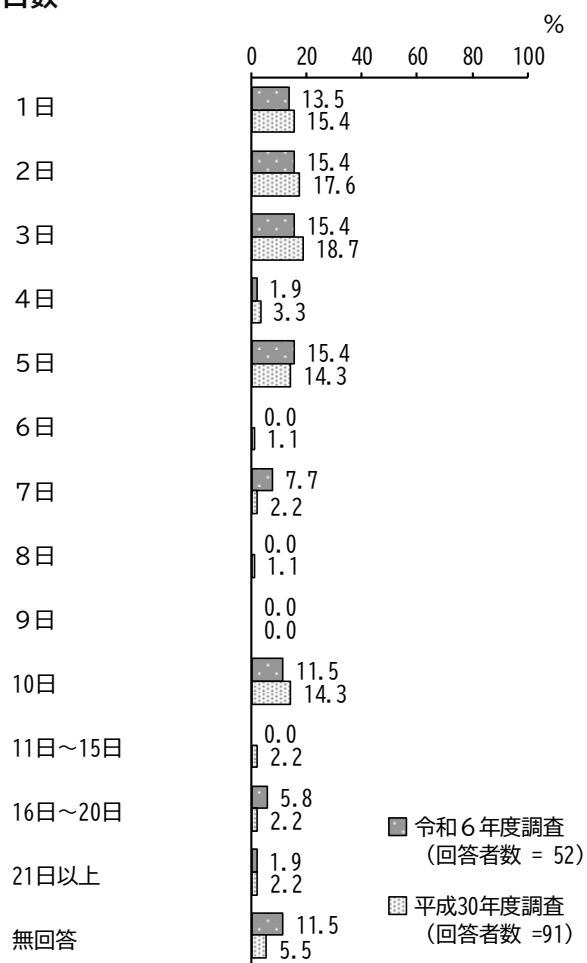
平成 30 年度調査と比較すると、「16 日～20 日」の割合が増加しています。一方、「2 日」、「5 日」の割合が減少しています。



ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2日」、「3日」、「5日」の割合が15.4%と最も高くなっています。

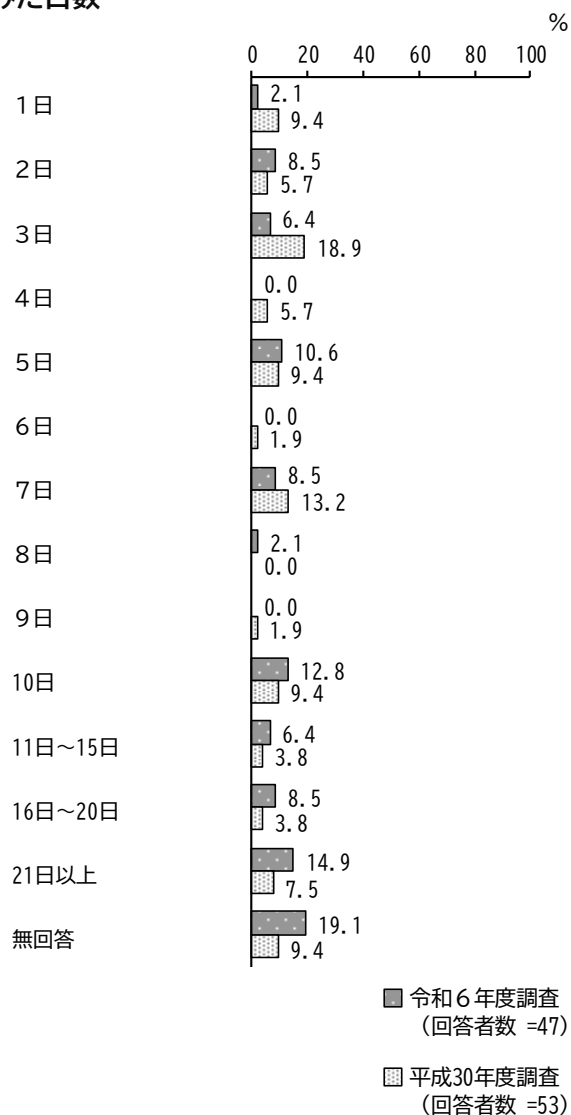
平成30年度調査と比較すると、「7日」の割合が増加しています。



エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

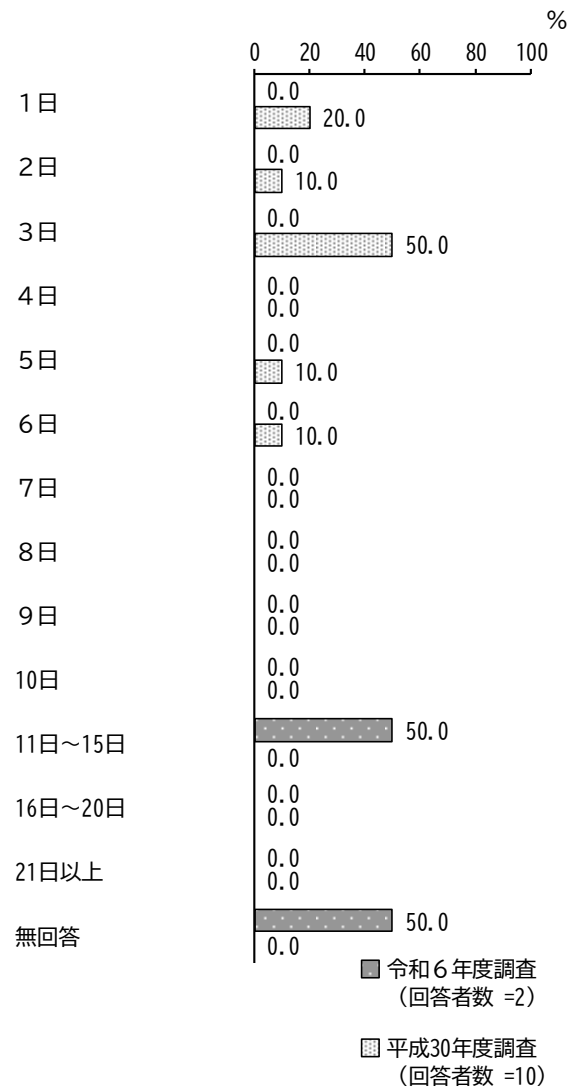
「21 日以上」の割合が 14.9%と最も高く、次いで「10 日」の割合が 12.8%、「5 日」の割合が 10.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「21 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」、「3 日」、「4 日」の割合が減少しています。

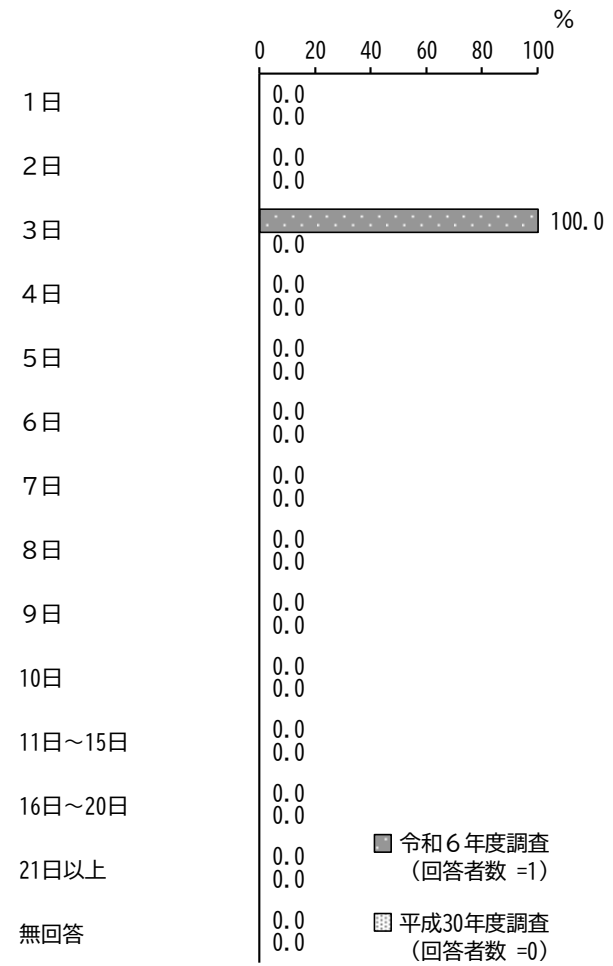


オ. 病児・病後児の保育を利用した日数

「11日～15日」が1件となっています。



カ. ベビーシッターを利用した日数
「3日」が1件となっています。

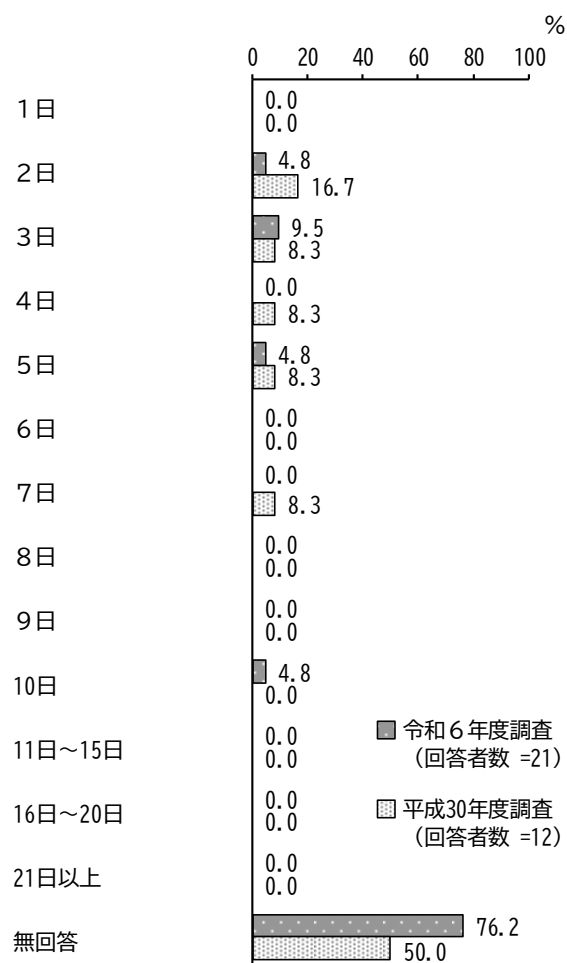


キ. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた日数
有効回答がありませんでした。

ク. その他の日数

「3日」の割合が9.5%と最も高くなっています。

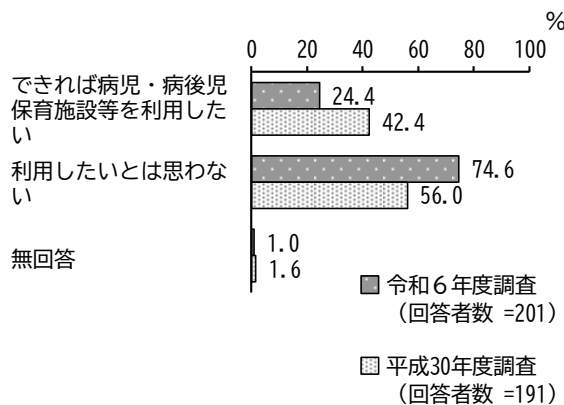
平成30年度調査と比較すると、「2日」、「4日」、「7日」の割合が減少しています。



問 16 「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が24.4%、「利用したいとは思わない」の割合が74.6%となっています。

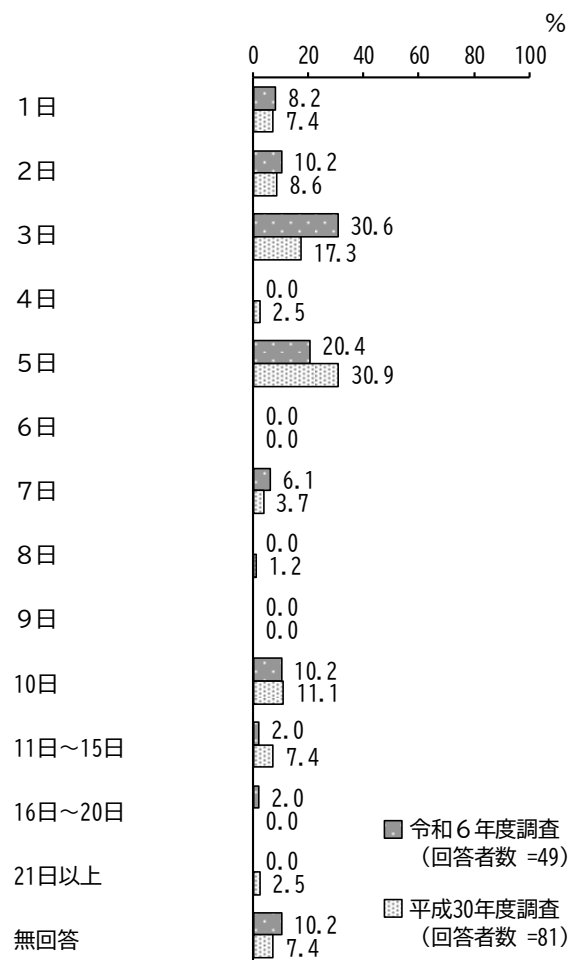
平成30年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「3日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.4%、「2日」、「10日」の割合が10.2%となっています。

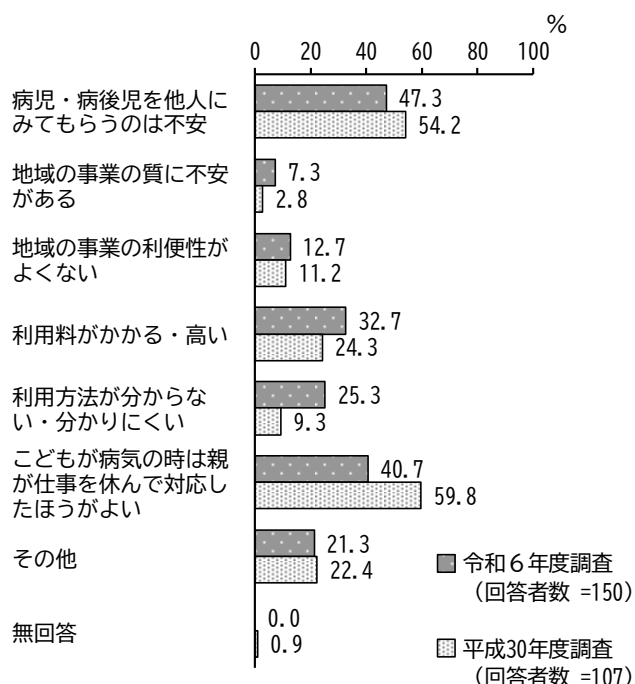
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」、「11日～15日」の割合が減少しています。



問 17 問 16 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「こどもが病気の時は親が仕事を休んで対応したほうがよい」の割合が 40.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が 32.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」、「利用方法が分からない・分かりにくい」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」、「こどもが病気の時は親が仕事を休んで対応したほうがよい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「地域の事業の利便性がよくない」の選択肢は「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」となっていました。

※前回調査では、「利用方法が分からない・分かりにくい」の選択肢は「利用料がわからない」となっていました。

【その他の意見】

- ・手順が多く事前準備も多くハードルが高すぎて使いたい時に使えるようなものではない。空きもないしほとんど無意味。（8件）
- ・病気の時は寄り添って安心させてしっかり休ませてあげたい。こどもが嫌がりそう。（5件）
- ・現在、私（母親）が仕事をしていないため利用する必要性を感じない。（5件）
- ・実親が近くに住んでいる為。調子の悪い時に知らない場所&人は可哀想とも思うので、普段通っている保育園で、病み上がりの子が過ごせる部屋があるなら、一番ありがたい。（2件）
- ・事前に病院で許可書をもらうのが厳しい。何度も病院に連れて行く時間がない。（2件）
- ・むしろ自分で面倒みられるから必要ない。（2件）
- ・他の子から別の病気をもらってしまいそうだから。（2件）
- ・必要な時が今の所はない(家に誰かがほぼ居るので)（2件）
- ・具合の悪い時ぐらいいそばで見てあげたい気持ちもあり、預けたいが葛藤する…それよりも休みやすい社会環境となってほしい。（1件）
- ・フリーシフト制なので仕事を休んで看病することを気軽にできるため。（1件）

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、宛名のお子さまを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

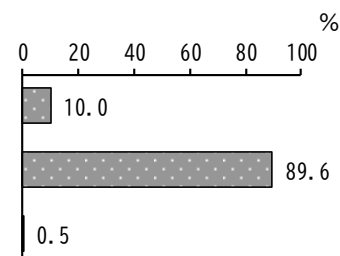
「利用したい」の割合が 10.0%、「利用する必要はない」の割合が 89.6%となっています。

回答者数 = 201

利用したい

利用する必要はない

無回答



【その他の意見】

- ・育児疲れまではいかないがリフレッシュや普段ほぼとれない夫婦での時間づくりでも利用できると良い。
(1件)
- ・親族を頼ることができない事情のある急用。(1件)
- ・保護者の通院(入院)(1件)

利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が 50.0%となっています。

回答者数 = 20

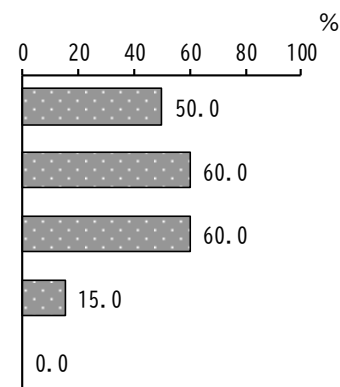
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

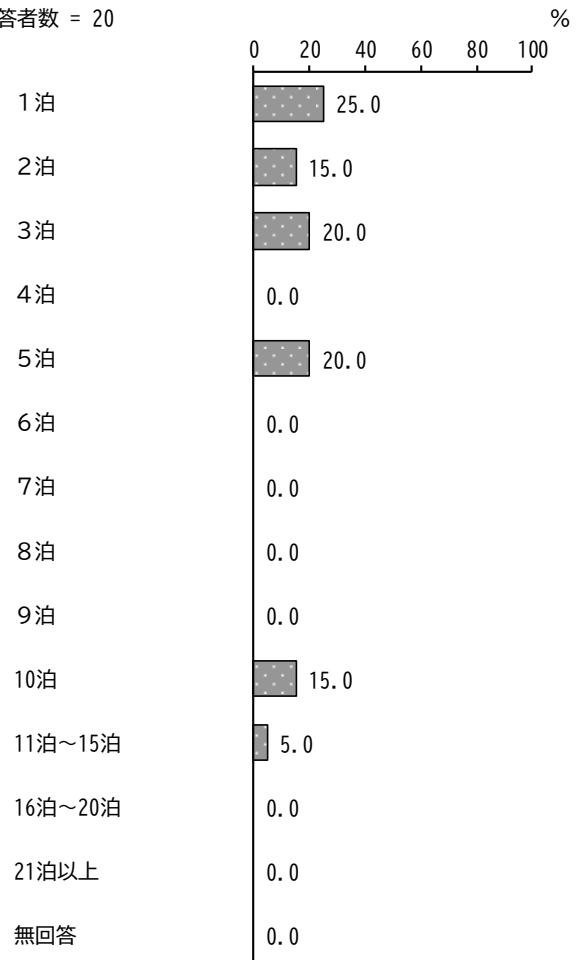
無回答



合計の泊数

「1泊」の割合が 25.0%と最も高く、次いで
「3泊」、「5泊」の割合が 20.0%となっています。

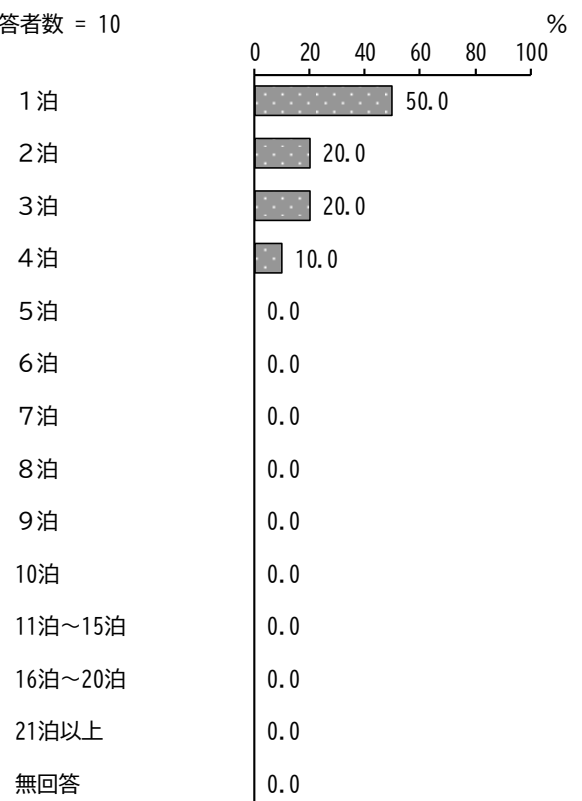
回答者数 = 20



ア. 冠婚葬祭の泊数

「1泊」の割合が 50.0%と最も高く、次いで
「2泊」、「3泊」の割合が 20.0%となっています。

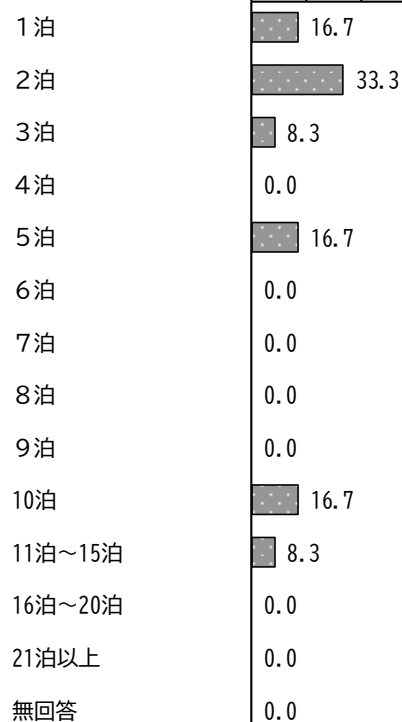
回答者数 = 10



イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「2泊」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「1泊」、「5泊」、「10泊」の割合が 16.7%となっています。

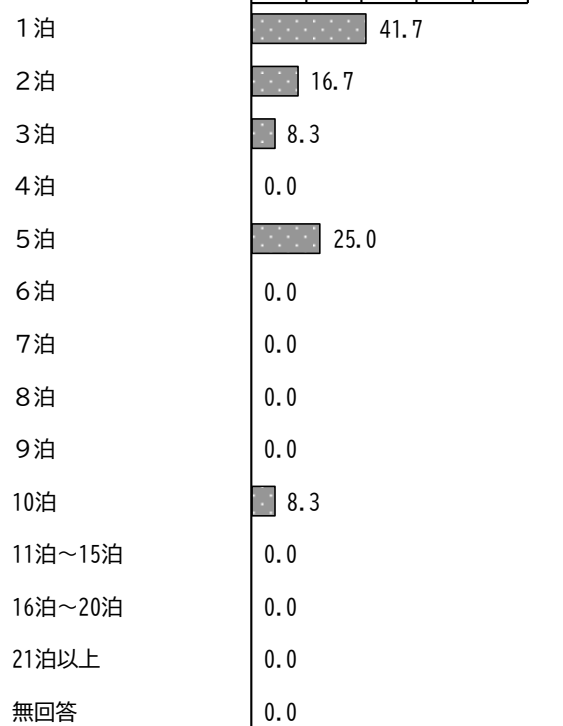
回答者数 = 12



ウ. 保護者や家族の病気の泊数

「1泊」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「5泊」の割合が 25.0%、「2泊」の割合が 16.7%となっています。

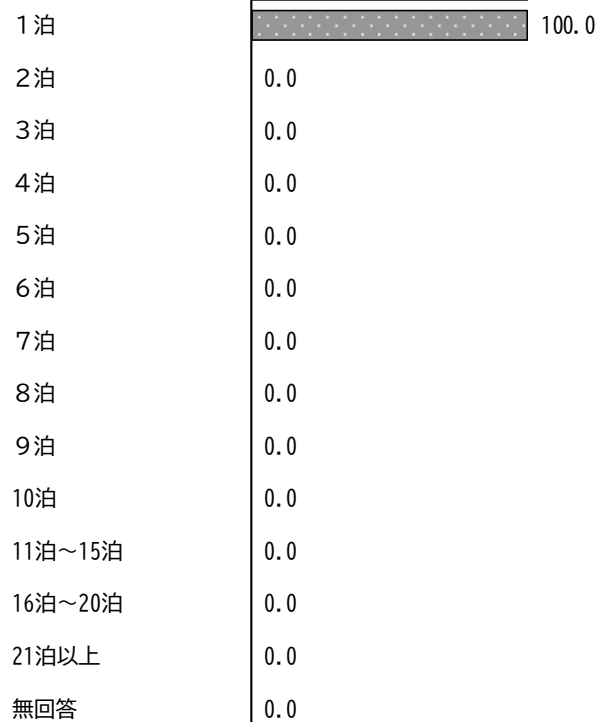
回答者数 = 12



エ. その他の泊数

「1泊」が3件となっています。

回答者数 = 3

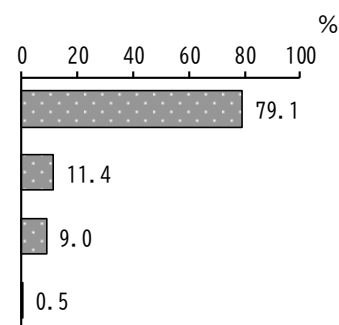


問 19 小児初期急病診療所を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が79.1%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 201

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

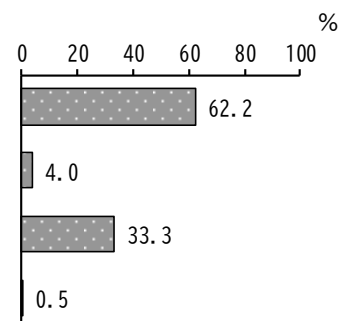


問 20 小児初期急病診療所を利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が62.2%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 201

利用したことがある
利用してみたい
利用したことはない
無回答



問 21 問 20 で「1. 利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。
小児初期急病診療所を利用してどうでしたか。（全体に対する満足度）当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「まあ満足している」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「やや満足している」の割合が 31.2%、「とても満足している」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 125

とても満足している

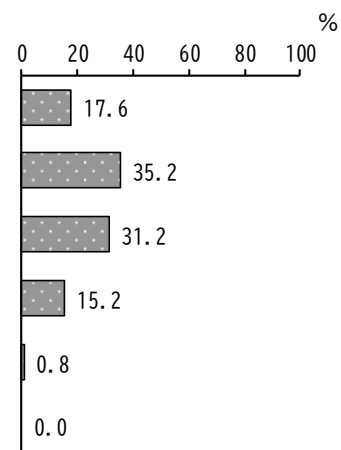
まあ満足している

やや満足している

不満

わからない

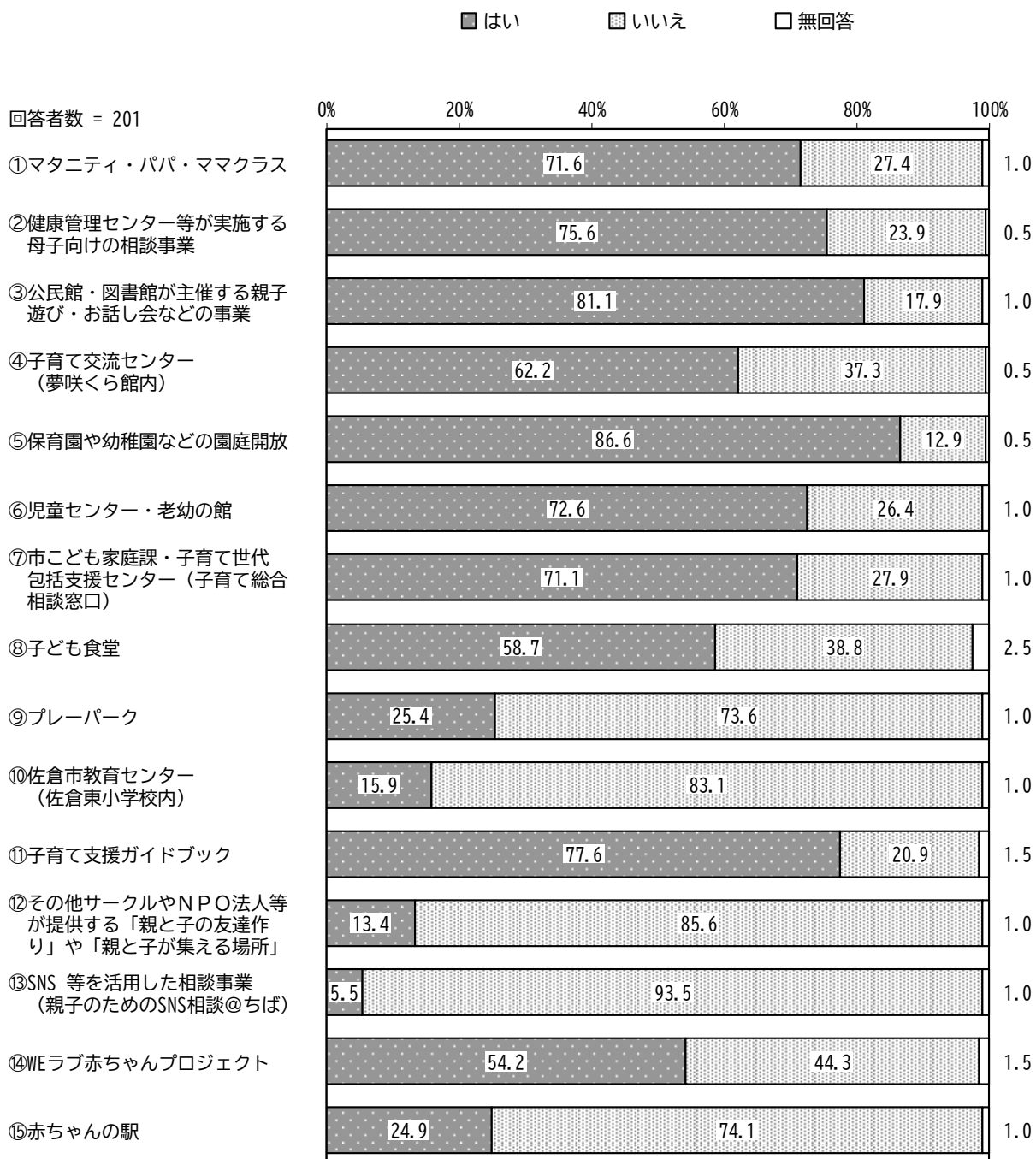
無回答



問 22 下記の事業や場所で知っているものをお答えください。

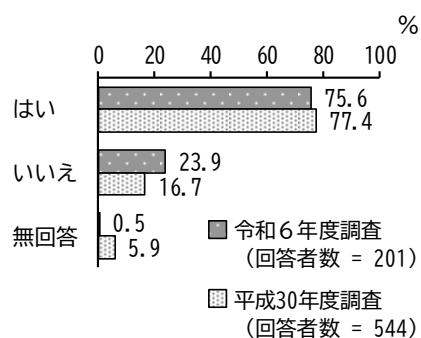
①～⑮の事業・場所ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

『⑤保育園や幼稚園などの園庭開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑬SNS 等を活用した相談事業（親子のための SNS 相談@ちば）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



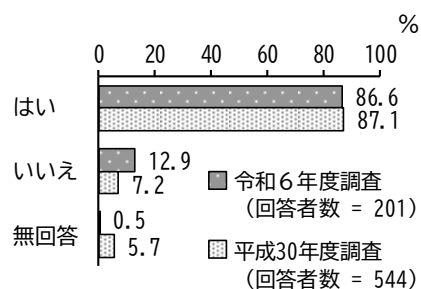
②健康管理センター等が実施する母子向けの相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



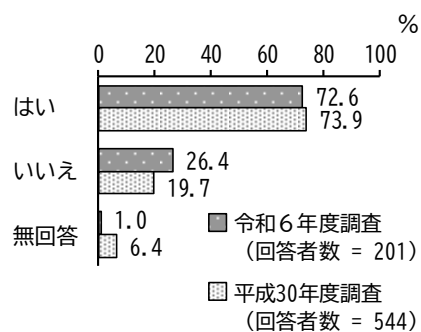
⑤保育園や幼稚園などの園庭開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



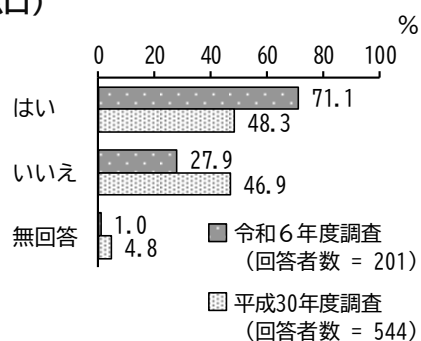
⑥児童センター・老幼の館

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



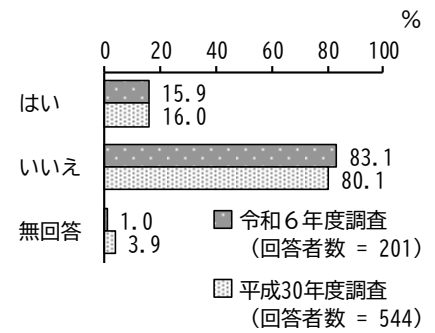
⑦市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



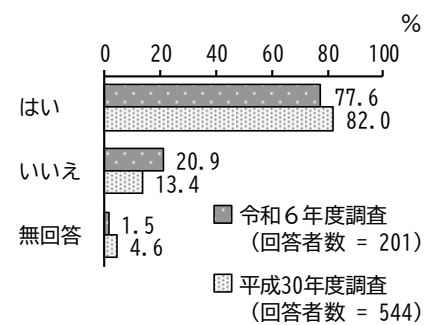
⑩佐倉市教育センター（佐倉東小学校内）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



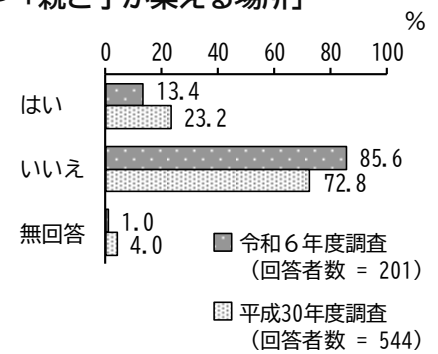
⑪子育て支援ガイドブック

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



⑫その他サークルやNPO法人等が提供する「親と子の友達作り」や「親と子が集える場所」

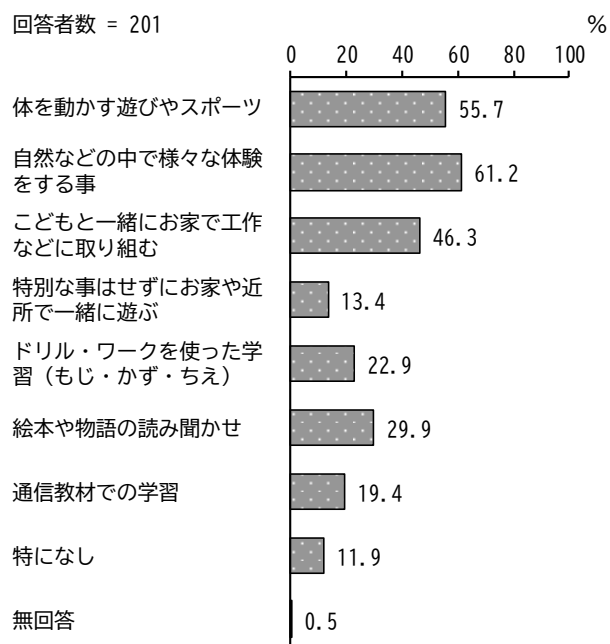
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



問 23 休日にお子さまのためにやりたいけどやれていないことは何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

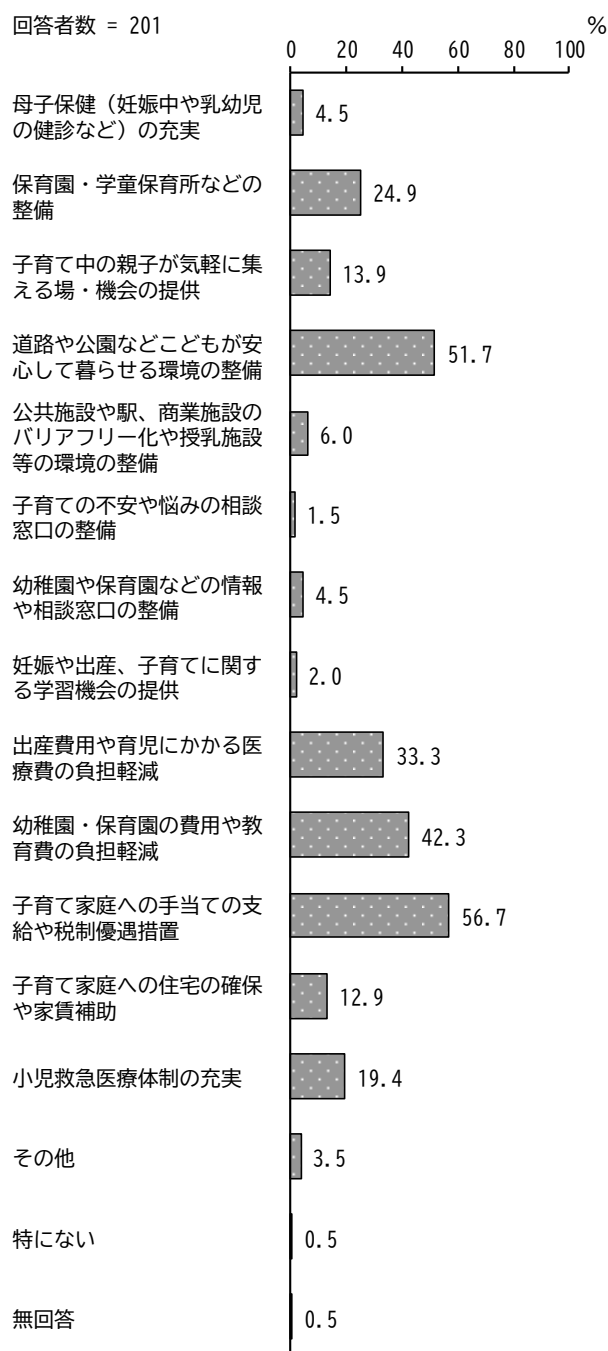
「自然などの中で様々な体験をする事」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「体を動かす遊びやスポーツ」の割合が 55.7%、「こどもと一緒に家で工作などに取り組む」の割合が 46.3%となっています。

回答者数 = 201



問 24 今後の佐倉市における子育ての環境や支援について、どのようなことを期待しますか。期待する順に上位3つまで○をつけてください。

「子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置」の割合が56.7%と最も高く、次いで「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が51.7%、「幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減」の割合が42.3%となっています。



【その他の意見】

- ・給食費無料化、小学3年生以下の第3子の指定の意味がわからない。当てはまる期間短い。（1件）
- ・小児初期急病診療所について検査をしてくれないので、早期治療ができずにただ具合が悪い中、出向くことが億劫で最近では利用していない。インフルエンザなどはタミフルなどを早期に飲むことで症状が大幅に軽減されるので、感染症の検査、投薬はしてほしい。週末など、高熱出しても検査してもらえないので行くだけ無駄と思って、手持ちの解熱剤を使ったりしている。本当に急を要する場合も対応が遅れてしまわないか不安。改善してほしい。（1件）
- ・国の制度が大半なので自治体単位での対応は難しい面もあると思うが、余計な事業は行わず、サービスを受ける者がその対価を負担する健全な状態にしてほしい。（1件）

- ・スクールバス（１件）
- ・PTAの負担軽減（旗振り当番や役員会で貴重な有給を使いたくない）（１件）
- ・歩道が整備されていないところが多いので、子供を連れて自転車や徒歩で出かける際にとても危険。歩道の整備、ガードレールの設置をお願いしたい。（１件）

【居住地区別】

居住地区別にみると、臼井・千代田圏域で「小児救急医療体制の充実」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全 体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
佐倉圏域	50 100.0	2 4.0	15 30.0	4 8.0	27 54.0	3 6.0	- -	2 4.0	1 2.0
臼井・千代田圏域	31 100.0	- -	6 19.4	4 12.9	15 48.4	1 3.2	- -	3 9.7	1 3.2
志津北部圏域	61 100.0	3 4.9	15 24.6	11 18.0	32 52.5	4 6.6	1 1.6	2 3.3	- -
志津南部圏域	27 100.0	2 7.4	7 25.9	3 11.1	16 59.3	3 11.1	1 3.7	1 3.7	- -
根郷・和田・弥富圏域	32 100.0	2 6.3	7 21.9	6 18.8	14 43.8	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3

区分	出産費用や育児にかか る医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や 教育費の負担軽減	子育て家庭への手当て の支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の 確保や家賃補助	小児救急医療体制の充 実	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
佐倉圏域	21 42.0	22 44.0	28 56.0	7 14.0	9 18.0	1 2.0	- -	1 2.0
臼井・千代田圏域	10 32.3	13 41.9	17 54.8	3 9.7	10 32.3	- -	- -	- -
志津北部圏域	19 31.1	27 44.3	39 63.9	8 13.1	9 14.8	1 1.6	1 1.6	- -
志津南部圏域	9 33.3	8 29.6	12 44.4	3 11.1	5 18.5	3 11.1	- -	- -
根郷・和田・弥富圏域	8 25.0	15 46.9	18 56.3	5 15.6	6 18.8	2 6.3	- -	- -

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場の提供	道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全 体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
0歳	26 100.0	- -	8 30.8	5 19.2	11 42.3	4 15.4	- -	1 3.8	- -
1歳	30 100.0	1 3.3	9 30.0	6 20.0	13 43.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	- -
2歳	31 100.0	4 12.9	7 22.6	4 12.9	15 48.4	2 6.5	1 3.2	1 3.2	2 6.5
3歳	34 100.0	3 8.8	9 26.5	4 11.8	12 35.3	4 11.8	- -	1 2.9	- -
4歳	32 100.0	- -	5 15.6	6 18.8	23 71.9	- -	- -	1 3.1	2 6.3
5歳	42 100.0	1 2.4	9 21.4	2 4.8	26 61.9	- -	- -	1 2.4	- -

区分	出産費用や育児に かかる医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用の負担軽減	子育て家庭への税の制 当の支給や優遇措置	子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助	小児救急医療体制の充実	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
0歳	10 38.5	12 46.2	18 69.2	4 15.4	1 3.8	- -	1 3.8	- -
1歳	12 40.0	11 36.7	16 53.3	2 6.7	7 23.3	2 6.7	- -	- -
2歳	10 32.3	14 45.2	15 48.4	7 22.6	6 19.4	- -	- -	- -
3歳	11 32.4	18 52.9	20 58.8	4 11.8	6 17.6	2 5.9	- -	- -
4歳	12 37.5	13 40.6	17 53.1	3 9.4	6 18.8	- -	- -	1 3.1
5歳	12 28.6	17 40.5	27 64.3	6 14.3	9 21.4	3 7.1	- -	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全 体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
タイプAひとり親	13 100.0	1 7.7	3 23.1	1 7.7	9 69.2	- -	- -	2 15.4	2 15.4
タイプBフル×フル	81 100.0	1 1.2	26 32.1	13 16.0	39 48.1	3 3.7	1 1.2	3 3.7	- -
タイプCフル×パート	46 100.0	3 6.5	11 23.9	4 8.7	23 50.0	2 4.3	- -	1 2.2	2 4.3
タイプD専業主婦（夫）	57 100.0	4 7.0	10 17.5	10 17.5	31 54.4	7 12.3	2 3.5	2 3.5	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

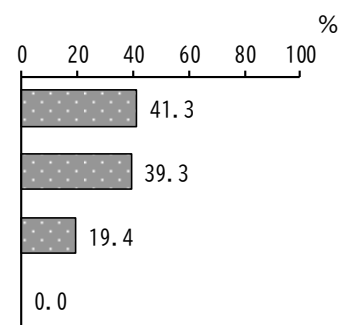
区分	出産費用や育児にかか る医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や 教育費の負担軽減	子育て家庭への手当て の支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の 確保や家賃補助	小児救急医療体制の充 実	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
タイプAひとり親	4 30.8	4 30.8	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	- -	- -
タイプBフル×フル	28 34.6	36 44.4	52 64.2	11 13.6	15 18.5	4 4.9	- -	- -
タイプCフル×パート	14 30.4	20 43.5	30 65.2	5 10.9	11 23.9	- -	- -	1 2.2
タイプD専業主婦（夫）	20 35.1	23 40.4	27 47.4	7 12.3	10 17.5	1 1.8	1 1.8	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -

問 25 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 39.3%、「知らない」の割合が 19.4%となっています。

回答者数 = 201

言葉も内容も知っている
言葉だけは聞いたことがある
知らない
無回答



問 26 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

『④こどもまんなか社会の実現に向かっている』『⑤結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。一方、『①こども権利の主体である』で「そう思う」の割合が高くなっています。

■ そう思わない ■ どちらとも言えない ■ そう思う □ 無回答

回答者数 = 201

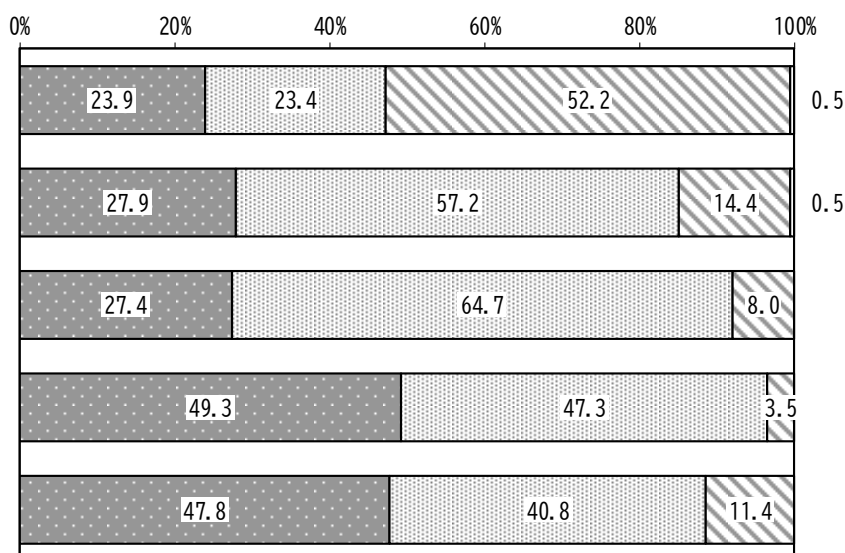
①こどもは権利の主体である

②あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある

③障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている

④こどもまんなか社会の実現に向かっている

⑤結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている



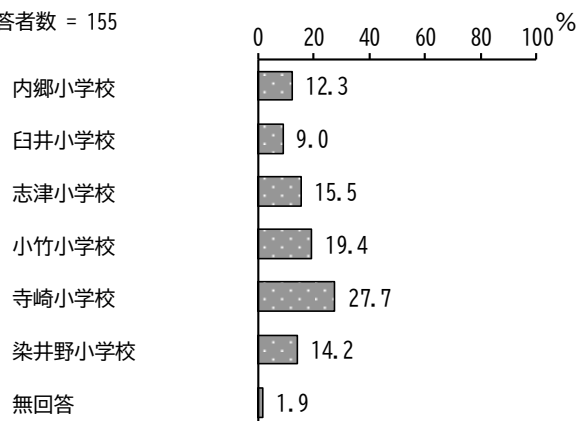
2 小学生保護者

(1) お住まいの地域について

問1 宛名のお子さまは、どの学校に通っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「寺崎小学校」の割合が27.7%と最も高く、次いで「小竹小学校」の割合が19.4%、「志津小学校」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 155

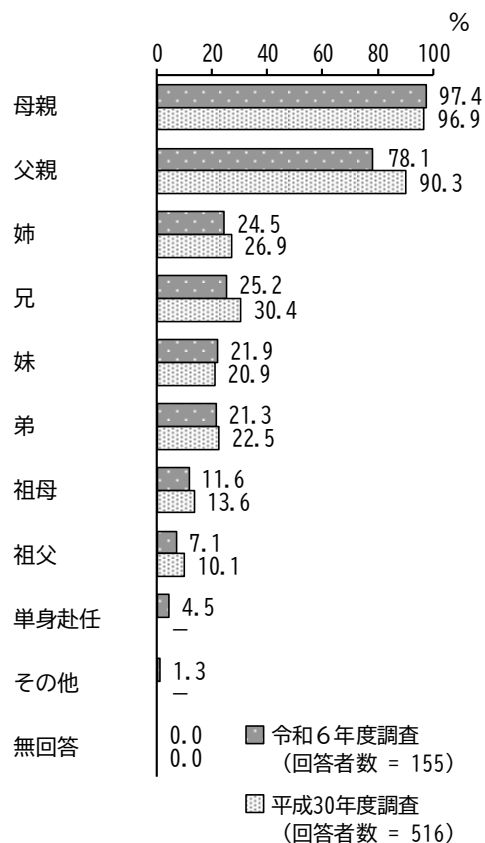


問2 宛名のお子さまと同居しているご家族の方はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※「9. 単身赴任」の場合は（ ）内に続柄を入れてください。

「母親」の割合が97.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が78.1%、「兄」の割合が25.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親」「兄」の割合が減少しています。



※前回調査では、「単身赴任」「その他」の選択肢はありませんでした。

【単身赴任の続柄】

・父・父親（５件）

【その他の意見】

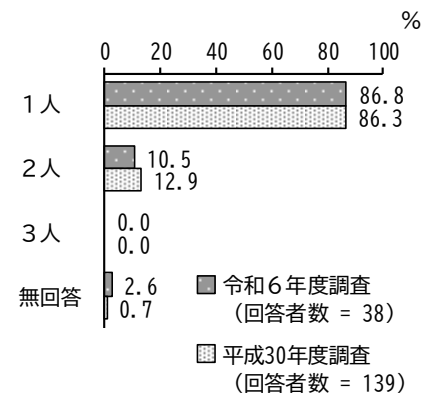
・曾祖母（１件）

・叔父家族４人（１件）

姉の人数

「１人」の割合が 86.8%と最も高く、次いで
「２人」の割合が10.5%となっています。

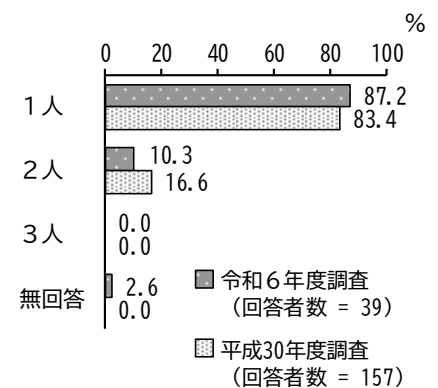
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



兄の人数

「１人」の割合が 87.2%と最も高く、次いで
「２人」の割合が10.3%となっています。

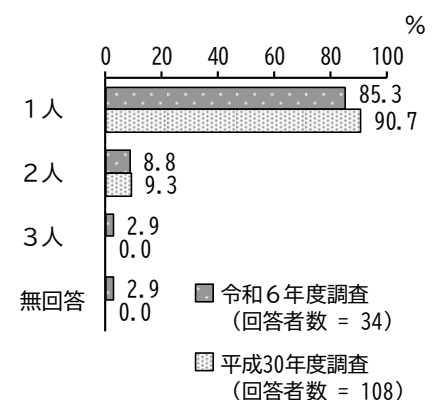
平成 30 年度調査と比較すると、「２人」の割合
が減少しています。



妹の人数

「１人」の割合が 85.3%と最も高くなっていま
す。

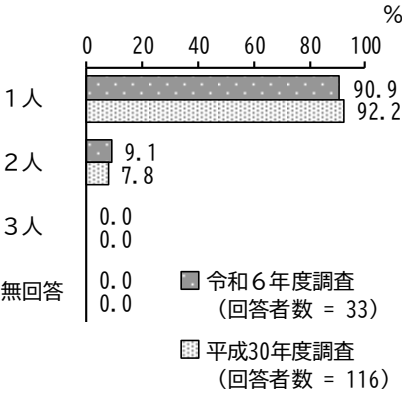
平成 30 年度調査と比較すると、「１人」の割合
が減少しています。



弟の人数

「1人」の割合が90.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

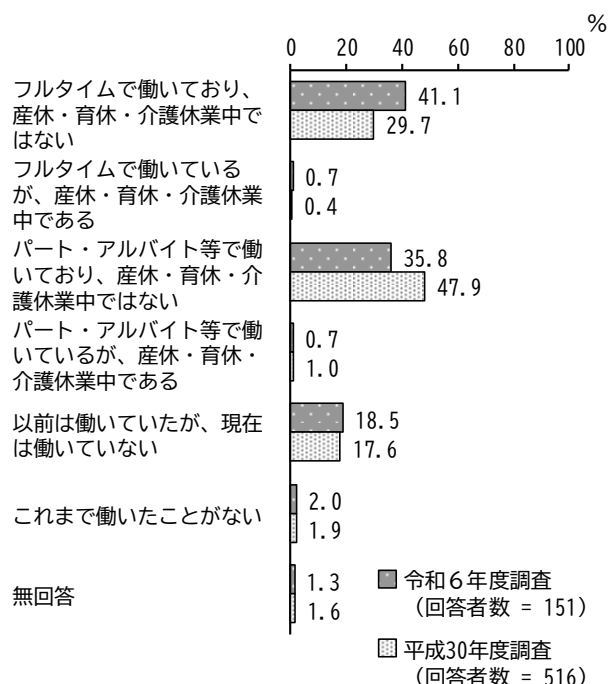


問3 問2で「1. 母親」「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さまの母親・父親の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.8%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が18.5%となっています。

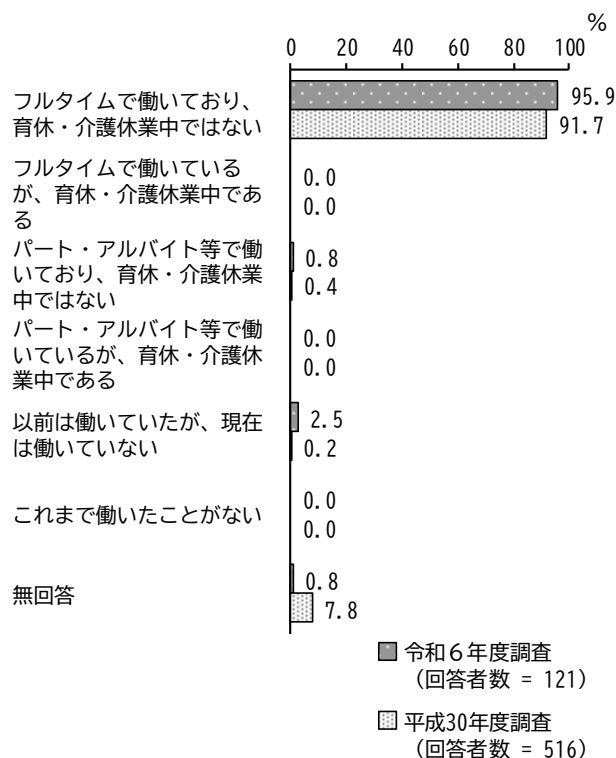
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



父親

「フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない」の割合が95.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

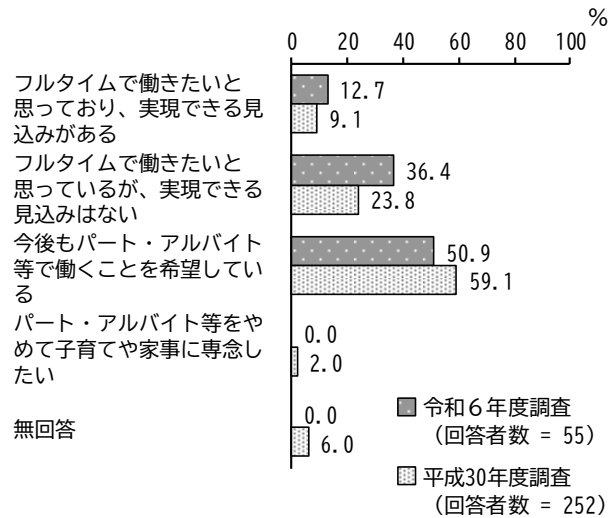


問4 問3で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問5へお進みください。
フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

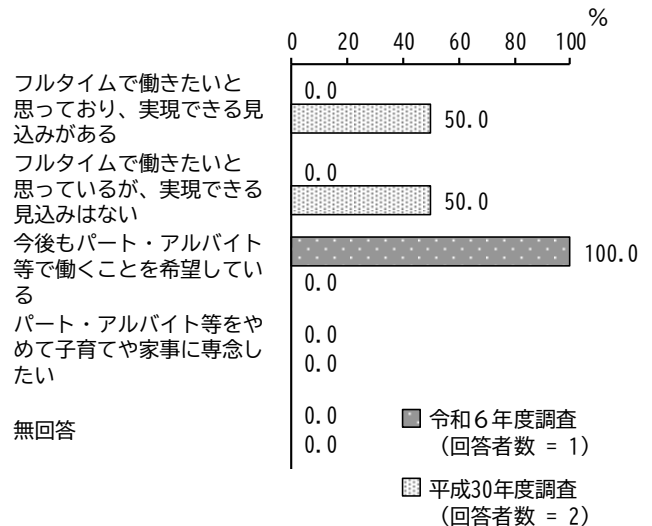
「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」の割合が50.9%と最も高く、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」の割合が36.4%、「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」の割合が12.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」の割合が減少しています。



父親

「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」が1件となっています。



問5 世帯の年収はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「720 万円以上」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「360 万円以上 720 万円未満」の割合が 39.4%となっています。

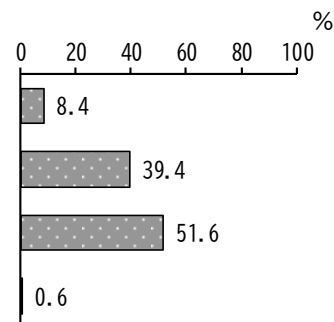
回答者数 = 155

360万円未満

360万円以上720万円未満

720万円以上

無回答



問6 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

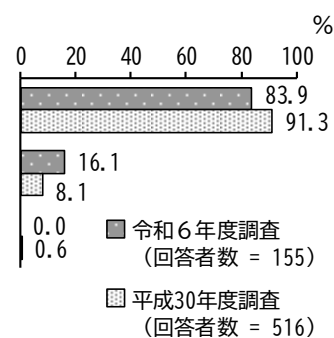
「いる／ある」の割合が 83.9%、「いない／ない」の割合が 16.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加しています。一方、「いる／ある」の割合が減少しています。

いる／ある

いない／ない

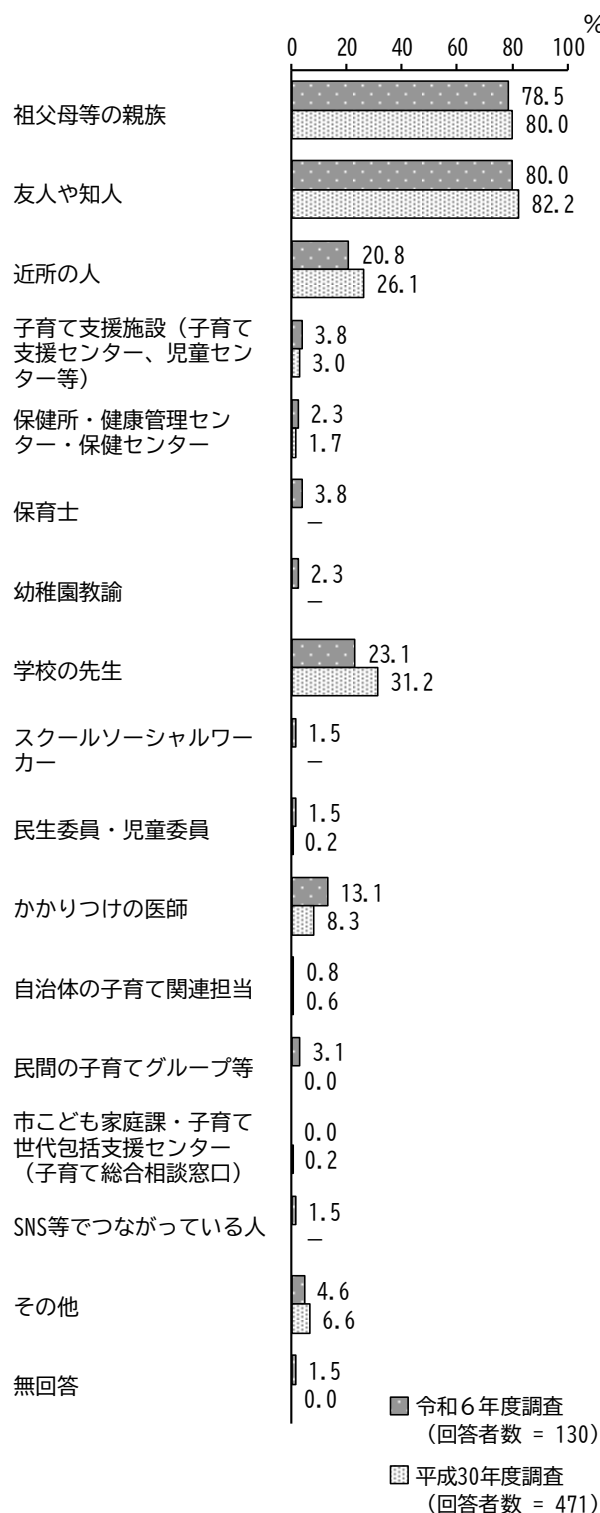
無回答



問7 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が80.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が78.5%、「学校の先生」の割合が23.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「近所の人」「学校の先生」の割合が減少しています。



※前回調査では、「子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）」の選択肢は「子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター）」、「学校の先生」の選択肢は「小学校教諭」、「市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）」の選択肢は「子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）」となっていました。
 ※前回調査では、「保育士」「幼稚園教諭」「スクールソーシャルワーカー」「SNS等でつながっている人」の選択肢はありませんでした。

【その他の意見】

- ・職場の人（１件）
- ・児童福祉の担当支援員さん（１件）
- ・ルームさくら（１件）
- ・家族（１件）
- ・放課後デイサービスのスタッフ（１件）
- ・夫婦（１件）

【居住地区別】

居住地区別にみると、南部地区で「近所の人」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	130 100.0	102 78.5	104 80.0	27 20.8	5 3.8	3 2.3	5 3.8	3 2.3	30 23.1
志津地区	49 100.0	37 75.5	42 85.7	8 16.3	3 6.1	1 2.0	2 4.1	- -	12 24.5
臼井地区	29 100.0	24 82.8	22 75.9	4 13.8	- -	1 3.4	1 3.4	1 3.4	5 17.2
佐倉地区	13 100.0	11 84.6	8 61.5	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	- -	4 30.8
南部地区	39 100.0	30 76.9	32 82.1	12 30.8	1 2.6	- -	1 2.6	2 5.1	9 23.1

区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SNS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	2 1.5	2 1.5	17 13.1	1 0.8	4 3.1	- -	2 1.5	6 4.6	2 1.5
志津地区	- -	- -	8 16.3	- -	2 4.1	- -	- -	4 8.2	- -
臼井地区	1 3.4	- -	4 13.8	1 3.4	- -	- -	- -	- -	1 3.4
佐倉地区	- -	1 7.7	- -	- -	1 7.7	- -	- -	- -	1 7.7
南部地区	1 2.6	1 2.6	5 12.8	- -	1 2.6	- -	2 5.1	2 5.1	- -

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「近所の人」、「学校の先生」、「かかりつけの医師」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	130 100.0	102 78.5	104 80.0	27 20.8	5 3.8	3 2.3	5 3.8	3 2.3	30 23.1
ふたり親世帯	79 79.8	80 80.8	24 24.2	4 4.0	3 3.0	4 4.0	3 3.0	26 26.3	79 79.8
ひとり親世帯	22 73.3	24 80.0	3 10.0	1 3.3	- -	1 3.3	- -	4 13.3	22 73.3
その他（不明等）	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SSS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	2 1.5	2 1.5	17 13.1	1 0.8	4 3.1	- -	2 1.5	6 4.6	2 1.5
ふたり親世帯	2 2.0	2 2.0	15 15.2	1 1.0	4 4.0	- -	2 2.0	5 5.1	2 2.0
ひとり親世帯	- -	- -	2 6.7	- -	- -	- -	- -	1 3.3	- -
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	130 100.0	102 78.5	104 80.0	27 20.8	5 3.8	3 2.3	5 3.8	3 2.3	30 23.1
タイプAひとり親	30 100.0	22 73.3	24 80.0	3 10.0	1 3.3	- -	1 3.3	- -	4 13.3
タイプBフル×フル	40 100.0	31 77.5	34 85.0	8 20.0	1 2.5	1 2.5	3 7.5	1 2.5	7 17.5
タイプCフル×パート	34 100.0	28 82.4	30 88.2	10 29.4	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9	9 26.5
タイプD専業主婦（夫）	21 100.0	18 85.7	14 66.7	6 28.6	1 4.8	- -	- -	- -	8 38.1
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

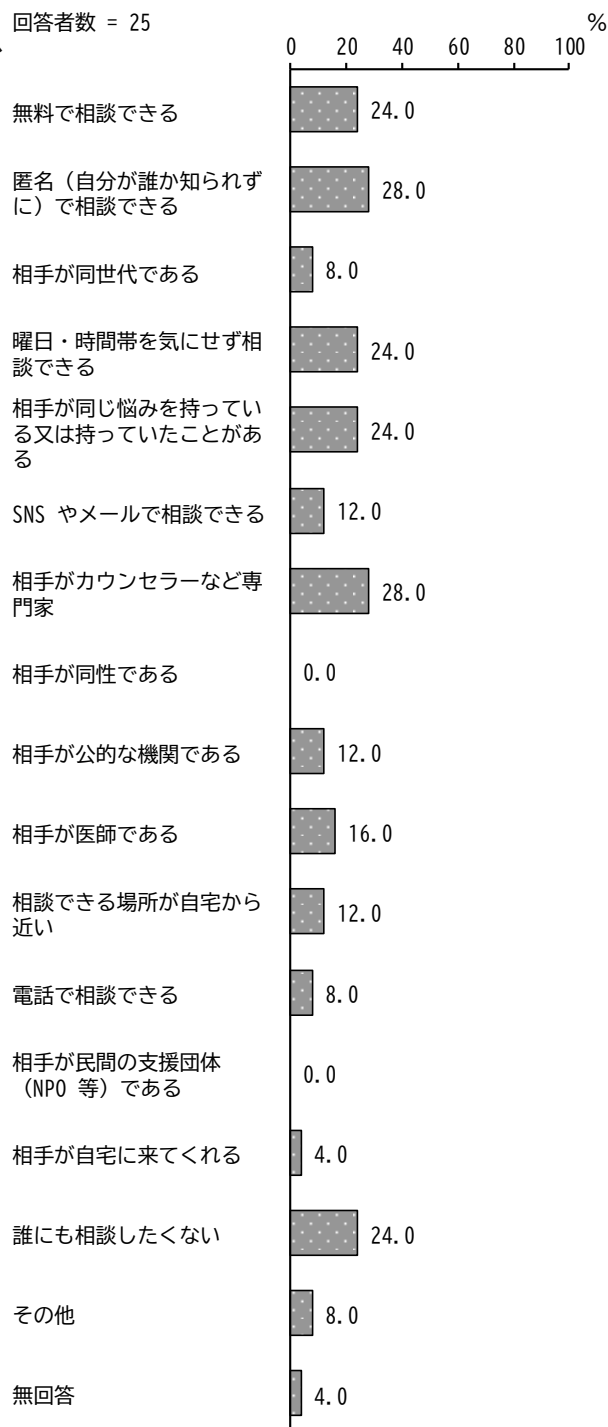
区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SNS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	2 1.5	2 1.5	17 13.1	1 0.8	4 3.1	- -	2 1.5	6 4.6	2 1.5
タイプAひとり親	- -	- -	2 6.7	- -	- -	- -	- -	1 3.3	- -
タイプBフル×フル	- -	- -	7 17.5	- -	2 5.0	- -	1 2.5	2 5.0	2 5.0
タイプCフル×パート	- -	1 2.9	3 8.8	- -	2 5.9	- -	1 2.9	1 2.9	- -
タイプD専業主婦（夫）	2 9.5	1 4.8	5 23.8	1 4.8	- -	- -	- -	2 9.5	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問8 問6で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

どのような人や場所なら相談したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「匿名(自分が誰か知られずに)で相談できる」、
「相手がカウンセラーなど専門家」の割合が
28.0%と最も高く、次いで「無料で相談できる」、
「曜日・時間帯を気にせず相談できる」、「相手が
同じ悩みを持っている又は持っていたことがある」
の割合が 24.0%となっています。

回答者数 = 25



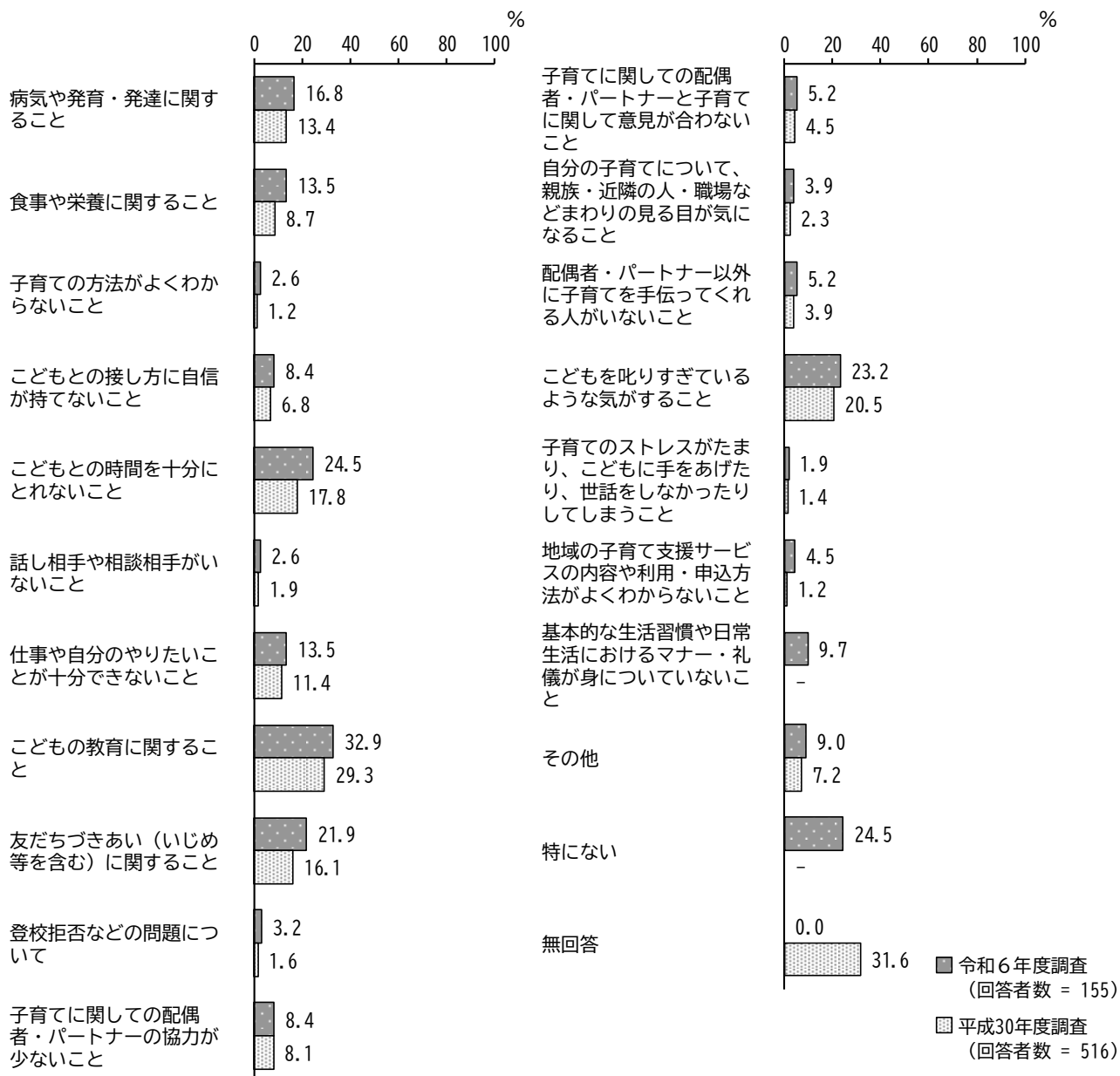
【その他の意見】

- ・ 特にない。このようなアンケート自体が不満。(2件)

問9 子育て（教育を含む）において、現在、何か悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「こどもの教育に関すること」の割合が32.9%と最も高く、次いで「こどもとの時間を十分にとれないこと」、「特にない」の割合が24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「こどもとの時間を十分にとれないこと」「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」「基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身についていないこと」「特にない」の割合が増加しています。



※前回調査では、「子育ての方法がよくわからないこと」の選択肢は「育児の方法がよくわからないこと」、「登校拒否などの問題について」の選択肢は「登園拒否などの問題について」となっていました。

※前回調査では、「基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身についていないこと」「特にない」の選択肢はありませんでした。

【その他の意見】

- ・今後どんどんかかってくる教育費が不安。(4件)
- ・学校で担任の先生の言動に不満を抱いていること。相談しても対応をしてくれない。(2件)
- ・児童手当等の振込み先が世帯主の口座でしか登録できないようだが、子供名義で受け取りできるようになる事を希望する。お友達に聞いても、結局「旦那の懐に入ってしまい、コチラへは回って来ない」事が多いようだ。生活費を渡したくない男性も多い。あくまでも子供に支給されているものだと思う。(2件)
- ・子供の性教育について。早い方が良いと言う意見もあるが学校ではいつどのような教育をしているのか。(1件)
- ・学校以外での教育に関して、具体的には進学など(私立、中高一貫や付属など)地域的に情報が少ない事。相談できる場所が現在のところ塾しかないので、将来的にその様な場所があればいいなと感じている。(1件)
- ・アドバイスを素直に受け入れてくれない。(1件)
- ・携帯やタブレットを見る時間が長いこと。就寝時間が遅くなってしまうこと。(1件)
- ・近隣住民の小学生に対する要求が多過ぎる。(1件)
- ・子どもが学校から帰宅すると、学校の宿題などをやる際に、癇癪をおこす。(1件)
- ・進学に関しての情報が無いこと。例:小学生、中学生に進学する際に準備するもの、制服の値段や注文場所、自転車の情報等の周知が遅い。共働きだと休みの日に動かざるを得ず、ギリギリに説明会をされて仕事の多忙期と重なり疲弊する。また、今後高校の偏差値や制服問題等の情報もギリギリになるのかと思うとうんざりする。(1件)

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「こどもを叱りすぎているような気がする」との割合が、ひとり親世帯で「こどもとの時間を十分にとれないこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関する事	食事や栄養に関する事	子育ての方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいらないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関する事	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関する事	登校拒否などの問題について
全 体	155 100.0	26 16.8	21 13.5	4 2.6	13 8.4	38 24.5	4 2.6	21 13.5	51 32.9	34 21.9	5 3.2
ふたり親世帯	118 100.0	21 17.8	16 13.6	3 2.5	10 8.5	26 22.0	3 2.5	15 12.7	40 33.9	27 22.9	4 3.4
ひとり親世帯	36 100.0	5 13.9	5 13.9	1 2.8	3 8.3	12 33.3	1 2.8	6 16.7	11 30.6	7 19.4	1 2.8
その他（不明等）	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

無回答	特にない	その他	基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身につけていないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	こどもを叱りすぎているような気がする	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	区分
- -	38 24.5	14 9.0	15 9.7	7 4.5	3 1.9	36 23.2	8 5.2	6 3.9	8 5.2	13 8.4	全 体
- -	28 23.7	10 8.5	13 11.0	5 4.2	2 1.7	32 27.1	7 5.9	5 4.2	7 5.9	9 7.6	ふたり親世帯
- -	9 25.0	4 11.1	2 5.6	2 5.6	1 2.8	4 11.1	1 2.8	1 2.8	1 2.8	4 11.1	ひとり親世帯
- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	その他（不明等）

【世帯収入別】

世帯構成別にみると、360 万円未満で「こどもとの時間を十分にとれないこと」、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」、「こどもを叱りすぎているような気がする」との割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登校拒否などの問題について
全 体	155 100.0	26 16.8	21 13.5	4 2.6	13 8.4	38 24.5	4 2.6	21 13.5	51 32.9	34 21.9	5 3.2
360万円未満	13 100.0	4 30.8	2 15.4	1 7.7	3 23.1	8 61.5	- -	3 23.1	4 30.8	6 46.2	1 7.7
360万円以上 720万円未満	61 100.0	8 13.1	9 14.8	1 1.6	4 6.6	13 21.3	1 1.6	9 14.8	18 29.5	12 19.7	1 1.6
720万円以上	80 100.0	14 17.5	10 12.5	2 2.5	6 7.5	17 21.3	3 3.8	9 11.3	29 36.3	16 20.0	3 3.8

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	子育てを手伝ってくれる人がいないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを伝える人がないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身につけていないこと	その他	特にな	無回答
全 体	13 8.4	8 5.2	6 3.9	8 5.2	36 23.2	3 1.9	7 4.5	15 9.7	14 9.0	38 24.5	-	-	-
360万円未満	1 7.7	1 7.7	- -	- -	5 38.5	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	2 15.4	-	-	-
360万円以上 720万円未満	4 6.6	3 4.9	3 4.9	3 4.9	15 24.6	1 1.6	2 3.3	8 13.1	6 9.8	12 19.7	-	-	-
720万円以上	8 10.0	4 5.0	3 3.8	5 6.3	16 20.0	1 1.3	3 3.8	5 6.3	7 8.8	24 30.0	-	-	-

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「病気や発育・発達に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

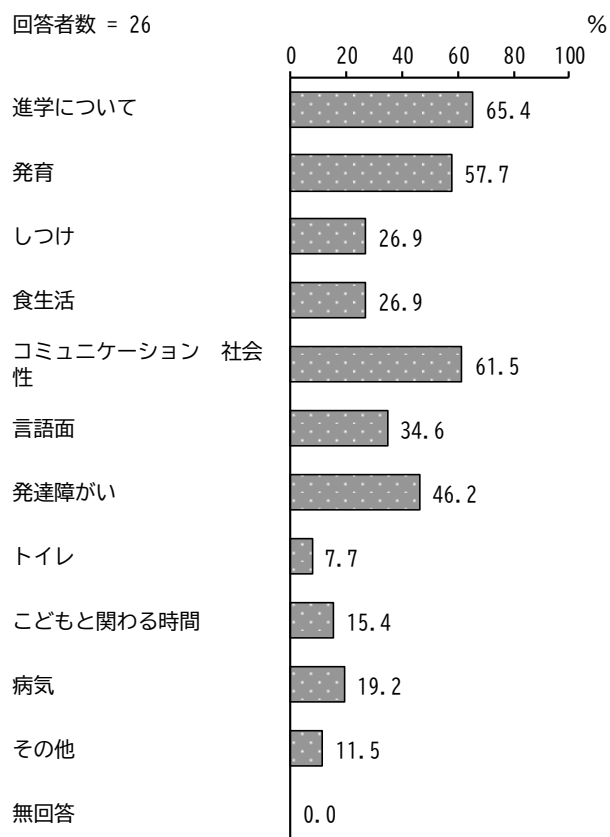
区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいらないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登校拒否などの問題について
全 体	155 100.0	26 16.8	21 13.5	4 2.6	13 8.4	38 24.5	4 2.6	21 13.5	51 32.9	34 21.9	5 3.2
タイプAひとり親	36 100.0	5 13.9	5 13.9	1 2.8	3 8.3	12 33.3	1 2.8	6 16.7	11 30.6	7 19.4	1 2.8
タイプBフル×フル	47 100.0	9 19.1	9 19.1	2 4.3	7 14.9	16 34.0	1 2.1	5 10.6	13 27.7	13 27.7	1 2.1
タイプCフル×パート	41 100.0	3 7.3	3 7.3	1 2.4	1 2.4	7 17.1	1 2.4	6 14.6	15 36.6	8 19.5	1 2.4
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	9 34.6	2 7.7	- -	1 3.8	2 7.7	1 3.8	4 15.4	9 34.6	4 15.4	2 7.7
タイプEパート×パート	1 100.0	- -	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	こどものストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身につけていないこと	その他	特にない	無回答
全 体	13 8.4	8 5.2	6 3.9	8 5.2	36 23.2	3 1.9	7 4.5	15 9.7	14 9.0	38 24.5	- -
タイプAひとり親	4 11.1	1 2.8	1 2.8	1 2.8	4 11.1	1 2.8	2 5.6	2 5.6	4 11.1	9 25.0	- -
タイプBフル×フル	6 12.8	4 8.5	1 2.1	2 4.3	13 27.7	1 2.1	2 4.3	7 14.9	5 10.6	10 21.3	- -
タイプCフル×パート	2 4.9	1 2.4	2 4.9	1 2.4	8 19.5	1 2.4	1 2.4	3 7.3	4 9.8	11 26.8	- -
タイプD専業主婦（夫）	1 3.8	2 7.7	2 7.7	4 15.4	10 38.5	- -	2 7.7	2 7.7	1 3.8	7 26.9	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問10 問9で「1. 病気や発育・発達に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
子育ての悩みや、不安だと思うことは何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「進学について」の割合が 65.4%と最も高く、
次いで「コミュニケーション 社会性」の割合が
61.5%、「発育」の割合が 57.7%となっています。

回答者数 = 26



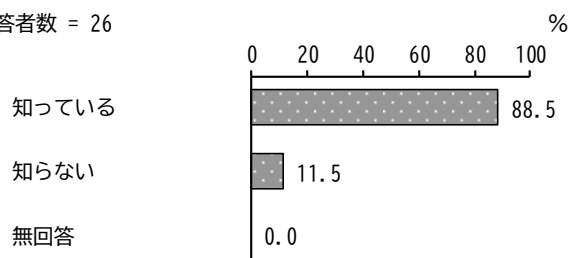
【その他の意見】

- ・感覚過敏のような所があり、着る服の肌触りが気になり、半袖やゴワゴワした体操服を嫌がり着られない。今後、中学進学に際し学ランの制服を着用する事が苦痛で、困難になると思う。(1件)
- ・睡眠時間、夜遅くまで起きている。(1件)
- ・歯並び(1件)

問11 問10で○をつけた方にうかがいます。市内には専門の相談機関がありますが、ご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が 88.5%、「知らない」
の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 26



(2) 宛名のお子さまの放課後の過ごし方について

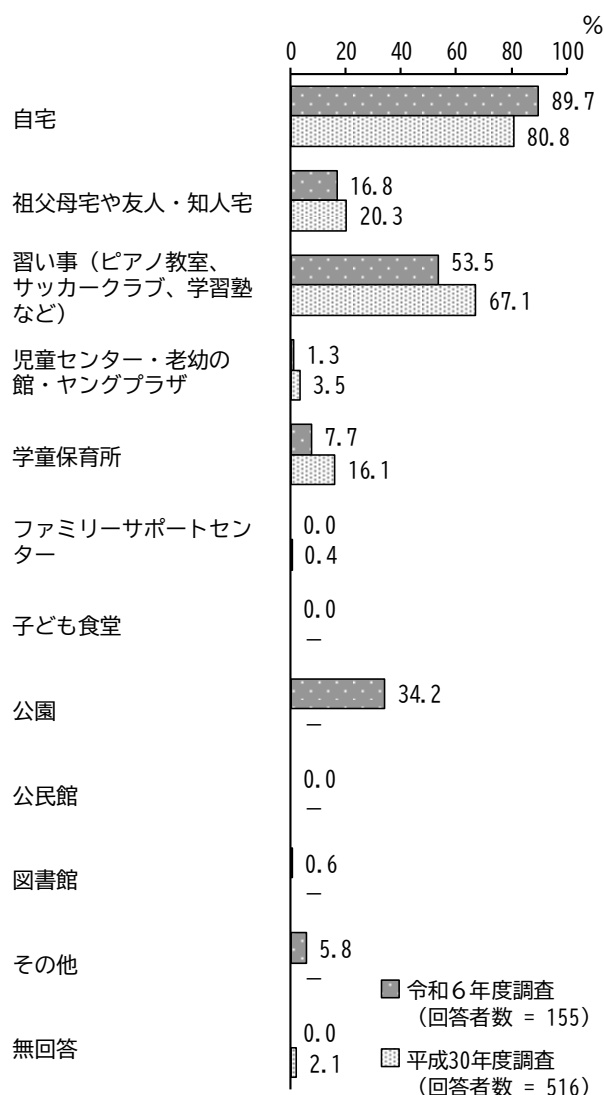
問 12 宛名のお子さまは放課後に、どこで過ごすことが多いですか。

当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「11. その他」に○をした時は、()の中に場所を書いてください。

「自宅」の割合が 89.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 53.5%、「公園」の割合が 34.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童保育所」の割合が減少しています。



※前回調査では、「児童センター・老幼の館・ヤングプラザ」の選択肢は「児童センター・老幼の館」、「ファミリーサポートセンター」の選択肢は「ファミリー・サポート・センター」となっていました。

※前回調査では、「子ども食堂」「図書館」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では「公園」「公民館」「その他」の選択肢は「その他（公民館、公園など）」と、同一の選択肢となっていました。

【その他の意見】

- ・小学校（3件）
- ・友達の家で遊ぶ（1件）
- ・児童センター、老幼の館、ヤングプラザが近隣にない為、子供同士で遊ぶ際はもっぱら近隣のショッピングセンター。（1件）
- ・放課後等デイサービス（3件）
- ・マンション共有広場（1件）

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「学童保育所」の割合が高くなっています。また、720万円以上で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	139 89.7	26 16.8	83 53.5	2 1.3	12 7.7	- -	- -	53 34.2	- -	1 0.6	9 5.8	- -
360万円未満	13 100.0	10 76.9	1 7.7	5 38.5	- -	3 23.1	- -	- -	4 30.8	- -	- -	1 7.7	- -
360万円以上 720万円未満	61 100.0	56 91.8	10 16.4	26 42.6	- -	3 4.9	- -	- -	21 34.4	- -	1 1.6	4 6.6	- -
720万円以上	80 100.0	73 91.3	15 18.8	52 65.0	2 2.5	5 6.3	- -	- -	28 35.0	- -	- -	4 5.0	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	139 89.7	26 16.8	83 53.5	2 1.3	12 7.7	- -	- -	53 34.2	- -	1 0.6	9 5.8	- -
タイプAひとり親	36 100.0	31 86.1	3 8.3	23 63.9	1 2.8	5 13.9	- -	- -	11 30.6	- -	1 2.8	- -	- -
タイプBフル×フル	47 100.0	40 85.1	12 25.5	23 48.9	- -	6 12.8	- -	- -	14 29.8	- -	- -	4 8.5	- -
タイプCフル×パート	41 100.0	40 97.6	6 14.6	22 53.7	- -	1 2.4	- -	- -	16 39.0	- -	- -	2 4.9	- -
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	24 92.3	4 15.4	14 53.8	1 3.8	- -	- -	- -	10 38.5	- -	- -	2 7.7	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

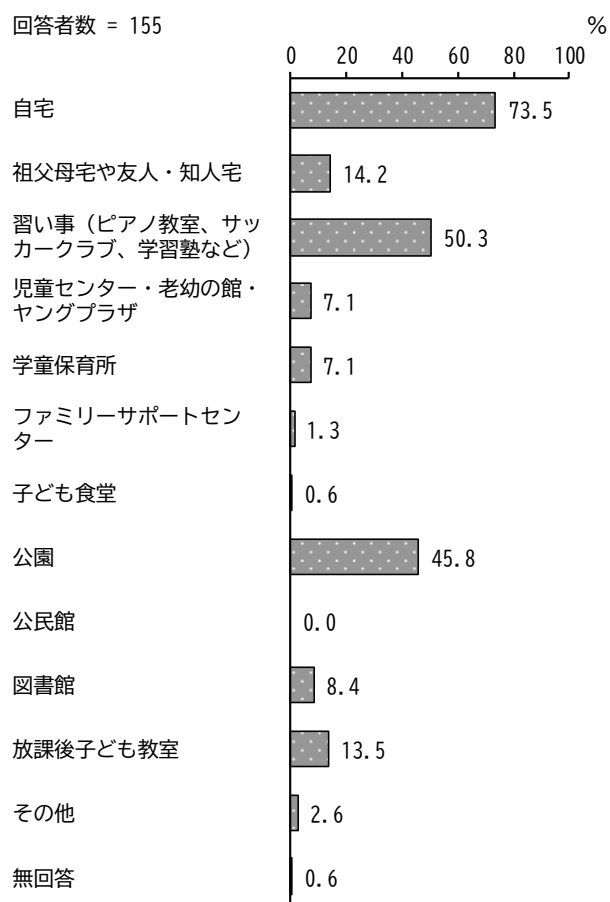
問 13 宛名のお子さまは放課後に、本当は、どこで過ごさせたいですか。

当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「11. その他」に○をした時は、()の中に場所を書いてください。

「自宅」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 50.3%、「公園」の割合が 45.8%となっています。

回答者数 = 155



【その他の意見】

- ・マンション共有広場（1件）
- ・小学校の校庭（1件）

- ・どこでも。（1件）
- ・学童が小5より希望しても入れない。（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	公園	公民館	図書館	放課後子ども教室	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	22 14.2	78 50.3	11 7.1	11 7.1	2 1.3	1 0.6	71 45.8	- -	13 8.4	21 13.5	4 2.6	1 0.6
ふたり親世帯	118 100.0	87 73.7	19 16.1	57 48.3	10 8.5	6 5.1	2 1.7	1 0.8	52 44.1	- -	11 9.3	19 16.1	3 2.5	1 0.8
ひとり親世帯	36 100.0	27 75.0	3 8.3	21 58.3	1 2.8	5 13.9	- -	- -	18 50.0	- -	2 5.6	2 5.6	1 2.8	- -
その他（不明等）	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「公園」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	公園	公民館	図書館	放課後子ども教室	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	22 14.2	78 50.3	11 7.1	11 7.1	2 1.3	1 0.6	71 45.8	- -	13 8.4	21 13.5	4 2.6	1 0.6
360万円未満	13 100.0	8 61.5	2 15.4	7 53.8	- -	2 15.4	- -	- -	10 76.9	- -	1 7.7	2 15.4	- -	- -
360万円以上 720万円未満	61 100.0	50 82.0	9 14.8	26 42.6	6 9.8	2 3.3	2 3.3	1 1.6	24 39.3	- -	5 8.2	9 14.8	- -	1 1.6
720万円以上	80 100.0	56 70.0	11 13.8	45 56.3	5 6.3	6 7.5	- -	- -	37 46.3	- -	7 8.8	10 12.5	4 5.0	- -

【現在の家庭類型別】

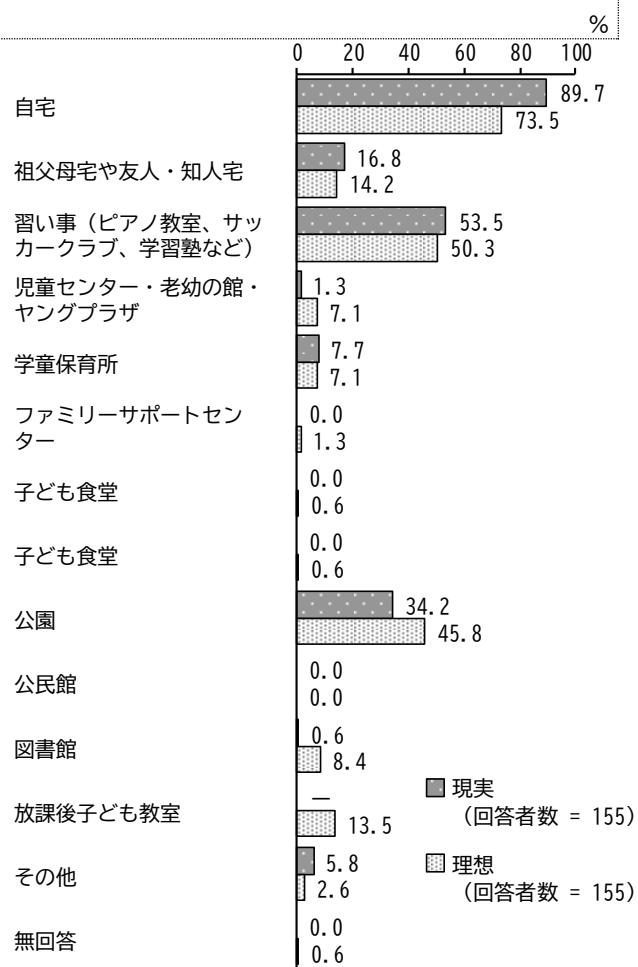
現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「公園」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	公園	公民館	図書館	放課後子ども教室	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	22 14.2	78 50.3	11 7.1	11 7.1	2 1.3	1 0.6	71 45.8	- -	13 8.4	21 13.5	4 2.6	1 0.6
タイプAひとり親	36 100.0	27 75.0	3 8.3	21 58.3	1 2.8	5 13.9	- -	- -	18 50.0	- -	2 5.6	2 5.6	1 2.8	- -
タイプBフル×フル	47 100.0	31 66.0	11 23.4	22 46.8	3 6.4	3 6.4	1 2.1	1 2.1	15 31.9	- -	4 8.5	10 21.3	2 4.3	1 2.1
タイプCフル×パート	41 100.0	33 80.5	4 9.8	19 46.3	4 9.8	2 4.9	- -	- -	18 43.9	- -	3 7.3	5 12.2	- -	- -
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	20 76.9	4 15.4	15 57.7	3 11.5	1 3.8	1 3.8	- -	16 61.5	- -	3 11.5	2 7.7	1 3.8	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -

放課後の過ごし方 現実と理想の比較

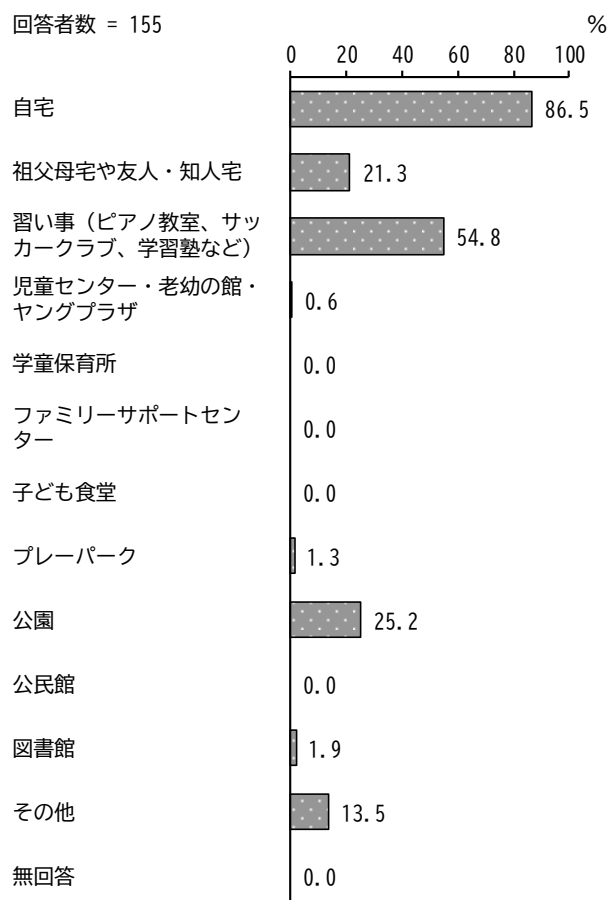
理想よりも現実で「自宅」の割合が高くなっている一方、現実よりも理想で「公園」の割合が高くなっています。



※現実では、「放課後子ども教室」の選択肢はありません。

問 14 宛名のお子さまについて、土日祝日はどのようにすごしていますか。
 当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「自宅」の割合が 86.5%と最も高く、次いで
 「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾
 など）」の割合が 54.8%、「公園」の割合が 25.2%
 となっています。



【その他の意見】

- ・家族で毎週いろいろな場所に出掛けている。海、博物館、水族館など。（8件）
- ・ショッピングセンター、飲食店、ドライブ、サイクリング。（6件）
- ・自宅にて宿題。外出、公園にて散歩、買い物。（1件）
- ・電車に乗って外出。（1件）
- ・友達の家遊びに行く。（1件）
- ・放課後デイサービス（1件）
- ・スポーツ少年団（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	134 86.5	33 21.3	85 54.8	1 0.6	- -	- -	- -	2 1.3	39 25.2	- -	3 1.9	21 13.5	- -
ふたり親世帯	118 100.0	103 87.3	28 23.7	66 55.9	1 0.8	- -	- -	- -	1 0.8	28 23.7	- -	3 2.5	14 11.9	- -
ひとり親世帯	36 100.0	31 86.1	5 13.9	19 52.8	- -	- -	- -	- -	- -	10 27.8	- -	- -	7 19.4	- -
その他(不明等)	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、720万円以上で「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」、「公園」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	134 86.5	33 21.3	85 54.8	1 0.6	- -	- -	- -	2 1.3	39 25.2	- -	3 1.9	21 13.5	- -
360万円未満	13 100.0	11 84.6	3 23.1	2 15.4	- -	- -	- -	- -	1 7.7	2 15.4	- -	1 7.7	2 15.4	- -
360万円以上 720万円未満	61 100.0	53 86.9	12 19.7	32 52.5	1 1.6	- -	- -	- -	- 21.3	13 -	- -	1 1.6	8 13.1	- -
720万円以上	80 100.0	69 86.3	17 21.3	51 63.8	- -	- -	- -	- -	1 1.3	24 30.0	- -	1 1.3	11 13.8	- -

【現在の家庭類型別】

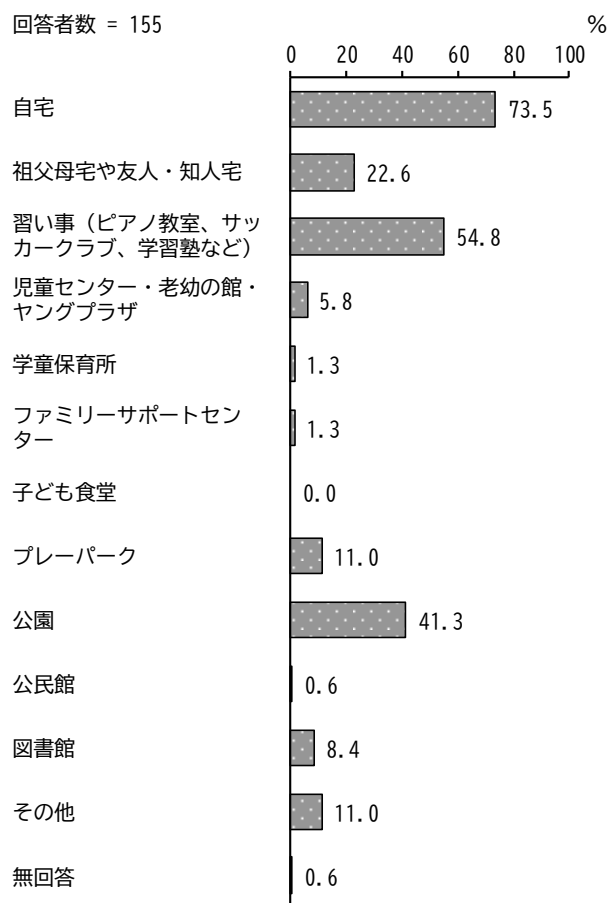
現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「自宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレイパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	134 86.5	33 21.3	85 54.8	1 0.6	- -	- -	- -	2 1.3	39 25.2	- -	3 1.9	21 13.5	- -
タイプAひとり親	36 100.0	31 86.1	5 13.9	19 52.8	- -	- -	- -	- -	- -	10 27.8	- -	- -	7 19.4	- -
タイプBフル×フル	47 100.0	40 85.1	10 21.3	29 61.7	- -	- -	- -	- -	1 2.1	14 29.8	- -	1 2.1	2 4.3	- -
タイプCフル×パート	41 100.0	33 80.5	10 24.4	25 61.0	1 2.4	- -	- -	- -	- -	6 14.6	- -	1 2.4	3 7.3	- -
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	26 100.0	7 26.9	11 42.3	- -	- -	- -	- -	- -	7 26.9	- -	1 3.8	8 30.8	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 15 宛名のお子さまについて、土日祝日をどのような場所ですごさせたいと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が73.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が54.8%、「公園」の割合が41.3%となっています。



【その他の意見】

- ・家族と外出。（5件）
- ・ショッピングセンター、飲食店、ドライブ、サイクリング。（2件）
- ・アスレチック等がある楽しく体を動かせるところ。（1件）
- ・スポ少（1件）
- ・体育館（1件）
- ・観光地（1件）
- ・学校の校庭（1件）
- ・どこでも。（1件）
- ・本人の行きたい場所。（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「自宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	35 22.6	85 54.8	9 5.8	2 1.3	2 1.3	- -	17 11.0	64 41.3	1 0.6	13 8.4	17 11.0	1 0.6
ふたり親世帯	118 100.0	85 72.0	30 25.4	64 54.2	8 6.8	1 0.8	2 1.7	- -	14 11.9	46 39.0	1 0.8	11 9.3	12 10.2	1 0.8
ひとり親世帯	36 100.0	29 80.6	5 13.9	21 58.3	1 2.8	1 2.8	- -	- -	2 5.6	17 47.2	- -	2 5.6	5 13.9	- -
その他（不明等）	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「プレーパーク」、「公園」の割合が高くなっています。また、720 万円以上で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	35 22.6	85 54.8	9 5.8	2 1.3	2 1.3	- -	17 11.0	64 41.3	1 0.6	13 8.4	17 11.0	1 0.6
360万円未満	13 100.0	10 76.9	3 23.1	5 38.5	- -	1 7.7	- -	- -	3 23.1	7 53.8	- -	- -	1 7.7	- -
360万円以上 720万円未満	61 100.0	44 72.1	14 23.0	31 50.8	5 8.2	- -	1 1.6	- -	7 11.5	26 42.6	1 1.6	7 11.5	5 8.2	- -
720万円以上	80 100.0	59 73.8	17 21.3	49 61.3	4 5.0	1 1.3	1 1.3	- -	7 8.8	30 37.5	- -	6 7.5	11 13.8	1 1.3

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「公園」の割合が高くなっています。

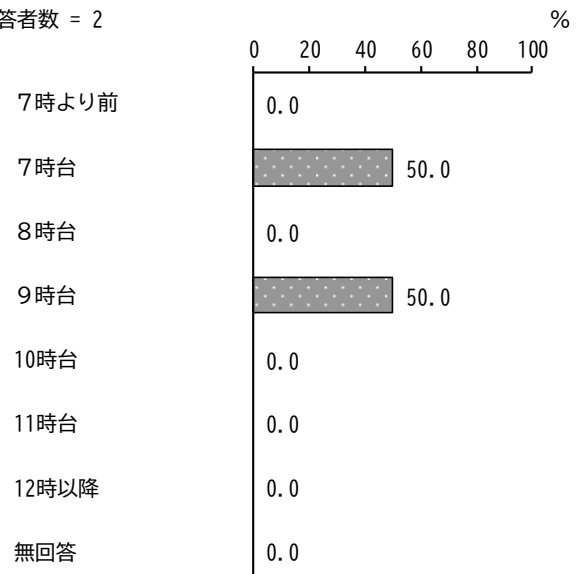
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	学童保育所	ファミリーサポートセンター	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	155 100.0	114 73.5	35 22.6	85 54.8	9 5.8	2 1.3	2 1.3	- -	17 11.0	64 41.3	1 0.6	13 8.4	17 11.0	1 0.6
タイプAひとり親	36 100.0	29 80.6	5 13.9	21 58.3	1 2.8	1 2.8	- -	- -	2 5.6	17 47.2	- -	2 5.6	5 13.9	- -
タイプBフル×フル	47 100.0	32 68.1	11 23.4	27 57.4	3 6.4	1 2.1	1 2.1	- -	7 14.9	18 38.3	1 2.1	4 8.5	4 8.5	1 2.1
タイプCフル×パート	41 100.0	30 73.2	11 26.8	26 63.4	2 4.9	- -	- -	- -	2 4.9	11 26.8	- -	3 7.3	2 4.9	- -
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	20 76.9	8 30.8	9 34.6	3 11.5	- -	1 3.8	- -	3 11.5	14 53.8	- -	4 15.4	6 23.1	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

学童保育所 利用希望開始時間

「7時台」、「9時台」が1件となっています。

回答者数 = 2



学童保育所 利用希望終了時間

「20 時以降」が2 件となっています。

回答者数 = 2

14時より前

14時台

15時台

16時台

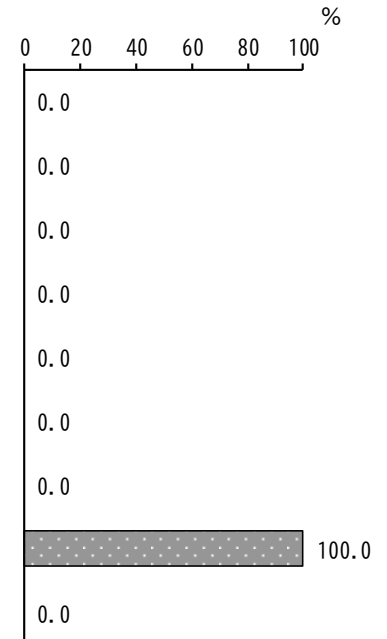
17時台

18時台

19時台

20時以降

無回答



問 16 宛名のお子さまは塾や習い事に通っていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「平日の放課後、休日のいずれにも通っている」の割合が50.3%と最も高く、次いで「平日の放課後のみ通っている」の割合が27.1%、「通っていない」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 155

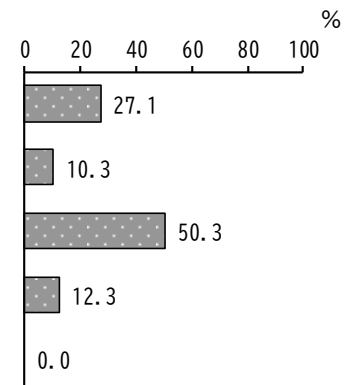
平日の放課後のみ通っている

休日のみ通っている

平日の放課後、休日のいずれにも通っている

通っていない

無回答



【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「平日の放課後のみ通っている」の割合が高くなっています。

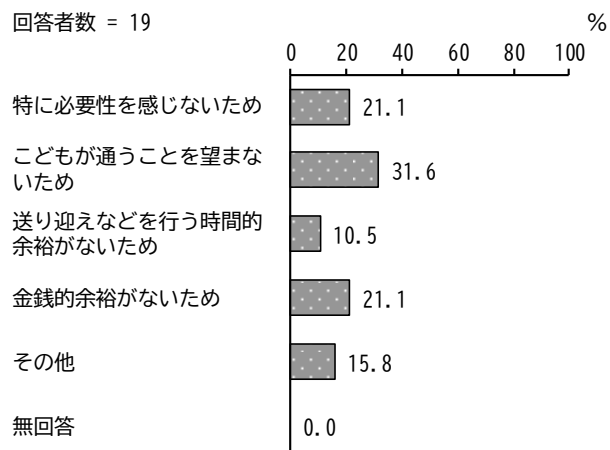
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	平日の放課後のみ 通っている	休日のみ通っ ている	平日の放課後、休日 のいずれにも通っ ている	通っていない	無回答
全 体	155 100.0	42 27.1	16 10.3	78 50.3	19 12.3	— —
360 万円未満	13 100.0	7 53.8	2 15.4	2 15.4	2 15.4	— —
360 万円以上 720 万円未満	61 100.0	18 29.5	7 11.5	28 45.9	8 13.1	— —
720 万円以上	80 100.0	16 20.0	7 8.8	48 60.0	9 11.3	— —

問 17 問 16 で「4. 通っていない」に○をつけた方にうかがいます。
通っていない理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「こどもが通うことを望まないため」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「特に必要性を感じないため」、「金銭的余裕がないため」の割合が 21.1%となっています。

回答者数 = 19



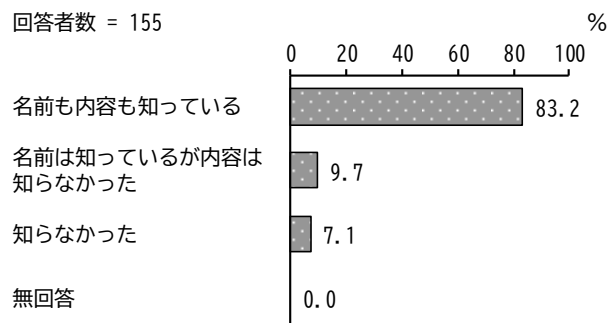
【その他の意見】

- ・ グレーであるものの発達障害疑いがあるため今はまだ習い事にいけない。(1 件)
- ・ 本人がやりたい事がコロコロ変わるため、どこに通わせれば良いか分からない。(1 件)
- ・ しない。(1 件)

(3) お住まいの地域における子育ての環境や支援について

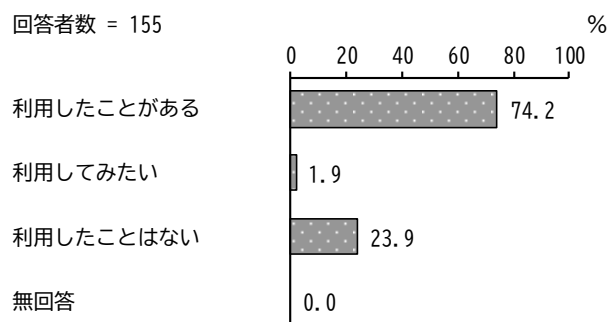
問 18 小児初期急病診療所を知っていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が 83.2%と最も高くなっています。



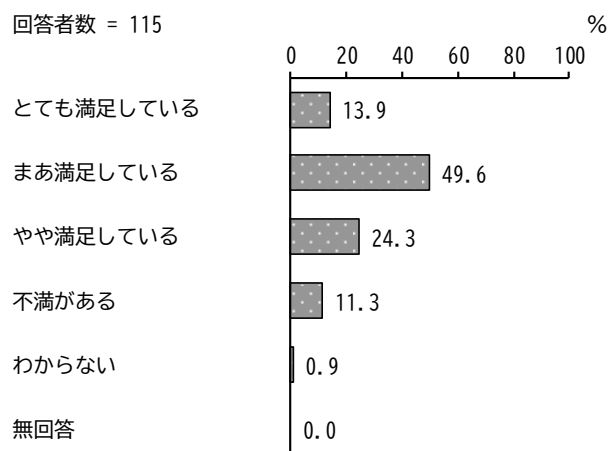
問 19 小児初期急病診療所を利用したことがありますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 23.9%となっています。



問 20 問 19 で「1. 利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。
小児初期急病診療所を利用してどうでしたか。(全体に対する満足度)
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「まあ満足している」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「やや満足している」の割合が 24.3%、「とても満足している」の割合が 13.9%となっています。



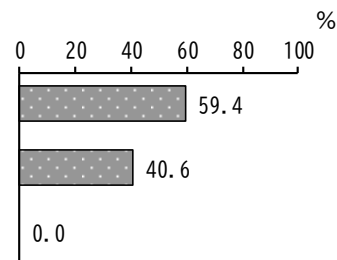
問 21 次の①②が自分の近所で開催されていることを知っていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

①子ども食堂

「知っている」の割合が 59.4%、「知らない」の割合が 40.6%となっています。

回答者数 = 155

知っている
知らない
無回答

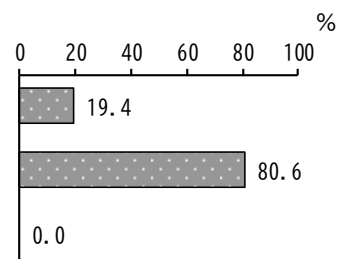


②プレーパーク

「知っている」の割合が 19.4%、「知らない」の割合が 80.6%となっています。

回答者数 = 155

知っている
知らない
無回答

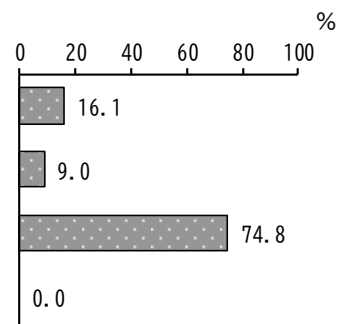


問 22 公立のフリースクールがあったら通わせたいですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらでもない」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「通わせたい」の割合が 16.1%となっています。

回答者数 = 155

通わせたい
通わせたくない
どちらでもない
無回答

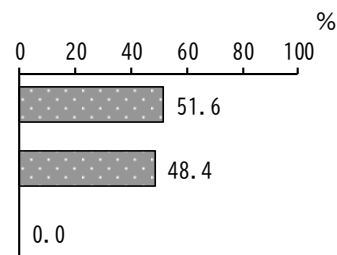


問 23 保護者の方にお聞きします。子ども会や自治会などの地域活動へ参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「参加している」の割合が 51.6%、「参加していない」の割合が 48.4%となっています。

回答者数 = 155

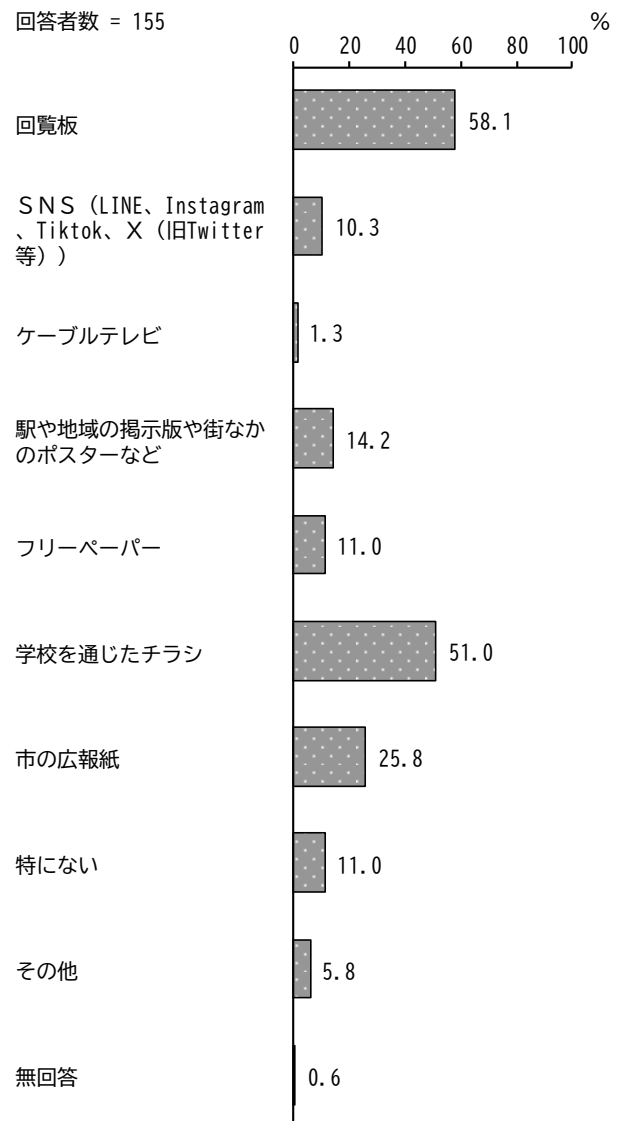
参加している
参加していない
無回答



問 24 保護者の方にお聞きします。地域活動についての情報をどこで知りましたか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「回覧板」の割合が 58.1%と最も高く、次いで
「学校を通じたチラシ」の割合が 51.0%、「市の
広報紙」の割合が 25.8%となっています。

回答者数 = 155



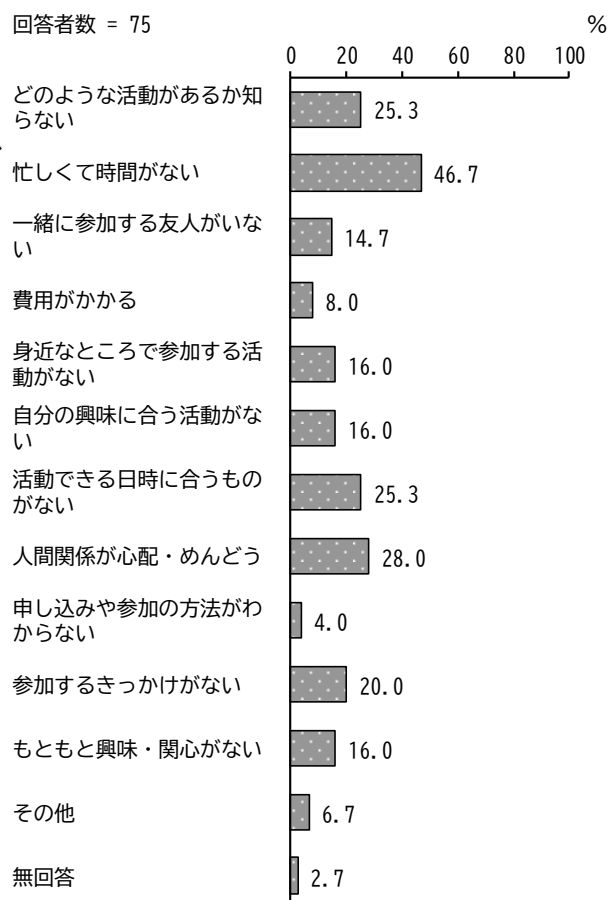
【その他の意見】

- ・ ご近所の方に聞いた。(6件)
- ・ 役員をやった時。(1件)

- ・ 友人から。(1件)
- ・ 紹介 (1件)

問 25 問 23 で「2. 参加していない」に○をつけた方にうかがいます。
参加していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「忙しくて時間がない」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「人間関係が心配・めんどう」の割合が 28.0%、「どのような活動があるか知らない」、「活動できる日時に合うものがない」の割合が 25.3%となっています。

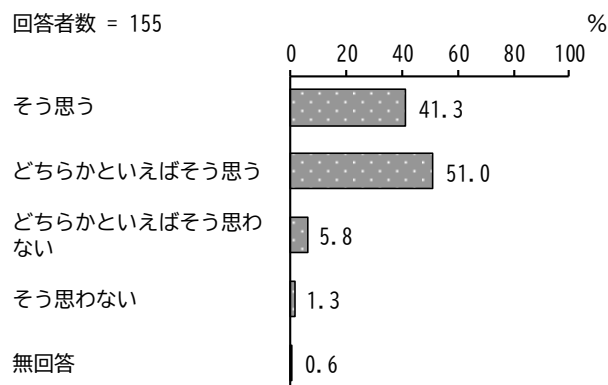


【その他の意見】

- ・以前はマンションの子ども会に参加していたが、役員が大変だった為辞めた。(2件)
- ・他県から引っ越して来たばかりで何もわからない。(1件)
- ・面倒。(1件)
- ・子供もきょうみがない。(1件)

問 26 この地域で今後も子育てをしていきたいですか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

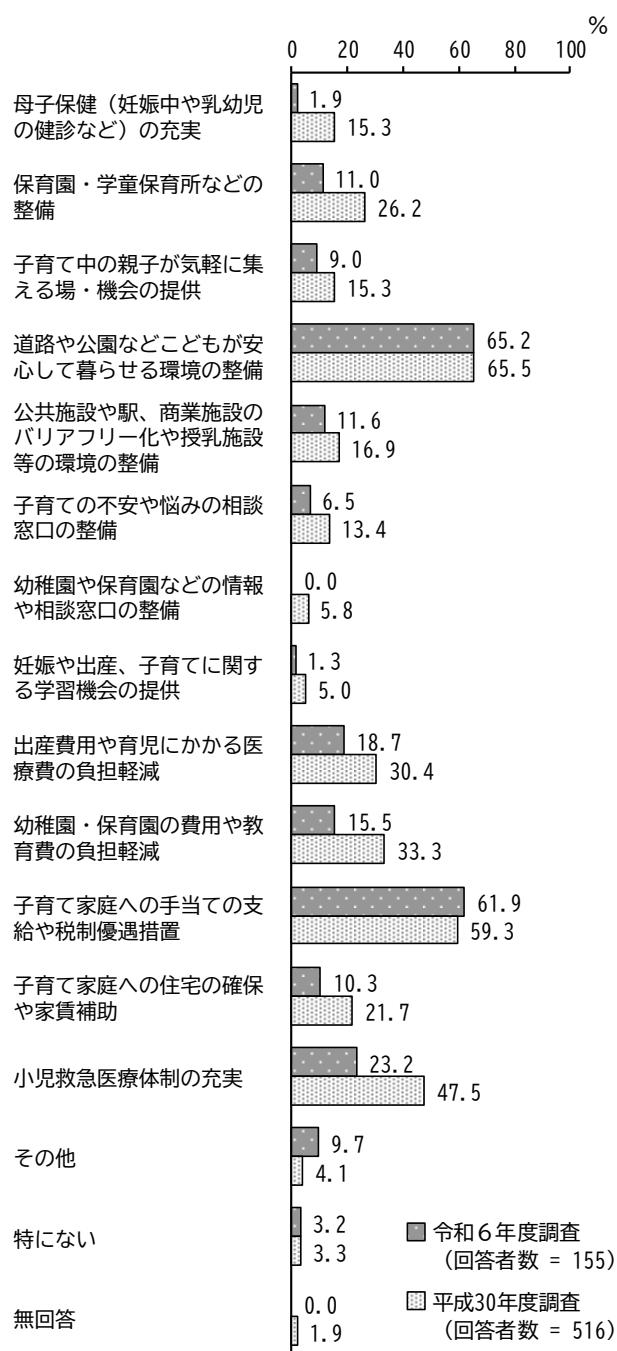
「どちらかといえばそう思う」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 41.3%となっています。



問 27 今後の佐倉市における子育ての環境や支援について、どのようなことを期待しますか。期待する順に上位3つまで○をつけてください。

「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」の割合が 61.9%、「小児救急医療体制の充実」の割合が 23.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育園・学童保育所などの整備」「幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減」「小児救急医療体制の充実」等の割合が減少しています。



【その他の意見】

- ・医療費補助の延長、収入関係なく学費の補助、給食の内容の充実、無償化、中学校の制服代支給など金銭面の支援。（5件）
- ・学校での生活時間を増やしてほしい。佐倉型カリキュラムには問題を感じている。（2件）
- ・小児科、耳鼻科、眼科などの先生が高齢化しているので、病院の担い手、増やすことが急務。義務教育が無料と言うのは嘘で、進学に当たり 10 万以上かかる。福岡市を見習って、ランドセル、指定帽子廃止、算数セットやピアノなどはサブスクにするべき。（1件）

- ・児童センター、老幼の館、ヤングプラザの新設。寺崎地区より子供だけでいける施設が存在しない。学童を希望しても入れない。地区によって差があり不公平感を感じる。(1件)
- ・補助金や公的サービスの原資は税や国債であり、将来的に子供達の負担になるので、行政サービスは廃止縮小させてほしい。(1件)
- ・仕事と家庭の両立がしやすい環境。(1件)
- ・小学生のスポーツクラブの情報発信。(1件)
- ・子供がのびのび過ごせる場の確保(1件)
- ・外国人子弟への教育的配慮。(1件)
- ・発達障害児への支援や相談、療育の拡大。(1件)

【居住地区別】

居住地区別にみると、佐倉地区で「小児救急医療体制の充実」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全 体	155 100.0	3 1.9	17 11.0	14 9.0	101 65.2	18 11.6	10 6.5	- -	2 1.3
志津地区	55 100.0	1 1.8	4 7.3	2 3.6	39 70.9	8 14.5	1 1.8	- -	- -
臼井地区	36 100.0	1 2.8	3 8.3	6 16.7	24 66.7	3 8.3	2 5.6	- -	1 2.8
佐倉地区	19 100.0	- -	2 10.5	2 10.5	11 57.9	3 15.8	4 21.1	- -	- -
南部地区	45 100.0	1 2.2	8 17.8	4 8.9	27 60.0	4 8.9	3 6.7	- -	1 2.2

区分	出産費用や育児の負担を軽減する医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用の負担軽減	子育て家庭への税制優遇措置	子育て家庭への住宅補助	小児救急医療体制の充実	その他	特にない	無回答
全 体	29 18.7	24 15.5	96 61.9	16 10.3	36 23.2	15 9.7	5 3.2	- -
志津地区	13 23.6	9 16.4	38 69.1	5 9.1	14 25.5	5 9.1	- -	- -
臼井地区	6 16.7	4 11.1	19 52.8	3 8.3	7 19.4	4 11.1	1 2.8	- -
佐倉地区	4 21.1	3 15.8	13 68.4	2 10.5	6 31.6	- -	1 5.3	- -
南部地区	6 13.3	8 17.8	26 57.8	6 13.3	9 20.0	6 13.3	3 6.7	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなっています。

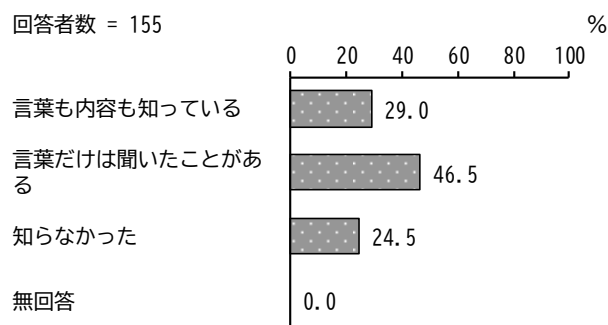
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全 体	155 100.0	3 1.9	17 11.0	14 9.0	101 65.2	18 11.6	10 6.5	- -	2 1.3
タイプAひとり親	36 100.0	- -	3 8.3	2 5.6	18 50.0	2 5.6	3 8.3	- -	- -
タイプBフル×フル	47 100.0	2 4.3	10 21.3	5 10.6	28 59.6	4 8.5	1 2.1	- -	1 2.1
タイプCフル×パート	41 100.0	- -	3 7.3	3 7.3	29 70.7	10 24.4	1 2.4	- -	1 2.4
タイプD専業主婦（夫）	26 100.0	1 3.8	1 3.8	2 7.7	24 92.3	2 7.7	4 15.4	- -	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の確保や家賃補助	小児救急医療体制の充実	その他	特にない	無回答
全 体	29 18.7	24 15.5	96 61.9	16 10.3	36 23.2	15 9.7	5 3.2	- -
タイプAひとり親	8 22.2	5 13.9	23 63.9	5 13.9	9 25.0	5 13.9	2 5.6	- -
タイプBフル×フル	6 12.8	5 10.6	27 57.4	8 17.0	10 21.3	6 12.8	1 2.1	- -
タイプCフル×パート	7 17.1	8 19.5	27 65.9	3 7.3	11 26.8	1 2.4	2 4.9	- -
タイプD専業主婦（夫）	7 26.9	5 19.2	15 57.7	- -	5 19.2	3 11.5	- -	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

問 28 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉だけは聞いたことがある」の割合が46.5%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が29.0%、「知らなかった」の割合が24.5%となっています。

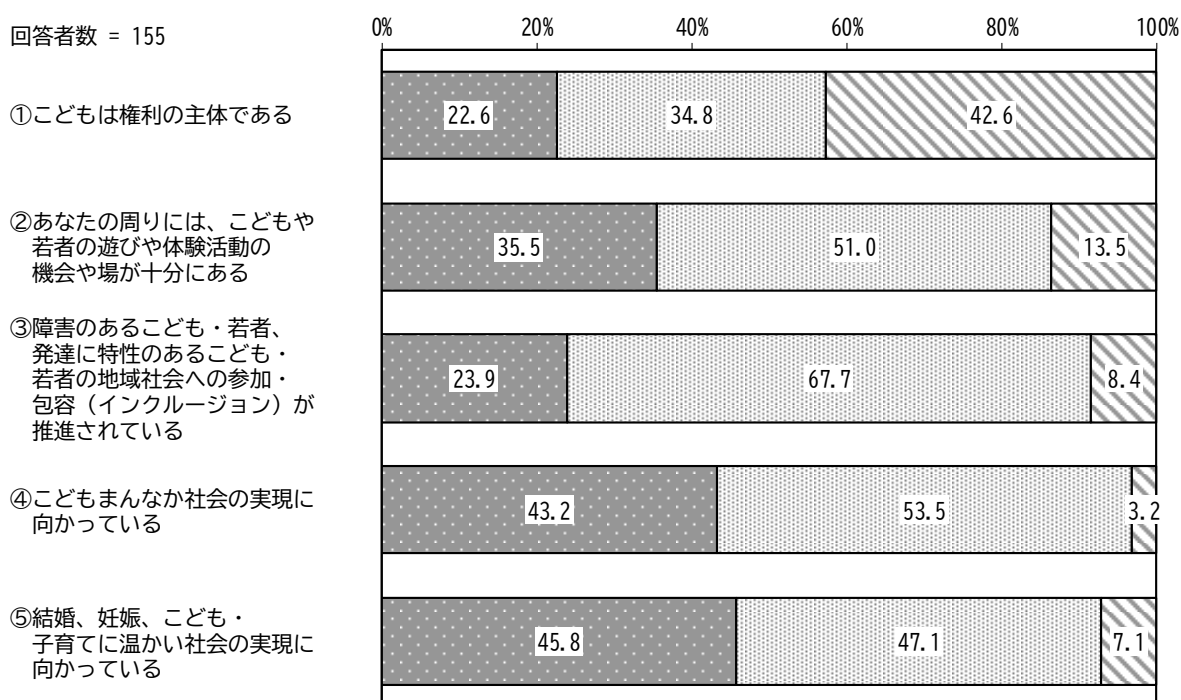


問 29 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。
 それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『①こどもは権利の主体である』で「そう思う」の割合が、『③障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている』で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、『④こどもまんなか社会の実現に向かっている』、『⑤結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

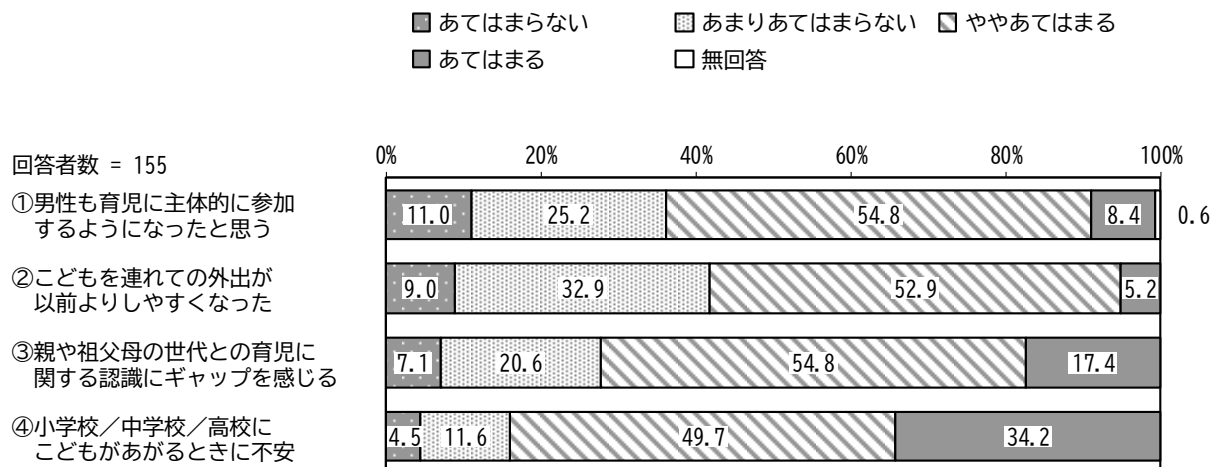
■ そう思わない ■ どちらともいえない ■ そう思う □ 無回答

回答者数 = 155



問 30 いまのあなたの気持ちにそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『②子どもを連れての外出が以前よりしやすくなった』で「あまりあてはまらない」の割合が高くなっています。一方、『④小学校／中学校／高校に子どもがあがるときに不安』で「あてはまる」の割合が高くなっています。



3 中学生保護者

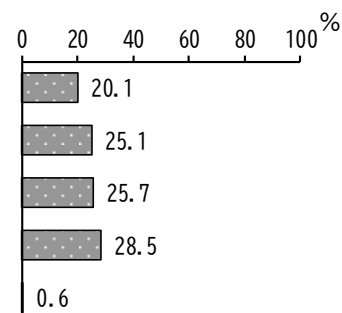
(1) お住まいの地域について

問1 宛名のお子さんは、どの学校に通っていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「根郷中学校」の割合が28.5%と最も高く、次いで「佐倉東中学校」の割合が25.7%、「臼井中学校」の割合が25.1%となっています。

回答者数 = 179

上志津中学校
臼井中学校
佐倉東中学校
根郷中学校
無回答

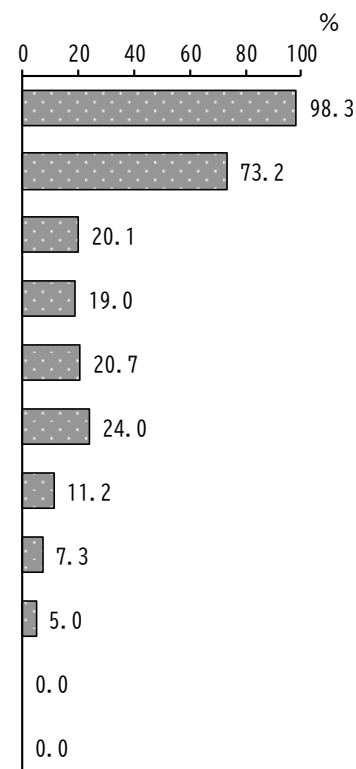


問2 宛名のお子さんと同居しているご家族の方はどなたですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※「9. 単身赴任」の場合は（ ）内に続柄を入れてください。

「母親」の割合が98.3%と最も高く、次いで「父親」の割合が73.2%、「弟」の割合が24.0%となっています。

回答者数 = 179

母親
父親
姉
兄
妹
弟
祖母
祖父
単身赴任
その他
無回答



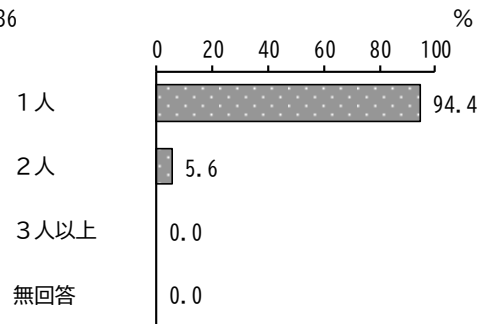
【単身赴任の続柄】

・父・父親（9件）

姉の人数

「1人」の割合が94.4%と最も高くなっています。

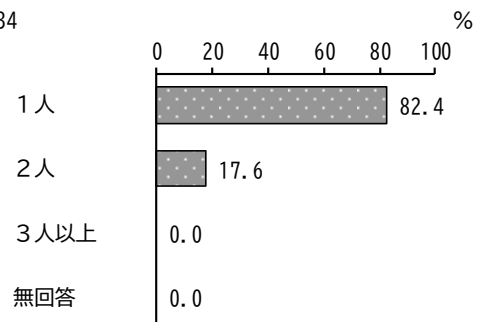
回答者数 = 36



兄の人数

「1人」の割合が82.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が17.6%となっています。

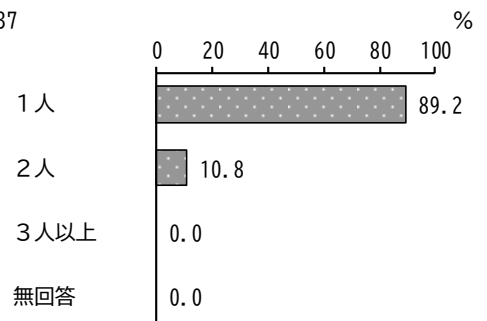
回答者数 = 34



妹の人数

「1人」の割合が89.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.8%となっています。

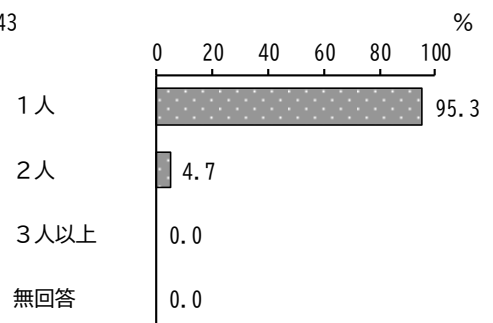
回答者数 = 37



弟の人数

「1人」の割合が95.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 43



問3 問2で「1. 母親」「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。

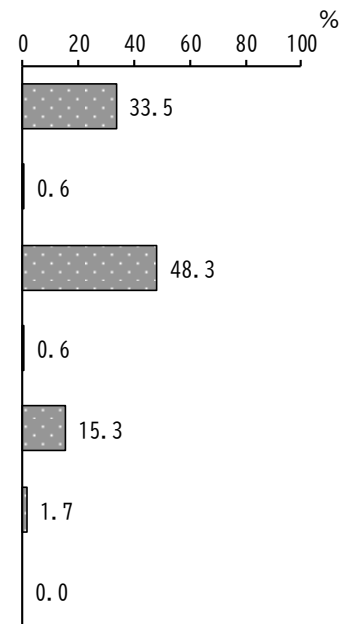
宛名のお子さんの母親・父親の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が48.3%と最も高く、次いで「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が33.5%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 176

フルタイムで働いており、
産休・育休・介護休業中ではない
フルタイムで働いている
が、産休・育休・介護休業
中である
パート・アルバイト等で働
いており、産休・育休・介
護休業中ではない
パート・アルバイト等で働
いているが、産休・育休・
介護休業中である
以前は働いていたが、現在
は働いていない
これまで働いたことがない
無回答

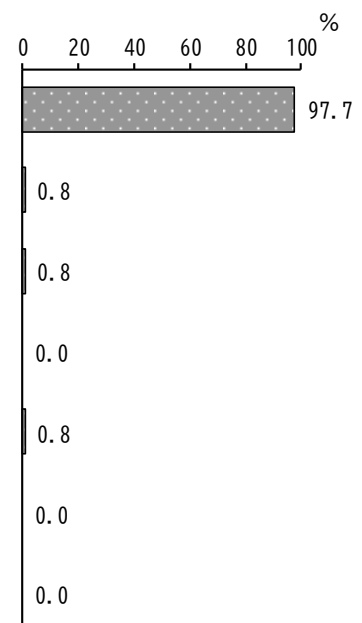


父親

「フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない」の割合が97.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 131

フルタイムで働いており、
育休・介護休業中ではない
フルタイムで働いている
が、育休・介護休業中である
パート・アルバイト等で働
いており、育休・介護休業
中ではない
パート・アルバイト等で働
いているが、育休・介護休
業中である
以前は働いていたが、現在
は働いていない
これまで働いたことがない
無回答



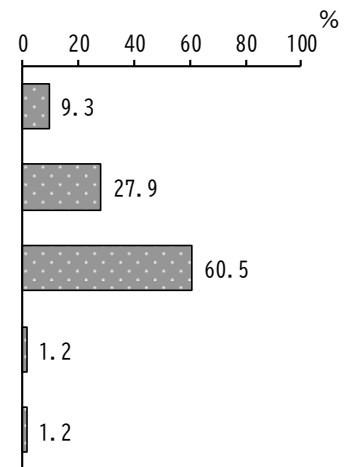
問4 問3で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」の割合が60.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」の割合が27.9%となっています。

回答者数 = 86

フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある
フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
無回答

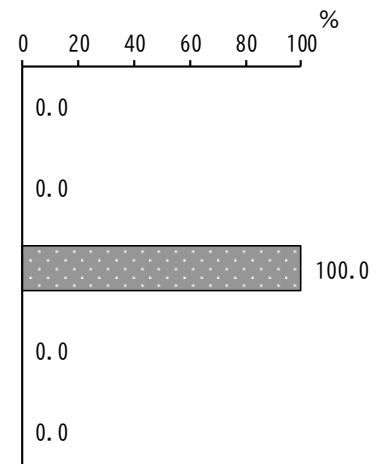


父親

「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」が1件となっています。

回答者数 = 1

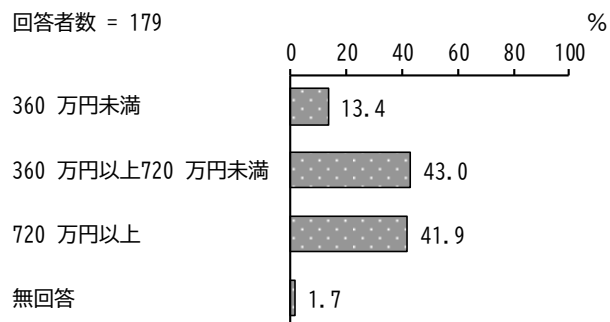
フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある
フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
無回答



問5 世帯の年収はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「360 万円以上 720 万円未満」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「720 万円以上」の割合が 41.9%、「360 万円未満」の割合が 13.4%となっています。

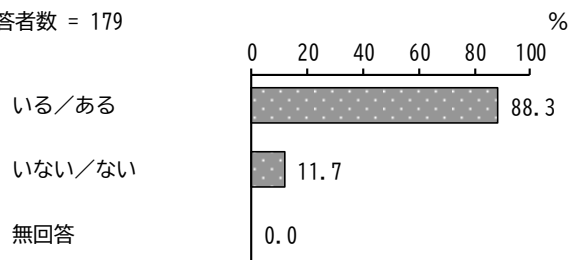
回答者数 = 179



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

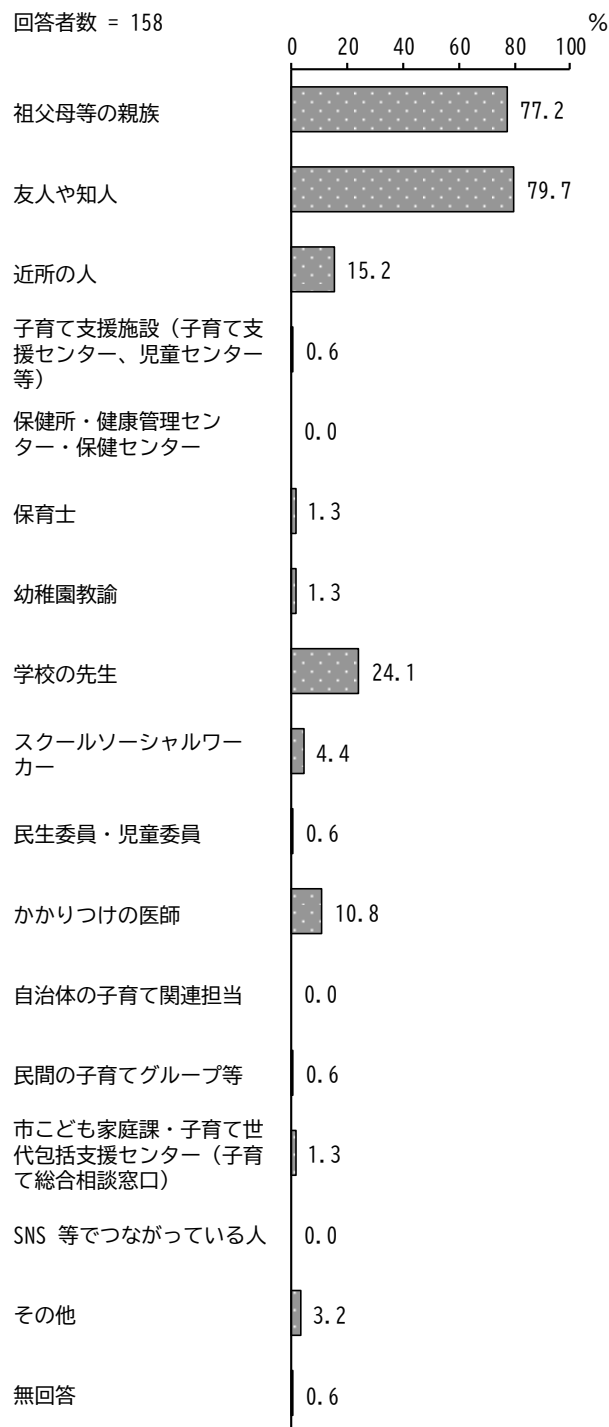
「いる／ある」の割合が 88.3%、「いない／ない」の割合が 11.7%となっています。

回答者数 = 179



問7 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が79.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が77.2%、「学校の先生」の割合が24.1%となっています。



【その他の意見】

・塾の先生（3件）

・夫（1件）

・配偶者（1件）

【中学校別】

中学校別にみると、上志津中学校で「祖父母等の親族」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援センター、児童センター等	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	158 100.0	122 77.2	126 79.7	24 15.2	1 0.6	- -	2 1.3	2 1.3	38 24.1
上志津中学校	31 100.0	28 90.3	27 87.1	7 22.6	- -	- -	- -	- -	11 35.5
臼井中学校	42 100.0	32 76.2	35 83.3	5 11.9	- -	- -	1 2.4	1 2.4	11 26.2
佐倉東中学校	39 100.0	28 71.8	32 82.1	7 17.9	1 2.6	- -	- -	1 2.6	9 23.1
根郷中学校	46 100.0	34 73.9	32 69.6	5 10.9	- -	- -	1 2.2	- -	7 15.2

区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SNS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	7 4.4	1 0.6	17 10.8	- -	1 0.6	2 1.3	- -	5 3.2	1 0.6
上志津中学校	3 9.7	- -	3 9.7	- -	- -	2 6.5	- -	2 6.5	- -
臼井中学校	1 2.4	- -	7 16.7	- -	1 2.4	- -	- -	1 2.4	- -
佐倉東中学校	3 7.7	- -	4 10.3	- -	- -	- -	- -	- -	1 2.6
根郷中学校	- -	1 2.2	3 6.5	- -	- -	- -	- -	2 4.3	- -

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	158 100.0	122 77.2	126 79.7	24 15.2	1 0.6	- -	2 1.3	2 1.3	38 24.1
ふたり親世帯	114 100.0	89 78.1	95 83.3	21 18.4	- -	- -	2 1.8	2 1.8	34 29.8
ひとり親世帯	44 100.0	33 75.0	31 70.5	3 6.8	1 2.3	- -	- -	- -	4 9.1
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	NPO等であつている人	その他	無回答
全 体	7 4.4	1 0.6	17 10.8	- -	1 0.6	2 1.3	- -	5 3.2	1 0.6
ふたり親世帯	6 5.3	- -	16 14.0	- -	1 0.9	2 1.8	- -	4 3.5	- -
ひとり親世帯	1 2.3	1 2.3	1 2.3	- -	- -	- -	- -	1 2.3	1 2.3
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「祖父母等の親族」の割合が高くなっています。

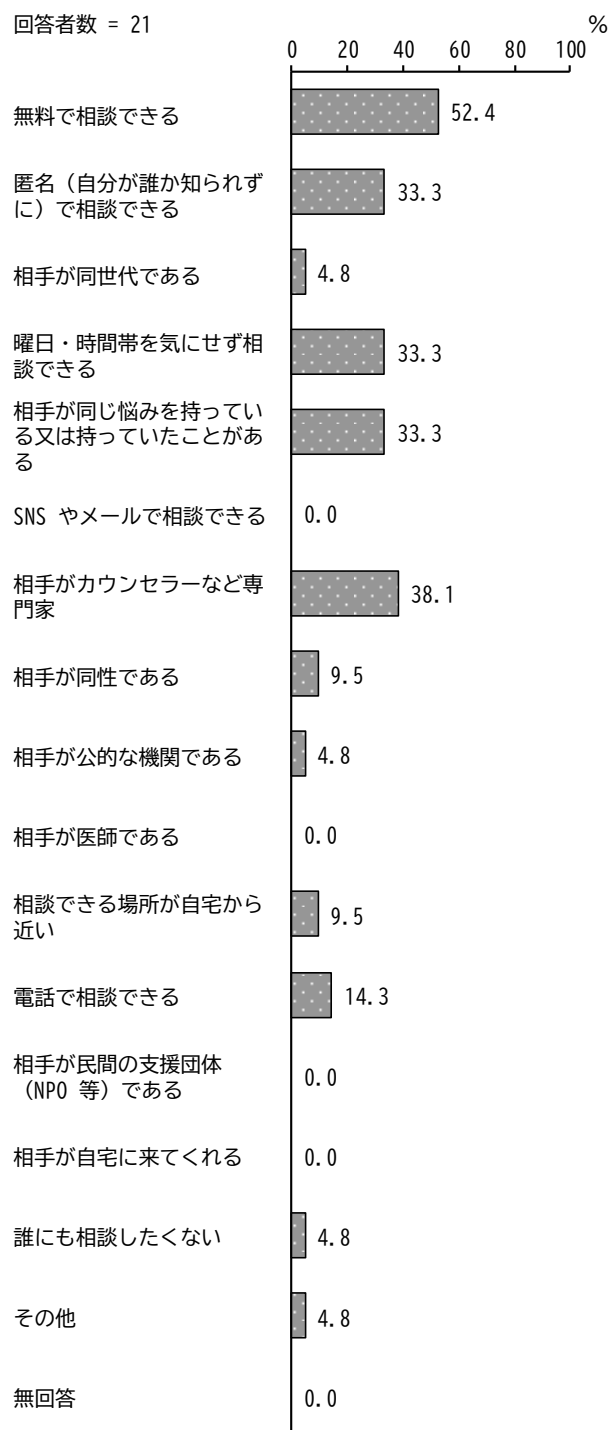
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設 (子育て支援センター、 児童センター等)	保健所・健康管理セン ター・保健センター	保育士	幼稚園教諭	学校の先生
全 体	158 100.0	122 77.2	126 79.7	24 15.2	1 0.6	- -	2 1.3	2 1.3	38 24.1
タイプAひとり親	44 100.0	33 75.0	31 70.5	3 6.8	1 2.3	- -	- -	- -	4 9.1
タイプBフル×フル	32 100.0	23 71.9	26 81.3	2 6.3	- -	- -	1 3.1	- -	9 28.1
タイプCフル×パート	58 100.0	45 77.6	51 87.9	13 22.4	- -	- -	1 1.7	1 1.7	18 31.0
タイプD専業主婦（夫）	22 100.0	20 90.9	16 72.7	6 27.3	- -	- -	- -	1 4.5	6 27.3
タイプEパート×パート	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	スクールソーシャルワーカー	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター (子育て総合相談窓口)	SS等できつなっている人	その他	無回答
全 体	7 4.4	1 0.6	17 10.8	- -	1 0.6	2 1.3	- -	5 3.2	1 0.6
タイプAひとり親	1 2.3	1 2.3	1 2.3	- -	- -	- -	- -	1 2.3	1 2.3
タイプBフル×フル	2 6.3	- -	4 12.5	- -	1 3.1	1 3.1	- -	- -	- -
タイプCフル×パート	2 3.4	- -	9 15.5	- -	- -	1 1.7	- -	3 5.2	- -
タイプD専業主婦（夫）	2 9.1	- -	3 13.6	- -	- -	- -	- -	1 4.5	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問8 問6で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。
 どのような人や場所なら相談したいと思いますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「無料で相談できる」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「相手がカウンセラーなど専門家」の割合が 38.1%、「匿名（自分が誰か知られずに）で相談できる」、「曜日・時間帯を気にせず相談できる」、「相手が同じ悩みを持っている又は持っていたことがある」の割合が 33.3%となっています。



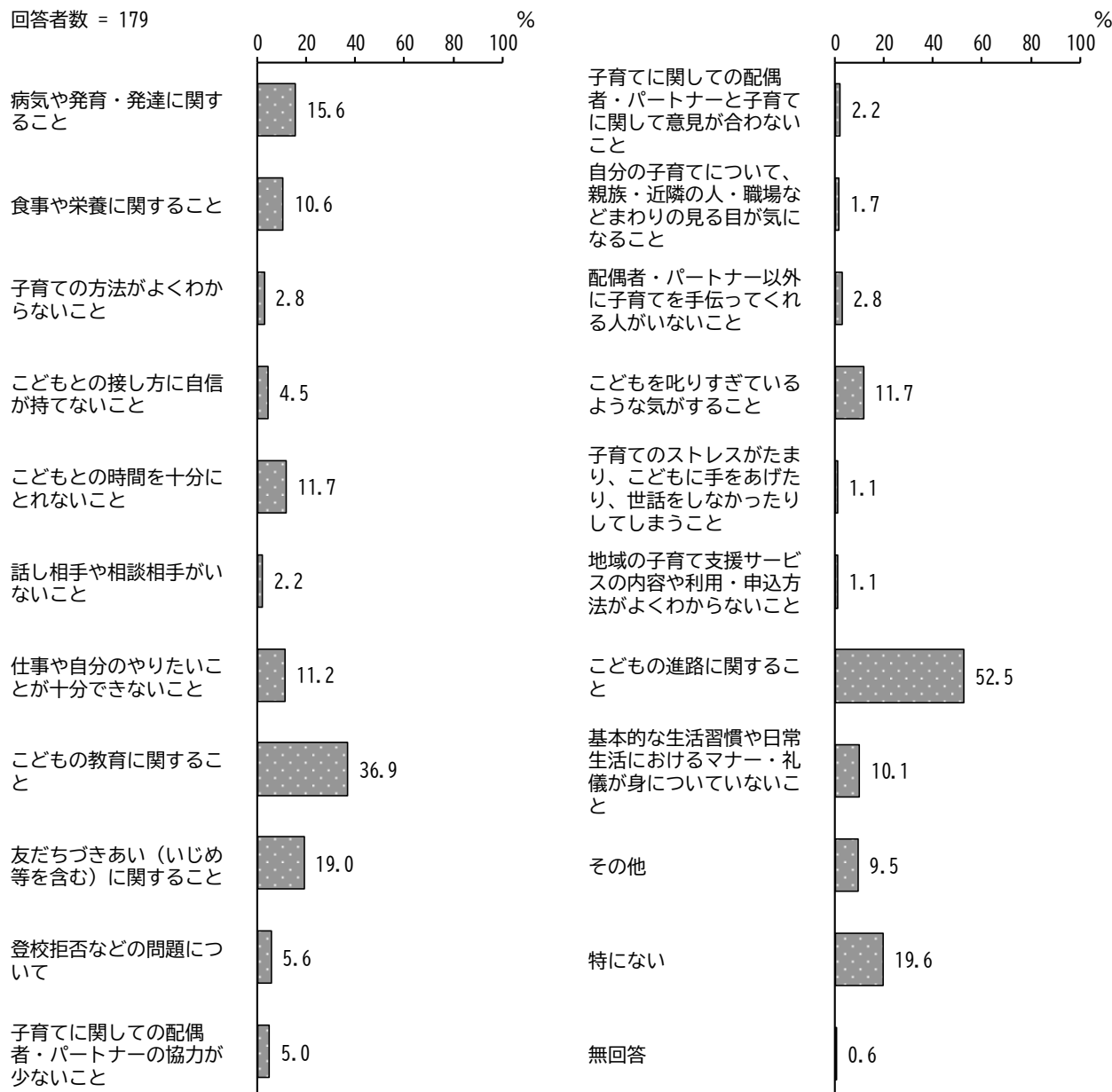
【その他の意見】

- ・子育て、教育に関しての情報量が少ないのでこういう風にするといいのだとか分かるものがあるといい。（1件）

問9 子育て（教育を含む）において、現在、何か悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「こどもの進路に関すること」の割合が52.5%と最も高く、次いで「こどもの教育に関すること」の割合が36.9%、「特にない」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 179



【その他の意見】

- ・大学や専門学校などの子供が望む教育を実現させるための資金。（4件）
- ・反抗期の対処法。（3件）
- ・優先順位が親と違う。（1件）
- ・もっと小さい頃、叱りすぎたのではないかと、厳しくしすぎたのではないかと後悔している。（1件）
- ・子供の携帯の使い方、本人に任せると携帯ばかり気にする。現在は親が管理中。（1件）
- ・中学校の授業の進みにムラがあるようで、テスト前に範囲が終わらず急に駆け足になってしまい、やらずに飛ばしている様子。子供が戸惑ってしまう。もっと計画的に授業を進めてほしい。（1件）
- ・物価が高くお金の問題。（2件）
- ・部活動の競技のことや怪我などのこと。（1件）

- ・PTA 活動や部活動の保護者サポートについて強制ではないが、主人が単身赴任中で全ての手伝い等への参加が無理。部活の遠征送迎については休みが合わず子供に参加を我慢させたことがあるため、親の都合で振り回している気がして罪悪感がある。(1件)
- ・佐倉市は、なんでもすぐに休みにしたり、中止にしたりする事が多いが、コロナも五類になって、通常運転している都内などに比べて色々、慎重過ぎるのは、どうなのだろうか？すぐに諦めてしまうこの時代の子供達に、少しでもやり方次第で、挑戦していける姿勢を見せたいものだなと思ってしまう。今の子供達が大人になった時に、なんでもやめてしまう選択をしないように働きかけていけたらいいのにとっている。(1件)

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「こどもの進路に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいらないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登校拒否などの問題について	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
全 体	179 100.0	28 15.6	19 10.6	5 2.8	8 4.5	21 11.7	4 2.2	20 11.2	66 36.9	34 19.0	10 5.6	9 5.0
ふたり親世帯	128 100.0	23 18.0	13 10.2	3 2.3	5 3.9	9 7.0	2 1.6	9 7.0	43 33.6	23 18.0	8 6.3	7 5.5
ひとり親世帯	51 100.0	5 9.8	6 11.8	2 3.9	3 5.9	12 23.5	2 3.9	11 21.6	23 45.1	11 21.6	2 3.9	2 3.9
その他(不明等)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

無回答	特にな	その他	基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身についていないこと	こどもの進路に関するこ	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり世話をしなかつたりしてしまうこと	こどもを叱りすぎているような気がするこ	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になるこ	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこ	区分
1 0.6	35 19.6	17 9.5	18 10.1	94 52.5	2 1.1	2 1.1	21 11.7	5 2.8	3 1.7	4 2.2	全 体
1 0.8	32 25.0	11 8.6	10 7.8	58 45.3	1 0.8	1 0.8	14 10.9	4 3.1	1 0.8	3 2.3	ふたり親世帯
- -	3 5.9	6 11.8	8 15.7	36 70.6	1 2.0	1 2.0	7 13.7	1 2.0	2 3.9	1 2.0	ひとり親世帯
- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	その他（不明等）

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「こどもの進路に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいらないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登校拒否などの問題について	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
全 体	179 100.0	28 15.6	19 10.6	5 2.8	8 4.5	21 11.7	4 2.2	20 11.2	66 36.9	34 19.0	10 5.6	9 5.0
360万円未満	24 100.0	2 8.3	2 8.3	2 8.3	4 16.7	4 16.7	1 4.2	5 20.8	9 37.5	4 16.7	2 8.3	1 4.2
360万円以上 720万円未満	77 100.0	18 23.4	9 11.7	3 3.9	2 2.6	7 9.1	3 3.9	7 9.1	23 29.9	17 22.1	4 5.2	3 3.9
720万円以上	75 100.0	8 10.7	8 10.7	-	2 2.7	10 13.3	-	7 9.3	32 42.7	13 17.3	4 5.3	5 6.7

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	こどもの進路に関すること	基本的な生活習慣や日常生活におけるマナー・礼儀が身につけていないこと	その他	特にな	無回答
全 体	4 2.2	3 1.7	5 2.8	21 11.7	2 1.1	2 1.1	94 52.5	18 10.1	17 9.5	35 19.6	1 0.6
360万円未満	- -	2 8.3	- -	3 12.5	1 4.2	- -	17 70.8	2 8.3	- -	3 12.5	1 4.2
360万円以上 720万円未満	1 1.3	1 1.3	3 3.9	10 13.0	- -	2 2.6	38 49.4	9 11.7	6 7.8	18 23.4	- -
720万円以上	3 4.0	- -	2 2.7	7 9.3	1 1.3	- -	37 49.3	7 9.3	11 14.7	14 18.7	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「こどもの進路に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数(件)	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登校拒否などの問題について	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
全 体	179 100.0	28 15.6	19 10.6	5 2.8	8 4.5	21 11.7	4 2.2	20 11.2	66 36.9	34 19.0	10 5.6	9 5.0
タイプAひとり親	51 100.0	5 9.8	6 11.8	2 3.9	3 5.9	12 23.5	2 3.9	11 21.6	23 45.1	11 21.6	2 3.9	2 3.9
タイプBフル×フル	36 100.0	5 13.9	3 8.3	- -	2 5.6	4 11.1	- -	4 11.1	13 36.1	5 13.9	3 8.3	1 2.8
タイプCフル×パート	67 100.0	12 17.9	7 10.4	3 4.5	3 4.5	4 6.0	2 3.0	5 7.5	21 31.3	14 20.9	4 6.0	6 9.0
タイプD専業主婦(夫)	23 100.0	5 21.7	3 13.0	- -	- -	1 4.3	- -	- -	8 34.8	4 17.4	1 4.3	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

単位 上段：件、下段：％

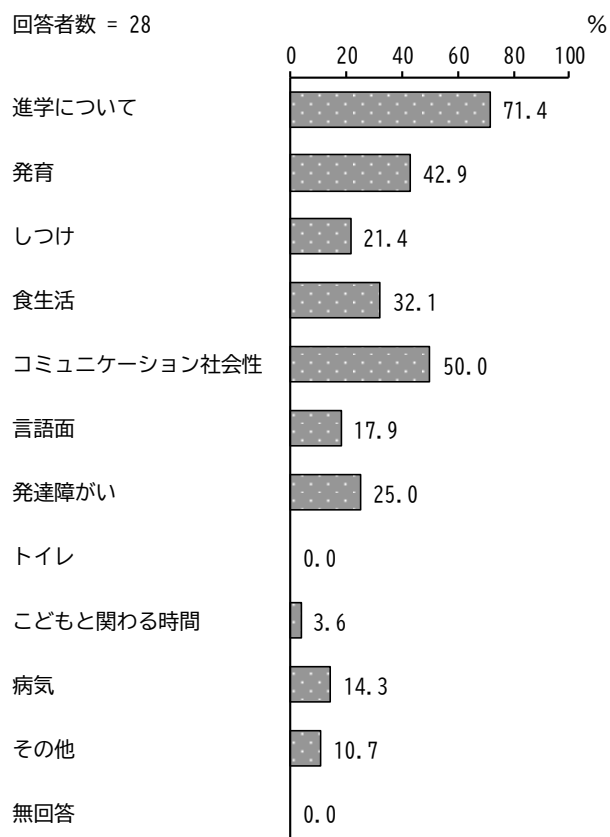
区分	子育てに関しての 意見が合わないこと	子育てに関しての 親族・近隣の人・職場 などまわりの見る目が 気になること	配偶者・パートナー以外に 子育てを手伝ってくれる人 がいないこと	こどもを叱りすぎている ような気がする	子育てのストレスがたまり、 こどもに手をあげたり、世話を しなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの 内容や利用・申込方法が よくわからないこと	こどもの進路に関する こと	基本的な生活習慣や日常生活 におけるマナー・礼儀が身 についていないこと	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	4 2.2	3 1.7	5 2.8	21 11.7	2 1.1	2 1.1	94 52.5	18 10.1	17 9.5	35 19.6	1 0.6
タイプAひとり親	1 2.0	2 3.9	1 2.0	7 13.7	1 2.0	1 2.0	36 70.6	8 15.7	6 11.8	3 5.9	- -
タイプBフル×フル	1 2.8	- -	1 2.8	5 13.9	1 2.8	- -	12 33.3	4 11.1	4 11.1	11 30.6	- -
タイプCフル×パート	2 3.0	1 1.5	3 4.5	7 10.4	- -	1 1.5	37 55.2	4 6.0	6 9.0	15 22.4	- -
タイプD専業主婦（夫）	- -	- -	- -	2 8.7	- -	- -	8 34.8	1 4.3	1 4.3	6 26.1	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(前ページ表 続き)

問10 問9で「1. 病気や発育・発達に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
子育ての悩みや、不安だと思うことは何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「進学について」の割合が71.4%と最も高く、
次いで「コミュニケーション社会性」の割合が
50.0%、「発育」の割合が42.9%となっています。

回答者数 = 28



【その他の意見】

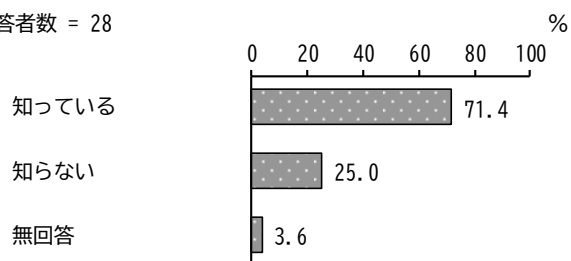
・吃音（1件）

・クラス内や部活動に関する悩み。先生、友達関係等。（1件）

問11 問10で○をつけた方にうかがいます。
市内には専門の相談機関がありますが、ご存じですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が71.4%、「知らない」
の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 28



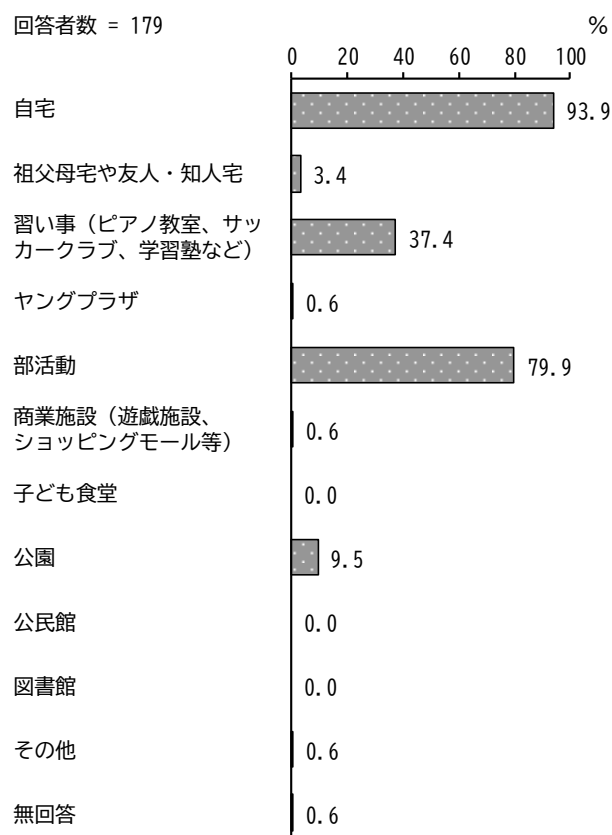
(2) お子さんの放課後の過ごし方について

問12 宛名のお子さんは放課後（授業終了後）に、どこですごすことが多いですか。
当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「11. その他」に○をした時は、()の中に場所を書いてください。

「自宅」の割合が 93.9%と最も高く、次いで
「部活動」の割合が 79.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 37.4%となっています。

回答者数 = 179



【その他の意見】

・学童（1件）

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、720 万円以上で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	168 93.9	6 3.4	67 37.4	1 0.6	143 79.9	1 0.6	- -	17 9.5	- -	- -	1 0.6	1 0.6
360万円未満	24 100.0	21 87.5	- -	4 16.7	- -	19 79.2	- -	- -	3 12.5	- -	- -	- -	1 4.2
360万円以上 720万円未満	77 100.0	72 93.5	3 3.9	29 37.7	1 1.3	62 80.5	1 1.3	- -	11 14.3	- -	- -	- -	- -
720万円以上	75 100.0	72 96.0	3 4.0	32 42.7	- -	60 80.0	- -	- -	3 4.0	- -	- -	1 1.3	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプCフル×パートで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

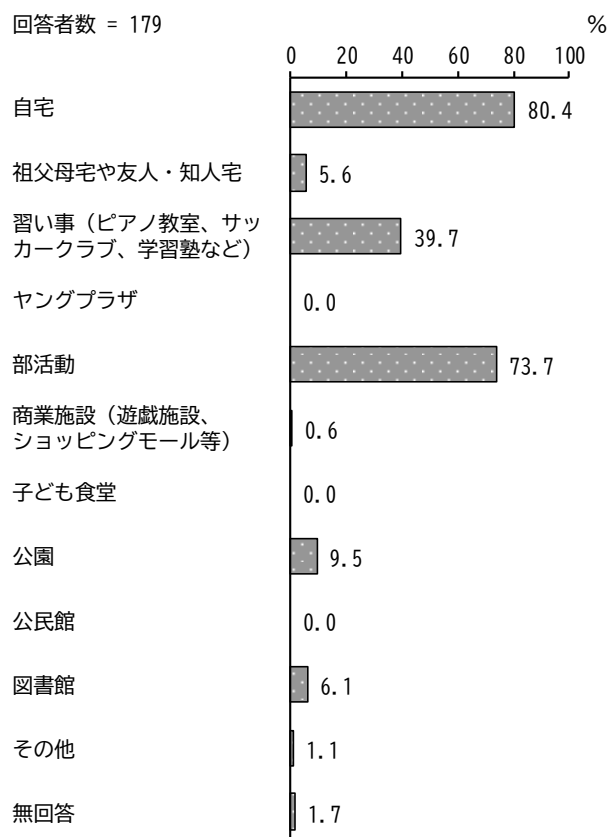
区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	168 93.9	6 3.4	67 37.4	1 0.6	143 79.9	1 0.6	- -	17 9.5	- -	- -	1 0.6	1 0.6
タイプAひとり親	51 100.0	47 92.2	2 3.9	13 25.5	- -	44 86.3	- -	- -	5 9.8	- -	- -	1 2.0	- -
タイプBフル×フル	36 100.0	33 91.7	1 2.8	13 36.1	- -	26 72.2	- -	- -	2 5.6	- -	- -	- -	1 2.8
タイプCフル×パート	67 100.0	63 94.0	3 4.5	34 50.7	1 1.5	54 80.6	1 1.5	- -	7 10.4	- -	- -	- -	- -
タイプD専業主婦（夫）	23 100.0	23 100.0	- -	7 30.4	- -	18 78.3	- -	- -	3 13.0	- -	- -	- -	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問13 宛名のお子さんは放課後（授業終了後）に、本当は、どこですごさせたいですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「11. その他」に○をした時は、()の中に場所を書いてください。

「自宅」の割合が 80.4%と最も高く、次いで「部活動」の割合が 73.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 179



【その他の意見】

- ・ 定刻までに帰宅すれば、どこでも良い。（1件）
- ・ 自主的にトレーニングなどの自主練。（1件）

- ・ 希望の所で過ごしている。（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「部活動」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ヤングプラザ	部活動	商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	144 80.4	10 5.6	71 39.7	- -	132 73.7	1 0.6	- -	17 9.5	- -	11 6.1	2 1.1	3 1.7
ふたり親世帯	128 100.0	104 81.3	7 5.5	52 40.6	- -	89 69.5	1 0.8	- -	13 10.2	- -	7 5.5	2 1.6	2 1.6
ひとり親世帯	51 100.0	40 78.4	3 5.9	19 37.3	- -	43 84.3	- -	- -	4 7.8	- -	4 7.8	- -	1 2.0
その他(不明等)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ヤングプラザ	部活動	商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	144 80.4	10 5.6	71 39.7	- -	132 73.7	1 0.6	- -	17 9.5	- -	11 6.1	2 1.1	3 1.7
360万円未満	24 100.0	17 70.8	- -	10 41.7	- -	17 70.8	- -	- -	2 8.3	- -	1 4.2	- -	1 4.2
360万円以上 720万円未満	77 100.0	61 79.2	5 6.5	30 39.0	- -	55 71.4	- -	- -	12 15.6	- -	4 5.2	1 1.3	1 1.3
720万円以上	75 100.0	63 84.0	5 6.7	30 40.0	- -	58 77.3	1 1.3	- -	3 4.0	- -	5 6.7	1 1.3	1 1.3

【現在の家庭類型別】

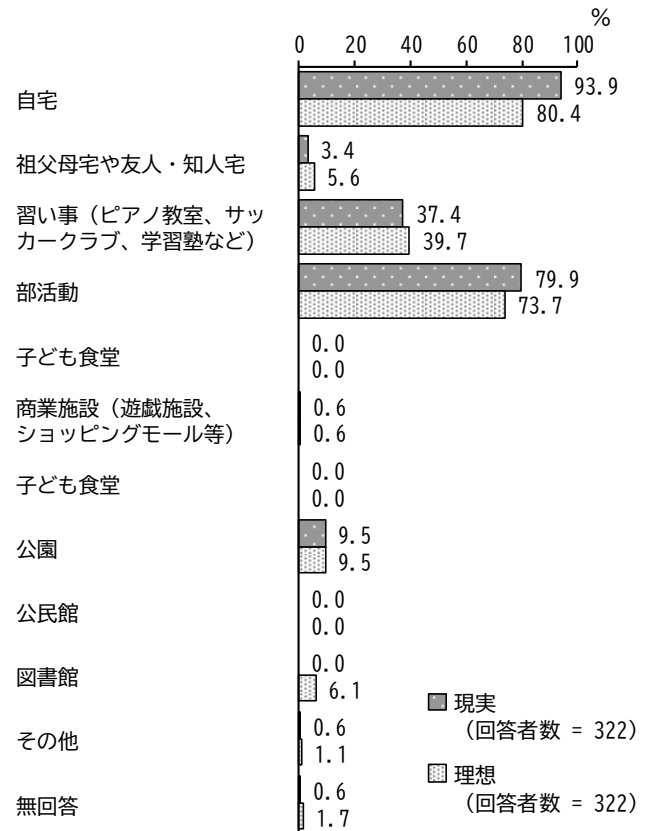
現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「自宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	144 80.4	10 5.6	71 39.7	- -	132 73.7	1 0.6	- -	17 9.5	- -	11 6.1	2 1.1	3 1.7
タイプAひとり親	51 100.0	40 78.4	3 5.9	19 37.3	- -	43 84.3	- -	- -	4 7.8	- -	4 7.8	- -	1 2.0
タイプBフル×フル	36 100.0	29 80.6	1 2.8	16 44.4	- -	23 63.9	- -	- -	1 2.8	- -	1 2.8	- -	1 2.8
タイプCフル×パート	67 100.0	51 76.1	5 7.5	32 47.8	- -	46 68.7	1 1.5	- -	10 14.9	- -	2 3.0	2 3.0	1 1.5
タイプD専業主婦（夫）	23 100.0	22 95.7	1 4.3	4 17.4	- -	19 82.6	- -	- -	2 8.7	- -	4 17.4	- -	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

放課後の過ごし方 現実と理想の比較

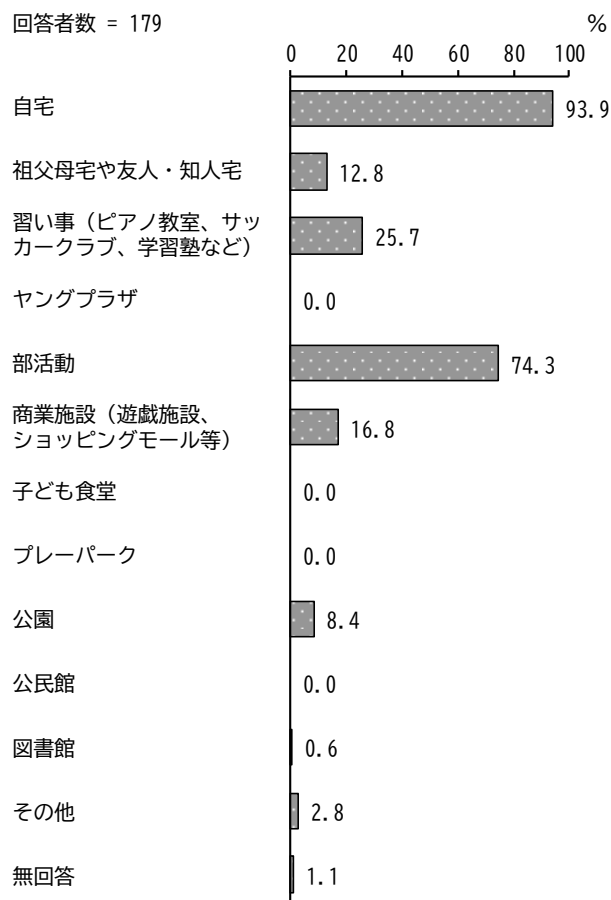
理想よりも現実で「自宅」、「部活動」の割合が高くなっています。



※現実では、「放課後子ども教室」の選択肢はありません。

問 14 宛名のお子さんについて、土日祝日はどのようにすごしていますか。
 当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「自宅」の割合が 93.9%と最も高く、次いで
 「部活動」の割合が 74.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が
 25.7%となっています。



【その他の意見】

- ・友人と遊んでいる。行き先は地域等のイベント、家やお店等。（1件）
- ・家族で千葉県及び関東近辺の道の駅巡り。（1件）
- ・教会（1件）
- ・部活、習い事が無ければ、家族で出かけている。（1件）
- ・自然があるところ（海、川）（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「部活動」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ヤングプラザ	部活動	商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	168 93.9	23 12.8	46 25.7	- -	133 74.3	30 16.8	- -	- -	15 8.4	- -	1 0.6	5 2.8	2 1.1
ふたり親世帯	128 100.0	118 92.2	19 14.8	38 29.7	- -	92 71.9	22 17.2	- -	- -	9 7.0	- -	1 0.8	4 3.1	2 1.6
ひとり親世帯	51 100.0	50 98.0	4 7.8	8 15.7	- -	41 80.4	8 15.7	- -	- -	6 11.8	- -	- -	1 2.0	- -
その他(不明等)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ヤングプラザ	部活動	商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	168 93.9	23 12.8	46 25.7	- -	133 74.3	30 16.8	- -	- -	15 8.4	- -	1 0.6	5 2.8	2 1.1
360万円未満	24 100.0	22 91.7	3 12.5	2 8.3	- -	19 79.2	7 29.2	- -	- -	4 16.7	- -	1 4.2	- -	1 4.2
360万円以上 720万円未満	77 100.0	73 94.8	11 14.3	18 23.4	- -	53 68.8	16 20.8	- -	- -	6 7.8	- -	- -	3 3.9	1 1.3
720万円以上	75 100.0	70 93.3	9 12.0	26 34.7	- -	60 80.0	6 8.0	- -	- -	5 6.7	- -	- -	2 2.7	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプD専業主婦（夫）で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

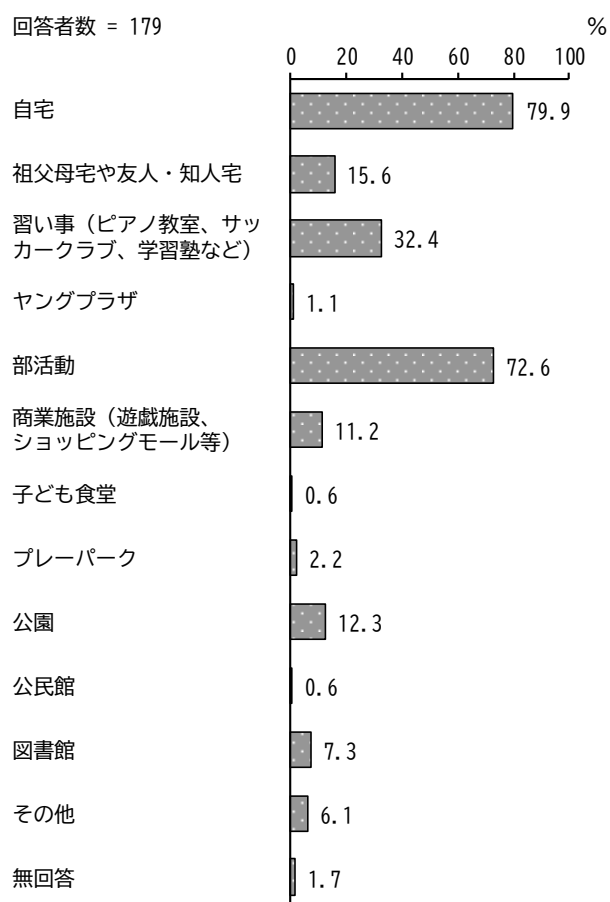
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	168 93.9	23 12.8	46 25.7	- -	133 74.3	30 16.8	- -	- -	15 8.4	- -	1 0.6	5 2.8	2 1.1
タイプAひとり親	51 100.0	50 98.0	4 7.8	8 15.7	- -	41 80.4	8 15.7	- -	- -	6 11.8	- -	- -	1 2.0	- -
タイプBフル×フル	36 100.0	33 91.7	4 11.1	11 30.6	- -	25 69.4	5 13.9	- -	- -	3 8.3	- -	- -	- -	1 2.8
タイプCフル×パート	67 100.0	60 89.6	11 16.4	19 28.4	- -	52 77.6	12 17.9	- -	- -	4 6.0	- -	1 1.5	3 4.5	1 1.5
タイプD専業主婦（夫）	23 100.0	23 100.0	4 17.4	8 34.8	- -	14 60.9	4 17.4	- -	- -	2 8.7	- -	- -	1 4.3	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 15 宛名のお子さんについて、土日祝日をどのような場所ですごさせたいと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「自宅」の割合が 79.9%と最も高く、次いで「部活動」の割合が 72.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 32.4%となっています。

回答者数 = 179



【その他の意見】

- ・家族と一緒に出かけたい。（3件）
- ・友人と遊ぶ。（2件）
- ・どこでも。本人が行きたい場所好きにのびのび過ごして欲しい。（2件）
- ・お休みの日、なかなかお友達と遊ぶことがないので場所はどこでもいいのでたまには遊べると良いと思う。（2件）
- ・部活の時間が短くなったので、クラブチームが充実してくれてそこで過ごせると良い。（1件）
- ・教会（1件）

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「自宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	143 79.9	28 15.6	58 32.4	2 1.1	130 72.6	20 11.2	1 0.6	4 2.2	22 12.3	1 0.6	13 7.3	11 6.1	3 1.7
ふたり親世帯	128 100.0	98 76.6	21 16.4	42 32.8	2 1.6	89 69.5	15 11.7	- -	4 3.1	16 12.5	- -	7 5.5	10 7.8	3 2.3
ひとり親世帯	51 100.0	45 88.2	7 13.7	16 31.4	- -	41 80.4	5 9.8	1 2.0	- -	6 11.8	1 2.0	6 11.8	1 2.0	- -
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ヤングプラザ	部活動	商業施設（遊戯施設、ショッピングモール等）	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	143 79.9	28 15.6	58 32.4	2 1.1	130 72.6	20 11.2	1 0.6	4 2.2	22 12.3	1 0.6	13 7.3	11 6.1	3 1.7
360万円未満	24 100.0	17 70.8	1 4.2	10 41.7	- -	14 58.3	4 16.7	- -	- -	3 12.5	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2
360万円以上 720万円未満	77 100.0	61 79.2	14 18.2	21 27.3	2 2.6	57 74.0	12 15.6	1 1.3	3 3.9	10 13.0	- -	1 1.3	5 6.5	1 1.3
720万円以上	75 100.0	63 84.0	13 17.3	27 36.0	- -	57 76.0	4 5.3	- -	1 1.3	8 10.7	- -	7 9.3	5 6.7	1 1.3

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「自宅」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

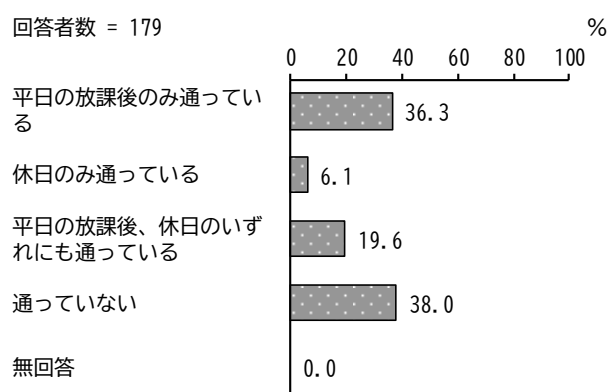
区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ヤングプラザ	部活動	商業施設(遊戯施設、ショッピングモール等)	子ども食堂	プレーパーク	公園	公民館	図書館	その他	無回答
全 体	179 100.0	143 79.9	28 15.6	58 32.4	2 1.1	130 72.6	20 11.2	1 0.6	4 2.2	22 12.3	1 0.6	13 7.3	11 6.1	3 1.7
タイプAひとり親	51 100.0	45 88.2	7 13.7	16 31.4	- -	41 80.4	5 9.8	1 2.0	- -	6 11.8	1 2.0	6 11.8	1 2.0	- -
タイプBフル×フル	36 100.0	29 80.6	6 16.7	13 36.1	- -	23 63.9	3 8.3	- -	1 2.8	6 16.7	- -	3 8.3	1 2.8	2 5.6
タイプCフル×パート	67 100.0	48 71.6	12 17.9	22 32.8	2 3.0	49 73.1	9 13.4	- -	1 1.5	8 11.9	- -	2 3.0	7 10.4	1 1.5
タイプD専業主婦(夫)	23 100.0	19 82.6	3 13.0	7 30.4	- -	16 69.6	2 8.7	- -	2 8.7	2 8.7	- -	2 8.7	2 8.7	- -
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 16 宛名のお子さんは塾や習い事に通っていますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

「通っていない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「平日の放課後のみ通っている」の割合が36.3%、「平日の放課後、休日のいずれにも通っている」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 179



【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「通っていない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

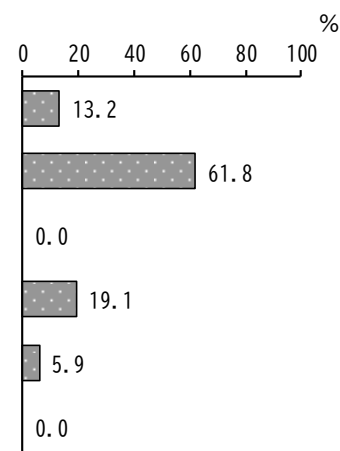
区分	回答者数 (件)	平日の放課後のみ 通っている	休日のみ通っている	平日の放課後、休日 のいずれにも通っている	通っていない	無回答
全 体	179 100.0	65 36.3	11 6.1	35 19.6	68 38.0	— —
360 万円未満	24 100.0	7 29.2	1 4.2	1 4.2	15 62.5	— —
360 万円以上 720 万円未満	77 100.0	37 48.1	4 5.2	9 11.7	27 35.1	— —
720 万円以上	75 100.0	19 25.3	6 8.0	25 33.3	25 33.3	— —

問 17 問 16 で「4. 通っていない」に○をつけた方にうかがいます。
通っていない理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「こどもが通うことを望まないため」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「金銭的余裕がないため」の割合が 19.1%、「特に必要性を感じないため」の割合が 13.2%となっています。

回答者数 = 68

特に必要性を感じないため
こどもが通うことを望まないため
送り迎えなどを行う時間的余裕がないため
金銭的余裕がないため
その他
無回答



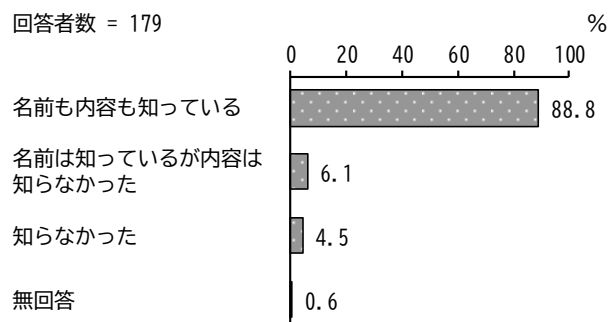
【その他の意見】

- ・ どの塾に入れたらいいのかわからない。(1 件)
- ・ 以前通っていたが本人が部活に専念したいと言ったため。(1 件)
- ・ 部活(クラブ活動)が忙しすぎて時間がない。(1 件)
- ・ YouTube など独学で学んでいる。(1 件)

(3) お住まいの地域における子育ての環境や支援について

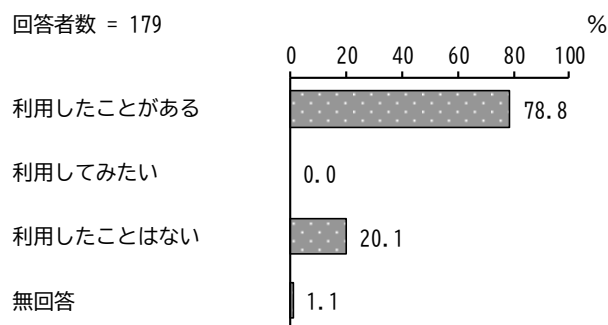
問18 小児初期急病診療所を知っていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が88.8%と最も高くなっています。



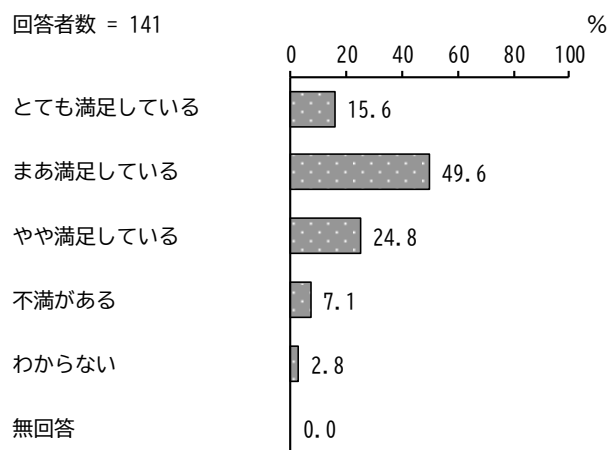
問19 小児初期急病診療所を利用したことがありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が78.8%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が20.1%となっています。



問20 問19で「1. 利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。
小児初期急病診療所を利用してどうでしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まあ満足している」の割合が49.6%と最も高く、次いで「やや満足している」の割合が24.8%、「とても満足している」の割合が15.6%となっています。



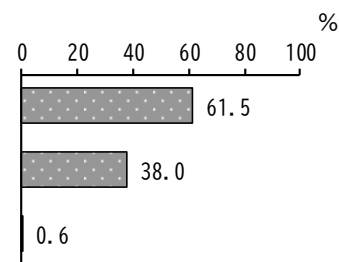
問 21 次の①②が自分の近所で開催されていることを知っていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

①子ども食堂

「知っている」の割合が 61.5%、「知らない」の割合が 38.0%となっています。

回答者数 = 179

知っている
知らない
無回答

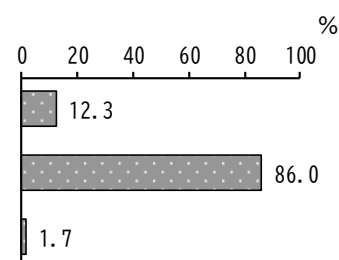


②プレーパーク

「知っている」の割合が 12.3%、「知らない」の割合が 86.0%となっています。

回答者数 = 179

知っている
知らない
無回答

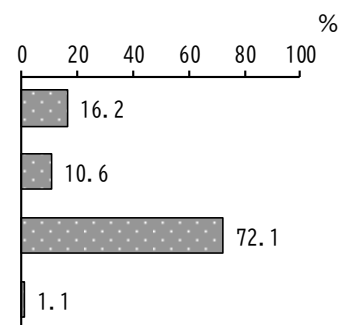


問 22 公立のフリースクールがあったら通わせたいですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらでもない」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「通わせたい」の割合が 16.2%、「通わせたくない」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 179

通わせたい
通わせたくない
どちらでもない
無回答

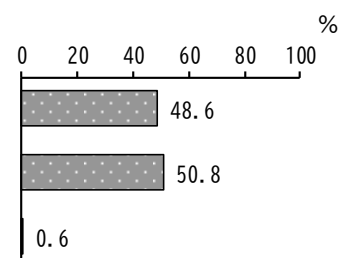


問 23 子ども会や自治会などの地域活動へ参加していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「参加している」の割合が 48.6%、「参加していない」の割合が 50.8%となっています。

回答者数 = 179

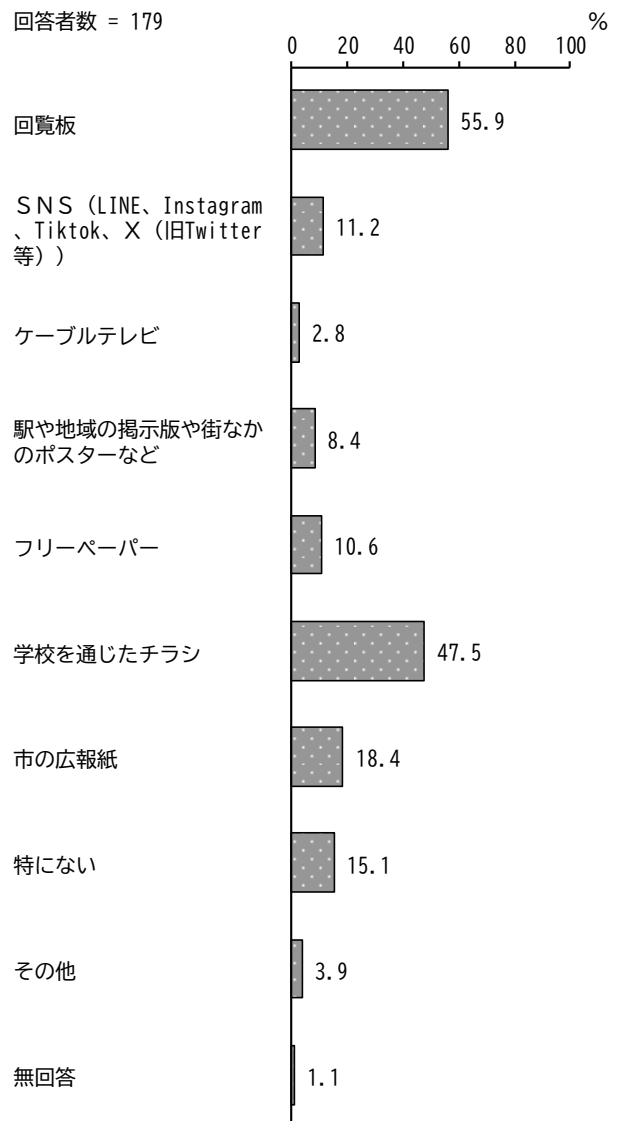
参加している
参加していない
無回答



問 24 地域活動についての情報をどこで知りましたか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「回覧板」の割合が 55.9%と最も高く、次いで
 「学校を通じたチラシ」の割合が 47.5%、「市の
 広報紙」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 179

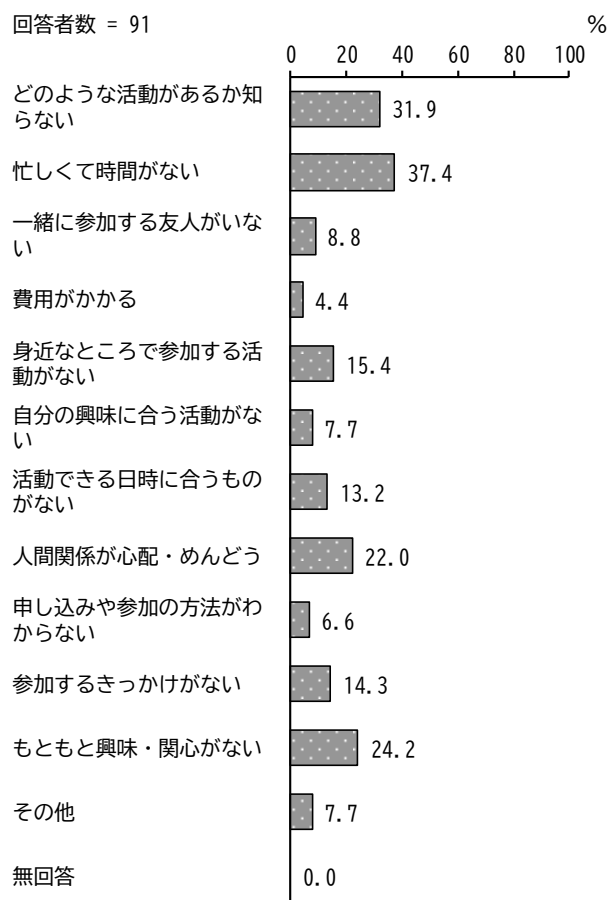


【その他の意見】

- ・ 近所の知人（2件）
- ・ 友人より紹介（1件）
- ・ 佐倉市の LINE（1件）
- ・ 家族が役員をやっていたから。（1件）

問 25 問 23 で「2. 参加していない」に○をつけた方にうかがいます。
参加していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「忙しくて時間がない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「どのような活動があるか知らない」の割合が 31.9%、「もともと興味・関心がない」の割合が 24.2%となっています。

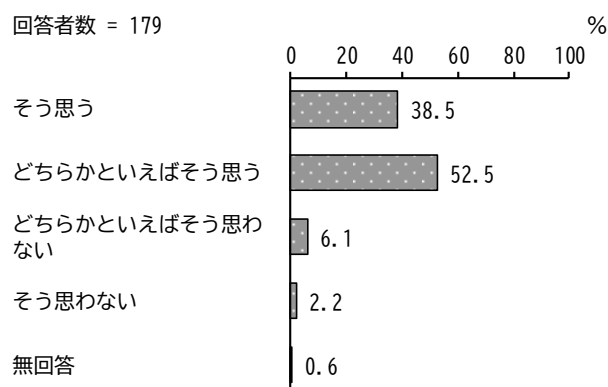


【その他の意見】

- ・小学低学年は子供会に入っていて役員を経験したがコロナ前で毎月土日が潰れて家族に負担がかかり過ぎたので2年で辞めた。(2件)
- ・土日が仕事のため。(2件)
- ・子ども会は小学校までなので、以前は参加していた。(1件)
- ・他県からきたので、まだ地域のことがよくわからない。(1件)

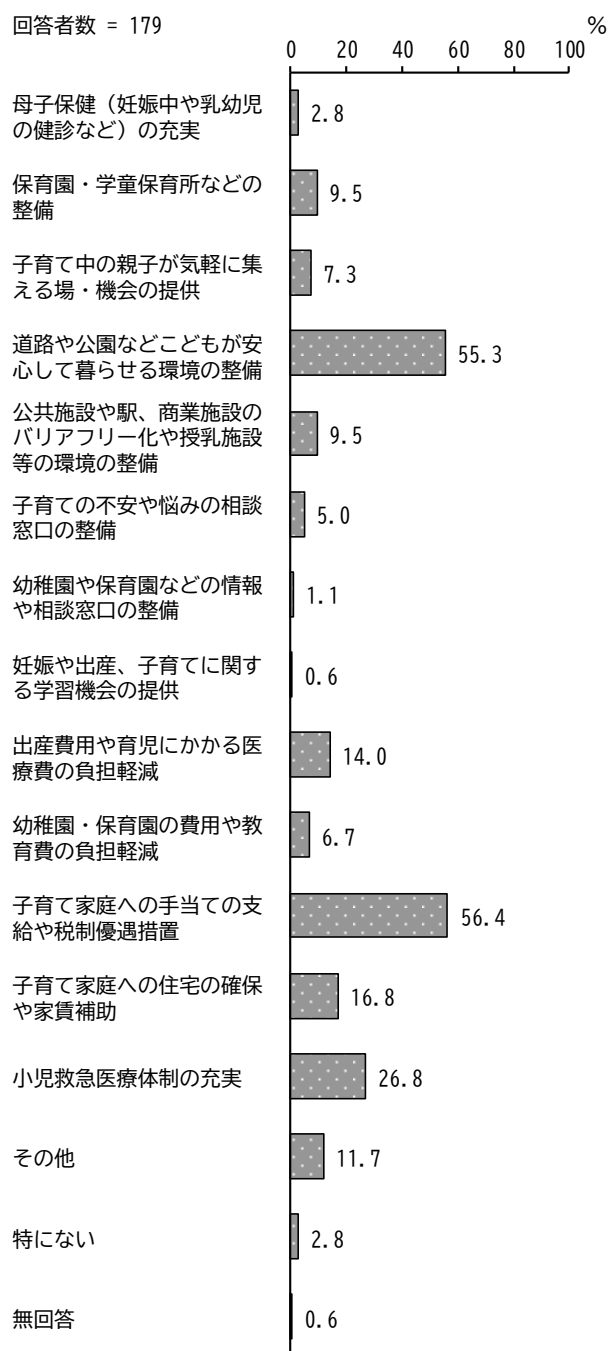
問 26 この地域で今後も子育てをしていきたいですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかといえばそう思う」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 38.5%となっています。



問 27 今後の佐倉市における子育ての環境や支援について、どのようなことを期待しますか。期待する順に上位3つまで○をつけてください。

「子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が 55.3%、「小児救急医療体制の充実」の割合が 26.8%となっています。



【その他の主な意見】

- ・ 高校、大学1人目から費用補助。年収にかかわらず。（4件）
- ・ 佐倉駅界隈や街中など商業施設、道路両脇の木の整備。陽が落ちるとあまりに街が暗く活気がなく、子供だけで習い事に行かせられなかった。また子育てしながら仕事後の買い物等がしにくいのも難点。（2件）
- ・ 医療施設の充実（佐倉地区には充実した設備のある耳鼻科がないため、ユーカリが丘までいかないといけない）（休日救急の対応改善）（2件）
- ・ 学校に通えない子供たちが気軽に勉強できる場や教えてくれる人がいる場。特に金銭的に塾に通えない等の子への学習や進路相談の支援。その親などに向けた情報や集まり。（2件）

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「子育て家庭への住宅の確保や家賃補助」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

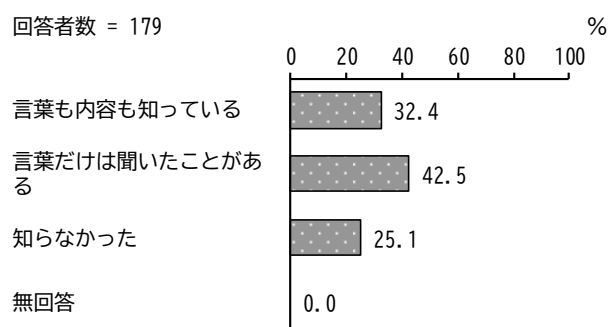
区分	回答者数 (件)	母子保健(妊娠中や 乳幼児の健診など) の充実	保育園・学童保育所 などの整備	子育て中の親子が 気軽に集える場・機 会の提供	道路や公園などこ どもが安心して暮 らせる環境の整備	公共施設や駅、商業 施設のバリアフリ ー化や授乳施設等 の環境の整備	子育ての不安や悩 みの相談窓口の整 備	幼稚園や保育園な どの情報や相談窓 口の整備	妊娠や出産、子育て に関する学習機会 の提供
全 体	179 100.0	5 2.8	17 9.5	13 7.3	99 55.3	17 9.5	9 5.0	2 1.1	1 0.6
タイプA ひとり親	51 100.0	- -	4 7.8	4 7.8	30 58.8	9 17.6	1 2.0	- -	- -
タイプB フル×フル	36 100.0	2 5.6	6 16.7	3 8.3	22 61.1	1 2.8	3 8.3	2 5.6	- -
タイプC フル×パート	67 100.0	2 3.0	7 10.4	4 6.0	34 50.7	4 6.0	3 4.5	- -	1 1.5
タイプD 専業主婦 (夫)	23 100.0	1 4.3	- -	2 8.7	13 56.5	3 13.0	1 4.3	- -	- -
タイプE パート× パート	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF 無業×無 業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	出産費用や育児に かかる医療費の負担 軽減	幼稚園・保育園の費 用や教育費の負担 軽減	子育て家庭への税の制 当ての支給措置	子育て家庭への住 宅の確保や家賃の補 助	小児救急医療体制 の充実	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	25 14.0	12 6.7	101 56.4	30 16.8	48 26.8	21 11.7	5 2.8	1 0.6
タイプA ひとり親	7 13.7	2 3.9	32 62.7	16 31.4	14 27.5	7 13.7	- -	- -
タイプB フル×フル	6 16.7	3 8.3	12 33.3	2 5.6	12 33.3	3 8.3	3 8.3	1 2.8
タイプC フル×パート	10 14.9	6 9.0	43 64.2	10 14.9	15 22.4	9 13.4	1 1.5	- -
タイプD 専業主婦 (夫)	2 8.7	1 4.3	13 56.5	2 8.7	6 26.1	2 8.7	- -	- -
タイプE パート× パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
タイプF 無業×無 業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 28 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか。
 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が 32.4%、「知らなかった」の割合が 25.1%となっています。

回答者数 = 179

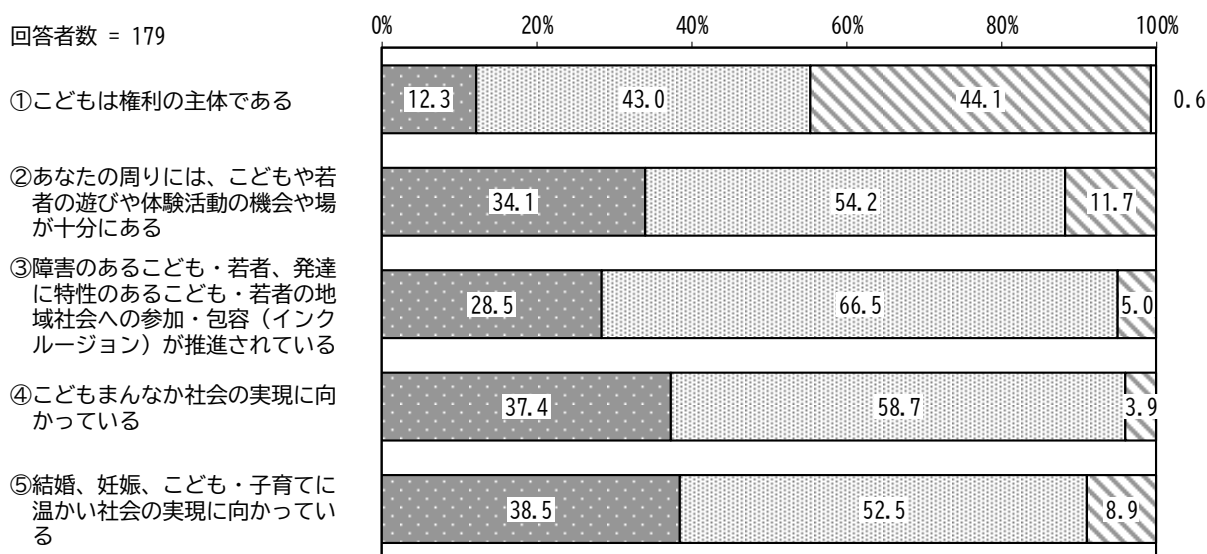


問 29 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。
 それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

『⑤結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。一方、『①こどもは権利の主体である』で「そう思う」の割合が高くなっています。

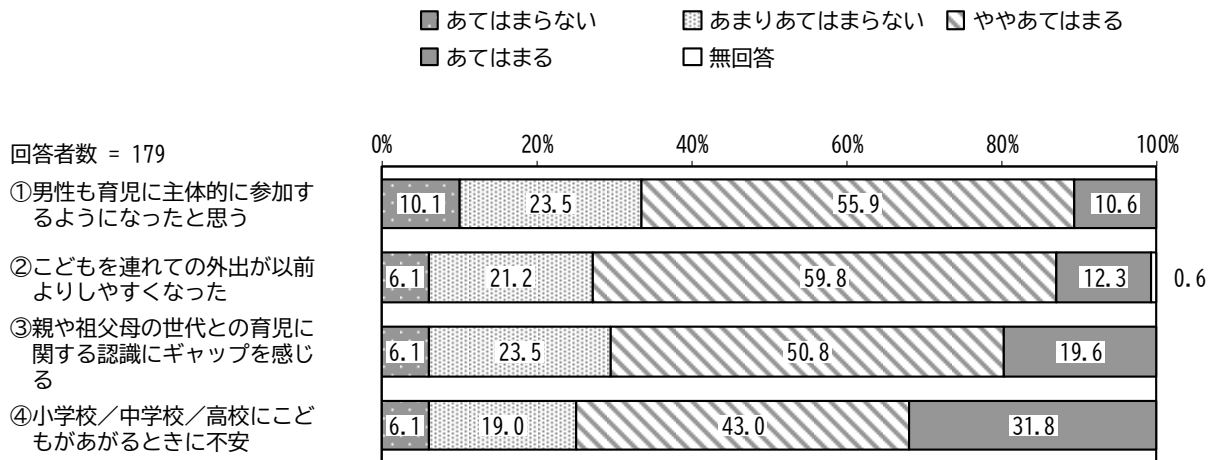
■ そう思わない ■ どちらともいえない ■ そう思う □ 無回答

回答者数 = 179



問 30 いまのあなたの気持ちにそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『②子どもを連れての外出が以前よりしやすくなった』で「ややあてはまる」の割合が、『④小学校／中学校／高校に子どもがあがるときに不安』で「あてはまる」の割合が高くなっています。



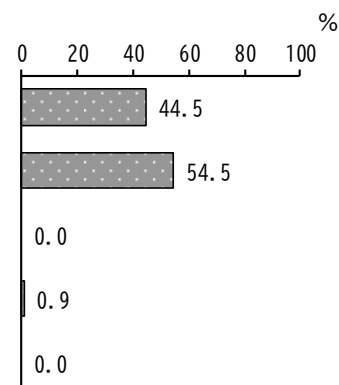
4 小学生本人

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」の割合が 44.5%、「女性」の割合が 54.5%となっています。

回答者数 = 211

男性
女性
どちらでもない
答えたくない
無回答

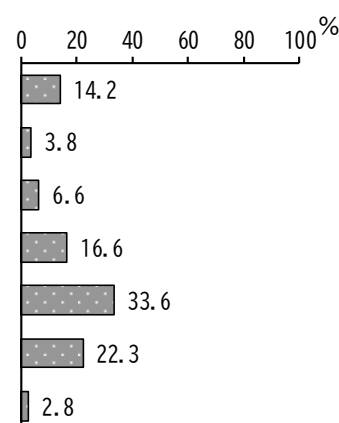


問2 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○)

「寺崎小学校」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「染井野小学校」の割合が 22.3%、「小竹小学校」の割合が 16.6%となっています。

回答者数 = 211

内郷小学校
臼井小学校
志津小学校
小竹小学校
寺崎小学校
染井野小学校
無回答

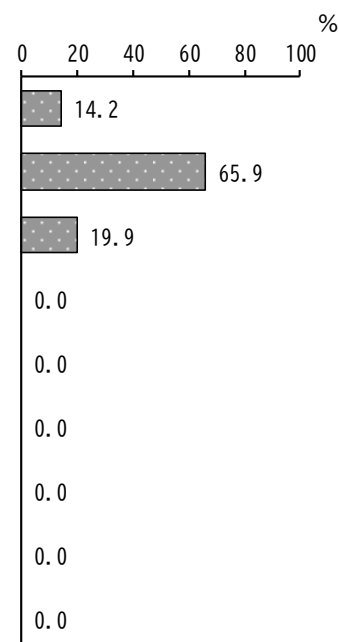


問3 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

「午前6時ごろ」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「午前7時ごろ」の割合が 19.9%、「午前6時より前」の割合が 14.2%となっています。

回答者数 = 211

午前6時より前
午前6時ごろ
午前7時ごろ
午前8時ごろ
午前9時ごろ
午前10時ごろ
午前11時ごろ
正午以降
無回答



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	午前6時より前	午前6時ごろ	午前7時ごろ	午前8時ごろ	午前9時ごろ	午前10時ごろ	午前11時ごろ	正午以降	無回答
全 体	211 100.0	30 14.2	139 65.9	42 19.9	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ふたり親世帯	98 100.0	16 16.3	66 67.3	16 16.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ひとり親世帯	30 100.0	3 10.0	21 70.0	6 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
その他（不明等）	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問4 あなたは朝ごはんを食べていますか。（1つに○）

「ほとんど毎日食べる」の割合が92.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 211

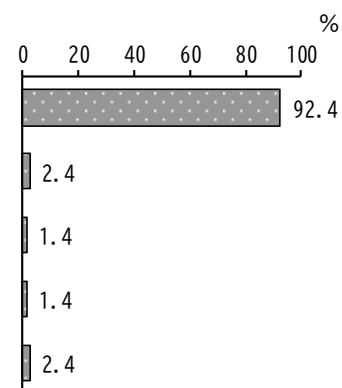
ほとんど毎日食べる

週4～5日は食べる

週2～3日は食べる

ほとんど食べない

無回答



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	ほとんど毎日食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	211 100.0	195 92.4	5 2.4	3 1.4	3 1.4	5 2.4
ふたり親世帯	98 100.0	92 93.9	2 2.0	1 1.0	1 1.0	2 2.0
ひとり親世帯	30 100.0	27 90.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	- -
その他（不明等）	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、大きな差はみられません。

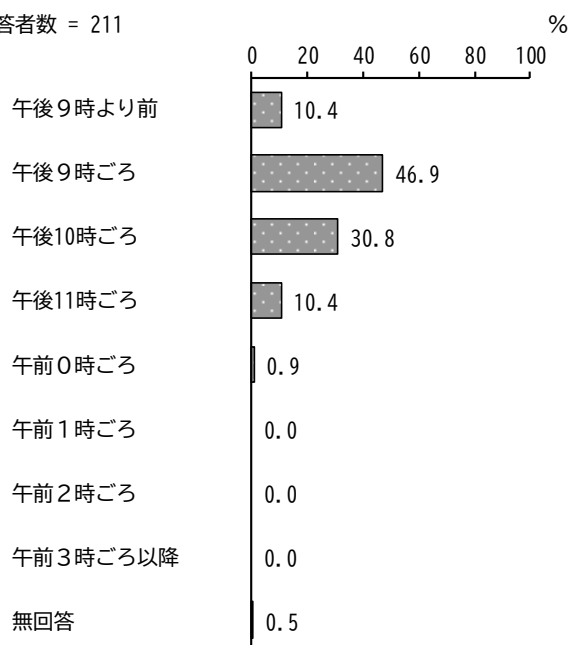
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	ほとんど毎日食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	211 100.0	195 92.4	5 2.4	3 1.4	3 1.4	5 2.4
360万円未満	11 100.0	9 81.8	1 9.1	－ －	－ －	1 9.1
360万円以上720万円未満	50 100.0	48 96.0	－ －	1 2.0	1 2.0	－ －
720万円以上	67 100.0	62 92.5	2 3.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5

問5 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろにねますか。（1つに○）

「午後9時ごろ」の割合が46.9%と最も高く、次いで「午後10時ごろ」の割合が30.8%、「午後9時より前」、「午後11時ごろ」の割合が10.4%となっています。

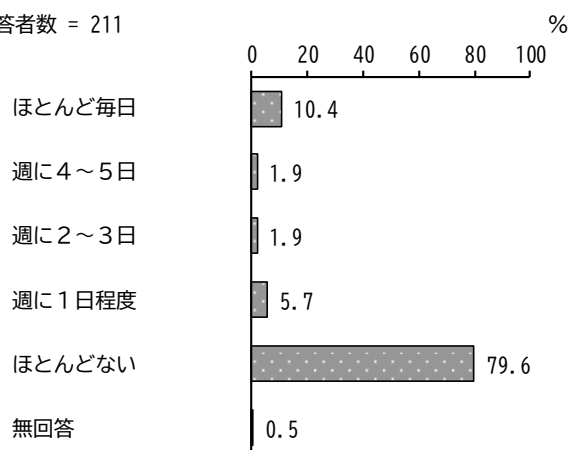
回答者数 = 211



問6 あなたは、夕ごはんをこどもだけ（一人だけをふくむ）で食べることがありますか。（1つに○）

「ほとんどない」の割合が79.6%と最も高く、次いで「ほとんど毎日」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 211



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全 体	211 100.0	22 10.4	4 1.9	4 1.9	12 5.7	168 79.6	1 0.5
ふたり親世帯	98 100.0	6 6.1	-	2 2.0	6 6.1	83 84.7	1 1.0
ひとり親世帯	30 100.0	2 6.7	-	1 3.3	3 10.0	24 80.0	-
その他（不明等）	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全 体	211 100.0	22 10.4	4 1.9	4 1.9	12 5.7	168 79.6	1 0.5
360万円未満	11 100.0	2 18.2	1 9.1	-	1 9.1	7 63.6	-
360万円以上720万円未満	50 100.0	4 8.0	-	2 4.0	3 6.0	41 82.0	-
720万円以上	67 100.0	2 3.0	-	1 1.5	5 7.5	58 86.6	1 1.5

問7 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が63.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が30.8%となっています。

回答者数 = 211

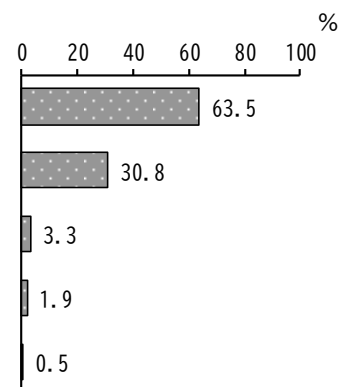
楽しい

どちらかといえば楽しい

どちらかといえば楽しくない

楽しくない

無回答



問8 問7で「3. どちらかといえば楽しくない」「4. 楽しくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか? 「8. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「勉強についていけない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「友達がいない」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 11

友達がいない

いじめられている

自分の思うとおりにいかない

勉強についていけない

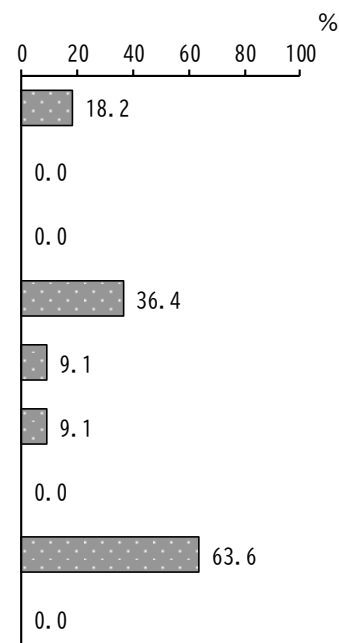
友達と自分をくらべてしまう

わからない

答えたくない

その他

無回答



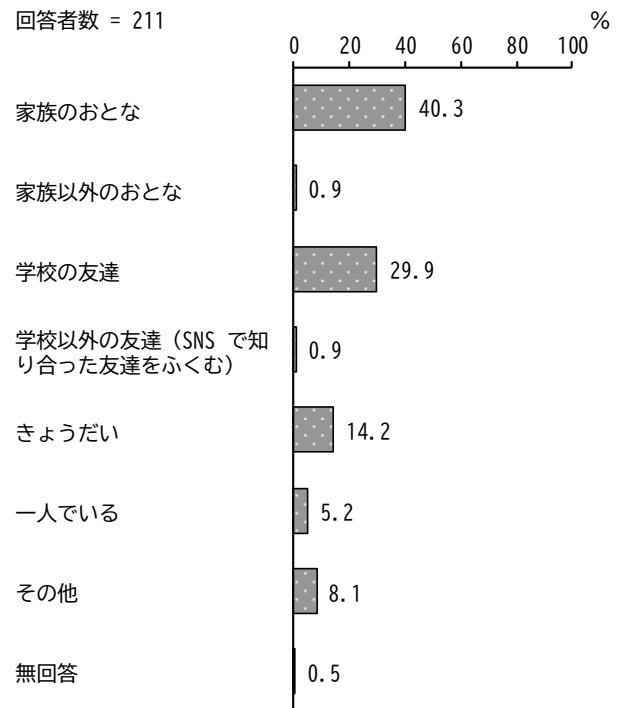
【その他の意見】

- ・勉強がいや。(2件)
- ・勉強が簡単で時間が無駄になっている気がする。(1件)
- ・家にいるほうが楽しいから。(1件)
- ・友達や、親友が少ないから。勉強が難しいから。(1件)
- ・なかのよいとも。(1件)
- ・疲れるいろいろあるから。(1件)

問9 あなたは放課後に、だれとすごすことが一番多いですか。「7. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(1つに○)

「家族のおとな」の割合が40.3%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が29.9%、「きょうだい」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 211



【その他の意見】

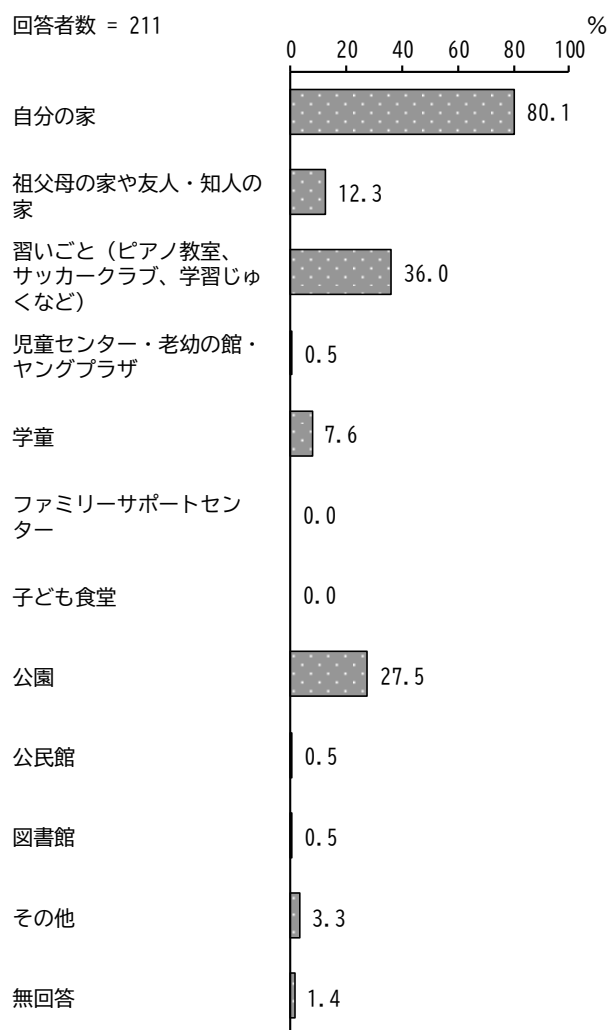
- ・家族と兄弟(8件)
- ・学童の友達と遊んでいる。(2件)
- ・3番と5番(1件)

- ・塾にいる、1人。(4件)
- ・日によって違う。(1件)
- ・犬(1件)

問 10 あなたは放課後に、どこで過ごすことが多いですか。「11. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(3つまで○)

「自分の家」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習じゅくなど）」の割合が 36.0%、「公園」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 211



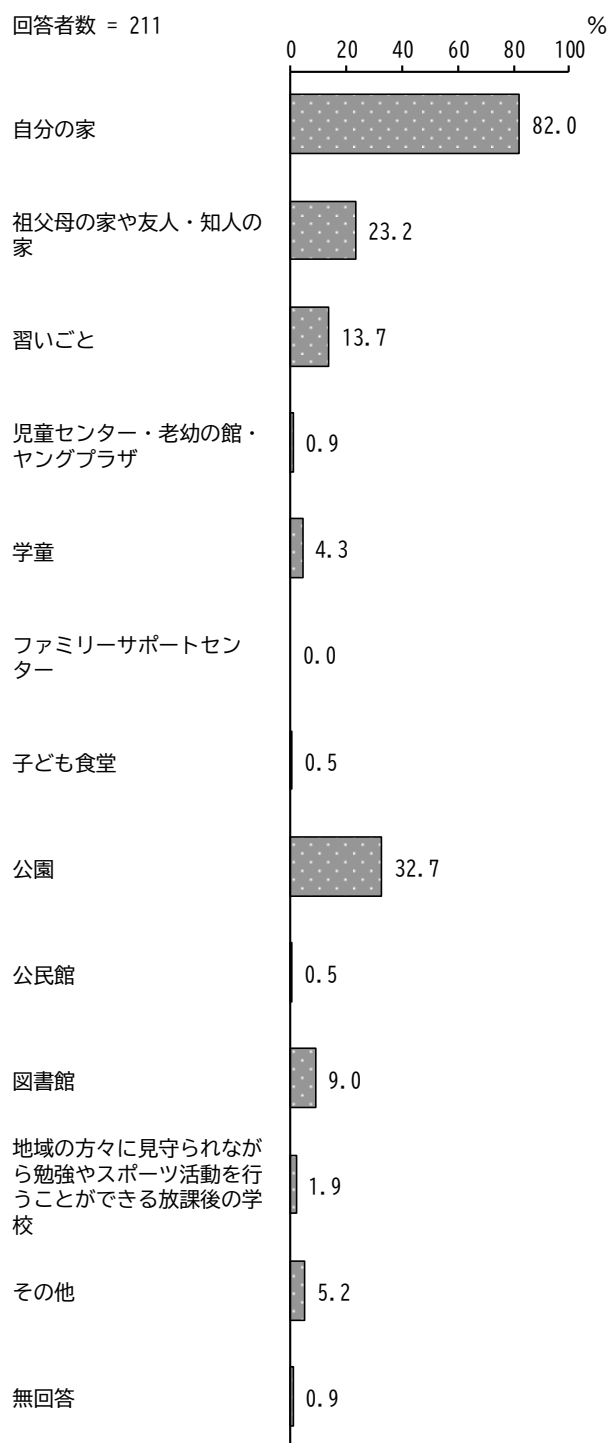
【その他の意見】

- ・放課後デイサービス（2件）
- ・友達の家（1件）
- ・校庭（1件）
- ・友達が住んでいるタワーで集まって遊んでいる（その遊び場で）（1件）
- ・弟のサッカーに、一緒に自主練習している。（1件）

問 11 あなたは放課後に、どこで過ごしたいですか。「12. その他」に○をした時は、
（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（3つまで○）

「自分の家」の割合が 82.0%と最も高く、次いで「公園」の割合が 32.7%、「祖父母の家や友人・知人の家」の割合が 23.2%となっています。

回答者数 = 211

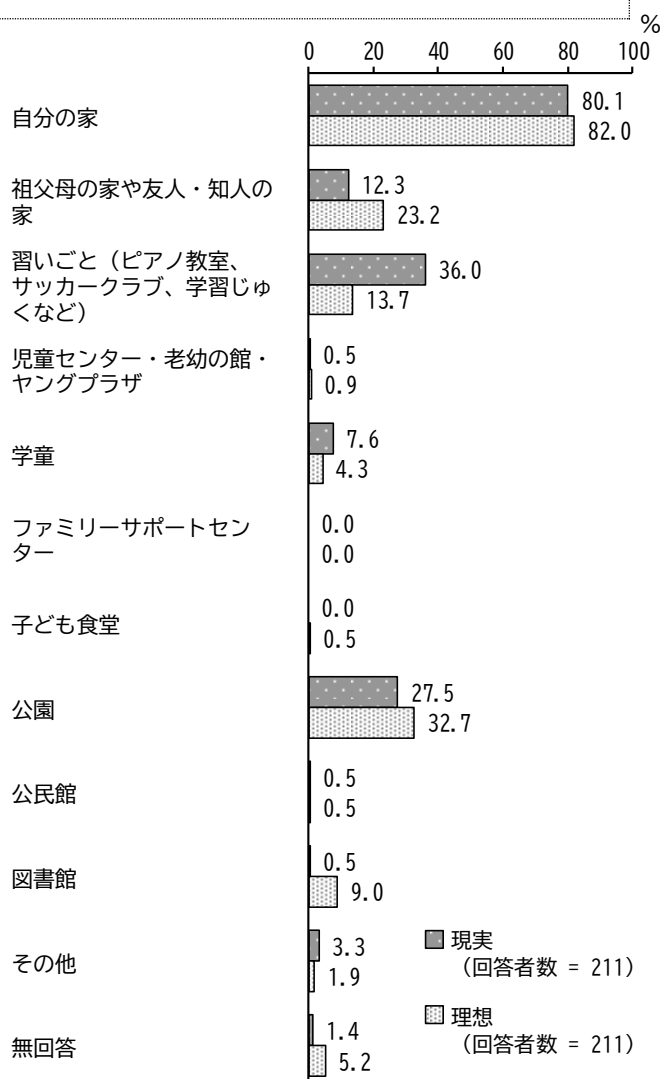


【その他の意見】

- ・ 放課後等デイサービス（2件）
- ・ 遊ぶ公園以外の場所（1件）
- ・ 友達の家（1件）
- ・ 友達が住んでいるタワー（その遊び場で）友達と。（1件）
- ・ 山とか自然のあるところで、もやもや、をすっきりしたいから。（1件）
- ・ みんなが大体住んでいる通り（2件）
- ・ 遊ぶところ（1件）
- ・ 校庭（1件）

放課後の過ごし方 現実と理想の比較

理想と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が増加しています。一方、「祖父母の家や友人・知人の家」「図書館」の割合が減少しています。

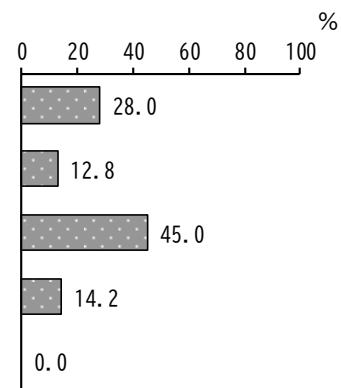


問 12 あなたは、じゅくや習いごとに通っていますか。(1つに○)

「平日の放課後、休日のいずれにも通っている」の割合が45.0%と最も高く、次いで「平日の放課後のみ通っている」の割合が28.0%、「通っていない」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 211

平日の放課後のみ通っている
 休日のみ通っている
 平日の放課後、休日のいずれにも通っている
 通っていない
 無回答



【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「平日の放課後のみ通っている」、「通っていない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	平日の放課後のみ通っている	休日のみ通っている	平日の放課後、休日のいずれにも通っている	通っていない	無回答
全 体	211 100.0	59 28.0	27 12.8	95 45.0	30 14.2	- -
360万円未満	11 100.0	6 54.5	- -	3 27.3	2 18.2	- -
360万円以上720万円未満	50 100.0	12 24.0	7 14.0	25 50.0	6 12.0	- -
720万円以上	67 100.0	19 28.4	8 11.9	33 49.3	7 10.4	- -

問13 問12で「4. 通っていない」とお答えの方にうかがいます。じゅくや習いごとに通いたいですか。() 内に習いたいことを書いてください。(1つに○)

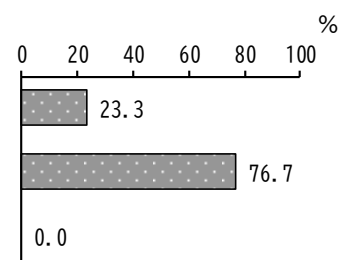
「通いたい」の割合が23.3%、「通いたくない」の割合が76.7%となっています。

回答者数 = 30

通いたい

通いたくない

無回答



【その他の意見】

- ・スイミングをしたい。(1件)
- ・ダンス (1件)
- ・くもん (1件)
- ・英会話やトランポリン (1件)
- ・色々ある。(1件)
- ・分からない所が分かるようになり、学力が上がるから。(1件)

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「通いたい」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	通いたい	通いたくない	無回答
全 体	30 100.0	7 23.3	23 76.7	- -
360万円未満	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
360万円以上720万円未満	6 100.0	2 33.3	4 66.7	- -
720万円以上	7 100.0	1 14.3	6 85.7	- -

問14 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を日常的に行っているこどものことを指します。例えば、家族のお風呂やトイレのお世話、きょうだいのお世話など。)(1つに○)

「知らない」の割合が73.0%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が17.5%となっています。

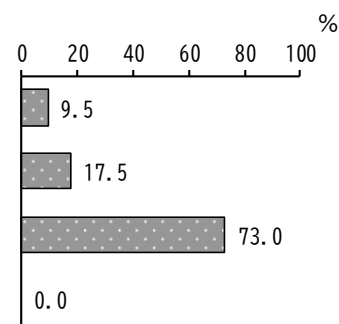
回答者数 = 211

言葉も内容も知っている

言葉だけは聞いたことがある

知らない

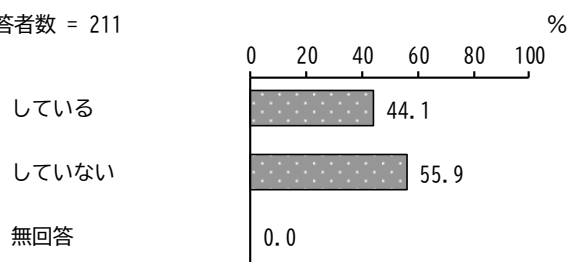
無回答



問 15 ふつう、大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしていますか。
(1つに○)

「している」の割合が 44.1%、「していない」の割合が 55.9%となっています。

回答者数 = 211



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「している」の割合が、ふたり親世帯で「していない」の割合が高くなっています。

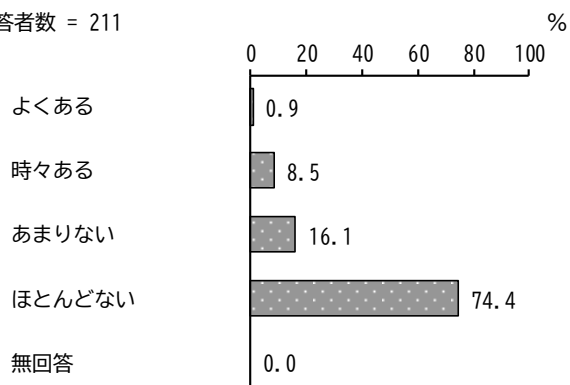
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	している	していない	無回答
全 体	211 100.0	93 44.1	118 55.9	- -
ふたり親世帯	98 100.0	37 37.8	61 62.2	- -
ひとり親世帯	30 100.0	17 56.7	13 43.3	- -
その他（不明等）	1 100.0	1 100.0	- -	- -

問 16 家族のお手伝いが理由で登校できない日があったり、宿題ができないことはありますか。(1つに○)

「ほとんどない」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 16.1%となっています。

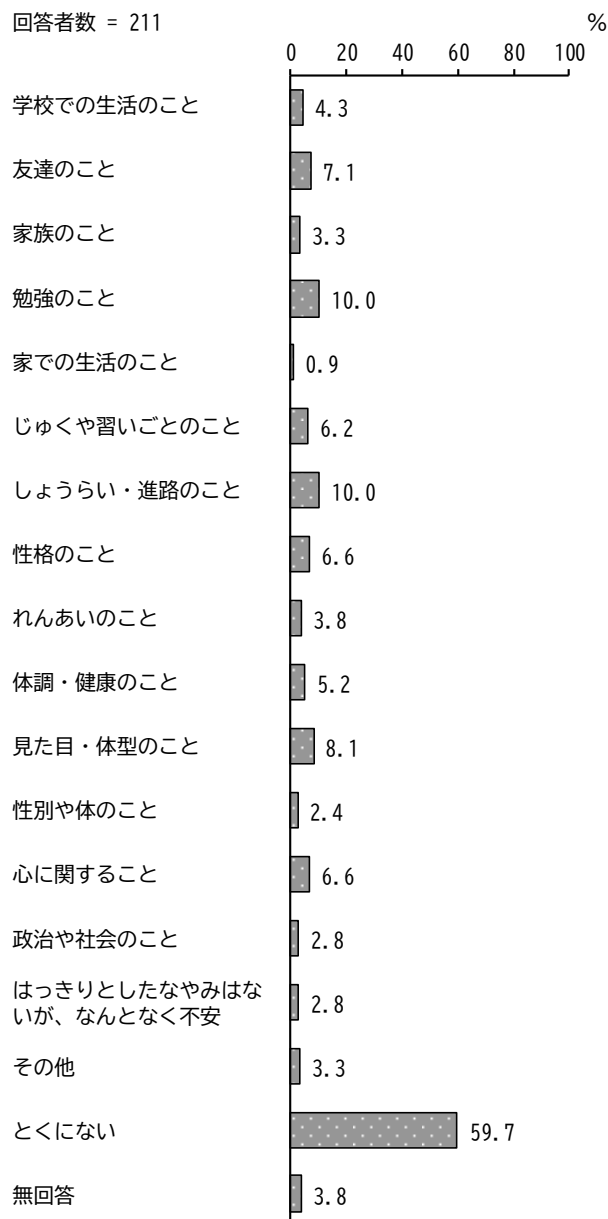
回答者数 = 211



問 17 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。「16. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「とくにない」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「勉強のこと」、「しょうらい・進路のこと」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 211



【その他の意見】

- ・学校の先生について。(1件)
- ・生きる価値があるのか。(1件)
- ・夜更かしをしてしまうこと。(1件)
- ・こまったこと(理由)、3年生の女の子がうでとかいたずらをしてくるのがいつもやってくることもある。もう一つある。1年生の男の子のこえがうるさくしてくることもある。(1件)
- ・せいりの事。(1件)
- ・タブレットのこと。(1件)

【性別】

性別にみると、男性で「とくにない」の割合が高くなっています。一方、女性で「友達のこと」、「しょうらい・進路のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	じゅくや習い事のこと	しょうらい・進路のこと	性格のこと	れんあいのこと
全 体	211 100.0	9 4.3	15 7.1	7 3.3	21 10.0	2 0.9	13 6.2	21 10.0	14 6.6	8 3.8
男性	94 100.0	4 4.3	3 3.2	3 3.2	6 6.4	1 1.1	4 4.3	6 6.4	4 4.3	2 2.1
女性	115 100.0	5 4.3	12 10.4	4 3.5	15 13.0	1 0.9	9 7.8	15 13.0	10 8.7	6 5.2
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関すること	政治や社会のこと	はつきりとした やみはないが、なん となく不安	その他	とくにない	無回答
全 体	11 5.2	17 8.1	5 2.4	14 6.6	6 2.8	6 2.8	7 3.3	126 59.7	8 3.8
男性	5 5.3	6 6.4	3 3.2	6 6.4	4 4.3	2 2.1	3 3.2	60 63.8	4 4.3
女性	6 5.2	11 9.6	2 1.7	8 7.0	2 1.7	4 3.5	4 3.5	64 55.7	4 3.5
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	じゅくや習い事のこと	しょうらい・進路のこと	性格のこと	れんあいのこと
全 体	211 100.0	9 4.3	15 7.1	7 3.3	21 10.0	2 0.9	13 6.2	21 10.0	14 6.6	8 3.8
360 万円未満	11 100.0	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1	- -	1 9.1	- -	1 9.1	- -
360 万円以上 720 万円未満	50 100.0	2 4.0	5 10.0	1 2.0	4 8.0	- -	5 10.0	6 12.0	2 4.0	2 4.0
720 万円以上	67 100.0	2 3.0	4 6.0	3 4.5	9 13.4	- -	5 7.5	7 10.4	4 6.0	2 3.0

区分	体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関すること	政治や社会のこと	はつきりとした やみはないが、なん となく不安	その他	とくにない	無回答
全 体	11 5.2	17 8.1	5 2.4	14 6.6	6 2.8	6 2.8	7 3.3	126 59.7	8 3.8
360 万円未満	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- -	- -	2 18.2	7 63.6	1 9.1
360 万円以上 720 万円未満	3 6.0	5 10.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0	28 56.0	- -
720 万円以上	1 1.5	4 6.0	1 1.5	3 4.5	1 1.5	2 3.0	1 1.5	42 62.7	4 6.0

【相談相手別】

相談相手別にみると、とくにいないで「勉強のこと」「しょうらい・進路のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	と学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	じゅくや習いごとのこと	しょうらい・進路のこと	性格のこと	れんあいのこと
全 体	211 100.0	9 4.3	15 7.1	7 3.3	21 10.0	2 0.9	13 6.2	21 10.0	14 6.6	8 3.8
家族のおとな	161 100.0	7 4.3	12 7.5	1 0.6	13 8.1	－ －	10 6.2	17 10.6	10 6.2	7 4.3
学校の先生	89 100.0	4 4.5	12 13.5	3 3.4	5 5.6	－ －	5 5.6	6 6.7	4 4.5	3 3.4
学校の友達	87 100.0	1 1.1	5 5.7	－ －	7 8.0	1 1.1	－ －	7 8.0	3 3.4	2 2.3
学校以外の友達（習いごとなどの友達）	22 100.0	2 9.1	2 9.1	－ －	1 4.5	－ －	2 9.1	3 13.6	2 9.1	3 13.6
きょうだい	64 100.0	2 3.1	3 4.7	－ －	6 9.4	－ －	5 7.8	5 7.8	3 4.7	3 4.7
家族・学校の先生以外のおとな	9 100.0	1 11.1	1 11.1	－ －	1 11.1	－ －	1 11.1	1 11.1	1 11.1	－ －
インターネット・SNSでつながっている人	3 100.0	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
その他	4 100.0	1 25.0	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －
とくにいない	21 100.0	2 9.5	－ －	3 14.3	4 19.0	1 4.8	2 9.5	4 19.0	4 19.0	1 4.8

単位 上段：件、下段：％

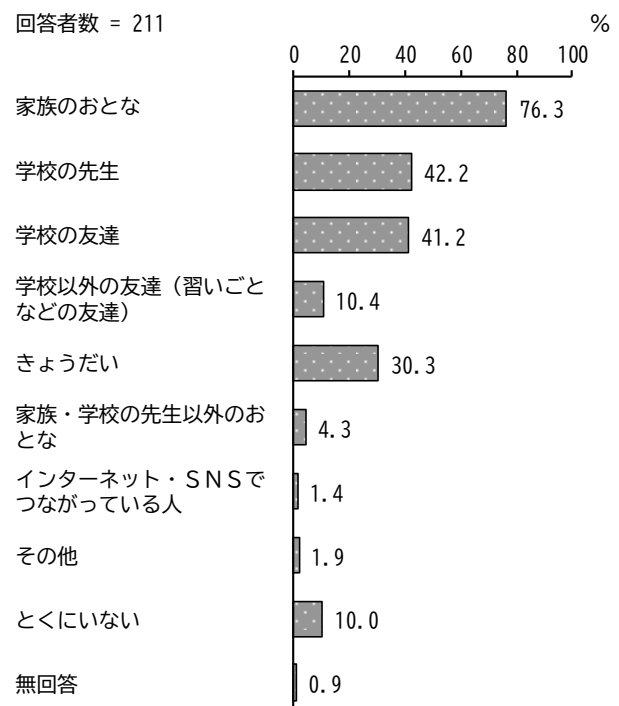
区分	体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関すること	政治や社会のこと	はつきりとしたなやみはないが、なんとなく不安	その他	とくにない	無回答
全 体	11 5.2	17 8.1	5 2.4	14 6.6	6 2.8	6 2.8	7 3.3	126 59.7	8 3.8
家族のおとな	9 5.6	11 6.8	2 1.2	9 5.6	3 1.9	6 3.7	5 3.1	100 62.1	5 3.1
学校の先生	4 4.5	6 6.7	3 3.4	6 6.7	2 2.2	1 1.1	3 3.4	54 60.7	5 5.6
学校の友達	4 4.6	5 5.7	－ －	1 1.1	3 3.4	3 3.4	2 2.3	56 64.4	4 4.6
学校以外の友達（習いごとなどの友達）	1 4.5	1 4.5	1 4.5	1 4.5	1 4.5	－ －	1 4.5	13 59.1	－ －
きょうだい	4 6.3	4 6.3	1 1.6	4 6.3	2 3.1	2 3.1	－ －	41 64.1	2 3.1
家族・学校の先生以外のおとな	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	－ －	－ －	2 22.2	5 55.6	－ －
インターネット・SNSでつながっている人	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －
その他	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	－ －	－ －	－ －	3 75.0	－ －
とくにいない	2 9.5	3 14.3	1 4.8	4 19.0	2 9.5	－ －	1 4.8	12 57.1	2 9.5

(前ページ表 続き)

問 18 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の
中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。「8. その他」に○をし
た時は、()の中に自分で考えた答えを「9. とくにいない」に○をした時は、
()の中にその理由を書いてください。(すべてに○)

「家族のおとな」の割合が 76.3%と最も高く、
次いで「学校の先生」の割合が 42.2%、「学校の
友達」の割合が 41.2%となっています。

回答者数 = 211



【その他の意見】

- ・放課後等デイサービス（１件）
- ・スクールカウンセラー（１件）
- ・まず悩み事がない。（１件）
- ・自分のペットに言う。（１件）

【とくにいない理由】

- ・困っていることはほぼないから。（５件）
- ・信頼できる人があまりいない。（４件）
- ・相談したところで助けてくれない。（１件）
- ・相談しにくい。（１件）
- ・みんな、分かってくれない。言う勇気がない。（１件）

【世帯構成別】

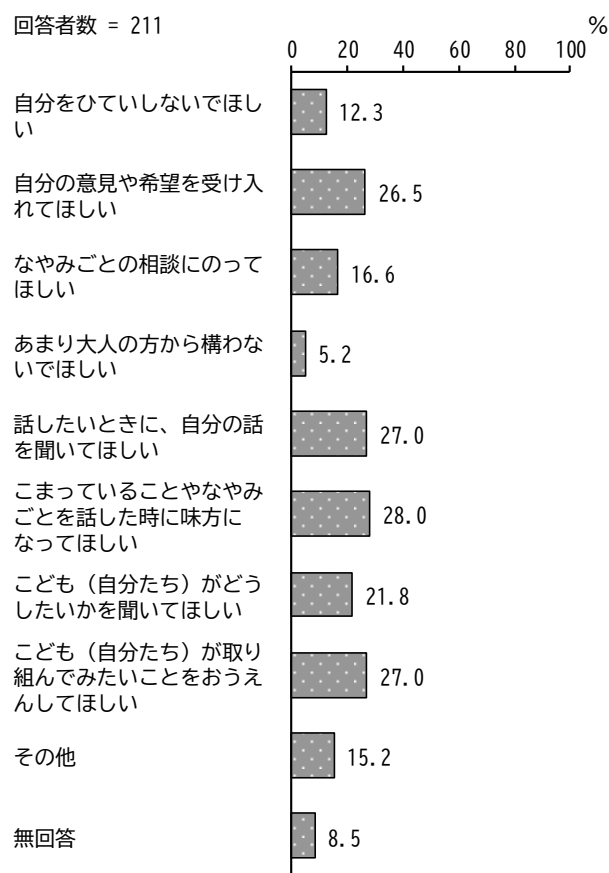
世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「家族のおとな」、「学校の先生」、「学校の友達」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	家族のおとな	学校の先生	学校の友達	学校以外の友達（習いごとなどの友達）	きょうだい	家族・学校の先生以外のおとな	インターネット・SNSでつながっている人	その他	とくにいない	無回答
全 体	211 100.0	161 76.3	89 42.2	87 41.2	22 10.4	64 30.3	9 4.3	3 1.4	4 1.9	21 10.0	2 0.9
ふたり親世帯	98 100.0	77 78.6	43 43.9	37 37.8	10 10.2	31 31.6	2 2.0	1 1.0	3 3.1	9 9.2	1 1.0
ひとり親世帯	30 100.0	26 86.7	17 56.7	18 60.0	4 13.3	11 36.7	- -	- -	- -	2 6.7	- -
その他（不明等）	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 19 あなたが、周りの大人に望むことは何ですか。「9. その他」に○をした時は、
（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（すべてに○）

「こまっていることやなやみごとを話した時に味方になってほしい」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「話したいときに、自分の話を聞いてほしい」、「こども（自分たち）が取り組んでみたいことをおうえんしてほしい」の割合が 27.0%となっています。

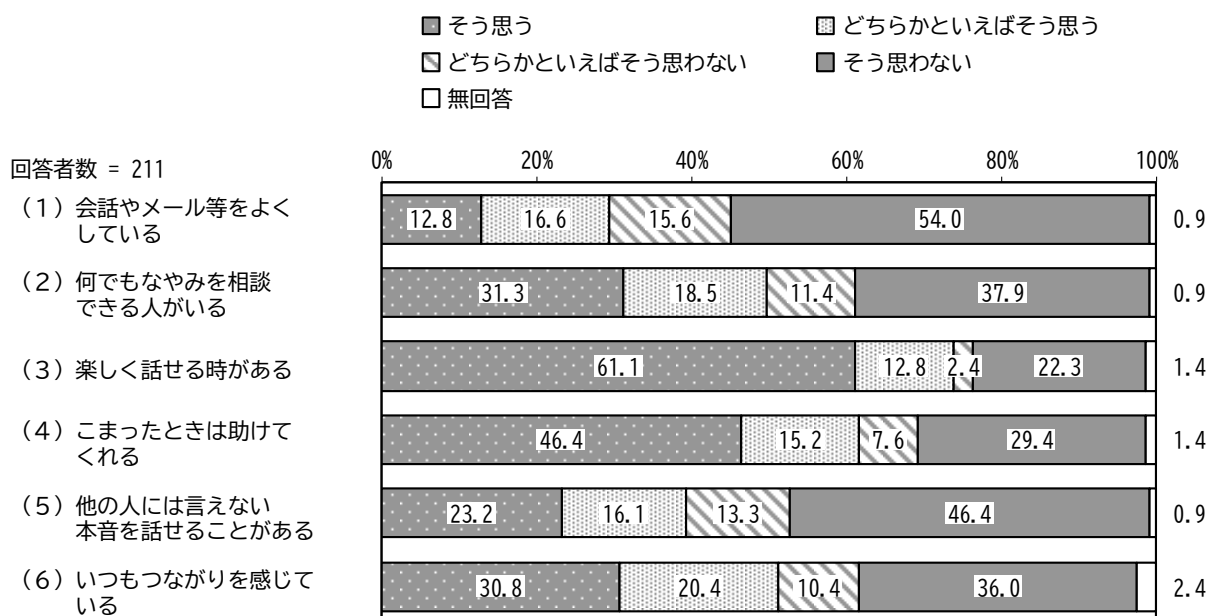


【その他の意見】

- ・一緒に遊んでほしい。（2件）
- ・一緒に勉強したい。（1件）
- ・特に望まない。（1件）
- ・問題はない。（1件）
- ・自分たちに悪影響なことを教えないでほしい。（1件）
- ・ゆっくりと話を聞いてほしい。お勉強でどうしてそうなるかを教えてほしい。（1件）

問 20 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（1つに○）

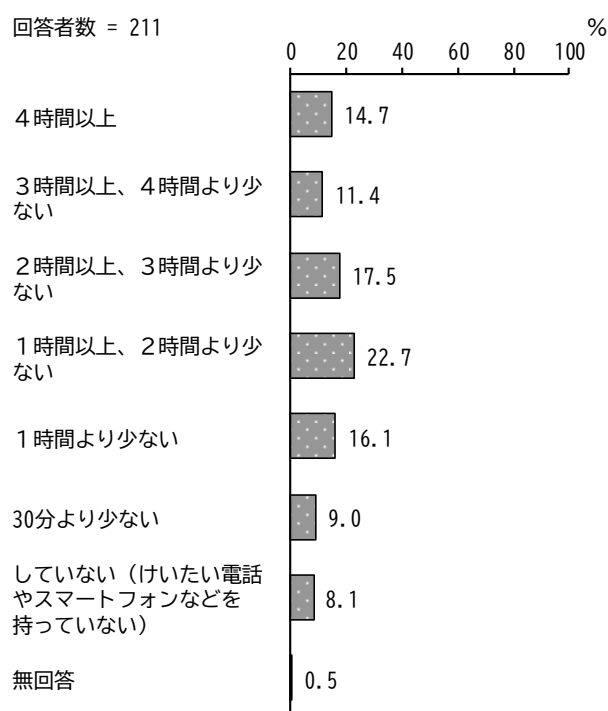
『(1) 会話やメール等をよくしている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。一方、『(3) 楽しく話せる時がある』で「そう思う」の割合が高くなっています。



問 21 あなたは、プライベートにおいて、1日のうちどれくらいの時間、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使用して、SNSや動画しちよう、ゲームなどを行っていますか。平日、土日祝日それぞれの時間をお答えください。（1つに○）

【平日】

「1時間以上、2時間より少ない」の割合が22.7%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が17.5%、「1時間より少ない」の割合が16.1%となっています。



【世帯構成別（平日）】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（けいたい電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	211 100.0	31 14.7	24 11.4	37 17.5	48 22.7	34 16.1	19 9.0	17 8.1	1 0.5
ふたり親世帯	98 100.0	14 14.3	14 14.3	9 9.2	24 24.5	14 14.3	11 11.2	12 12.2	- -
ひとり親世帯	30 100.0	2 6.7	2 6.7	8 26.7	10 33.3	7 23.3	- -	1 3.3	- -
その他（不明等）	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別（平日）】

世帯収入別にみると、360万円未満で「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。

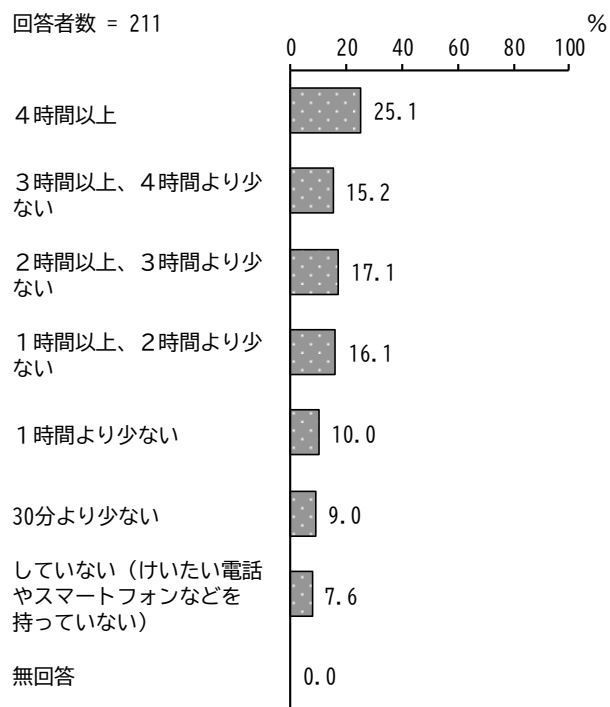
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（けいたい電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	211 100.0	31 14.7	24 11.4	37 17.5	48 22.7	34 16.1	19 9.0	17 8.1	1 0.5
360万円未満	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	4 36.4	1 9.1	- -	1 9.1	- -
360万円以上720万円未満	50 100.0	7 14.0	7 14.0	5 10.0	16 32.0	6 12.0	5 10.0	4 8.0	- -
720万円以上	67 100.0	8 11.9	7 10.4	11 16.4	14 20.9	14 20.9	6 9.0	7 10.4	- -

【土日祝日】

「4時間以上」の割合が25.1%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が17.1%、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 211



【世帯構成別（土日祝日）】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「2時間以上、3時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（けいたい電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	211 100.0	53 25.1	32 15.2	36 17.1	34 16.1	21 10.0	19 9.0	16 7.6	- -
ふたり親世帯	98 100.0	22 22.4	12 12.2	16 16.3	14 14.3	13 13.3	8 8.2	13 13.3	- -
ひとり親世帯	30 100.0	5 16.7	7 23.3	8 26.7	6 20.0	2 6.7	2 6.7	- -	- -
その他（不明等）	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

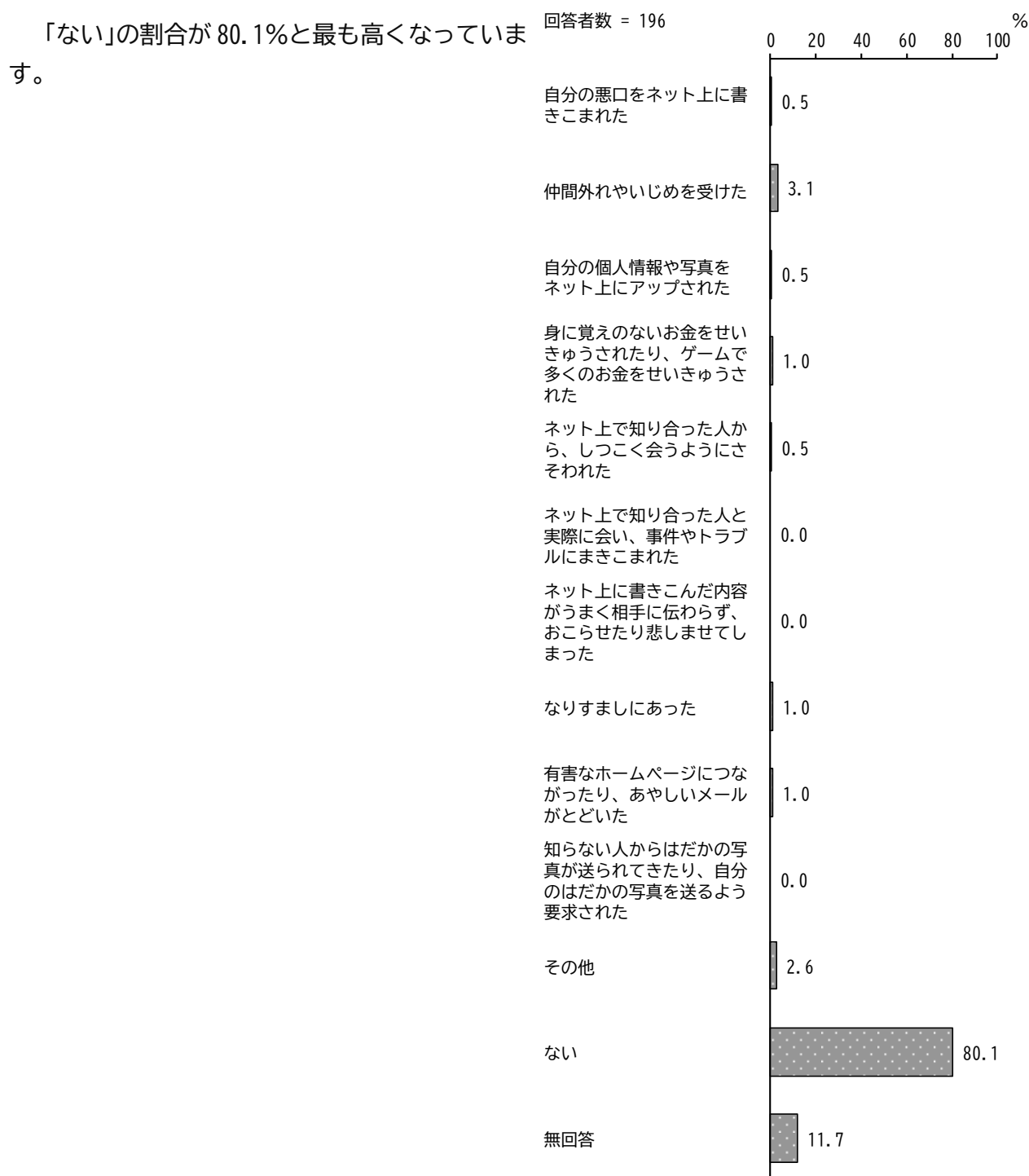
【世帯収入別（土日祝日）】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	4 時間以上	3 時間以上、4 時間より少ない	2 時間以上、3 時間より少ない	1 時間以上、2 時間より少ない	1 時間より少ない	30 分より少ない	していない（けいたい電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	211 100.0	53 25.1	32 15.2	36 17.1	34 16.1	21 10.0	19 9.0	16 7.6	- -
360万円未満	11 100.0	3 27.3	- -	4 36.4	2 18.2	1 9.1	- -	1 9.1	- -
360万円以上720万円未満	50 100.0	10 20.0	11 22.0	10 20.0	7 14.0	4 8.0	3 6.0	5 10.0	- -
720万円以上	67 100.0	15 22.4	8 11.9	10 14.9	11 16.4	10 14.9	7 10.4	6 9.0	- -

問22 問21で「1. 4時間以上」～「6. 30分より少ない」と答えた方にうかがいます。インターネットを利用して、いやな思いをしたり、こまったりしたことはありましたか。「11. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)



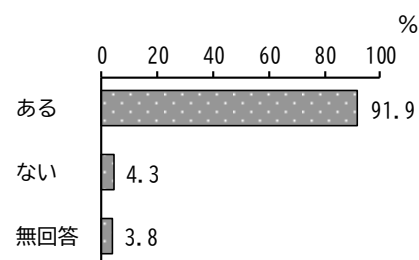
【その他の意見】

- ・ 使う時があまりない。(1件)
- ・ ゲーム内で煽ってきた。(1件)
- ・ 自分のスマホに知らない電話番号からたくさん電話が来たり、弁護士から電話がかかってきたりしている。(1件)
- ・ 外国に知り合いの人がいないのに国際電話から電話が何回もかかってくる。(1件)
- ・ 詐欺に巻き込まれそうだ。(1件)

問 23 あなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）はありますか。
（1つに○）

「ある」の割合が 91.9%、「ない」の割合が 4.3%となっています。

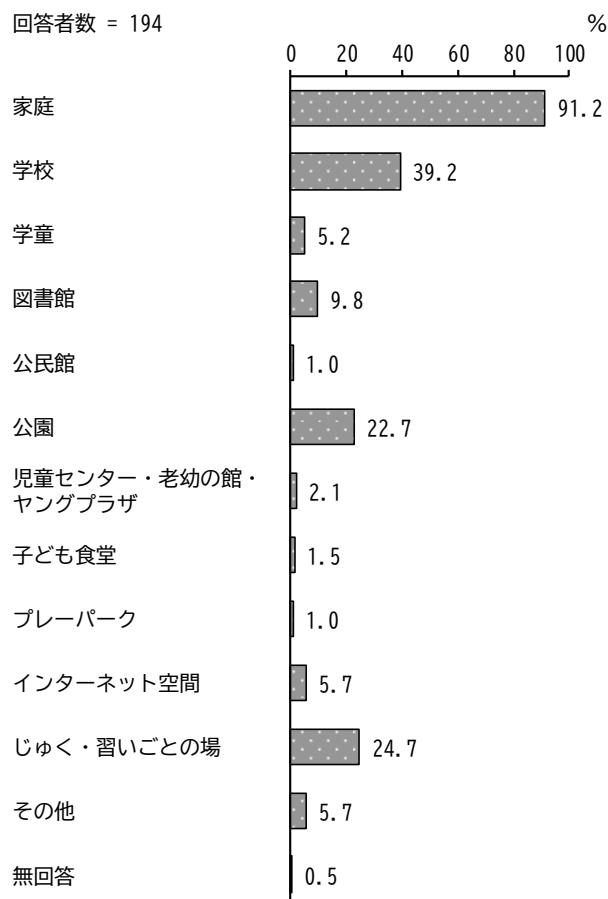
回答者数 = 211



問 24 問 23 で「1. ある」と答えた方にうかがいます。次のうち、あなたの居場所は
どこですか。当てはまる番号に○をつけてください。「12. その他」に○をした時
は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（すべてに○）

「家庭」の割合が 91.2%と最も高く、次いで
「学校」の割合が 39.2%、「じゅく・習いごとの
場」の割合が 24.7%となっています。

回答者数 = 194



【その他の意見】

- ・放課後等デイサービス（2件）
- ・友達の家（2件）
- ・ペットという（1件）
- ・家（2件）
- ・トイレ（1件）
- ・自然のある場所（2件）
- ・お祖母ちゃんの家（1件）

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

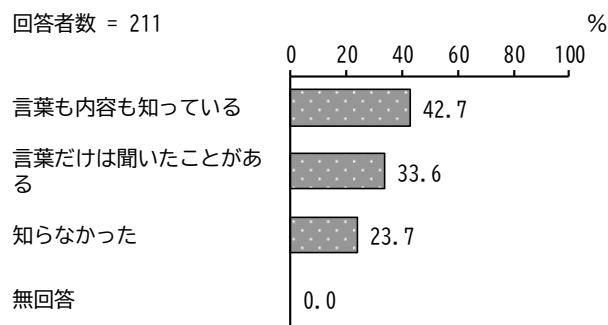
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	家庭	学校	学童	図書館	公民館	公園	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ	子ども食堂	プレーパーク	インターネット空間	場じゆく・習いごと	その他	無回答
全 体	194 100.0	177 91.2	76 39.2	10 5.2	19 9.8	2 1.0	44 22.7	4 2.1	3 1.5	2 1.0	11 5.7	48 24.7	11 5.7	1 0.5
男性	88 100.0	83 94.3	31 35.2	5 5.7	9 10.2	-	17 19.3	-	-	1 1.1	6 6.8	19 21.6	3 3.4	-
女性	105 100.0	94 89.5	45 42.9	5 4.8	10 9.5	2 1.9	27 25.7	4 3.8	3 2.9	1 1.0	5 4.8	29 27.6	8 7.6	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0

問 25 「子どもの権利条約」を知っていますか。(1つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が42.7%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が33.6%、「知らなかった」の割合が23.7%となっています。

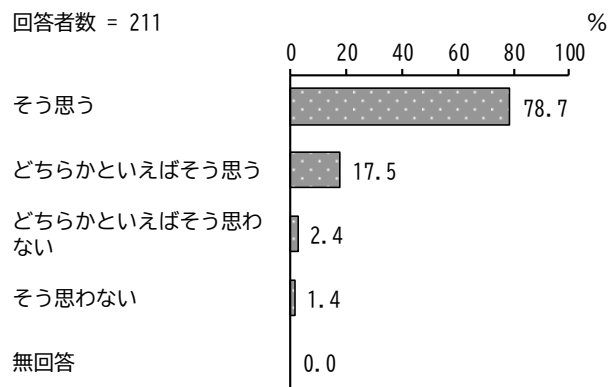
回答者数 = 211



問 26 あなたは、自分の命が守られ安心してくらしていると思いますか。(1つに○)

「そう思う」の割合が78.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 211



問 27 あなたの周りには「外国にルーツを持つこども」がいますか。(1つに○)

「いない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「いる」の割合が 31.8%となっています。

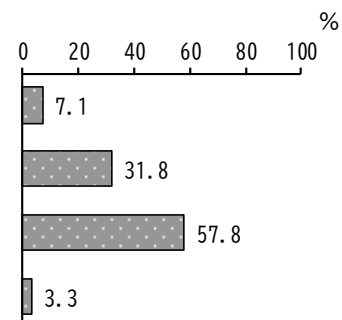
回答者数 = 211

自分自身がそうである

いる

いない

無回答



問 28 問 27 で「1. 自分自身がそうである」と答えた方にうかがいます。

どんなときにこまっていますか。「8. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「特にない」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「授業内容の理解」、「日本文化や日本での生活」の割合が 26.7%となっています。

回答者数 = 15

友達づくり

授業内容の理解

日本語の習得しようきょう

行事参加等、学校生活のルール

日本文化や日本での生活

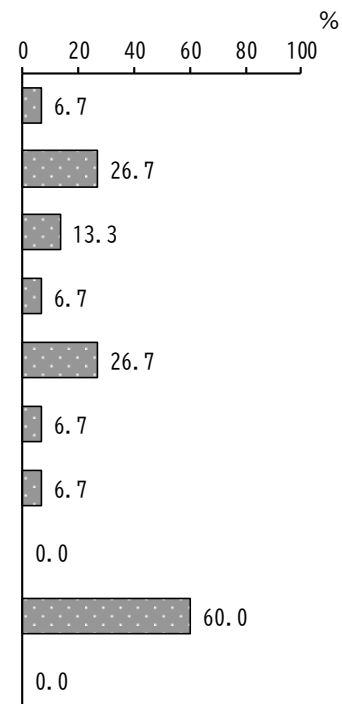
しょうらいの進路せんたく

名前や見た目

その他

特にない

無回答



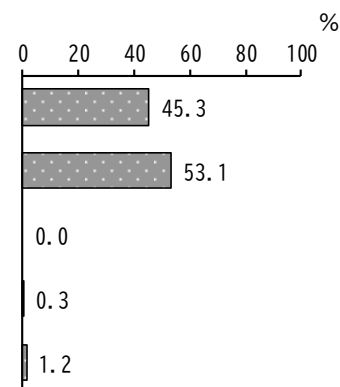
5 中学生本人

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」の割合が 45.3%、「女性」の割合が 53.1%となっています。

回答者数 = 322

男性
女性
どちらでもない
答えたくない
無回答

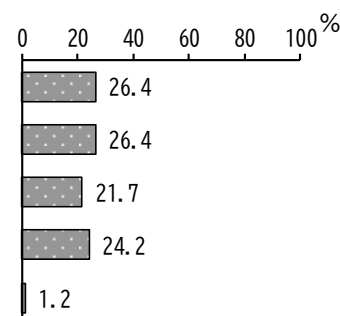


問2 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○)

「上志津中学校」、「臼井中学校」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「根郷中学校」の割合が 24.2%となっています。

回答者数 = 322

上志津中学校
臼井中学校
佐倉東中学校
根郷中学校
無回答

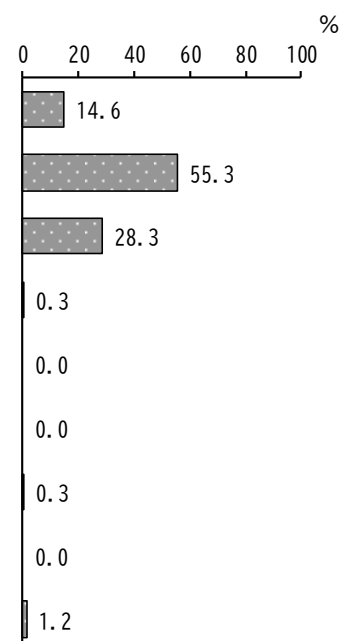


問3 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

「午前6時頃」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「午前7時頃」の割合が 28.3%、「午前6時より前」の割合が 14.6%となっています。

回答者数 = 322

午前6時より前
午前6時頃
午前7時頃
午前8時頃
午前9時頃
午前10時頃
午前11時頃
正午以降
無回答



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「午前6時頃」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	午前6時より前	午前6時頃	午前7時頃	午前8時頃	午前9時頃	午前10時頃	午前11時頃	正午以降	無回答
全 体	322 100.0	47 14.6	178 55.3	91 28.3	1 0.3	- -	- -	1 0.3	- -	4 1.2
ふたり親世帯	124 100.0	15 12.1	76 61.3	31 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 1.6
ひとり親世帯	50 100.0	8 16.0	29 58.0	11 22.0	- -	- -	- -	1 2.0	- -	1 2.0
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問4 あなたは朝ごはんを食べていますか。（1つに○）

「ほとんど毎日食べる」の割合が80.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 322

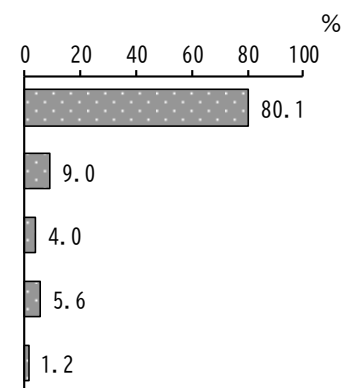
ほとんど毎日食べる

週4～5日は食べる

週2～3日は食べる

ほとんど食べない

無回答



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	ほとんど毎日食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	322 100.0	258 80.1	29 9.0	13 4.0	18 5.6	4 1.2
ふたり親世帯	124 100.0	108 87.1	11 8.9	2 1.6	1 0.8	2 1.6
ひとり親世帯	50 100.0	38 76.0	5 10.0	1 2.0	5 10.0	1 2.0
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円以上 720 万円未満で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。

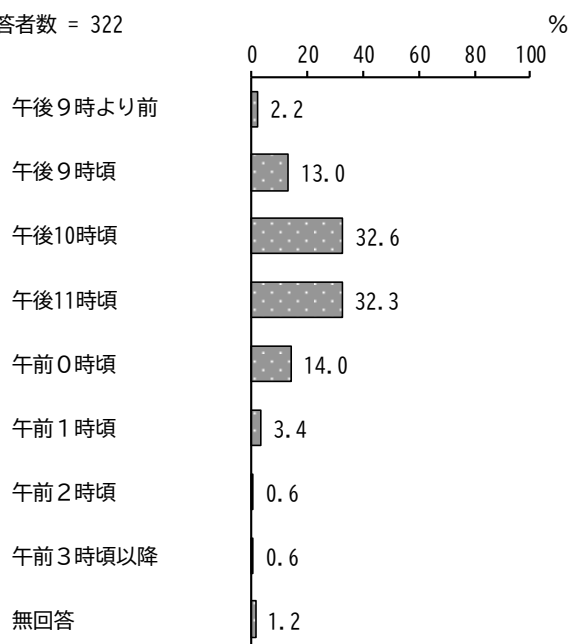
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	ほとんど毎日食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	322 100.0	258 80.1	29 9.0	13 4.0	18 5.6	4 1.2
360万円未満	23 100.0	14 60.9	3 13.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3
360万円以上720万円未満	75 100.0	68 90.7	4 5.3	－ －	2 2.7	1 1.3
720万円以上	73 100.0	63 86.3	7 9.6	1 1.4	1 1.4	1 1.4

問5 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。（1つに○）

「午後 10 時頃」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「午後 11 時頃」の割合が 32.3%、「午前 0 時頃」の割合が 14.0%となっています。

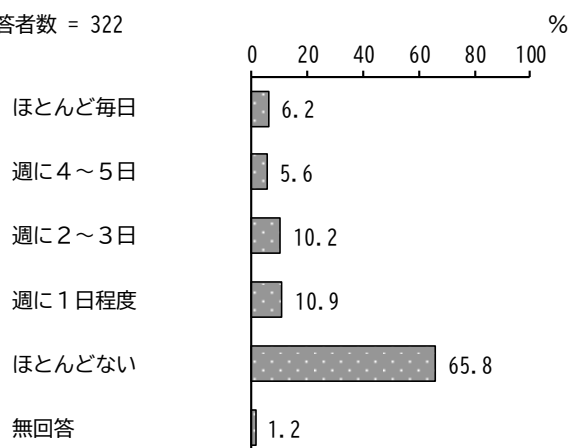
回答者数 = 322



問6 あなたは、夕ごはんをこどもだけ（一人だけを含む）で食べることがありますか。（1つに○）

「ほとんどない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「週に1日程度」の割合が10.9%、「週に2～3日」の割合が10.2%となっています。

回答者数 = 322



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「週に1日程度」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全 体	322 100.0	20 6.2	18 5.6	33 10.2	35 10.9	212 65.8	4 1.2
ふたり親世帯	124 100.0	7 5.6	9 7.3	15 12.1	11 8.9	80 64.5	2 1.6
ひとり親世帯	50 100.0	3 6.0	2 4.0	2 4.0	9 18.0	33 66.0	1 2.0
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「週に1日程度」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全 体	322 100.0	20 6.2	18 5.6	33 10.2	35 10.9	212 65.8	4 1.2
360万円未満	23 100.0	1 4.3	- -	2 8.7	4 17.4	15 65.2	1 4.3
360万円以上720万円未満	75 100.0	6 8.0	7 9.3	5 6.7	5 6.7	51 68.0	1 1.3
720万円以上	73 100.0	3 4.1	4 5.5	10 13.7	10 13.7	45 61.6	1 1.4

問7 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が52.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が38.5%となっています。

回答者数 = 322

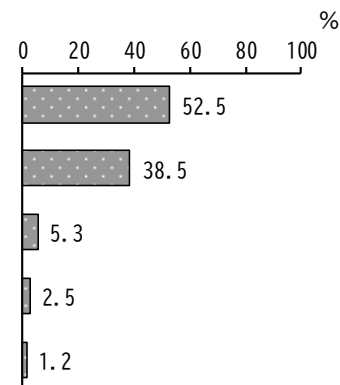
楽しい

どちらかといえば楽しい

どちらかといえば楽しくない

楽しくない

無回答



問8 問7で「3. どちらかといえば楽しくない」「4. 楽しくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。「8. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「勉強についていけない」の割合が32.0%と最も高く、次いで「友達と自分を比べてしまう」の割合が20.0%、「友達がいらない」、「自分の思うとおりにいかない」、「わからない」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 25

友達がいらない

いじめられている

自分の思うとおりにいかない

勉強についていけない

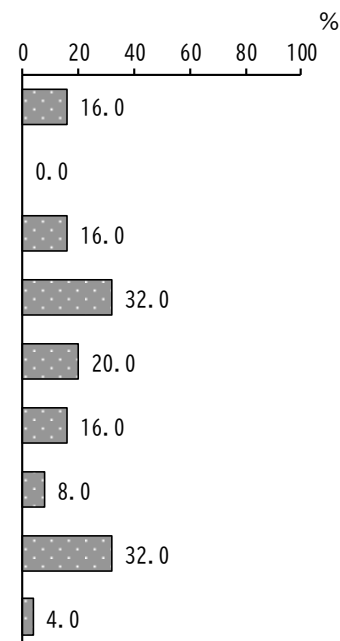
友達と自分を比べてしまう

わからない

答えたくない

その他

無回答



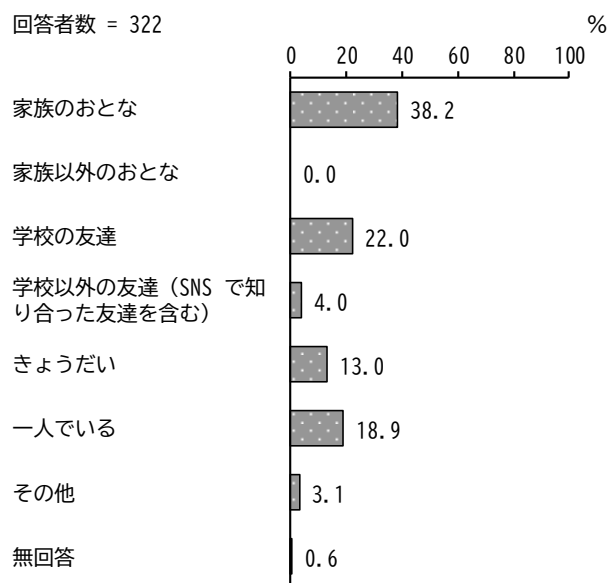
【その他の意見】

- ・勉強が嫌い。(1件)
- ・休日が楽しすぎるため。(1件)
- ・勉強があまり得意じゃないし好きでもないから、人の話を真剣に聞くのが好まないから。しかし、友達に会えるので学校に来る。(1件)
- ・僕は元々富里南中学校に行くはずだったが、姉弟の私用でこっちに来る事になった。僕は富里の方が楽しいと思っているからこっちの学校は楽しくないとも思える。何故なら今もそう思っているから、できるなら今にでも引っ越したい。(1件)
- ・一生懸命生きている人が損をして、何も考えずに生きている人が得をするから。毎日ケープを持ってきて、ダメなことをわかっていない人と一緒にいるのが嫌だから。毎日、陰口を言われるから。(1件)
- ・落ち着いて生活できない。(1件)
- ・自分のコミュニケーション能力が低い。(1件)

問9 あなたは放課後（授業終了後）に、だれとすごすことが一番多いですか。「7. その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。
（1つに○）

「家族のおとな」の割合が38.2%と最も高く、
次いで「学校の友達」の割合が22.0%、「一人
でいる」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 322



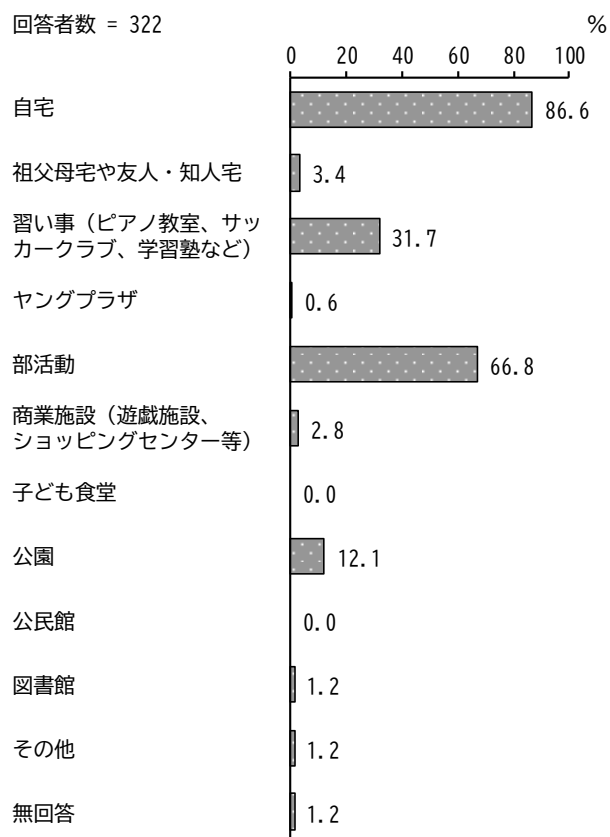
【その他の意見】

- ・サッカーの友達（2件）
- ・バスケのクラブのメンバー（1件）
- ・一人で過ごすときもあるが、友達と遊んで過ごす時もある。（1件）
- ・すぐ習い事に行くのが多いが時間があるときは友達と過ごしている。（1件）
- ・習い事の友達（1件）
- ・部活の友達・先輩（1件）
- ・塾の友達（1件）
- ・ゲーム友達（1件）

問10 あなたは放課後（授業終了後）に、どこで過ごすことが多いですか。「11. その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。
（3つまで○）

「自宅」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「部活動」の割合が 66.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 31.7%となっています。

回答者数 = 322



【その他の意見】

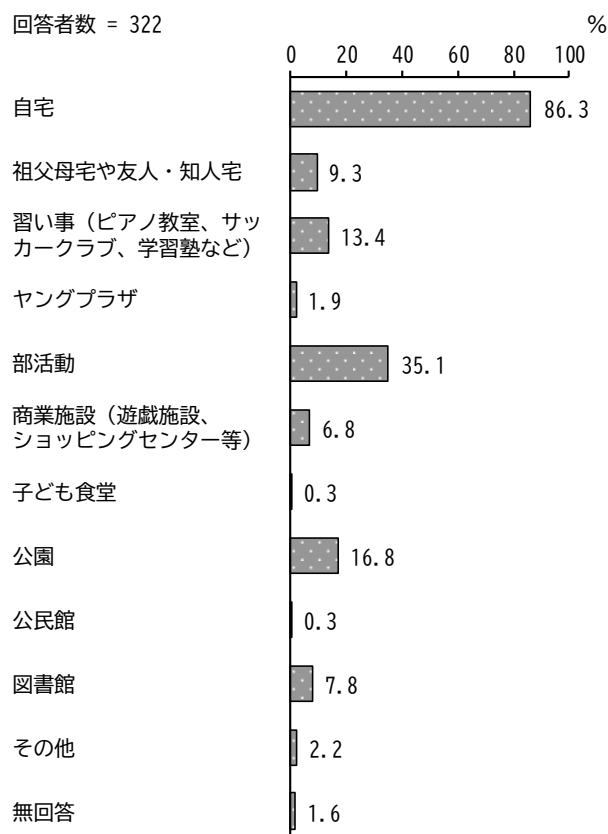
・友達の家（3件）

・デイサービス（1件）

問 11 あなたは放課後（授業終了後）に、どこで過ごしたいですか。「7. その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（3つまで○）

「自宅」の割合が 86.3%と最も高く、次いで「部活動」の割合が 35.1%、「公園」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 322



【その他の意見】

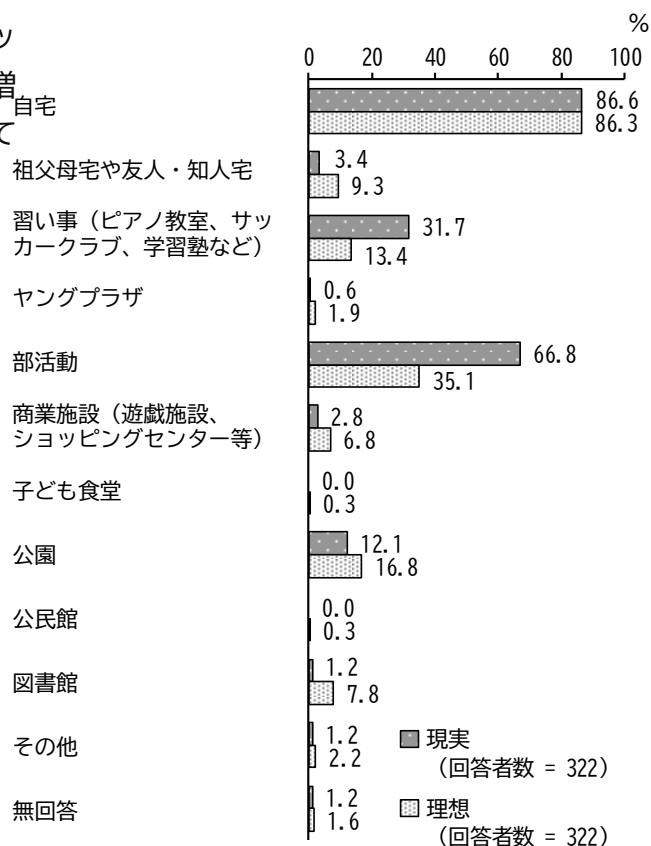
- ・ 友達の家（2件）
- ・ 学校内(校舎内)（1件）

- ・ ゲームセンター（2件）
- ・ 天国（1件）

- ・ 遊ぶところ（1件）

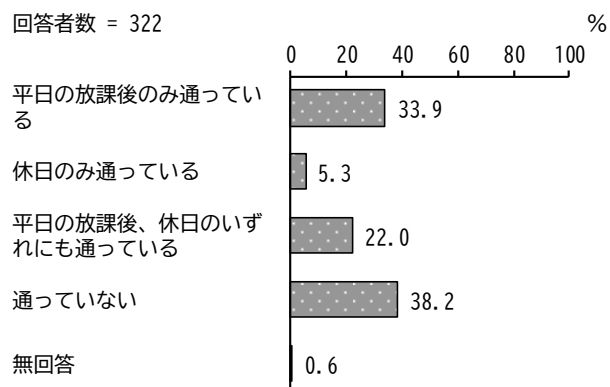
放課後の過ごし方 現実と理想の比較

理想と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「部活動」の割合が増加しています。一方、「図書館」の割合が減少しています。



問 12 あなたは、塾や習い事に通っていますか。（1つに○）

「通っていない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「平日の放課後のみ通っている」の割合が 33.9%、「平日の放課後、休日のいずれにも通っている」の割合が 22.0%となっています。



【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「通っていない」の割合が、720 万円以上で「平日の放課後、休日のいずれにも通っている」の割合が、360 万円以上 720 万円未満で「平日の放課後のみ通っている」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	平日の放課後のみ通っている	休日のみ通っている	平日の放課後、休日のいずれにも通っている	通っていない	無回答
全 体	322 100.0	109 33.9	17 5.3	71 22.0	123 38.2	2 0.6
360万円未満	23 100.0	6 26.1	1 4.3	4 17.4	11 47.8	1 4.3
360万円以上720万円未満	75 100.0	30 40.0	5 6.7	15 20.0	25 33.3	－ －
720万円以上	73 100.0	20 27.4	4 5.5	22 30.1	27 37.0	－ －

問 13 問 12 で「4. 通っていない」とお答えの方にはうかがいます。

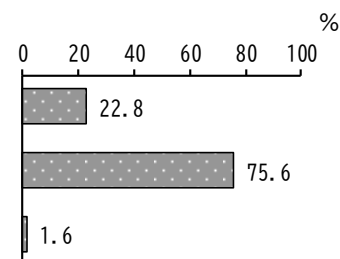
塾や習い事に通いたいですか。() 内に習いたいことを書いてください。

(1 つに○)

「通いたい」の割合が 22.8%、「通いたくない」の割合が 75.6%となっています。

回答者数 = 123

通いたい
通いたくない
無回答



【その他の意見】

- ・塾 (11 件)
- ・勉強 (5 件)
- ・ピアノ (2 件)
- ・ダンス (2 件)
- ・バレーボール (1 件)
- ・スケート、卓球 (1 件)
- ・水泳など、運動できる習い事 (1 件)
- ・体操 (1 件)
- ・バドミントンのクラブチーム (1 件)
- ・通えない。(1 件)

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「通いたい」の割合が、720万円以上で「通いたい」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

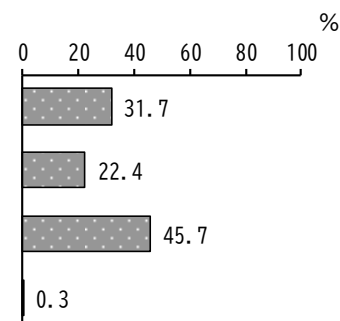
区分	回答者数	通いたい	通いたくない	無回答
全 体	123 100.0	28 22.8	93 75.6	2 1.6
360万円未満	11 100.0	5 45.5	5 45.5	1 9.1
360万円以上720万円未満	25 100.0	5 20.0	20 80.0	－
720万円以上	27 100.0	8 29.6	19 70.4	－

問 14 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。（ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を日常的に行っているこどものことを指します。例えば、家族のお風呂やトイレのお世話、きょうだいのお世話など。）
（1つに○）

「知らない」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が 31.7%、「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 22.4%となっています。

回答者数 = 322

言葉も内容も知っている
言葉だけは聞いたことがある
知らない
無回答

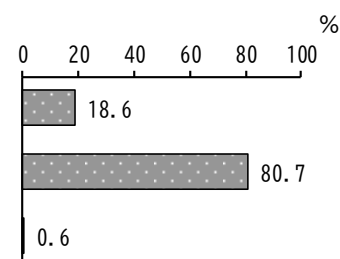


問 15 ふつう、大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしていますか。
（1つに○）

「している」の割合が 18.6%、「していない」の割合が 80.7%となっています。

回答者数 = 322

している
していない
無回答



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	している	していない	無回答
全 体	322 100.0	60 18.6	260 80.7	2 0.6
ふたり親世帯	124 100.0	18 14.5	105 84.7	1 0.8
ひとり親世帯	50 100.0	7 14.0	42 84.0	1 2.0
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -

問 16 家族のお手伝いが理由で登校できない日があったり、宿題ができないことはありますか。（1つに○）

「ほとんどない」の割合が 89.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 322

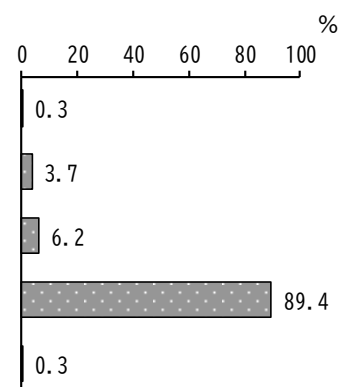
よくある

時々ある

あまりない

ほとんどない

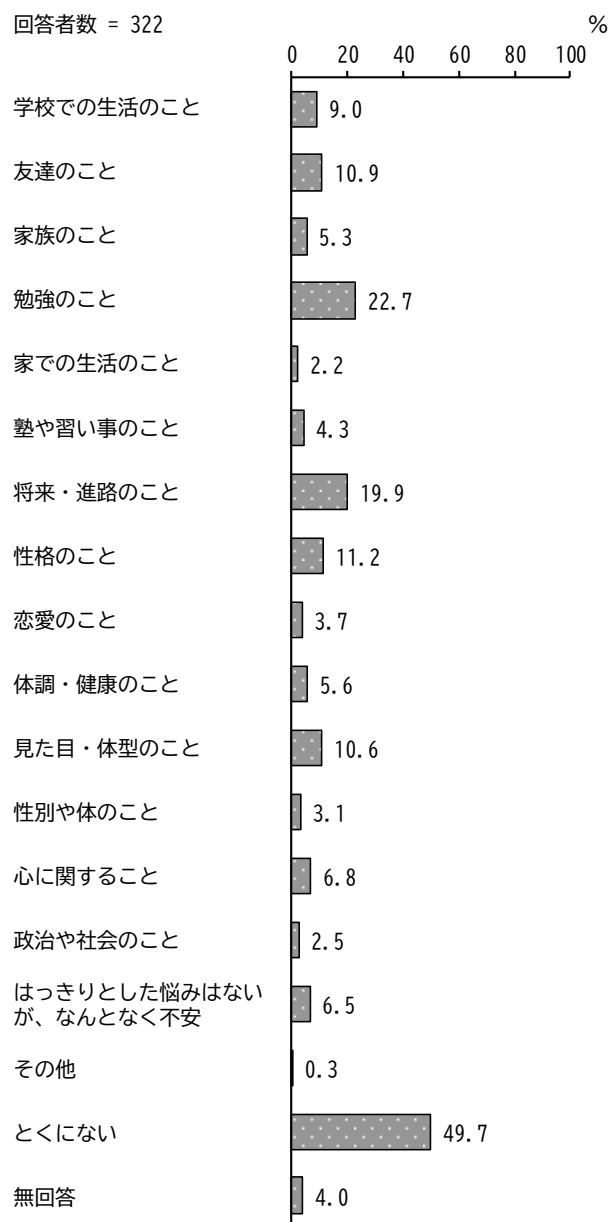
無回答



問 17 あなたには、今悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。「16. その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「とくにない」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が 22.7%、「将来・進路のこと」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 322



【その他の意見】

・部活動でのこと。(1件)

【性別】

性別にみると、男性で「とくにない」の割合が高くなっています。また、女性で「友達のこと」、「見た目・体型のこと」、「はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習い事のこと	将来・進路のこと	性格のこと	恋愛のこと
全 体	322 100.0	29 9.0	35 10.9	17 5.3	73 22.7	7 2.2	14 4.3	64 19.9	36 11.2	12 3.7
男性	146 100.0	10 6.8	11 7.5	5 3.4	31 21.2	3 2.1	6 4.1	30 20.5	15 10.3	3 2.1
女性	171 100.0	19 11.1	24 14.0	12 7.0	41 24.0	4 2.3	8 4.7	34 19.9	21 12.3	9 5.3
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-

区分	体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関する事	政治や社会のこと	はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安	その他	とくにない	無回答
全 体	18 5.6	34 10.6	10 3.1	22 6.8	8 2.5	21 6.5	1 0.3	160 49.7	13 4.0
男性	5 3.4	8 5.5	3 2.1	9 6.2	5 3.4	3 2.1	-	85 58.2	6 4.1
女性	13 7.6	26 15.2	7 4.1	13 7.6	3 1.8	18 10.5	1 0.6	72 42.1	6 3.5
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「性格のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習い事のこと	将来・進路のこと	性格のこと	恋愛のこと
全 体	322 23	9.0 17.4	10.9 26.1	5.3 4.3	22.7 39.1	2.2 4.3	4.3 13.0	19.9 21.7	11.2 30.4	3.7 17.4
360万円未満	75 73	10.7 12.3	9.3 12.3	9.3 8.2	25.3 24.7	5.3 1.4	6.7 5.5	22.7 21.9	9.3 8.2	- 4.1
360万円以上 720万円未満	322 23	9.0 17.4	10.9 26.1	5.3 4.3	22.7 39.1	2.2 4.3	4.3 13.0	19.9 21.7	11.2 30.4	3.7 17.4
720万円以上	75 73	10.7 12.3	9.3 12.3	9.3 8.2	25.3 24.7	5.3 1.4	6.7 5.5	22.7 21.9	9.3 8.2	- 4.1

区分	体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関すること	政治や社会のこと	はつきりとした悩みはないが、なんとなく不安	その他	とくにない	無回答
全 体	5.6 21.7	10.6 17.4	3.1 4.3	6.8 17.4	2.5 -	6.5 -	0.3 -	49.7 39.1	4.0 13.0
360万円未満	4.0 5.5	10.7 8.2	4.0 4.1	6.7 6.8	4.0 4.1	8.0 12.3	- -	44.0 47.9	5.3 1.4
360万円以上 720万円未満	5.6 21.7	10.6 17.4	3.1 4.3	6.8 17.4	2.5 -	6.5 -	0.3 -	49.7 39.1	4.0 13.0
720万円以上	4.0 5.5	10.7 8.2	4.0 4.1	6.7 6.8	4.0 4.1	8.0 12.3	- -	44.0 47.9	5.3 1.4

【相談相手別】

相談相手別にみると、インターネット・SNSでつながっている人で「将来・進路のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

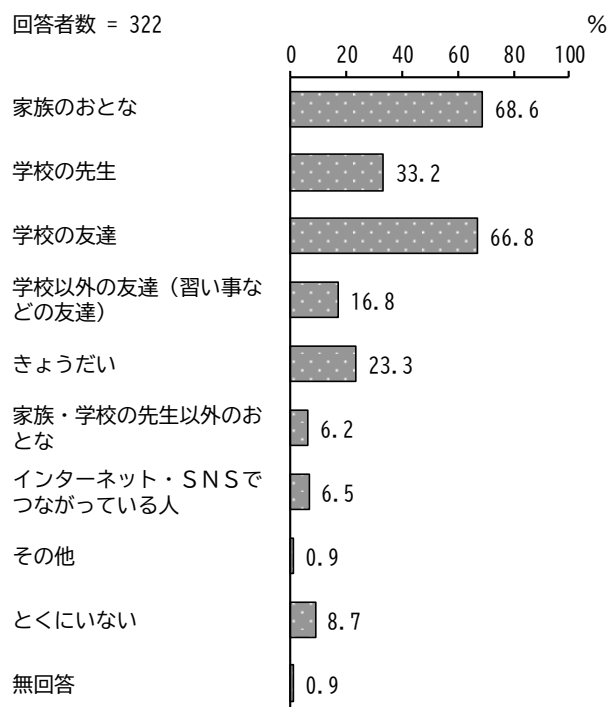
区分	回答者数	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習い事のこと	将来・進路のこと	性格のこと	恋愛のこと
全 体	322 100.0	29 9.0	35 10.9	17 5.3	73 22.7	7 2.2	14 4.3	64 19.9	36 11.2	12 3.7
家族のおとな	221 100.0	16 7.2	16 7.2	8 3.6	47 21.3	3 1.4	9 4.1	42 19.0	18 8.1	4 1.8
学校の先生	107 100.0	11 10.3	13 12.1	8 7.5	25 23.4	3 2.8	7 6.5	24 22.4	13 12.1	3 2.8
学校の友達	215 100.0	14 6.5	22 10.2	9 4.2	45 20.9	4 1.9	10 4.7	41 19.1	20 9.3	8 3.7
学校以外の友達（習い事などの友達）	54 100.0	5 9.3	6 11.1	4 7.4	11 20.4	2 3.7	2 3.7	14 25.9	4 7.4	2 3.7
きょうだい	75 100.0	6 8.0	8 10.7	5 6.7	23 30.7	2 2.7	4 5.3	15 20.0	7 9.3	3 4.0
家族・学校の先生以外のおとな	20 100.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0	－	1 5.0	2 10.0	1 5.0	－
インターネット・SNSでつながっている人	21 100.0	4 19.0	7 33.3	2 9.5	9 42.9	1 4.8	3 14.3	9 42.9	7 33.3	3 14.3
その他	3 100.0	－	1 33.3	－	1 33.3	－	－	－	1 33.3	－
とくにいない	28 100.0	3 10.7	4 14.3	5 17.9	7 25.0	2 7.1	1 3.6	6 21.4	5 17.9	－

区分	と体調・健康のこと	見た目・体型のこと	性別や体のこと	心に関すること	政治や社会のこと	悩みはつきりとした不安	その他	とくにいない	無回答
全 体	18 5.6	34 10.6	10 3.1	22 6.8	8 2.5	21 6.5	1 0.3	160 49.7	13 4.0
家族のおとな	9 4.1	16 7.2	5 2.3	12 5.4	6 2.7	15 6.8	1 0.5	120 54.3	9 4.1
学校の先生	6 5.6	14 13.1	4 3.7	9 8.4	5 4.7	3 2.8	1 0.9	56 52.3	2 1.9
学校の友達	11 5.1	23 10.7	8 3.7	8 3.7	4 1.9	13 6.0	1 0.5	116 54.0	6 2.8
学校以外の友達（習い事などの友達）	6 11.1	4 7.4	3 5.6	4 7.4	3 5.6	1 1.9	－	30 55.6	3 5.6
きょうだい	3 4.0	5 6.7	3 4.0	5 6.7	2 2.7	3 4.0	1 1.3	37 49.3	3 4.0
家族・学校の先生以外のおとな	1 5.0	3 15.0	－	2 10.0	－	－	－	13 65.0	1 5.0
インターネット・SNSでつながっている人	3 14.3	6 28.6	3 14.3	3 14.3	－	1 4.8	－	6 28.6	1 4.8
その他	1 33.3	1 33.3	－	－	－	－	－	2 66.7	－
とくにいない	3 10.7	3 10.7	－	3 10.7	1 3.6	1 3.6	－	13 46.4	1 3.6

問 18 心配事や悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。「8. その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを「9. とくにない」に○をした時は、() の中にその理由を書いてください。(すべてに○)

「家族のおとな」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が 66.8%、「学校の先生」の割合が 33.2%となっています。

回答者数 = 322



【その他の意見】

- ・相談できる人はいるけど心配かけたくないから相談をしない。(1件)
- ・他校の友達 (1件)

【とくにない主な意見】

- ・その様なことは話せないから。(7件)
- ・自分で解決できる程度の悩みしかない。(2件)
- ・性格上あまり人に心配をかけたくないと思うため。(2件)
- ・誰かに相談したいと思わない。(1件)
- ・話す人がいない。(1件)
- ・毎日楽しいと思えているから。(4件)
- ・相談しても特に何も変わらないから。(1件)
- ・信用ができないから。(1件)

【世帯構成別】

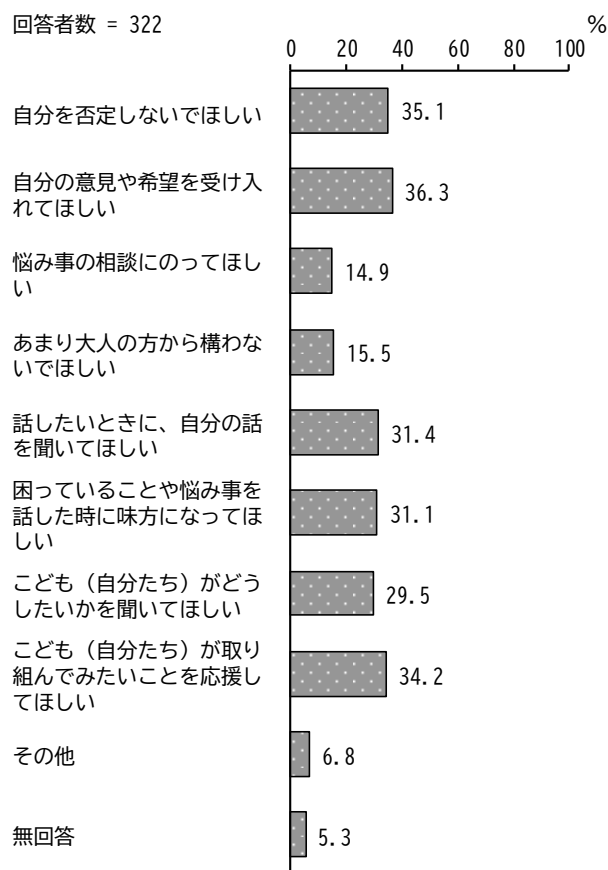
世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「家族のおとな」の割合が高くなっています。また、ひとり親世帯で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	家族のおとな	学校の先生	学校の友達	学校以外の友達（習い事などの友達）	きょうだい	家族・学校の先生以外のおとな	インターネット・SNSでつながっている人	その他	とくにいない	無回答
全 体	322 100.0	221 68.6	107 33.2	215 66.8	54 16.8	75 23.3	20 6.2	21 6.5	3 0.9	28 8.7	3 0.9
ふたり親世帯	124 100.0	89 71.8	39 31.5	79 63.7	19 15.3	29 23.4	6 4.8	9 7.3	2 1.6	11 8.9	- -
ひとり親世帯	50 100.0	30 60.0	19 38.0	32 64.0	7 14.0	10 20.0	3 6.0	4 8.0	- -	6 12.0	2 4.0
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 19 あなたが、周りの大人に望むことは何ですか。「9. その他」に○をした時は、
（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（すべてに○）

「自分の意見や希望を受け入れてほしい」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「自分を否定しないでほしい」の割合が 35.1%、「こども（自分たち）が取り組んでみたいことを応援してほしい」の割合が 34.2%となっています。



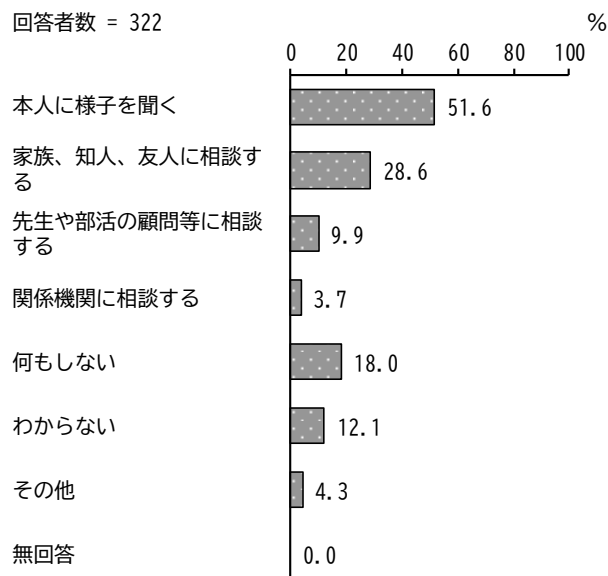
【その他の意見】

- ・ こどもの気持ちをもう少し考えてほしい。（3件）
- ・ 理想や期待をあまり抱かないでほしい。（2件）
- ・ 自分の中身などを変えないでほしい(趣味を強引に勧めたりしないでほしい)（1件）
- ・ 感情に任せて怒るのは、やめてほしい。自分の思い通りにならないでほしい。（1件）
- ・ 話しにくいなと思っているときはそっとしておいてほしい。（1件）

問 20 あなたの周りにひきこもりと思われる人がいた場合、どのように対応したらよいと思いますか。「7. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が 28.6%、「何もしない」の割合が 18.0%となっています。

回答者数 = 322

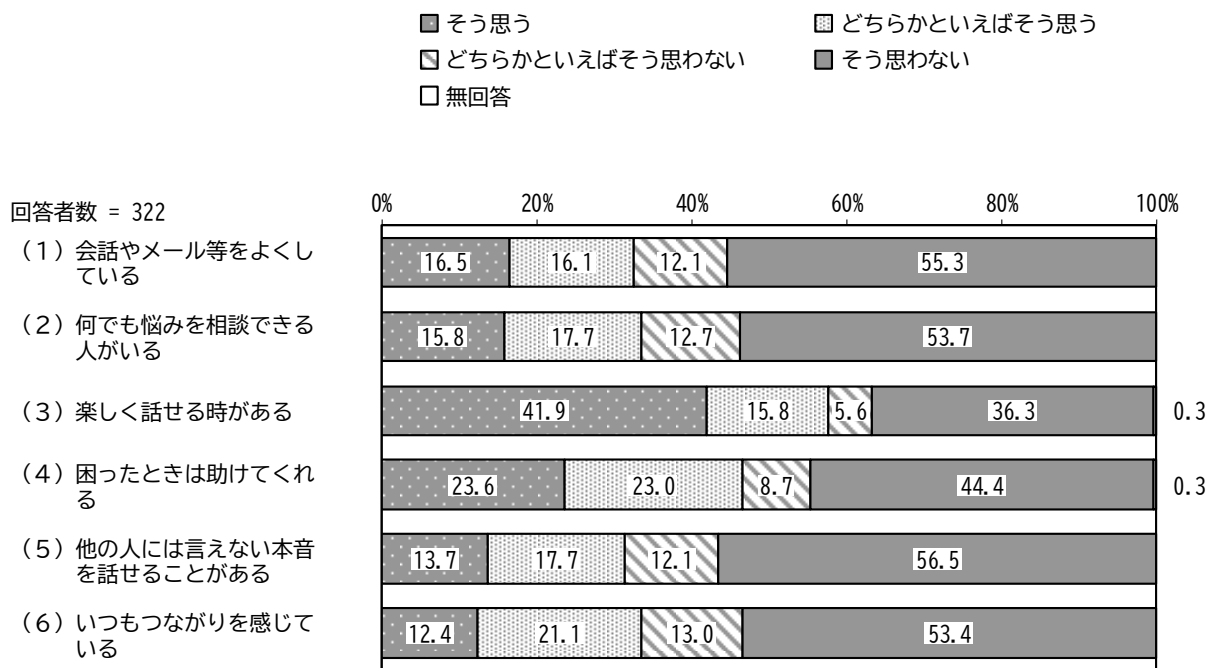


【その他の意見】

- ・程よい距離感で接する。(6件)
- ・学校に来られなくてもラインなどで仲良く接してあげる。(2件)
- ・なぜ引きこもっているか、何らかの形での方法で理解するそしてその人がしたい形で助けたいでも根がだめなひとだったらためらう。(1件)
- ・自分は、ポジティブだからその人も私のキャラにさせて毎日学校に通っても会う。(1件)
- ・自分から会いに行く。(1件)
- ・本人が嫌ならそっとしておく。(1件)
- ・ひきこもりなどを別に気にせず遊ぶ。(1件)
- ・そっとしておく。(1件)

問 21 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（1つに○）

『(3) 楽しく話せる時がある』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『(5) 他の人には言えない本音を話せることがある』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

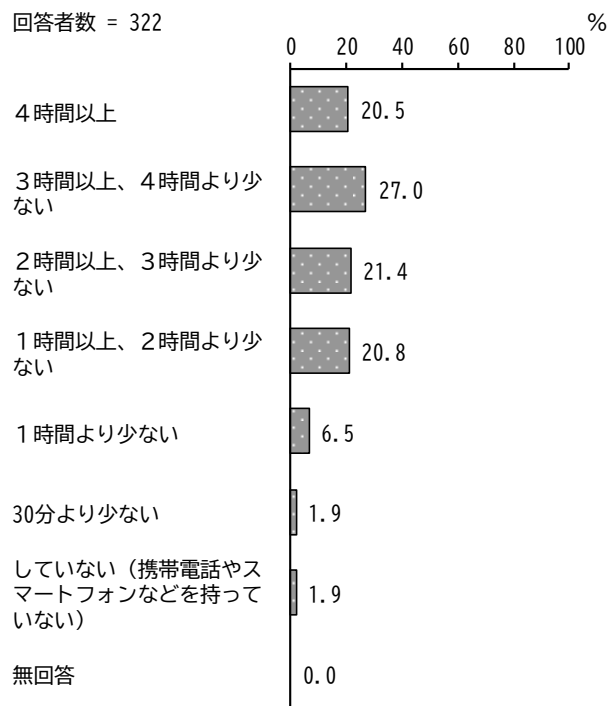


問 22 あなたは、プライベートにおいて、1日のうちどれくらいの時間、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使用して、SNSや動画視聴、ゲームなどをしていますか。平日、土日祝日それぞれの時間をお答えください。(1つに○)

【平日】

回答者数 = 322

「3時間以上、4時間より少ない」の割合が27.0%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が21.4%、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が20.8%となっています。



【世帯構成別 (平日)】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「3時間以上、4時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない (携帯電話やスマートフォンを持っていない)	無回答
全 体	322 100.0	66 20.5	87 27.0	69 21.4	67 20.8	21 6.5	6 1.9	6 1.9	-
ふたり親世帯	124 100.0	19 15.3	28 22.6	31 25.0	29 23.4	11 8.9	3 2.4	3 2.4	-
ひとり親世帯	50 100.0	8 16.0	18 36.0	13 26.0	5 10.0	3 6.0	1 2.0	2 4.0	-
その他 (不明等)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世帯収入別（平日）】

世帯収入別にみると、360 万円未満で「3 時間以上、4 時間より少ない」の割合が高くなっています。

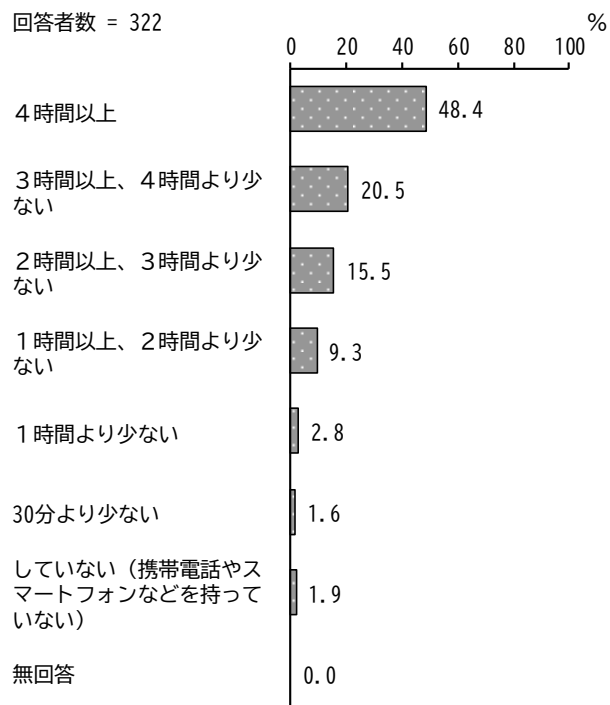
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4 時間以上	3 時間以上、4 時間より少ない	2 時間以上、3 時間より少ない	1 時間以上、2 時間より少ない	1 時間より少ない	30 分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	322 100.0	66 20.5	87 27.0	69 21.4	67 20.8	21 6.5	6 1.9	6 1.9	- -
360万円未満	23 100.0	4 17.4	9 39.1	4 17.4	2 8.7	2 8.7	1 4.3	1 4.3	- -
360万円以上720万円未満	75 100.0	14 18.7	17 22.7	23 30.7	15 20.0	5 6.7	1 1.3	- -	- -
720万円以上	73 100.0	9 12.3	19 26.0	16 21.9	16 21.9	7 9.6	2 2.7	4 5.5	- -

【土日祝日】

「4 時間以上」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「3 時間以上、4 時間より少ない」の割合が 20.5%、「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 15.5%となっています。

回答者数 = 322



【世帯構成別（土日祝日）】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「2時間以上、3時間より少ない」の割合が、ひとり親世帯で「3時間以上、4時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	322 100.0	156 48.4	66 20.5	50 15.5	30 9.3	9 2.8	5 1.6	6 1.9	- -
ふたり親世帯	124 100.0	51 41.1	25 20.2	26 21.0	13 10.5	4 3.2	2 1.6	3 2.4	- -
ひとり親世帯	50 100.0	24 48.0	13 26.0	4 8.0	5 10.0	1 2.0	1 2.0	2 4.0	- -
その他（不明等）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

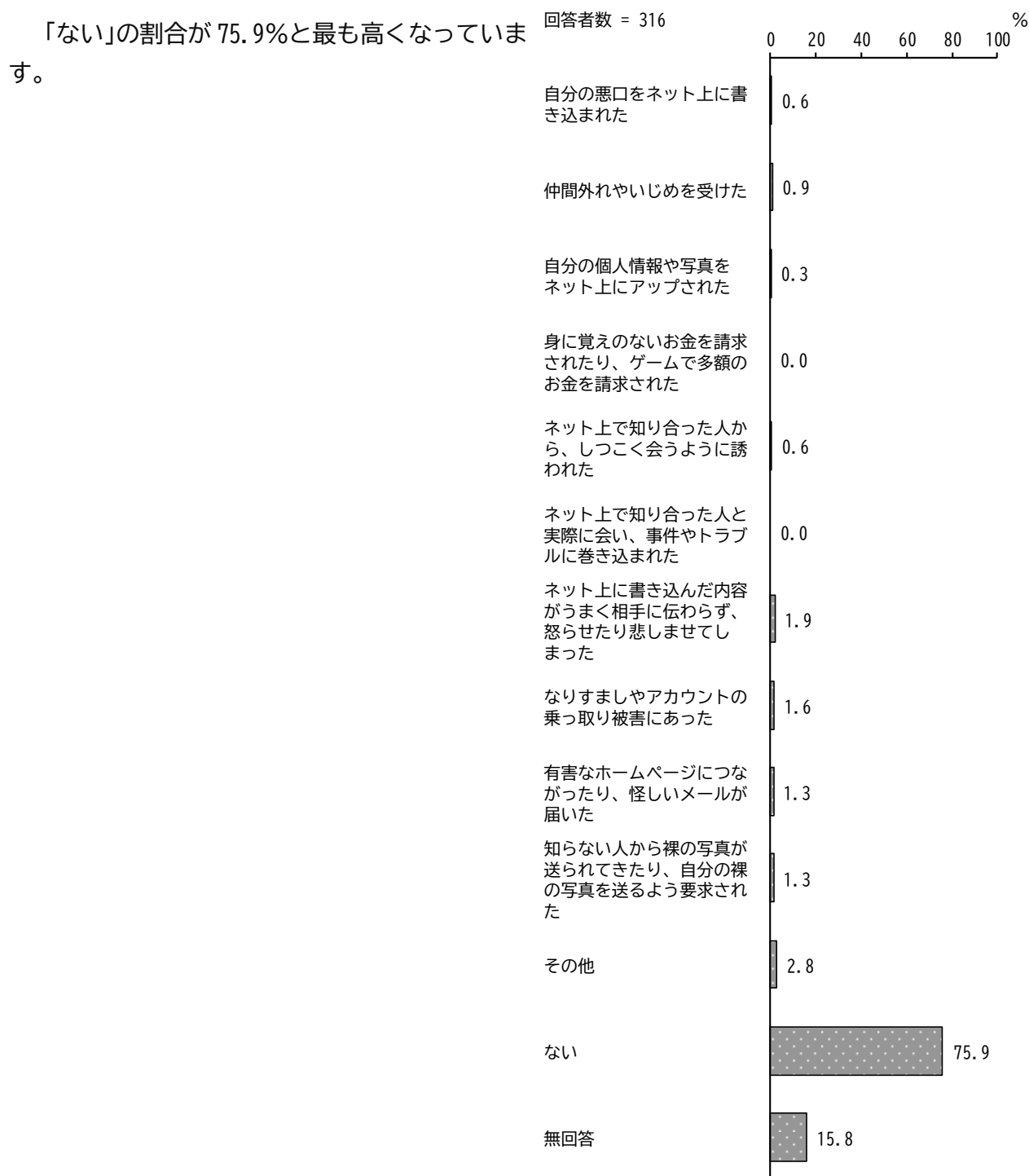
【世帯収入別（土日祝日）】

世帯収入別にみると、360万円未満で「4時間以上」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンなどを持っていない）	無回答
全 体	322 100.0	156 48.4	66 20.5	50 15.5	30 9.3	9 2.8	5 1.6	6 1.9	- -
360万円未満	23 100.0	13 56.5	5 21.7	1 4.3	2 8.7	- -	1 4.3	1 4.3	- -
360万円以上720万円未満	75 100.0	32 42.7	19 25.3	14 18.7	7 9.3	2 2.7	1 1.3	- -	- -
720万円以上	73 100.0	29 39.7	14 19.2	14 19.2	8 11.0	3 4.1	1 1.4	4 5.5	- -

問 23 問 22 で「1. 4 時間以上」～「6. 30 分より少ない」と答えた方にうかがいます。インターネットを利用して、嫌な思いをしたり、困ったりしたことはありましたか。「11. その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)



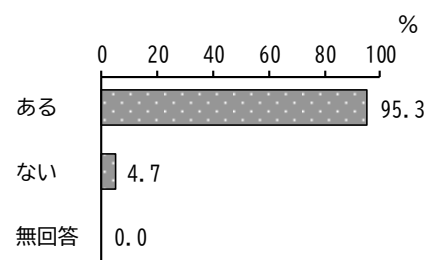
【その他の意見】

- ・ インターネットを使っていない。(1 件)
- ・ アンチコメントを書き込まれた。(1 件)
- ・ 腹が立つ煽りプレイヤーがいた。(1 件)
- ・ ラインの QR コードを送られてきて交換しようって言われた。(1 件)
- ・ ラインで友達に名前を出されて替え歌にされてラインのグループに送られたこと。(1 件)
- ・ あるけど、書きません。(1 件)
- ・ そんな風に聞かれたくない。(1 件)

問 24 あなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）はありますか。+
（1つに○）

「ある」の割合が 95.3%、「ない」の割合が
4.7%となっています。

回答者数 = 322

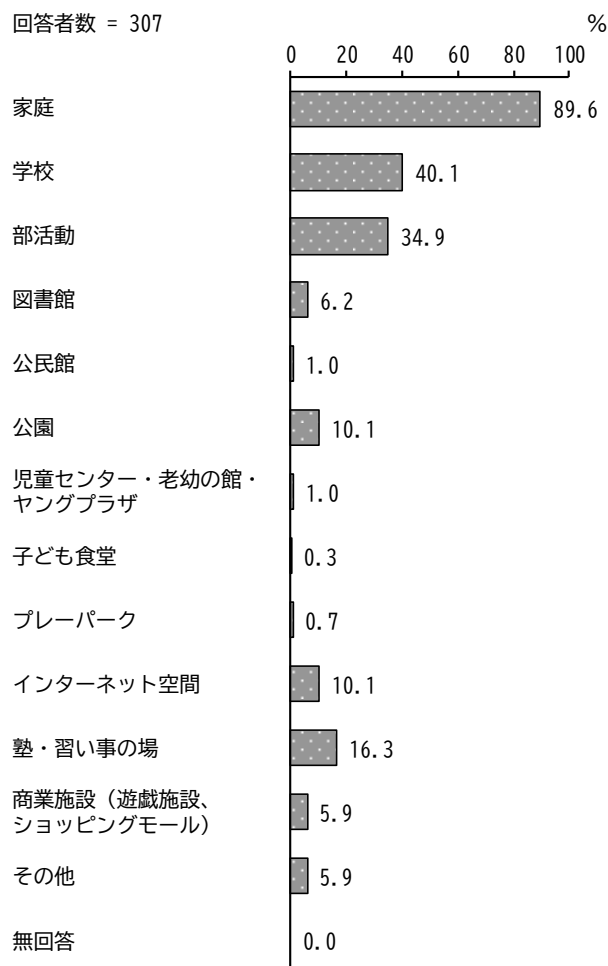


問 25 問 24 で「1. ある」と答えた方にうかがいます。

次のうち、あなたの居場所はどこですか。当てはまる番号に○をつけてください。
「13. その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。
(すべてに○)

「家庭」の割合が 89.6%と最も高く、次いで
「学校」の割合が 40.1%、「部活動」の割合が
34.9%となっています。

回答者数 = 307



【その他の意見】

- ・信頼できる友達の家（6件）
- ・自分の部屋（3件）
- ・祖父母の家（2件）
- ・ゲームセンター、駅(趣味)（1件）
- ・友達との関わり（1件）
- ・教会（1件）
- ・一人の時（1件）

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	家庭	学校	部活動	図書館	公民館	公園	児童センター・老幼の館・ヤングプラザ
全 体	307 100.0	275 89.6	123 40.1	107 34.9	19 6.2	3 1.0	31 10.1	3 1.0
男性	141 100.0	126 89.4	62 44.0	56 39.7	6 4.3	2 1.4	21 14.9	2 1.4
女性	161 100.0	145 90.1	61 37.9	50 31.1	13 8.1	1 0.6	10 6.2	1 0.6
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	子ども食堂	プレイパーク	インターネット空間	塾・習い事の場合	商業施設（遊戯施設・ショッピングモール）	その他	無回答
全 体	1 0.3	2 0.7	31 10.1	50 16.3	18 5.9	18 5.9	- -
男性	- -	- -	15 10.6	26 18.4	8 5.7	9 6.4	- -
女性	1 0.6	2 1.2	15 9.3	24 14.9	10 6.2	9 5.6	- -
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

問 26 「子どもの権利条約」を知っていますか。（1 つに○）

「言葉も内容も知っている」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 22.4%、「知らなかった」の割合が 12.7%となっています。

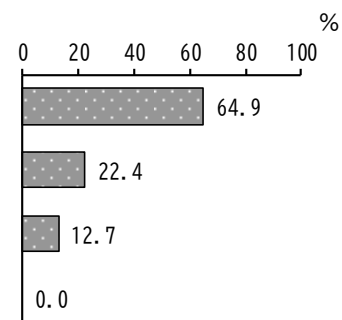
回答者数 = 322

言葉も内容も知っている

言葉だけは聞いたことがある

知らなかった

無回答



問 27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。（1つに○）

「そう思う」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 14.9%となっています。

回答者数 = 322

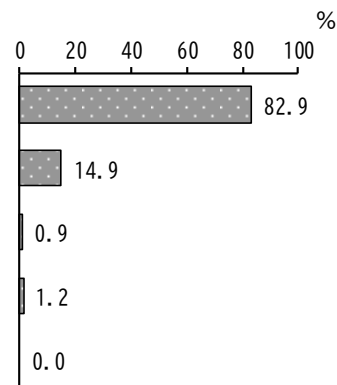
そう思う

どちらかといえばそう思う

どちらかといえばそう思わない

そう思わない

無回答



問 28 あなたの周りには「外国にルーツを持つこども」がいますか。（1つに○）

「いない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「いる」の割合が 45.3%となっています。

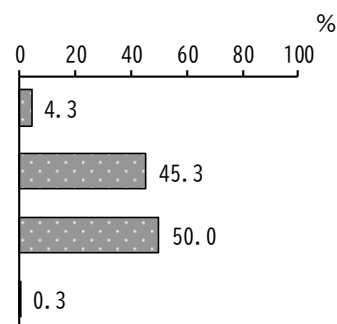
回答者数 = 322

自分自身がそうである

いる

いない

無回答



問 29 問 28 で「1. 自分自身がそうである」と答えた方にうかがいます。

どんなときに困っていますか。「8. その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。（すべてに○）

「特にない」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「将来の進路選択」の割合が 28.6%、「友達づくり」、「授業内容の理解」、「日本語の習得状況」、「日本文化や日本での生活」、「名前や見た目」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 14

友達づくり

授業内容の理解

日本語の習得状況

行事参加等、学校生活のルール

日本文化や日本での生活

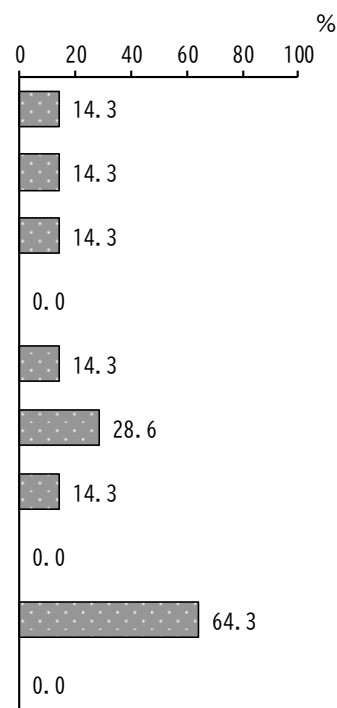
将来の進路選択

名前や見た目

その他

特にない

無回答



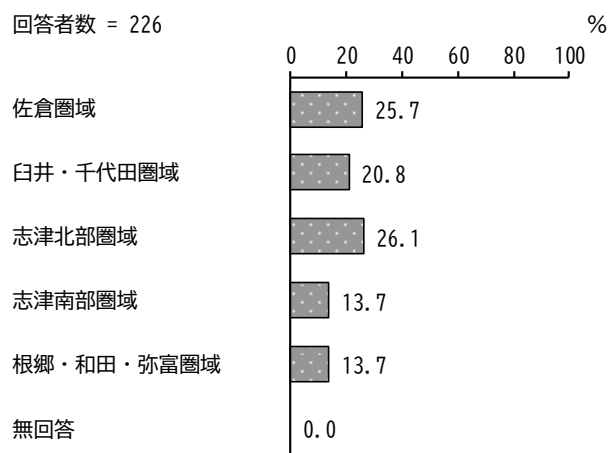
6 青少年

問1 お住まいの地区を教えてください。(1つに○)

※封筒の宛名ラベルの右下に印字されている数字に○をつけてください。

「志津北部圏域」の割合が26.1%と最も高く、次いで「佐倉圏域」の割合が25.7%、「臼井・千代田圏域」の割合が20.8%となっています。

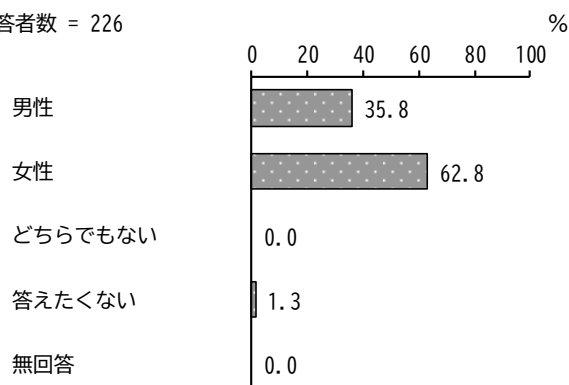
回答者数 = 226



問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」の割合が35.8%、「女性」の割合が62.8%となっています。

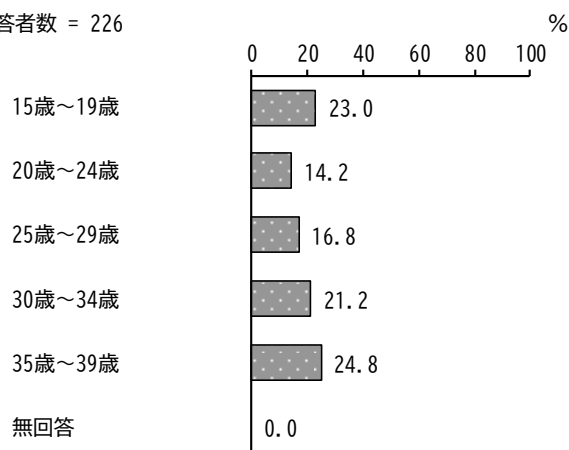
回答者数 = 226



問3 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「35歳～39歳」の割合が24.8%と最も高く、次いで「15歳～19歳」の割合が23.0%、「30歳～34歳」の割合が21.2%となっています。

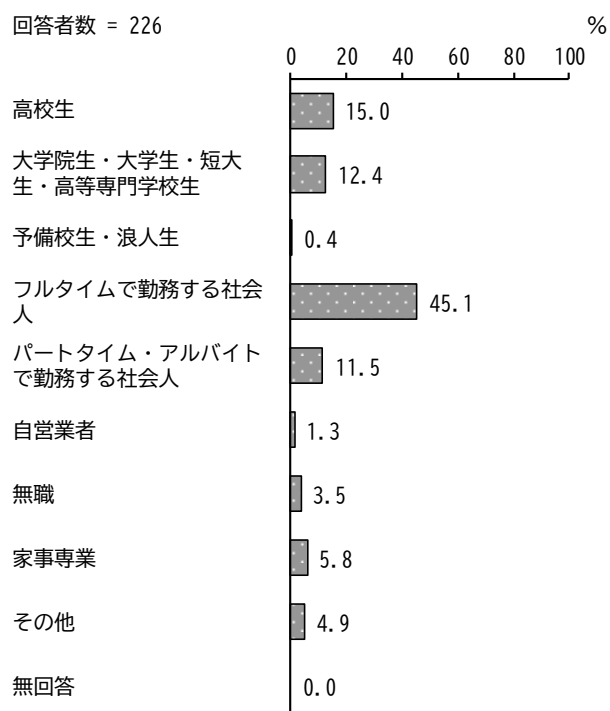
回答者数 = 226



問4 あなたの職業等を教えてください。「9. その他」を選択したときは、() に具体的な内容を書いてください。(1つに○)

「フルタイムで勤務する社会人」の割合が45.1%と最も高く、次いで「高校生」の割合が15.0%、「大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生」の割合が12.4%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

- ・正社員（現在育休中）（2件）
- ・公務員（2件）
- ・療養中（2件）
- ・時短勤務（2件）
- ・trainee（技能研修生）（1件）
- ・会社役員（1件）
- ・就労移行支援（1件）

【年齢別】

年齢別にみると、25歳～29歳で「フルタイムで勤務する社会人」の割合が高くなっています。

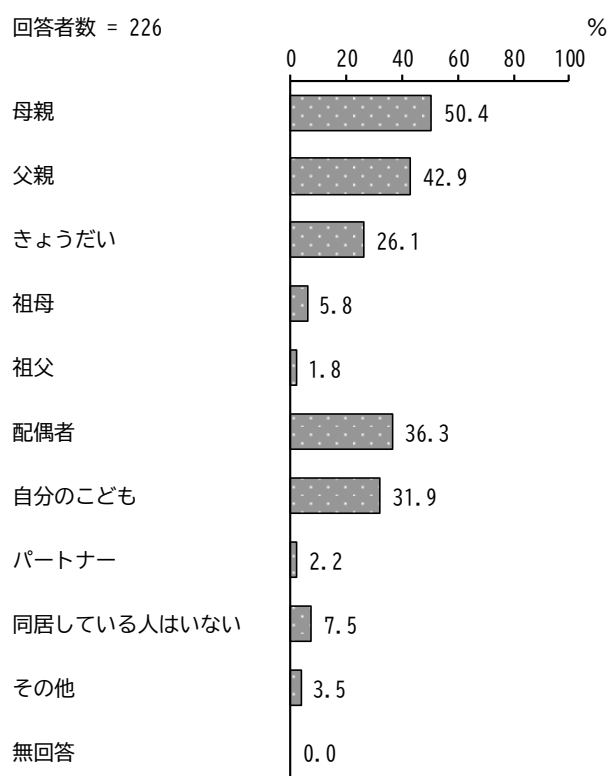
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	高校生	大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	予備校生・浪人生	フルタイムで勤務する社会人	パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	自営業者	無職	家事専業	その他	無回答
全 体	226 100.0	34 15.0	28 12.4	1 0.4	102 45.1	26 11.5	3 1.3	8 3.5	13 5.8	11 4.9	-
15歳～19歳	52 100.0	34 65.4	16 30.8	-	1 1.9	-	-	-	-	1 1.9	-
20歳～24歳	32 100.0	-	10 31.3	1 3.1	13 40.6	6 18.8	-	2 6.3	-	-	-
25歳～29歳	38 100.0	-	2 5.3	-	29 76.3	3 7.9	-	1 2.6	1 2.6	2 5.3	-
30歳～34歳	48 100.0	-	-	-	31 64.6	4 8.3	-	4 8.3	6 12.5	3 6.3	-
35歳～39歳	56 100.0	-	-	-	28 50.0	13 23.2	3 5.4	1 1.8	6 10.7	5 8.9	-

問5 あなたと同居しているご家族の方はどなたですか。当てはまる番号に○をつけてください。(すべてに○)

「母親」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が 42.9%、「配偶者」の割合が 36.3%となっています。

回答者数 = 226



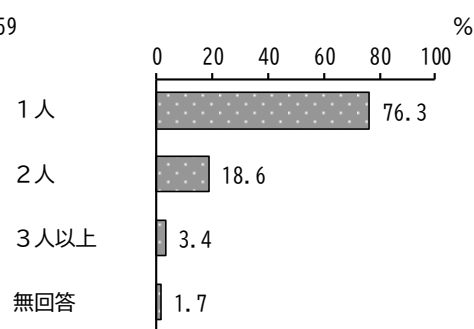
【その他の意見】

- ・姪（2件）
- ・義理の両親（2件）
- ・ペット（2件）
- ・寮（1件）
- ・義兄、甥（1件）

きょうだいの人数

「1人」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が 18.6%となっています。

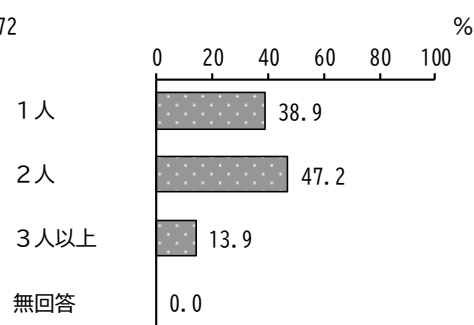
回答者数 = 59



自分のこどもの人数

「2人」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が 38.9%、「3人以上」の割合が 13.9%となっています。

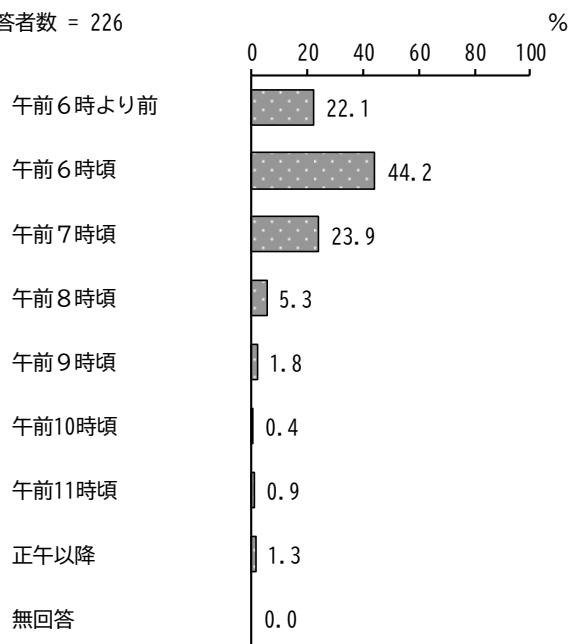
回答者数 = 72



問6 あなたは普段（平日）何時ごろに起きますか。（1つに○）

「午前6時頃」の割合が44.2%と最も高く、次いで「午前7時頃」の割合が23.9%、「午前6時より前」の割合が22.1%となっています。

回答者数 = 226



【同居している人別】

同居している人別にみると、配偶者、自分のこどもで「午前6時頃」の割合が、父親、きょうだいで「午前7時頃」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	午前6時より前	午前6時頃	午前7時頃	午前8時頃	午前9時頃	午前10時頃	午前11時頃	正午以降	無回答
全 体	226 100.0	50 22.1	100 44.2	54 23.9	12 5.3	4 1.8	1 0.4	2 0.9	3 1.3	-
母親	114 100.0	23 20.2	44 38.6	30 26.3	9 7.9	3 2.6	1 0.9	1 0.9	3 2.6	-
父親	97 100.0	17 17.5	37 38.1	31 32.0	5 5.2	2 2.1	1 1.0	1 1.0	3 3.1	-
きょうだい	59 100.0	9 15.3	24 40.7	20 33.9	4 6.8	1 1.7	1 1.7	-	-	-
祖母	13 100.0	4 30.8	2 15.4	5 38.5	1 7.7	-	-	-	1 7.7	-
祖父	4 100.0	2 50.0	-	2 50.0	-	-	-	-	-	-
配偶者	82 100.0	21 25.6	42 51.2	15 18.3	3 3.7	-	-	1 1.2	-	-
自分のこども	72 100.0	18 25.0	39 54.2	13 18.1	2 2.8	-	-	-	-	-
パートナー	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-
同居している人はいない	17 100.0	4 23.5	8 47.1	4 23.5	1 5.9	-	-	-	-	-
その他	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	-	-	-	-	-	-

問7 あなたは普段朝食を食べますか。(1つに○)

「ほとんど毎日食べる」の割合が69.9%と最も高く、次いで「ほとんど食べない」の割合が12.8%となっています。

回答者数 = 226

ほとんど毎日食べる

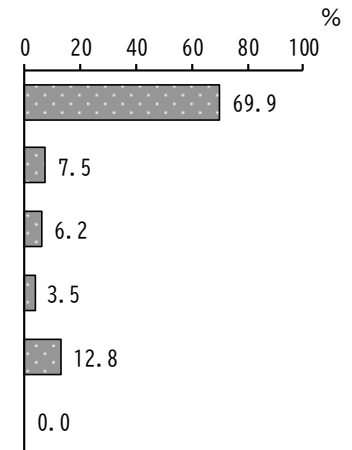
週に5～6回食べる

週に3～4回食べる

週に1～2回食べる

ほとんど食べない

無回答



【同居している人別】

同居している人別にみると、配偶者で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。

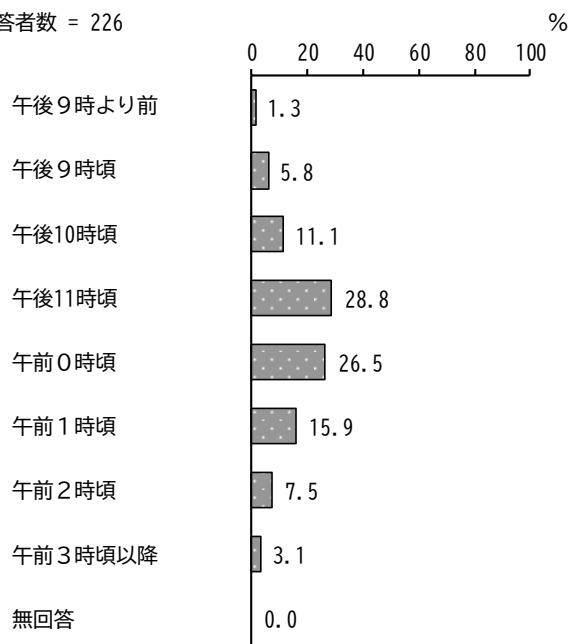
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	ほとんど毎日食べる	週に5～6回食べる	週に3～4回食べる	週に1～2回食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	226 100.0	158 69.9	17 7.5	14 6.2	8 3.5	29 12.8	-
母親	114 100.0	72 63.2	13 11.4	9 7.9	4 3.5	16 14.0	-
父親	97 100.0	65 67.0	10 10.3	4 4.1	5 5.2	13 13.4	-
きょうだい	59 100.0	37 62.7	7 11.9	5 8.5	3 5.1	7 11.9	-
祖母	13 100.0	9 69.2	2 15.4	1 7.7	-	1 7.7	-
祖父	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-
配偶者	82 100.0	67 81.7	2 2.4	1 1.2	3 3.7	9 11.0	-
自分のこども	72 100.0	57 79.2	3 4.2	2 2.8	2 2.8	8 11.1	-
パートナー	5 100.0	3 60.0	-	1 20.0	-	1 20.0	-
同居している人はいない	17 100.0	10 58.8	1 5.9	3 17.6	-	3 17.6	-
その他	8 100.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-

問8 あなたは普段（平日）何時ごろに寝ますか。（1つに○）

「午後 11 時頃」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「午前 0 時頃」の割合が 26.5%、「午前 1 時頃」の割合が 15.9%となっています。

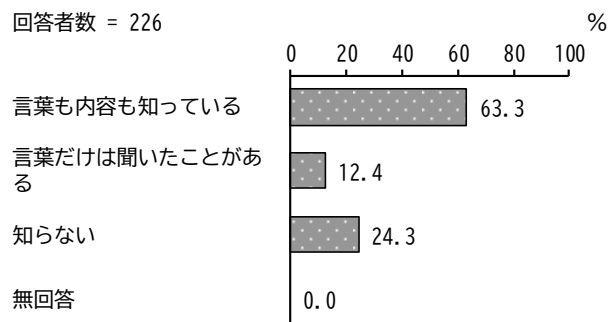
回答者数 = 226



問9 ヤングケアラーを知っていますか。（ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を日常的に行っていることものを指します。例えば、家族のお風呂やトイレのお世話、きょうだいのお世話など。）（1つに○）

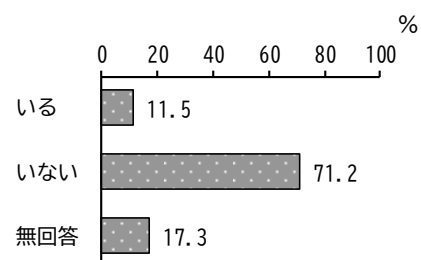
「言葉も内容も知っている」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 24.3%、「言葉だけは聞いたことがある」の割合が 12.4%となっています。

回答者数 = 226



問 10 18 歳未満の方におうかがいします。ふつう、大人が行うような家事や家族のお世話を日常的にしていますか。(1 つに○)

「いる」の割合が 11.5%、「いない」の割合が 71.2%となっています。 回答者数 = 52



【同居している人別】

同居している人別にみると、大きな差はみられません。

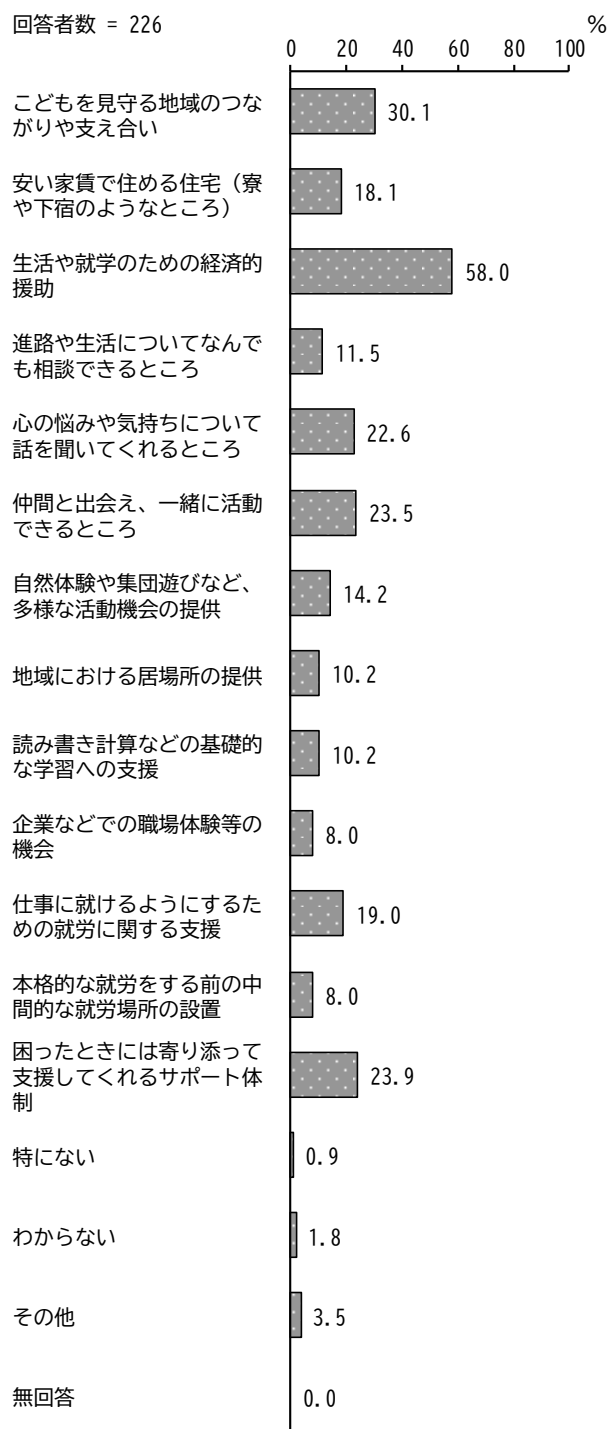
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	52 100.0	6 11.5	37 71.2	9 17.3
母親	48 100.0	5 10.4	35 72.9	8 16.7
父親	44 100.0	4 9.1	33 75.0	7 15.9
きょうだい	40 100.0	6 15.0	30 75.0	4 10.0
祖母	6 100.0	1 16.7	5 83.3	— —
祖父	3 100.0	— —	3 100.0	— —
配偶者	— —	— —	— —	— —
自分のこども	— —	— —	— —	— —
パートナー	— —	— —	— —	— —
同居している人はいない	— —	— —	— —	— —
その他	1 100.0	— —	1 100.0	— —

問 11 あなたは、こどもや若者に対してどのような支援があるとよいと思いますか。
「16. その他」を選択したときは、() に具体的な内容を書いてください。
(3つまで○)

「生活や就学のための経済的援助」の割合が58.0%と最も高く、次いで「こどもを見守る地域のつながりや支え合い」の割合が30.1%、「困ったときには寄り添って支援してくれるサポート体制」の割合が23.9%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

- ・休日に息抜きできる充実した場所（印西市のグッドマンの公園のような場所）（1件）
- ・新しい施策導入の検討に加えて、現在ある体制（例：学校数、教員その他スタッフの数）を維持拡充することが上記選択肢で上げている施策と同じような効果を持つと考える。（1件）
- ・20年前位から思っていたが、年寄りが多い地域のせい子供や若者が遊べる場所がない。20・30代前後の若者を市議会議員に推薦し、若者や子供達の意見を汲み取りやすいようにできたら素敵だなと思う。（1件）

- ・公園や子供が自由に遊べる施設の拡充, 設営。(1 件)
- ・子育て支援の年齢を上げる (20 歳) (1 件)
- ・土日祝に対応してくれる役所 (1 件)
- ・妊婦タクシーの設置 (1 件)
- ・全部必要。(1 件)

【職業別】

職業別にみると、家事専業で「こどもを見守る地域のつながりや支え合い」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数 (件)	こどもを見守る地域のつながりや支え合い	安い家賃で住める住宅(寮や下宿のようないところ)	生活や就学のための経済的援助	進路や生活についてなんでも相談できるところ	心の悩みや気持ちについて話を聞いたりしてくれるところ	仲間と出会う、一緒に活動できるところ	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における居場所の提供
全 体	226 100.0	68 30.1	41 18.1	131 58.0	26 11.5	51 22.6	53 23.5	32 14.2	23 10.2
高校生	34 100.0	9 26.5	8 23.5	22 64.7	3 8.8	8 23.5	9 26.5	1 2.9	4 11.8
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	9 32.1	5 17.9	13 46.4	2 7.1	6 21.4	5 17.9	4 14.3	6 21.4
予備校生・浪人生	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	31 30.4	20 19.6	63 61.8	11 10.8	19 18.6	22 21.6	18 17.6	9 8.8
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	5 19.2	6 23.1	14 53.8	2 7.7	6 23.1	11 42.3	3 11.5	2 7.7
自営業者	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	- -
無職	8 100.0	1 12.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	4 50.0	- -	- -	- -
家事専業	13 100.0	8 61.5	- -	9 69.2	3 23.1	1 7.7	4 30.8	3 23.1	1 7.7
その他	11 100.0	3 27.3	1 9.1	5 45.5	2 18.2	4 36.4	2 18.2	2 18.2	1 9.1

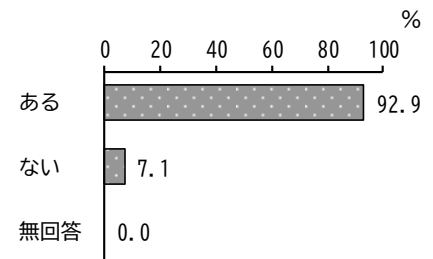
単位 上段：件、下段：％

区分	読みの基礎的な学習への支援	企業などでの職場体験等の機会	仕事に就けるようするための就労に関する支援	本格的な就労をする前の中間的な就労場所の設置	制くり添ったときにサポートして	特にな	わからない	その他	無回答
全 体	23 10.2	18 8.0	43 19.0	18 8.0	54 23.9	2 0.9	4 1.8	8 3.5	- -
高校生	3 8.8	5 14.7	7 20.6	3 8.8	7 20.6	- -	- -	1 2.9	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	2 7.1	5 17.9	3 10.7	2 7.1	9 32.1	- -	1 3.6	2 7.1	- -
予備校生・浪人生	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	11 10.8	6 5.9	16 15.7	8 7.8	20 19.6	1 1.0	2 2.0	4 3.9	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	3 11.5	1 3.8	9 34.6	2 7.7	5 19.2	1 3.8	- -	- -	- -
自営業者	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -
無職	- -	- -	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -	1 12.5	1 12.5	- -
家事専業	2 15.4	1 7.7	3 23.1	- -	3 23.1	- -	- -	- -	- -
その他	1 9.1	- -	2 18.2	1 9.1	5 45.5	- -	- -	- -	- -

(前ページ表 続き)

問 12 あなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）はありますか。
（1つに○）

「ある」の割合が 92.9%、「ない」の割合が 7.1%となっています。 回答者数 = 226



【性別】

性別にみると、男性で「部活動・サークル」、「インターネット空間」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

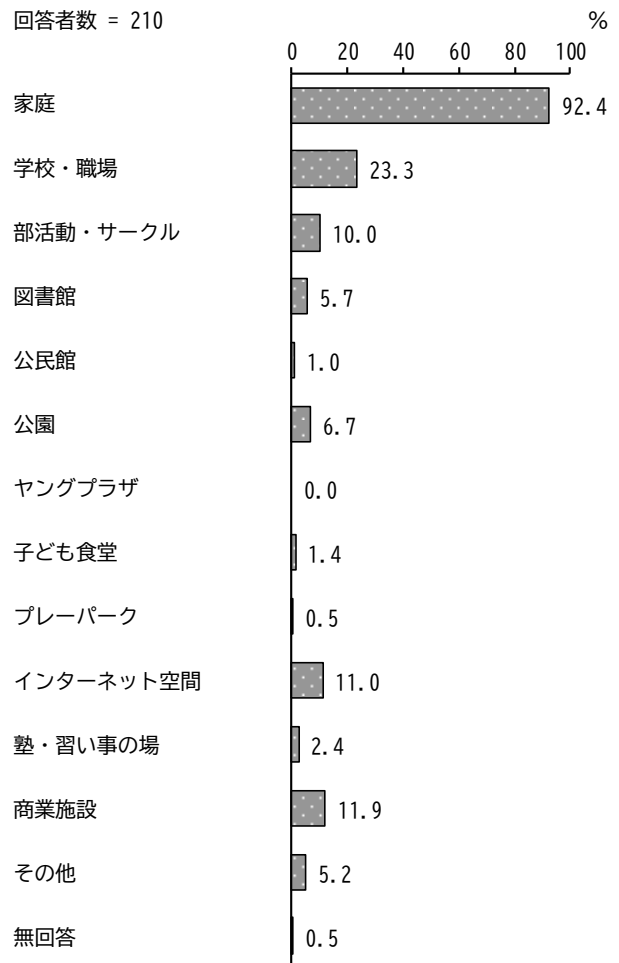
区分	回答者数	家庭	学校・職場	部活動・サークル	図書館	公民館	公園	ヤングプラザ
全 体	210 100.0	194 92.4	49 23.3	21 10.0	12 5.7	2 1.0	14 6.7	- -
男性	77 100.0	73 94.8	18 23.4	10 13.0	6 7.8	- -	6 7.8	- -
女性	131 100.0	119 90.8	31 23.7	11 8.4	6 4.6	2 1.5	8 6.1	- -
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	子ども食堂	プレイパーク	インターネット空間	塾・習い事	商業施設	その他	無回答
全 体	3 1.4	1 0.5	23 11.0	5 2.4	25 11.9	11 5.2	1 0.5
男性	2 2.6	1 1.3	11 14.3	1 1.3	6 7.8	3 3.9	- -
女性	1 0.8	- -	11 8.4	4 3.1	19 14.5	8 6.1	1 0.8
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -

問13 問12で「1. ある」と答えた方にうかがいます。次のうち、あなたの居場所はどこですか。当てはまる番号に○をつけてください。「13. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。(すべてに○)

「家庭」の割合が 92.4%と最も高く、次いで「学校・職場」の割合が 23.3%、「商業施設」の割合が 11.9%となっています。

回答者数 = 210



【その他の意見】

- ・親友 (2 件)
- ・散歩道など (1 件)
- ・バイト先 (1 件)
- ・1 人でゆっくりできる空間 (1 件)
- ・自分の部屋 (2 件)
- ・義理実家 (1 件)
- ・趣味サークル (1 件)
- ・カラオケ (1 件)
- ・映画館 (1 件)

【職業別】

職業別にみると、高校生で「部活動・サークル」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	家庭	学校・職場	部活動・サークル	図書館	公民館	公園	ヤングプラザ
全 体	210 100.0	194 92.4	49 23.3	21 10.0	12 5.7	2 1.0	14 6.7	- -
高校生	32 100.0	27 84.4	9 28.1	11 34.4	1 3.1	- -	1 3.1	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	26 100.0	25 96.2	8 30.8	5 19.2	2 7.7	- -	2 7.7	- -
予備校生・浪人生	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	97 100.0	93 95.9	21 21.6	3 3.1	4 4.1	1 1.0	5 5.2	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	23 100.0	20 87.0	6 26.1	2 8.7	2 8.7	- -	1 4.3	- -
自営業者	3 100.0	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
無職	6 100.0	5 83.3	- -	- -	- -	- -	1 16.7	- -
家事専業	13 100.0	12 92.3	- -	- -	2 15.4	1 7.7	2 15.4	- -
その他	9 100.0	8 88.9	4 44.4	- -	1 11.1	- -	2 22.2	- -

単位 上段：件、下段：％

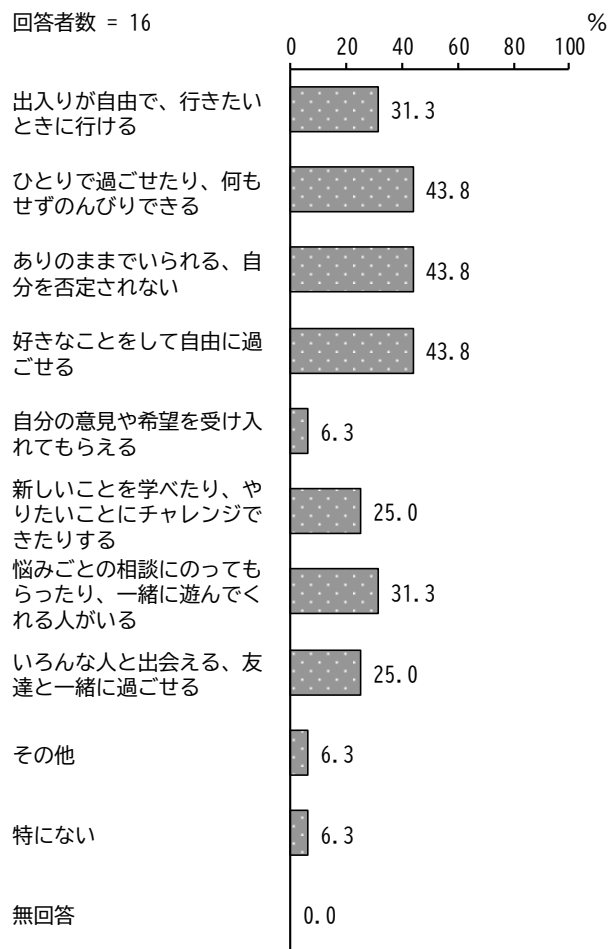
区分	子ども食堂	プレーパーク	インターネット空間	塾・習い事 の場	商業施設	その他	無回答
全 体	3 1.4	1 0.5	23 11.0	5 2.4	25 11.9	11 5.2	1 0.5
高校生	- -	- -	3 9.4	3 9.4	2 6.3	4 12.5	1 3.1
大学院生・大学生・短 大生・高等専門学校生	- -	- -	4 15.4	- -	3 11.5	1 3.8	- -
予備校生・浪人生	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する 社会人	2 2.1	- -	8 8.2	- -	13 13.4	3 3.1	- -
パートタイム・アルバ イトで勤務する社会人	- -	- -	4 17.4	1 4.3	2 8.7	- -	- -
自営業者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無職	- -	- -	- -	- -	- -	1 16.7	- -
家事専業	1 7.7	- -	3 23.1	- -	3 23.1	- -	- -
その他	- -	1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	- -

(前ページの表 続き)

問14 問12で「2. ない」と答えた方にうかがいます。どのような居場所があれば行ってみたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。「9. その他」に○をした時は、()の中に具体的な内容を書いてください。(すべてに○)

「ひとりで過ごせたり、何もせずのんびりできる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」、「好きなことをして自由に過ごせる」の割合が43.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 16



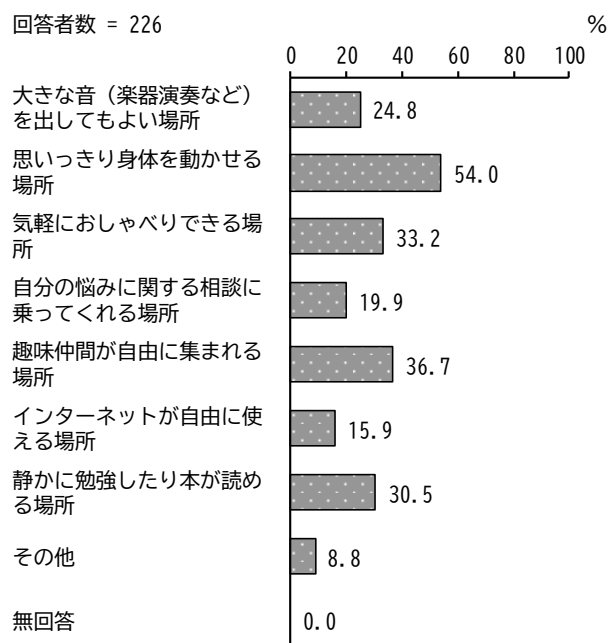
【その他の意見】

- ・よく分からない。(1件)

問 15 あなたは、若者向けにどんな場所が佐倉市にあればよいと思いますか。「8. その他」に○をした時は、()の中に具体的な内容を書いてください。
(3つまで○)

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が 36.7%、「気軽におしゃべりできる場所」の割合が 33.2%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

- ・ ストレス発散できる充実したショッピングモール。(6件)
- ・ 夏休み期間だけでなく持ち込みで自習ができるスペース(図書館では資料をまとめるためのスペースしかなく自習が出来るようなスペースが全くないため)(2件)
- ・ 場所を問わず子供、若者の行動を過剰に制限しないことが重要だと考える。公園でのボール遊びを制限しない、子供の声に対してクレームを入れないよう開発活動をするなど。(2件)
- ・ アミューズメントスポット。実現は現実的ではないがテーマパークがあれば良い。純粋にラブホテル設置。以前誰かから佐倉は歴史を重んじるとかで建てるのを禁じていると聞いた事がある。(2件)
- ・ バasketコート・気軽に借りられる体育館。(2件)
- ・ 設備が整った室内プール(市民の健康増進や喘息の改善にもなる)(1件)
- ・ 子供を無料で預けられて、母親が自由になれる施設。(1件)
- ・ 習い事の場所が住宅の近くにほしい。(1件)
- ・ 気軽に1人になれる場所。(1件)
- ・ テニスの壁打ちが出来る場所。(1件)

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳～24 歳で「大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所」の割合が高くなっています。

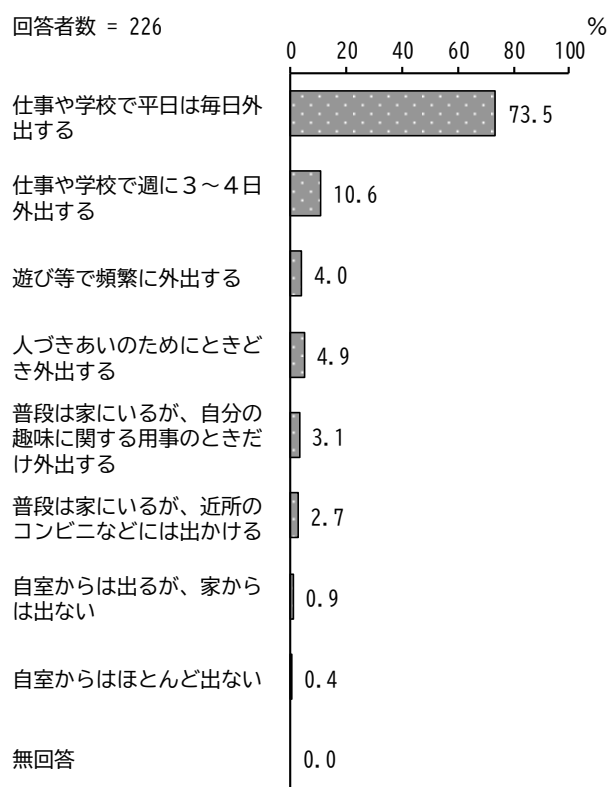
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数 (件)	大きな音（楽器演奏 など）を出してもよ い場所	思いっきり身体を 動かせる場所	気軽におしゃべり できる場所	自分の悩みに関す る相談に乗って関 する場所	趣味仲間が自由 に集まれる場所	インターネットが 自由に使える場所	静かに勉強したり 本が読める場所	その他	無回 答
全 体	226 100.0	56 24.8	122 54.0	75 33.2	45 19.9	83 36.7	36 15.9	69 30.5	20 8.8	-
15 歳～19 歳	52 100.0	13 25.0	24 46.2	24 46.2	7 13.5	17 32.7	11 21.2	20 38.5	5 9.6	-
20 歳～24 歳	32 100.0	13 40.6	11 34.4	8 25.0	6 18.8	10 31.3	5 15.6	6 18.8	3 9.4	-
25 歳～29 歳	38 100.0	4 10.5	25 65.8	11 28.9	6 15.8	18 47.4	10 26.3	11 28.9	2 5.3	-
30 歳～34 歳	48 100.0	11 22.9	28 58.3	13 27.1	10 20.8	21 43.8	4 8.3	16 33.3	4 8.3	-
35 歳～39 歳	56 100.0	15 26.8	34 60.7	19 33.9	16 28.6	17 30.4	6 10.7	16 28.6	6 10.7	-

問 16 あなたは普段どのくらい外出しますか。最も当てはまるものに○をつけてください。（1 つに○）

「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に 3 ～ 4 日外出する」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 226



問 17 問 16 で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」から「8. 自室からはほとんど出ない」に○をした方におうかがいします。あなたの外出の状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。（1 つに○）

「20 歳～24 歳」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「15 歳～19 歳」の割合が 25.0%、「25 歳～29 歳」、「30 歳～34 歳」、「35 歳～39 歳」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 16

14歳以下

15歳～19歳

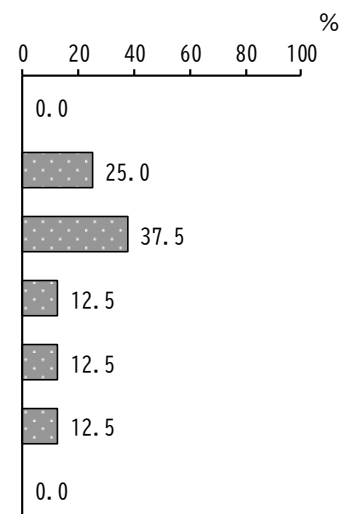
20歳～24歳

25歳～29歳

30歳～34歳

35歳～39歳

無回答



【若者向けにどんな場所が佐倉市にあったらいいか別】

若者向けにどんな場所が佐倉市にあったらいいか別にみると、大きな差はみられません。

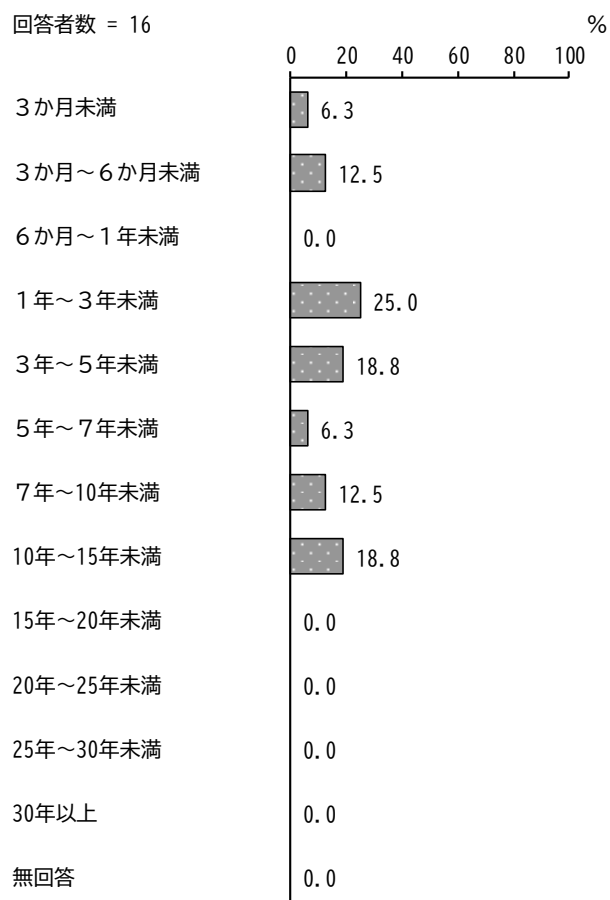
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	無回答
全 体	16 100.0	- -	4 25.0	6 37.5	2 12.5	2 12.5	2 12.5	- -
大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所	5 100.0	- -	1 20.0	2 40.0	- -	- -	2 40.0	- -
思いっきり身体を動かせる場所	4 100.0	- -	- -	2 50.0	- -	- -	2 50.0	- -
気軽におしゃべりできる場所	5 100.0	- -	- -	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -
自分の悩みに関する相談に乗ってくれる場所	5 100.0	- -	- -	3 60.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -
趣味仲間が自由に集まれる場所	5 100.0	- -	2 40.0	1 20.0	- -	2 40.0	- -	- -
インターネットが自由に使える場所	3 100.0	- -	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -
静かに勉強したり本が読める場所	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -
その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

問18 問16で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」から「8. 自室からはほとんど出ない」に○をした方におうかがいします。
あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(1つに○)

「1年～3年未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3年～5年未満」、「10年～15年未満」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 16



【普段外出をしなくなった時の年齢別】

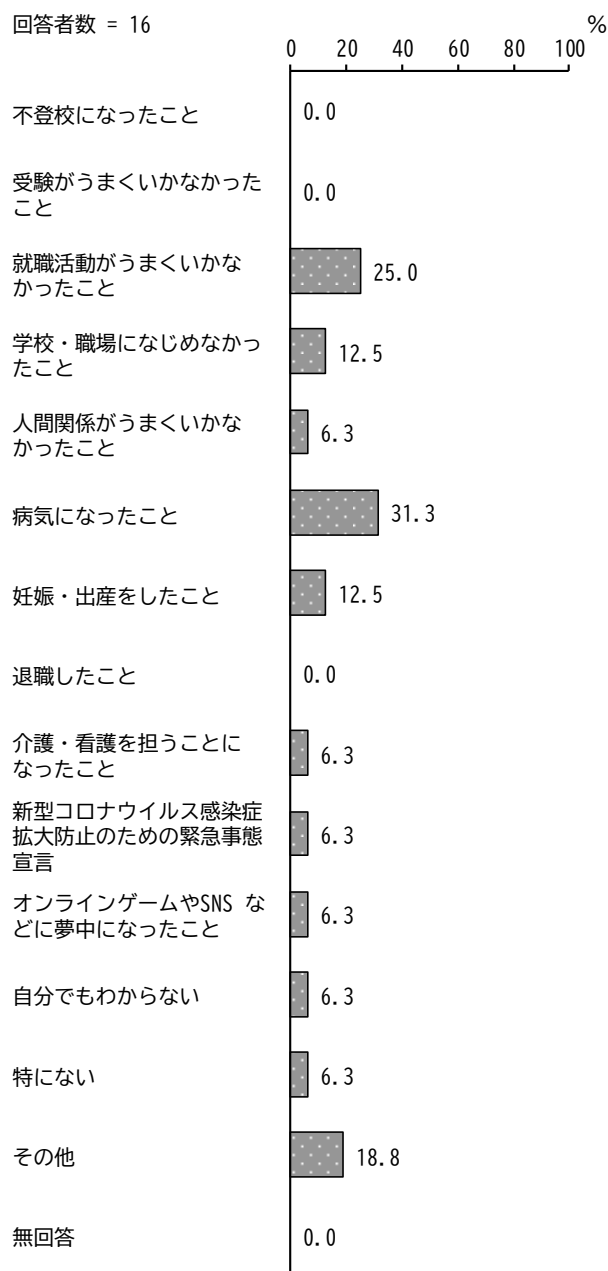
普段外出をしなくなった時の年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
全 体	16 100.0	1 6.3	2 12.5	- -	4 25.0	3 18.8	1 6.3	2 12.5	3 18.8	- -	- -	- -	- -	- -
14歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
15歳～19歳	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
20歳～24歳	6 100.0	- -	1 16.7	- -	2 33.3	- -	- -	2 33.3	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -
25歳～29歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
30歳～34歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
35歳～39歳	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問 19 問 16 で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」から「8. 自室からはほとんど出ない」に○をした方におうかがいします。あなたがそのような状況になったきっかけは何でしたか。「14. その他」に○をした時は、()の中に具体的な内容を書いてください。(すべてに○)

「病気になったこと」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「就職活動がうまくいかなかったこと」の割合が 25.0%、「学校・職場になじめなかったこと」、「妊娠・出産をしたこと」の割合が 12.5%となっています。



【その他の意見】

- ・在宅勤務のため（2件）
- ・家にいるとストレス溜まるので、月1回気分転換に出掛ける。（1件）

【普段外出をしなくなった時の年齢別】

普段外出をしなくなった時の年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

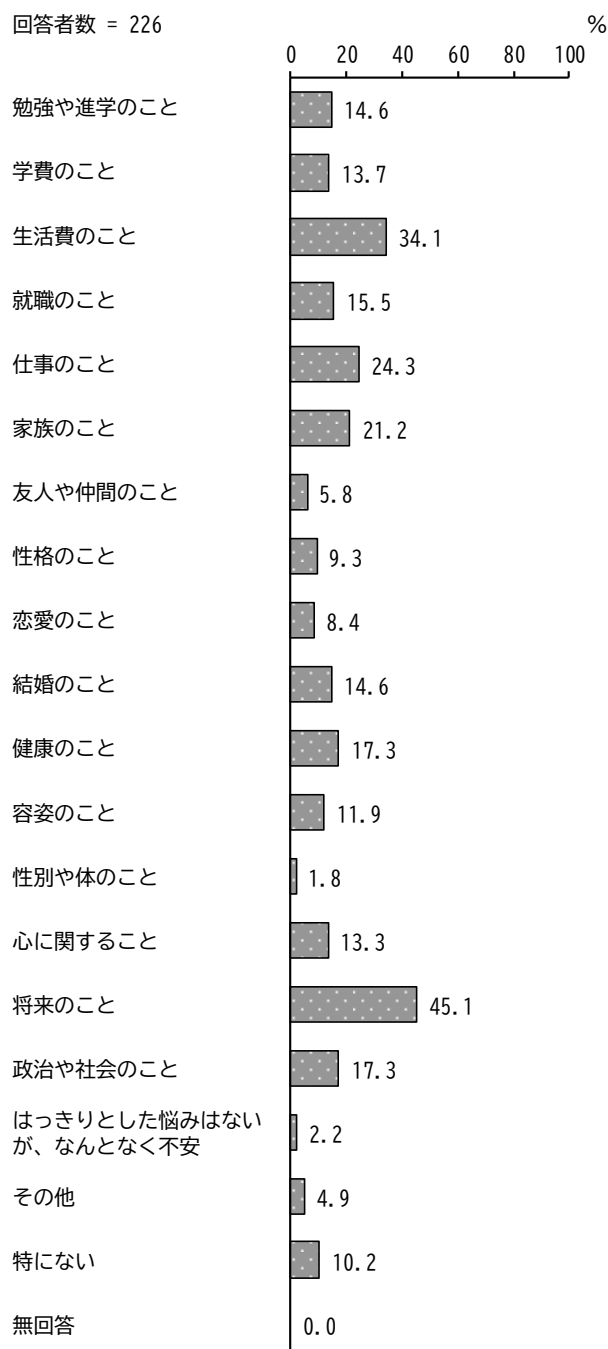
区分	回答者数	不登校になったこと	受験がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	学校・職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気になったこと	妊娠・出産をしたこと
全 体	16 100.0	- -	- -	4 25.0	2 12.5	1 6.3	5 31.3	2 12.5
14歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
15歳～19歳	4 100.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
20歳～24歳	6 100.0	- -	- -	3 50.0	1 16.7	- -	2 33.3	1 16.7
25歳～29歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0
30歳～34歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
35歳～39歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -

区分	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言	オンラインゲームやSNSなどに夢中になったこと	自分でもわからない	特にない	その他	無回答
全 体	- -	1 6.3	1 6.3	1 6.3	1 6.3	1 6.3	3 18.8	- -
14歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
15歳～19歳	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -
20歳～24歳	- -	- -	- -	1 16.7	- -	1 16.7	- -	- -
25歳～29歳	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
30歳～34歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -
35歳～39歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -

問 20 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。「18. その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。
(すべてに○)

「将来のこと」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が 34.1%、「仕事のこと」の割合が 24.3%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

- ・子育て、子供の迎えの時間に帰れるようにしない職場に不満。社会全体が子育てに協力する姿勢が必要。時短勤務などの制度があるだけで、利用できない世の中が考え方を变えるべきです。(2件)
- ・隣人の、嫌がらせ。(2件)
- ・自民党の腐敗ぶりを目の当たりにして選挙に関しても介入があるのではないか、選挙管理委員会が正常に作用していなのではないかという不安。(1件)
- ・臼井駅に特急が止まらない、臼井駅に JR がない。(1件)

- ・もっと、子育てにお金をかけない対策をしていただかないと、子供は増えないし、若者も増えない。都内の子育て支援との差がありすぎ。例、高校無償化、給食費無料、0～2歳の保育園無償化、妊婦健診全額無料。(1件)
- ・臼井駅前のタクシー乗り場の存在意義が分からない。朝晩のラッシュ時の大渋滞の原因の一つだと思う。不便利で困っている。(1件)
- ・部活動。(1件)
- ・育児のこと。(1件)
- ・あるが、答えたくない。(1件)

【性別】

性別にみると、男性で「政治や社会のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	勉強や進学のこと	学費のこと	生活費のこと	就職のこと	仕事のこと	家族のこと	友人や仲間のこと	性格のこと	恋愛のこと	結婚のこと
全 体	226 100.0	33 14.6	31 13.7	77 34.1	35 15.5	55 24.3	48 21.2	13 5.8	21 9.3	19 8.4	33 14.6
男性	81 100.0	14 17.3	18 22.2	34 42.0	12 14.8	19 23.5	13 16.0	4 4.9	7 8.6	11 13.6	13 16.0
女性	142 100.0	19 13.4	13 9.2	42 29.6	23 16.2	36 25.4	35 24.6	9 6.3	14 9.9	8 5.6	20 14.1
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	3 100.0	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	健康のこと	容姿のこと	性別や体のこと	心に関すること	将来のこと	政治や社会のこと	はつきりとした悩みはないが、なんとなく不安	その他	特にない	無回答
全 体	39 17.3	27 11.9	4 1.8	30 13.3	102 45.1	39 17.3	5 2.2	11 4.9	23 10.2	- -
男性	11 13.6	7 8.6	1 1.2	6 7.4	37 45.7	23 28.4	- -	3 3.7	6 7.4	- -
女性	28 19.7	20 14.1	3 2.1	24 16.9	64 45.1	15 10.6	4 2.8	8 5.6	17 12.0	- -
どちらでもない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
答えたくない	- -	- -	- -	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -

【職業別】

職業別にみると、高校生で「勉強や進学のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	勉強や進学のこと	学費のこと	生活費のこと	就職のこと	仕事のこと	家族のこと	友人や仲間のこと	性格のこと	恋愛のこと	結婚のこと
全 体	226 100.0	33 14.6	31 13.7	77 34.1	35 15.5	55 24.3	48 21.2	13 5.8	21 9.3	19 8.4	33 14.6
高校生	34 100.0	23 67.6	6 17.6	3 8.8	6 17.6	- -	3 8.8	7 20.6	4 11.8	3 8.8	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	7 25.0	3 10.7	2 7.1	10 35.7	- -	1 3.6	3 10.7	1 3.6	2 7.1	1 3.6
予備校生・浪人生	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	2 2.0	15 14.7	50 49.0	1 1.0	38 37.3	27 26.5	2 2.0	9 8.8	13 12.7	28 27.5
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	- -	2 7.7	8 30.8	6 23.1	9 34.6	8 30.8	- -	4 15.4	- -	2 7.7
自営業者	3 100.0	- -	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
無職	8 100.0	- -	2 25.0	2 25.0	7 87.5	3 37.5	3 37.5	- -	- -	1 12.5	2 25.0
家事専業	13 100.0	- -	2 15.4	4 30.8	2 15.4	- -	4 30.8	- -	1 7.7	- -	- -
その他	11 100.0	- -	- -	6 54.5	3 27.3	4 36.4	2 18.2	1 9.1	2 18.2	- -	- -

単位 上段：件、下段：％

区分	健康のこと	容姿のこと	性別や体のこと	心に関すること	将来のこと	政治や社会のこと	はつきりとした悩みはないが、なんとなく不安	その他	特にない	無回答
全 体	39 17.3	27 11.9	4 1.8	30 13.3	102 45.1	39 17.3	5 2.2	11 4.9	23 10.2	- -
高校生	5 14.7	4 11.8	1 2.9	6 17.6	15 44.1	1 2.9	- -	3 8.8	6 17.6	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	- -	4 14.3	- -	2 7.1	11 39.3	5 17.9	1 3.6	- -	5 17.9	- -
予備校生・浪人生	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	21 20.6	14 13.7	2 2.0	9 8.8	49 48.0	23 22.5	1 1.0	4 3.9	8 7.8	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	5 19.2	4 15.4	- -	8 30.8	10 38.5	4 15.4	2 7.7	1 3.8	3 11.5	- -
自営業者	- -	- -	- -	- -	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -
無職	1 12.5	- -	1 12.5	3 37.5	4 50.0	2 25.0	- -	- -	- -	- -
家事専業	4 30.8	- -	- -	1 7.7	6 46.2	1 7.7	- -	1 7.7	1 7.7	- -
その他	3 27.3	1 9.1	- -	1 9.1	6 54.5	1 9.1	- -	2 18.2	- -	- -

(前ページの表 続き)

【相談相手別】

相談相手別にみると、誰（どこ）にも相談しない・相談できないで「生活費のこと」、「家族のこと」、「性格のこと」、「将来のこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	勉強や進学のこと	学費のこと	生活費のこと	就職のこと	仕事のこと	家族のこと	友人や仲間のこと	性格のこと	恋愛のこと	結婚のこと
全 体	226 100.0	33 14.6	31 13.7	77 34.1	35 15.5	55 24.3	48 21.2	13 5.8	21 9.3	19 8.4	33 14.6
親	138 100.0	26 18.8	18 13.0	42 30.4	22 15.9	36 26.1	24 17.4	11 8.0	12 8.7	8 5.8	19 13.8
きょうだい	59 100.0	12 20.3	8 13.6	20 33.9	12 20.3	13 22.0	8 13.6	7 11.9	7 11.9	4 6.8	7 11.9
祖父母、親戚	13 100.0	3 23.1	3 23.1	5 38.5	3 23.1	2 15.4	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	－ －
配偶者（パートナー）	70 100.0	2 2.9	15 21.4	28 40.0	3 4.3	19 27.1	23 32.9	1 1.4	3 4.3	－ －	5 7.1
自分のこども	8 100.0	1 12.5	3 37.5	5 62.5	－ －	1 12.5	2 25.0	－ －	－ －	－ －	－ －
学校の先生	11 100.0	6 54.5	1 9.1	－ －	3 27.3	1 9.1	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2
塾、予備校、習い事の先生	4 100.0	3 75.0	－ －	－ －	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －	1 25.0	1 25.0	－ －
学校の友人・先輩	30 100.0	12 40.0	5 16.7	5 16.7	8 26.7	－ －	3 10.0	4 13.3	2 6.7	4 13.3	1 3.3
学生時代の友人・先輩	69 100.0	4 5.8	5 7.2	23 33.3	6 8.7	19 27.5	17 24.6	2 2.9	4 5.8	5 7.2	14 20.3
職場の同僚・上司	39 100.0	1 2.6	5 12.8	16 41.0	－ －	15 38.5	10 25.6	2 5.1	4 10.3	5 12.8	8 20.5
近所の人	10 100.0	－ －	2 20.0	4 40.0	1 10.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	－ －	－ －
趣味の団体・グループなどの仲間	10 100.0	－ －	－ －	3 30.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
交際相手	7 100.0	－ －	1 14.3	4 57.1	－ －	4 57.1	－ －	－ －	1 14.3	1 14.3	3 42.9
カウンセラー、精神科医	9 100.0	1 11.1	－ －	3 33.3	2 22.2	4 44.4	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1
公的な相談機関	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －
民間の相談機関	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
インターネット上で知り合った人、インターネット上の質問サイトや掲示板	7 100.0	1 14.3	－ －	－ －	－ －	1 14.3	1 14.3	－ －	－ －	1 14.3	－ －
その他	5 100.0	1 20.0	－ －	2 40.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0	－ －	1 20.0	2 40.0	3 60.0
誰（どこ）にも相談しない・相談できない	15 100.0	－ －	3 20.0	9 60.0	3 20.0	2 13.3	7 46.7	－ －	4 26.7	3 20.0	3 20.0

単位 上段：件、下段：％

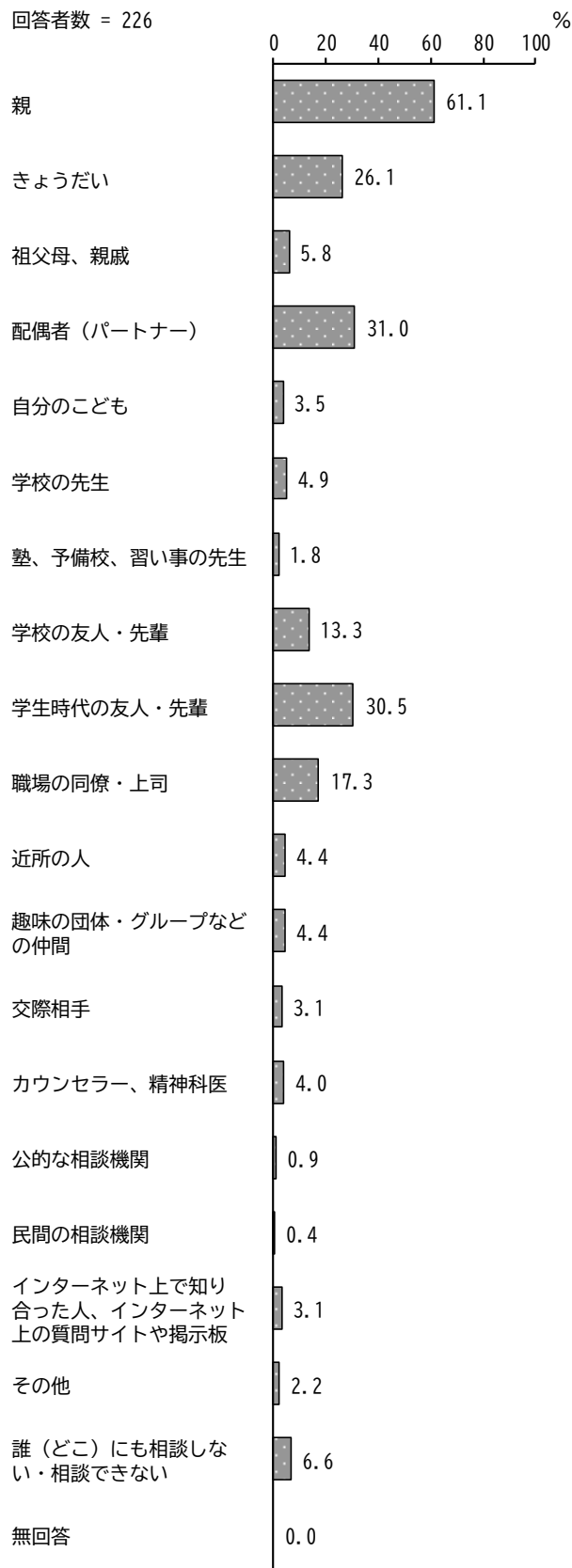
区分	健康のこと	容姿のこと	性別や体のこと	心に関すること	将来のこと	政治や社会のこと	はつきりとした悩みはないが、なんとなく不安	その他	特にない	無回答
全 体	39 17.3	27 11.9	4 1.8	30 13.3	102 45.1	39 17.3	5 2.2	11 4.9	23 10.2	- -
親	22 15.9	12 8.7	3 2.2	16 11.6	60 43.5	24 17.4	3 2.2	7 5.1	19 13.8	- -
きょうだい	12 20.3	10 16.9	- -	8 13.6	29 49.2	9 15.3	2 3.4	5 8.5	7 11.9	- -
祖父母、親戚	3 23.1	3 23.1	- -	3 23.1	3 23.1	1 7.7	- -	2 15.4	2 15.4	- -
配偶者（パートナー）	13 18.6	5 7.1	- -	7 10.0	28 40.0	13 18.6	2 2.9	6 8.6	4 5.7	- -
自分のこども	1 12.5	- -	- -	1 12.5	- -	2 25.0	- -	- -	1 12.5	- -
学校の先生	1 9.1	2 18.2	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1	- -	3 27.3	2 18.2	- -
塾、予備校、習い事の先生	- -	1 25.0	1 25.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -
学校の友人・先輩	4 13.3	6 20.0	1 3.3	4 13.3	13 43.3	4 13.3	- -	2 6.7	7 23.3	- -
学生時代の友人・先輩	13 18.8	6 8.7	1 1.4	6 8.7	35 50.7	15 21.7	2 2.9	3 4.3	7 10.1	- -
職場の同僚・上司	11 28.2	6 15.4	2 5.1	5 12.8	20 51.3	8 20.5	- -	1 2.6	5 12.8	- -
近所の人	1 10.0	- -	- -	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	- -	1 10.0	- -
趣味の団体・グループなどの仲間	1 10.0	- -	- -	- -	4 40.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	- -	- -
交際相手	2 28.6	2 28.6	- -	1 14.3	3 42.9	1 14.3	- -	- -	3 42.9	- -
カウンセラー、精神科医	2 22.2	1 11.1	1 11.1	5 55.6	5 55.6	2 22.2	1 11.1	1 11.1	- -	- -
公的な相談機関	- -	- -	- -	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
民間の相談機関	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
インターネット上で知り合った人、インターネット上の質問サイトや掲示板	1 14.3	1 14.3	- -	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	- -	- -	- -
その他	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	4 80.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -
誰（どこ）にも相談しない・相談できない	5 33.3	2 13.3	1 6.7	3 20.0	8 53.3	3 20.0	- -	1 6.7	- -	- -

（前ページの表 続き）

問 21 あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる人（場所）を教えてください。「18. その他」に○をした時は、（ ）の中に具体的な内容を書いてください。「19. 誰（どこ）にも相談しない・相談できない」に○をした時は、（ ）の中にその理由を書いてください。（すべてに○）

「親」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」の割合が 31.0%、「学生時代の友人・先輩」の割合が 30.5%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

- ・本（１件）
- ・親友（１件）
- ・よく分からない。（１件）
- ・軽いことはきょうだいに相談するが他はしない。相談することで相手の負担にもなり得るし、相談することで不快感を覚えるので。（１件）
- ・大概のことは自分で解決しますので特に相談しません。（１件）

【誰（どこ）にも相談しない・相談できない主な意見】

- ・相談したところで何の解決にもならない。結局わかってもらえないので話さない。(3件)
- ・性被害や介護、家庭環境など簡単に他人に相談できることではないため。相談して傷ついた経験の方が多く解決が望めないため。(1件)
- ・自分の漠然とした悩みを上手く言葉に変換できず、相手に伝えられない。(1件)
- ・基本的に悩みごとは自分一人で悩み、自分で解決するため。(1件)
- ・相談する弱い自分を見せたくないから。(1件)
- ・相談窓口など敷居が高く感じる。(1件)
- ・いない。(1件)

【職業別】

職業別にみると、家事専業で「配偶者（パートナー）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	親	きょうだい	祖父母、親戚	配偶者（パートナー）	自分のこども	学校の先生	塾、予備校、習い事の先生	学校の友人・先輩	学生時代の友人・先輩	職場の同僚・上司
全 体	226 100.0	138 61.1	59 26.1	13 5.8	70 31.0	8 3.5	11 4.9	4 1.8	30 13.3	69 30.5	39 17.3
高校生	34 100.0	27 79.4	11 32.4	3 8.8	－ －	－ －	7 20.6	3 8.8	15 44.1	－ －	1 2.9
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	22 78.6	10 35.7	2 7.1	－ －	－ －	2 7.1	－ －	12 42.9	8 28.6	1 3.6
予備校生・浪人生	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	55 53.9	23 22.5	2 2.0	41 40.2	2 2.0	－ －	－ －	1 1.0	39 38.2	29 28.4
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	14 53.8	5 19.2	1 3.8	10 38.5	1 3.8	1 3.8	－ －	1 3.8	10 38.5	6 23.1
自営業者	3 100.0	－ －	－ －	－ －	2 66.7	1 33.3	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －
無職	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	－ －	－ －	1 12.5	－ －	－ －	2 25.0	－ －
家事専業	13 100.0	8 61.5	5 38.5	2 15.4	10 76.9	4 30.8	－ －	－ －	1 7.7	7 53.8	－ －
その他	11 100.0	5 45.5	4 36.4	2 18.2	7 63.6	－ －	－ －	－ －	－ －	1 9.1	2 18.2

単位 上段：件、下段：％

区分	近所の人	趣味の団体・グループなどの仲間	交際相手	カウンセラー、精神科医	公的な相談機関	民間の相談機関	インターネット上で知り合った人、インターネット上の質問サイトや掲示板	その他	誰（どこ）にも相談しない・相談できない	無回答
全 体	10 4.4	10 4.4	7 3.1	9 4.0	2 0.9	1 0.4	7 3.1	5 2.2	15 6.6	- -
高校生	- -	1 2.9	- -	1 2.9	- -	- -	1 2.9	1 2.9	1 2.9	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	- -	2 7.1	1 3.6	1 3.6	- -	- -	1 3.6	- -	1 3.6	- -
予備校生・浪人生	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	1 1.0	3 2.9	6 5.9	4 3.9	1 1.0	- -	1 1.0	3 2.9	8 7.8	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	5 19.2	2 7.7	- -	1 3.8	- -	- -	2 7.7	- -	2 7.7	- -
自営業者	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無職	- -	1 12.5	- -	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	1 12.5	- -
家事専業	2 15.4	- -	- -	- -	- -	- -	2 15.4	- -	1 7.7	- -
その他	2 18.2	- -	- -	1 9.1	- -	- -	- -	1 9.1	1 9.1	- -

（前ページの表 続き）

【同居している人別】

同居している人別にみると、配偶者で「配偶者（パートナー）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	親	きょうだい	祖父母、親戚	配偶者（パートナー）	自分のこども	学校の先生	塾、予備校、習い事の先生	学校の友人・先輩	学生時代の友人・先輩	職場の同僚・上司
全 体	226 100.0	138 61.1	59 26.1	13 5.8	70 31.0	8 3.5	11 4.9	4 1.8	30 13.3	69 30.5	39 17.3
母親	114 100.0	81 71.1	33 28.9	8 7.0	3 2.6	- -	10 8.8	4 3.5	27 23.7	37 32.5	14 12.3
父親	97 100.0	69 71.1	28 28.9	6 6.2	2 2.1	- -	9 9.3	3 3.1	23 23.7	25 25.8	13 13.4
きょうだい	59 100.0	46 78.0	25 42.4	6 10.2	1 1.7	- -	6 10.2	2 3.4	19 32.2	9 15.3	4 6.8
祖母	13 100.0	9 69.2	3 23.1	3 23.1	- -	- -	- -	1 7.7	3 23.1	4 30.8	2 15.4
祖父	4 100.0	3 75.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -
配偶者	82 100.0	40 48.8	17 20.7	4 4.9	63 76.8	8 9.8	1 1.2	- -	1 1.2	26 31.7	16 19.5
自分のこども	72 100.0	35 48.6	14 19.4	5 6.9	50 69.4	8 11.1	1 1.4	- -	1 1.4	23 31.9	13 18.1
パートナー	5 100.0	4 80.0	1 20.0	- -	3 60.0	- -	- -	- -	- -	2 40.0	- -
同居している人はいない	17 100.0	9 52.9	5 29.4	- -	1 5.9	- -	- -	- -	- -	5 29.4	7 41.2
その他	8 100.0	3 37.5	2 25.0	- -	2 25.0	- -	- -	- -	1 12.5	3 37.5	2 25.0

単位 上段：件、下段：％

区分	近所の人	趣味の団体・グループなどの仲間	交際相手	カウンセラー、精神科医	公的な相談機関	民間の相談機関	インターネット上で知り合った人、インターネット上の質問サイトや掲示板	その他	誰（どこ）にも相談しない・相談できない	無回答
全 体	10 4.4	10 4.4	7 3.1	9 4.0	2 0.9	1 0.4	7 3.1	5 2.2	15 6.6	- -
母親	1 0.9	7 6.1	3 2.6	7 6.1	1 0.9	1 0.9	4 3.5	3 2.6	6 5.3	- -
父親	1 1.0	7 7.2	3 3.1	6 6.2	1 1.0	1 1.0	3 3.1	2 2.1	5 5.2	- -
きょうだい	1 1.7	2 3.4	1 1.7	4 6.8	1 1.7	1 1.7	3 5.1	1 1.7	3 5.1	- -
祖母	1 7.7	- -	- -	2 15.4	- -	- -	2 15.4	- -	- -	- -
祖父	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
配偶者	8 9.8	1 1.2	- -	1 1.2	1 1.2	- -	3 3.7	1 1.2	7 8.5	- -
自分の子ども	8 11.1	1 1.4	- -	1 1.4	1 1.4	- -	3 4.2	1 1.4	5 6.9	- -
パートナー	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
同居している人はいない	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	- -	- -	- -	1 5.9	1 5.9	- -
その他	- -	- -	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	2 25.0	- -

（前ページの表 続き）

【普段外出をしなくなった時の年齢別】

普段外出をしなくなった時の年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：％

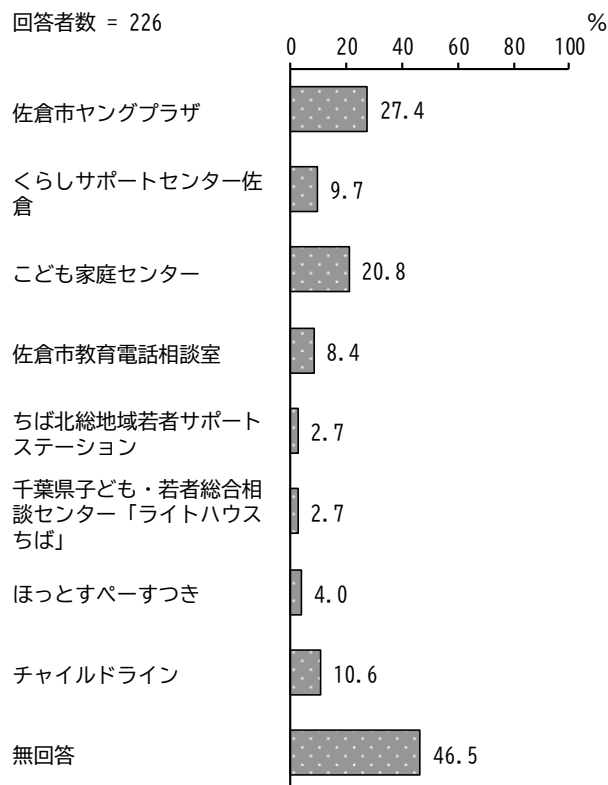
区分	回答者数	親	きょうだい	祖父母、親戚	配偶者（パートナー）	自分のこども	学校の先生	塾、予備校、習い事の先生	学校の友人・先輩	学生時代の友人・先輩	職場の同僚・上司
全 体	16 100.0	6 37.5	2 12.5	3 18.8	4 25.0	2 12.5	- -	- -	- -	5 31.3	1 6.3
14歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
15歳～19歳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -
20歳～24歳	6 100.0	4 66.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	- -	- -	- -	2 33.3	1 16.7
25歳～29歳	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
30歳～34歳	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -
35歳～39歳	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -

区分	近所の人	趣味の団体・グループなどの仲間	交際相手	カウンセラー、精神科医	公的な相談機関	民間の相談機関	インターネット上で知り合った人、インターネット上の質問サイトや掲示板	その他	誰（どこ）にも相談しない・相談できない	無回答
全 体	1 6.3	1 6.3	- -	3 18.8	- -	- -	1 6.3	1 6.3	3 18.8	- -
14歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
15歳～19歳	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -
20歳～24歳	- -	1 16.7	- -	2 33.3	- -	- -	- -	1 16.7	- -	- -
25歳～29歳	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -
30歳～34歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -
35歳～39歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -

問 22 あなたは、次の場所や相談窓口を知っていますか。（すべてに○）

「佐倉市ヤングプラザ」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「こども家庭センター」の割合が 20.8%、「チャイルドライン」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 226

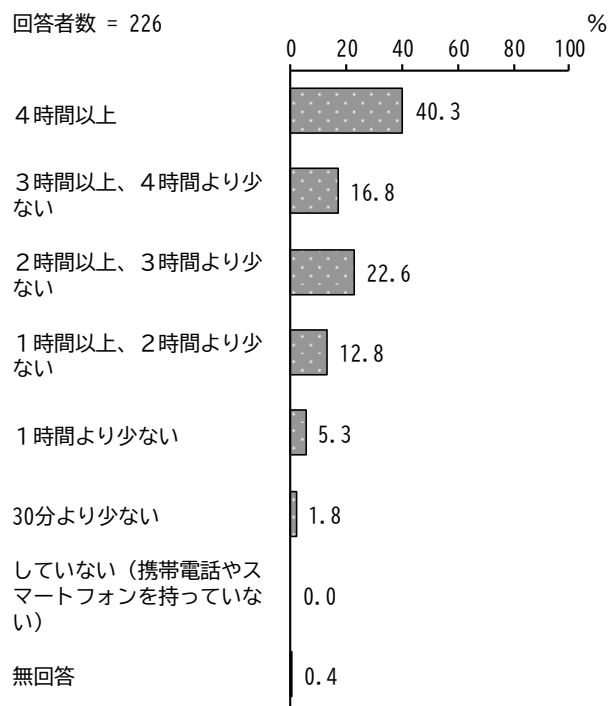


問 23 あなたは、プライベートにおいて、1日のうちどれくらいの時間、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使用して、SNSや動画視聴、ゲームなどを行いますか。平日、土日祝日それぞれの時間をお答えください。（1つに○）

【平日】

「4時間以上」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が 22.6%、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 226



【職業別（平日）】

職業別にみると、大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生で「4時間以上」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンを持っていない）	無回答
全 体	226 100.0	91 40.3	38 16.8	51 22.6	29 12.8	12 5.3	4 1.8	- -	1 0.4
高校生	34 100.0	18 52.9	5 14.7	6 17.6	4 11.8	- -	1 2.9	- -	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	20 71.4	2 7.1	4 14.3	1 3.6	- -	- -	- -	1 3.6
予備校生・浪人生	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	33 32.4	21 20.6	28 27.5	14 13.7	6 5.9	- -	- -	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	9 34.6	5 19.2	8 30.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8	- -	- -
自営業者	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無職	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -
家事専業	13 100.0	3 23.1	2 15.4	4 30.8	3 23.1	1 7.7	- -	- -	- -
その他	11 100.0	3 27.3	- -	- -	4 36.4	2 18.2	2 18.2	- -	- -

【同居している人別（平日）】

同居している人別にみると、祖母で「4時間以上」の割合が高くなっています。

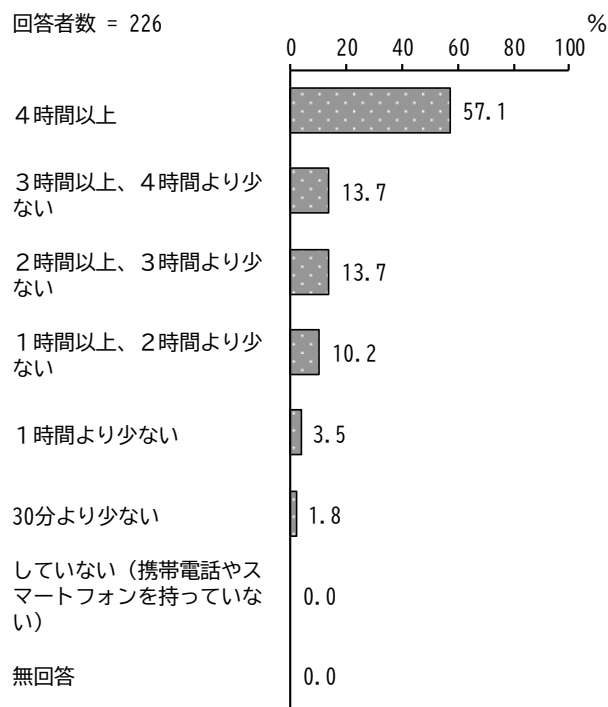
単位 上段：件、下段：％

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンを持っていない）	無回答
全 体	226 100.0	91 40.3	38 16.8	51 22.6	29 12.8	12 5.3	4 1.8	- -	1 0.4
母親	114 100.0	59 51.8	21 18.4	17 14.9	10 8.8	3 2.6	3 2.6	- -	1 0.9
父親	97 100.0	50 51.5	17 17.5	18 18.6	9 9.3	2 2.1	1 1.0	- -	- -
きょうだい	59 100.0	31 52.5	7 11.9	11 18.6	7 11.9	1 1.7	1 1.7	- -	1 1.7
祖母	13 100.0	9 69.2	1 7.7	2 15.4	- -	- -	1 7.7	- -	- -
祖父	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
配偶者	82 100.0	17 20.7	11 13.4	29 35.4	16 19.5	8 9.8	1 1.2	- -	- -
自分のこども	72 100.0	17 23.6	8 11.1	24 33.3	17 23.6	4 5.6	2 2.8	- -	- -
パートナー	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -
同居している人はいない	17 100.0	9 52.9	4 23.5	2 11.8	2 11.8	- -	- -	- -	- -
その他	8 100.0	5 62.5	1 12.5	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -

【土日祝日】

「4時間以上」の割合が57.1%と最も高く、次いで「3時間以上、4時間より少ない」、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 226



【職業別（土日祝日）】

職業別にみると、大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生で「4時間以上」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない (携帯電話やスマートフォンを持っていない)	無回答
全 体	226 100.0	129 57.1	31 13.7	31 13.7	23 10.2	8 3.5	4 1.8	- -	- -
高校生	34 100.0	25 73.5	3 8.8	3 8.8	2 5.9	- -	1 2.9	- -	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	22 78.6	4 14.3	2 7.1	- -	- -	- -	- -	- -
予備校生・浪人生	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	56 54.9	18 17.6	16 15.7	10 9.8	2 2.0	- -	- -	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	11 42.3	3 11.5	5 19.2	5 19.2	1 3.8	1 3.8	- -	- -
自営業者	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無職	8 100.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	- -	- -	1 12.5	- -	- -
家事専業	13 100.0	3 23.1	1 7.7	3 23.1	3 23.1	3 23.1	- -	- -	- -
その他	11 100.0	5 45.5	1 9.1	- -	3 27.3	1 9.1	1 9.1	- -	- -

【同居している人別（土日祝日）】

同居している人にみると、母親、父親、きょうだい、祖母で「4時間以上」の割合が高くなっています。

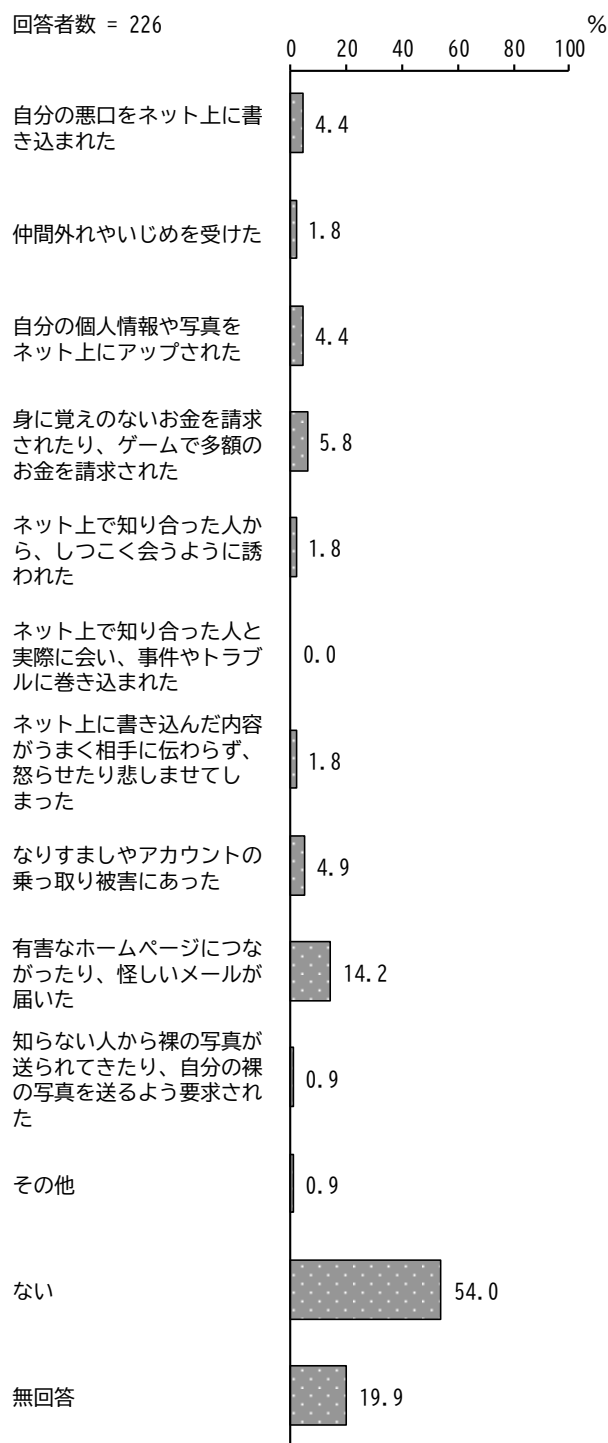
単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	4時間以上	3時間以上、 より少ない	2時間以上、 より少ない	1時間以上、 より少ない	1時間より少ない	30分より少ない	していない（携帯電話やスマートフォンを持っていない）	無回答
全 体	226 100.0	129 57.1	31 13.7	31 13.7	23 10.2	8 3.5	4 1.8	- -	- -
母親	114 100.0	82 71.9	13 11.4	10 8.8	5 4.4	1 0.9	3 2.6	- -	- -
父親	97 100.0	68 70.1	12 12.4	10 10.3	4 4.1	1 1.0	2 2.1	- -	- -
きょうだい	59 100.0	42 71.2	7 11.9	7 11.9	2 3.4	1 1.7	- -	- -	- -
祖母	13 100.0	13 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
祖父	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
配偶者	82 100.0	27 32.9	11 13.4	19 23.2	18 22.0	6 7.3	1 1.2	- -	- -
自分のこども	72 100.0	22 30.6	9 12.5	16 22.2	18 25.0	6 8.3	1 1.4	- -	- -
パートナー	5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
同居している人はいない	17 100.0	14 82.4	2 11.8	1 5.9	- -	- -	- -	- -	- -
その他	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -

問 24 問 23 で「1. 4 時間以上」～「6. 30 分より少ない」と回答した方にうかがいます。インターネットを利用して、嫌な思いをしたり、困ったりしたことはありましたか。「11. その他」に○をした時は、() の中に具体的な内容を書いてください。(すべてに○)

「ない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「有害なホームページにつながったり、怪しいメールが届いた」の割合が 14.2%となっています。

回答者数 = 226



【その他の意見】

・モラハラ男と出会った。(1件)

・むやみやたらにネットでのつながりを作らない。(1件)

【職業別】

職業別にみると、高校生で「ない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	自分の悪口をネット上に書き込まれた	仲間外れやいじめを受けた	自分の個人情報や写真をネット上にアップされた	身に覚えのないお金を請求されたり、ゲームで多額のお金を請求された	ネット上で知り合った人から、しつこく会うように誘われた	ネット上で知り合った人と実際に会い、事件やトラブルに巻き込まれた
全 体	226 100.0	10 4.4	4 1.8	10 4.4	13 5.8	4 1.8	- -
高校生	34 100.0	2 5.9	- -	- -	- -	- -	- -
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	28 100.0	- -	1 3.6	2 7.1	- -	1 3.6	- -
予備校生・浪人生	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	3 2.9	2 2.0	2 2.0	7 6.9	2 2.0	- -
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	26 100.0	2 7.7	- -	2 7.7	2 7.7	1 3.8	- -
自営業者	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -
無職	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	2 25.0	- -	- -
家事専業	13 100.0	- -	- -	- -	1 7.7	- -	- -
その他	11 100.0	- -	- -	1 9.1	- -	- -	- -

単位 上段：件、下段：％

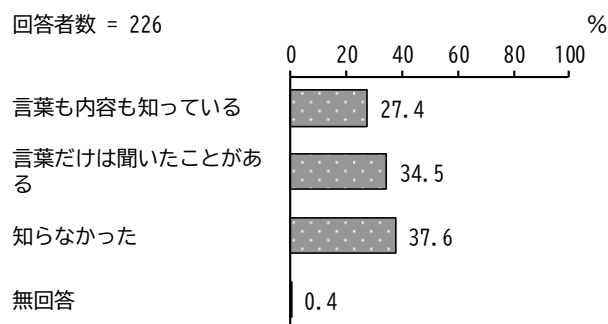
区分	ネット上に書き込んだ内容がうまく相手に伝わらず、怒らせたり悲しませてしまった	なりすましやアカウントの乗っ取り被害にあった	有害なホームページにつながらったり、怪しいメールが届いた	知らない人から裸の写真が送られてきたり、自分の裸の写真を送るよう要求された	その他	ない	無回答
全 体	4 1.8	11 4.9	32 14.2	2 0.9	2 0.9	122 54.0	45 19.9
高校生	- -	3 8.8	1 2.9	- -	- -	22 64.7	7 20.6
大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生	- -	1 3.6	5 17.9	- -	- -	15 53.6	4 14.3
予備校生・浪人生	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
フルタイムで勤務する社会人	2 2.0	5 4.9	18 17.6	1 1.0	- -	52 51.0	23 22.5
パートタイム・アルバイトで勤務する社会人	1 3.8	1 3.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8	13 50.0	6 23.1
自営業者	- -	- -	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -
無職	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	4 50.0	- -
家事専業	- -	- -	3 23.1	- -	- -	7 53.8	3 23.1
その他	- -	- -	- -	- -	- -	8 72.7	2 18.2

(前ページの表 続き)

問 25 「子どもの権利条約」を知っていますか。(1つに○)

「知らなかった」の割合が37.6%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が34.5%、「言葉も内容も知っている」の割合が27.4%となっています。

回答者数 = 226



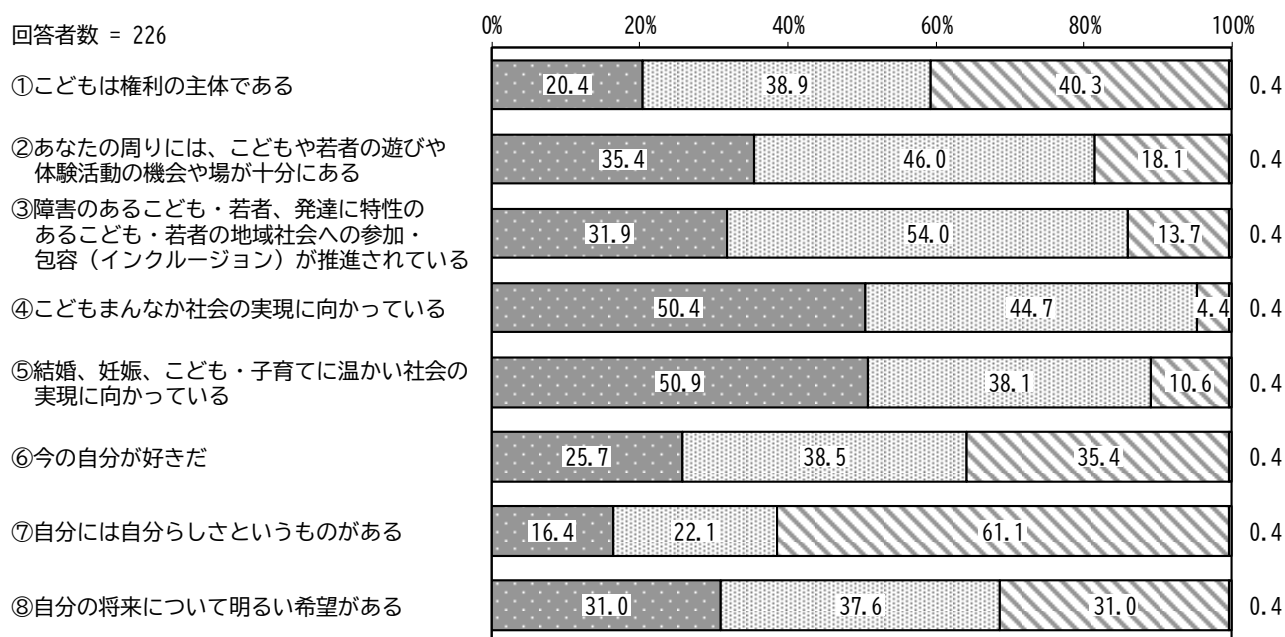
問 26 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。
それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

『⑦自分には自分らしさというものがある』で「そう思う」の割合が 66.1%と高くなっている一方で、16.4%の人が「そう思わない」と答えています

また、『④こどもまんなか社会の実現に向かっている』『⑤結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

■ そう思わない ■ どちらともいえない ■ そう思う □ 無回答

回答者数 = 226



⑥今の自分が好きだ

【職業別】

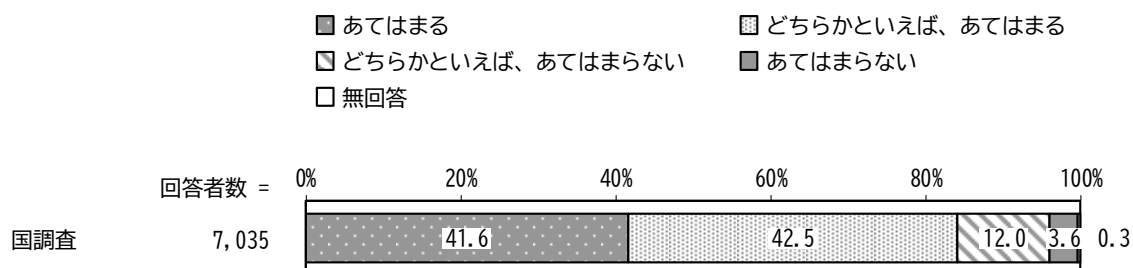
職業別にみると、大学院生・大学生・短大生・高等専門学校生で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	そう 思わない	どちら ともい えない	そう 思う	無 回 答
全 体	226 100.0	58 25.7	87 38.5	80 35.4	1 0.4
高校生	34 100.0	11 32.4	13 38.2	10 29.4	- -
大学院生・大学生・短大生・ 高等専門学校生	28 100.0	9 32.1	3 10.7	16 57.1	- -
予備校生・浪人生	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
フルタイムで勤務する社会人	102 100.0	19 18.6	49 48.0	34 33.3	- -
パートタイム・アルバイトで 勤務する社会人	26 100.0	8 30.8	9 34.6	8 30.8	1 3.8
自営業者	3 100.0	- -	- -	3 100.0	- -
無職	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	- -
家事専業	13 100.0	4 30.8	6 46.2	3 23.1	- -
その他	11 100.0	4 36.4	2 18.2	5 45.5	- -

⑦自分には自分らしさというものがある

【国調査 参考】



IV 自由回答

1 就学前児童保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 小学校の先生の数足りていないという話を耳にして、とても心配している。教師に負担をかけるのも本意ではないが、子どもの教育をどの程度見てもらえるのか。不安を感じている。
- ・ 教育者、保育者が働きやすく高い給料をもらわないと未来は先細りだと思う。フィンランドの取り組みが成功したのは教育者への給料アップにより、人気の職業になったから質の高い教育につながっている。施設よりも人育てに力を入れて欲しい。
- ・ 佐倉市の公立幼稚園が存続の危機にあり、不安である。佐倉市の予算状況を市民に知らしめて、公立幼稚園は廃止すべきと進めている教育委員会と市長は子育て支援を真剣に考えているとは思えない。弥富小学校は他の学区から児童を受け入れて小規模特認校として成り立っているのに、併設する弥富幼稚園を閉園にしたのはおかしいと思う。一つだけ残っている佐倉幼稚園の存続を切に願う。
- ・ 佐倉幼稚園は年少から入園できるようにしてほしい。
- ・ 保育園に落ちたため自宅保育をしているが、ゆめさくら館の一時預かりがとても有り難い。ただ認知度も上がってきて、枠がすぐに埋まってしまうので気軽に利用はできなくなってしまったのが残念。
- ・ 保育園（認定こども園）の預かり時間が遅くて間に合わない所がいくつかある。（遅くとも7時には預けたい）
- ・ また小学生の学童もただ預かるだけでほったらかしのように感じるので宿題をみてあげたり、習い事への送迎をしてもらったり充実した時間を作って欲しい。

2 地域における子育て支援

- ・ 助成金が欲しい。物価高で財政面が厳しい。
- ・ とにかくお金がかかる。補助金を出してもらえるのが何より1番助かる。
- ・ 給食費の無償化を希望する。
- ・ 医療費無償化にしてほしい。
- ・ 妊娠・出産・子育てを経験してみてとてもお金がかかると感じた。妊娠中の検診費用から出産費用、入院費用、生まれてからも揃えるものも多く、負担が大きいと思った。教育費の負担軽減があるととてもありがたいと思う。
- ・ 学童保育所に入れない不安がかなり大きい。幼稚園のうちは預け先に不便を感じないが、小学生になってからがとても不安。小学生の女の子を家で1人で長時間留守番させることになる。志津学童保育所の管轄で考えているが、3年生以上の知り合いの半数は落選している。
- ・ 低収入の人ばかり給付金が多いけど、低収入じゃない人だって子供にお金がかかる。限定なものではなく子供に対しての給付金があったらありがたいなと思っている。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 医療に関しても、夜間の小児医療がいそいでいる時は近くにあると助かるし、電話をかけても繋がらない時間帯や対応出来ないと断られる人もいる。誰でも連絡すれば、対応出来るようになって欲しいと願っている。
- ・ 小児救急の時間短縮はすごく困った。代替は、電話相談とのこと。クリニックの小児科も小児救急もやってない時間は、どこなら受診できるのか、わかりやすく情報をまとめてほしい。
- ・ 土曜日の夕方に子供にアレルギー反応があった際、土曜日に診療している小児科は終了時間間近なので診察拒否か電話すら出ない。#8000 も#119 も対応時間外。かかりつけ医の先生に電話して急遽見て頂きましたが、子供の医療に空白の時間が出来ないようにして欲しい。夜間救急もなぜ時間が短縮されたのかわからない。世帯数を増やしたいなら子供関連は充実させるべきだと思う。
- ・ 健康管理センターの夜間診療時間が短くなった。
- ・ 病児病後児保育も利用したいと思うが遠い為断念している。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ 子供が病気で保育園を休まないといけなくなったときに父親も仕事の休みを取りやすくなるような社会になってほしいと思う。
- ・ また学童保育が定員オーバーで小学校3年生は入れない状態を改善して欲しい。防犯の面から安心して1人でお留守番させられない時代になっており、学童問題からフルタイム→パートへ切り替える母親が多い現状を知って欲しい。
- ・ 働くママパパに優しい環境が揃って欲しい。土日祝日の環境が悪い。
- ・ 子育て費用への支援はもちろん必要ですが、親の長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進といった子育てにかけける時間の創出への支援が最も必要と感じる。
- ・ 就労の規定等で育休が取れず、上の子の保育園を継続して通い続ける為に産休明けに仕事復帰せざるを得なかったこと。可能なら半年くらいまでは手元で見てあげたかった。育休の有無などは関係なく第二子以降の出産の場合、一年又は半年は上の子の保育園に通い続けられるような制度を作ってほしい。みんなが我慢せずに安心して子育てしながら働ける社会になってほしい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 障害のある方への虐待などが度々報道されているが、カメラを部屋につけいつでも確認出来るようにするなど出来たら安心かと思う。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ 学校に安心して飲める水の提供をしてほしい。特に夏場は水筒が重すぎて通学が大変。水筒の中身がなくなると飲める水がないと子供が言っている。近場に習い事の教室が少なすぎる。
- ・ 家の近くの公園の遊具が壊れているのにずっと放置されているのが気になる。また、公園の遊具が新しくなったところもあるが、以前の遊具よりも小さくなって、さみしい感じになった。子供が少ない地域だからなのかもしれないが、公園という場所がせつかくあるので、もう少し思い切り楽しめる遊具を設置してほしい。(壊れている遊具を変えてほしい)

- ・ 通学路が歩道がなく、道が狭い場所もあり、車もスピードだしてくる道もあるため、歩道や街頭の整備をして欲しい。子供が安全に遊べる公園がない。近くに整備して欲しい。（あっても雑草が放置してあったり、遊具がなかったり）通学路の道端の草がすごくて、市が定期的に除草して、安全に通えるようにして欲しい。
- ・ 市に活気を取り戻すためにも子育て世帯が移り住みたいと思うような魅力的な街作りをしていかなければ人口減は止まらないと思う。ふるさと広場に銅像を作るより先にすることは、チューリップフェスタ等の際の渋滞の軽減だったり、人がまた来たいと思うような環境整備が先だと思う。せっかく人が集まるようなイベントになってきているのに、アイスを買うだけでも行列になっていたりで勿体無いと思う。
- ・ 子育てをしていく上で人あたりはとても良い。駅がエレベーターか階段のみでベビーカーだと仕方なくエレベーターを使うが、エスカレーターがない為、朝の登園時は通勤者を譲り中々上にいけず子供がグズっている。エスカレーターが設置されると駅も利用しやすくなると思う。
- ・ ユーカリが丘に図書館（児童図書）を設立してほしい。

7 その他

- ・ 以前赤ちゃんの駅のステッカーが貼ってある施設を利用したが、子供は施設から退出して欲しいとの旨を男性職員の方に言われた。女性職員の方にそれを伝えた所大変驚かれて戸惑っていた。市の公共施設。ステッカーもあるしと安心してた所この様な事がおこり大変残念。職員にも内容指導が行き届いているか不明のうちにただステッカーのみ貼ってアピールしても意味はなさないのでないか。市役所に相談しても施設の管理責任者でしか何も出来ないと言われ、この事業に関するシステムは何も起動してない様に思う。
- ・ コミュニティバスですが、もっと本数と停車の場所を増やしたほうが車を持っていないくても便利に暮らせるようになるのではと思う。手入れのされていない山や空き地などは、不審者にとっては良い隠れ場所になると思うので…そういう場所を公園やみんなの為の施設にして活用したほうが良いと思う。
- ・ 今後も子どもたちが暮らしやすい環境を整えていただけたらと思う。
- ・ 志津市民プラザ内の児童センターを上の子の時に利用していた。とにかく駐車場が狭いと感じた。駐車場の空きを待って子どもがグズって帰ることもあった。児童センター以外の利用も多いところでなぜあの駐車場の広さなのか。以前、市民プラザが出来た時に、利用する人は徒歩。電車を使えばいい。とのことで駐車場が狭くなったと聞いたことがあった。住んでいるところからは徒歩では行けない。志津の駅から直結ならまだしも小さい子を抱え、暑い日、寒い日、雨の日歩いていく事を考えたら…無理。お年寄りも同じではないか。私が住んでる地域は最寄りの駅が車で 15 分かかる。スーパーも遠い。車が主な交通手段である。そういう人のことをよく考えてほしいと思う。
- ・ 今回アンケートがネット上でおこなえてとてもよかった。

2 小学生保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 学校教育の中で、指導してほしいのが、小学生でも、携帯電話を所持する年齢が、早くなっている為、善悪の判断がつかないまま活用しているのが、全学年、1年生からでも、携帯電話の使用法の講習会などを開催してほしい。放課後など、携帯電話を持って遊びに行く子供も多く、携帯でゲーム、課金。勝手にお友達と遊んでいる所などを撮影し、(いつも子供だけで遊んでいる場所、公園、大人がいないなど、顔などにもモザイクもなく)インスタグラムやLINE、その他に公開しているなど、危ないので危険性を子供と保護者向けに発信してもらえたらと思う。携帯を持たせている保護者の方でも、子供さんと連絡を取る為に持たせている場合が多く、LINEやインスタグラム、YouTubeなどで場所特定されるなどの、危険性は余り子供さんに注意されていないようです。LINEも本当は、年齢制限があり小学生が使えないはずですが、保護者さんが使えるように登録されている人が殆ど。新学期の度に、携帯電話の取り扱いなどの注意喚起があればと思う。
- ・ 北志津地区に住んでいるが、小中高生が学習できるフリースペースがほぼ無く、必要性を実感している。兄弟が多い、家で集中して勉強する環境に無いなど。また図書館も充実させてほしい。市民センターの学習スペースは早い時間に閉館となり、放課後に利用する事はできない。駅近は利便性が良いが、志津小学区には子ども食堂もない。高学年になると学童も入れず、行きたがらずで、長期休み等で利用できたらいいなと思う。
- ・ 学校の先生が大変そうで心配。子供の話を聞いていると、特に最近は外国人(日本になじめない又はなじもうとしていない)や支援級対象ではという子が多い気がする。その指導の度に全体への指導も止まり、子どもも辟易しているようで、インクルーシブ教育にはなっていないのではと感じる。我が子は近所の公園は、外国人ばかりでもう日本じゃない、と最近では行かない。数年前、ご近所から苦情があったのか、夕方(といっても18時過ぎ)先生が指導にいらしていた。
- ・ また、コロナ禍により、学校行事の縮小が続いている。授業時間の短縮や、休み時間の短縮、以前行われていた行事がなくなったままなど。小学校の運動会も今年も午前中開催で、物足りなさを感じた。学校で体を動かす機会が減り(休み時間も短くなり、校庭で遊ぶ機会も減っていた)子どもの運動不足も心配になる。コロナ前のように、活気のある学校生活に戻れることを願う。学校行事もコロナ前のように戻してほしい。よろしく。
- ・ 小学校、中学校の選択ができるようになると嬉しい。自宅から見える近い学校が学区外のために、30分かけて登校する状況のため。

2 地域における子育て支援

- ・ 子ども手当の支給に、親の収入の限度額を設けず、親の収入に関わらず、皆同じように手当を支給してほしい。限度額を超えたからといって子ども手当が支給されなくなるのは、不公平な感じがする。親の収入は努力したから増えるのであって、収入が多いからといって子どもにかかる手当をなくすのではなく、子ども手当は子ども一人ひとりに支給されるべきものであってほしい。子育てにお金がかかるのは皆一緒なので、そこは親の収入にかかわらず皆平等にしてほしい。
- ・ 子供が3人いるので、給食費無償化など教育面で補助がもう少し充実すると余裕を持って生活できると思う(習い事の補助など)

- ・ ファミリーサポートセンター、病児保育、病後児保育は事前登録が必要で、実際利用するまでのハードルが高いと感じる。また、病気の子供を預けて仕事することに大変抵抗があるため、子育てをし易い社会にするには、働きやすくサポートするというよりは、休暇が取りやすい社会が良いと思う。
- ・ 0、1、2歳児の保育料も無償にしてほしい。
- ・ 高校無償化が早く実現してほしい。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 公園の遊具をもっと整備してほしい。公園のトイレを綺麗に整備してほしい。補助金を出さずなら所得等で制限を行わず全員に配るべきである。
- ・ 佐倉市は好きだが、ベビーカーが通りにくいガタガタ道、ミレセン定休日はエレベーターが使えない、佐倉駅前が寂しいのとママたちで気軽に安く食べられるところがないのが残念。それと、学童以外にも遊べる場所や公園の整備、ミレセンでもヤンプラでも安く講習や習い事的な（子供向けのジャグリング教室、習字、工作教室など）シニア向けはたくさんあるが子供向けなものも開催してもらって、子育て世代を増やして税増収に向けて他都市のように頑張ってもらいたいと思う。
- ・ 公民館や児童センターが近所に無く、赤ちゃん、幼児向けのイベントは良く見かけるが、小学生、中学生が体験し遊べる環境は少ないと感じる。子育て課と教育委員会の連携が大事では。
- ・ 子供が遊べる屋内施設がもっとあればと思う。
- ・ 異常気象も多い今の時代に子供の学校後の過ごし方、長期休みの過ごし方に非常に不安がある。学童は希望しても入れず、寺崎地区より自分でいける児童センター、老幼の館、ヤングプラザは存在せず子供同士の遊びとなると高学年女子となると遊ぶ場がない。地域差がかなりあり早急に子供の居場所づくりを考えてほしい。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ フルタイム（事務職）で働きたいと思っていますが、母親である私が家事、育児を主に担っている。そのため近場で働きたいと思うが佐倉市には企業も求人も少なく、思うようにいかない。現在は時短の派遣で都内まで通っている。通勤に往復3時間近くかかっている。もっと母親が働しやすい環境、雇用を整えてほしい。夏休み、子供は友達と遊びたいと言うが外は暑すぎて公園などでは遊べない。家で友達と毎日遊ぶのは家庭の負担にもなるし不公平感もある（子供を家で遊ばせない家庭もあるので）子供が夏の暑い日でも友達と遊べる環境を作してほしい。上の子が中学生だが教育費がどんどんかかって未来が不安。子育てしやすい世の中になってほしい。
- ・ 以前ラーケーションというものをテレビで耳にした。調べてみたら他県などはやっていますが、佐倉市はやっていないようだ。土日、子供は習い事のため、遊びにも行けずわたしは観光業で働いているため、繁忙期になると連休も取れない。ぜひ佐倉市でもラーケーションを取り入れて頂きたいと思った。平日1日だけでも都内や他県の博物館など連れていきたい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 子どもの発達の中で、佐倉市の教育センターに相談をしたことがある。相談内容は学校と共有するというので、始めは何となく話しづらかった。結果的には学校と共有して頂いたことで良かったと思っているが、もう少しハードルの低い相談場所があったのか、そういう情報を事前に知っていれば相談場所を選択できたのかなと思うことがある。
- ・ 発達障害の子どもが居るが、あまり縦の繋がりが無く、数年後を見据えて先輩方の率直なお話を聞きたい。具体的な進路等も含めて。学習支援の放課後デイを増やしてほしい。不登校や発達に遅れのある子に対応可能な専門的な施設（学校）がある事が理想的ですが、余りにも対応に時間がかかり過ぎていると感じている。現在小5、小学校入学前から、希望し続けているが、恐らくこのままでは、変わらぬ対応のまま中学も卒業してしまうだろう。あと何年かかるだろう。少なくともあと10年か、20年か。他国では50年も前から公立のギフテッドスクール等あるのに。早急に希望する。スクールバスも。個人的な希望だが、子どもが感覚過敏なので中学校の制服があっても私服可にして頂きたい（公立フリースクール、ギフテッドスクールがあれば可能なのでは）できれば高校も。千葉県には私服可の学校は数校しかない。都立高校などは私服が多数あるが、千葉県からは受験できない。学生生活は楽しみたいけれども、気になる事があると、落ち着いて生活できないよう。年々少しずつ悪化しているような気もする。今後が不安でしかない。
- ・ 引越し来る前はジェンダーのチラシや授業があった。佐倉市はない。時代に遅れをとっていると感じます。小学校は特に、男女で通学帽子をわけている。自分のジェンダーに疑問を感じる子もいるはず。男女で分かるのは酷だし、差別だと思う。男女どちらの帽子でも可能、となってもファーストペンギンは負担が大きいと思う。男女共通にすべきだと思う。もっと子どもファーストで子どもの意見を聞く佐倉市になってほしい。
- ・ 小学校の支援クラス（情緒面、集団の中での学習が苦手なため）を利用させて頂き、先生方、スクールカウンセラーの先生、教育センターの先生方にお世話になりながら、今はなんとか通常クラスを中心に元気に学校生活を送れており、大変感謝している。他の兄弟もお世話になったが、支援、相談窓口がなければ、低学年のころから、色々な面で不安定になり、登校が出来なくなっていたと思う。学校とは別に、教育センターでも相談することができたのも、なかなか直接お世話になっている先生方には相談しにくい内容のものを、相談し、アドバイスを頂けて、大変心強く感じた。中学生まで給食があることも、栄養面的にも大変助かっている。近年、英語授業の増量に伴い、草笛の丘での体験がなくなったり、コロナ禍や、危険への配慮で、運動会の組体操がなくなり、天候により生徒への不公平に繋がる可能性がある、5年生で楽しみにしていたカヌー体験がなくなったりと、様々な面で、子供たちが前の世代では体験出来ていたものが減少している事は、仕方が無いと理解しているが、残念な事。お手間ではありますが、該当保護者へ、アンケート等で家庭の意思をきいてから、意見多数により中止になりました等があれば、反対が多数ならば仕方が無いと納得もできたのだが。同じ佐倉市であっても、保護者の受け止め方は地域差があると思う。学校により差があるのも特色の1つとは思いますが、以前やっていた事を無くしてしまうのであれば、決まる前に事前のお知らせや是非を問うアンケート等があると良いと思った。長文にすみません。3人を、佐倉市で出産し子育てを経験しているが、佐倉市は子育てするには住みやすくよい市だと思う。特に夜間小児救急があることは、とても安心して子育てできる環境だと思う。お世話になる。これからもよろしくお願いします。
- ・ 子どもの心の病院（児童精神科）に相談しようとしたが、そもそも該当の病院数も少なく、予約も診療の日にもかなり限定的で困っている。そもそも情報が少なく、やはりあまり誰にでも聞ける内容でもないの、情報収集源がネットなどに偏るので、信用していいのかわからない。理由は発達障害、グレーゾーン等々と色々な角度はあるかと思うが、相談窓口がはっきりしていたり、間口が広い、専門家がいる、病院を紹介してくれる、秘密は守られるなど、明確に開示されていたら、親子の八方塞がり感は弱まるかなと思う。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ このアンケート自体が不満、何をしたいのか不愉快な質問もあり今後回答はしたくない、小学生の息子に回答を強要することはしないようお願い。
- ・ 私はアフガニスタン人。学校や幼稚園からの手紙が全くわからない。子供の日本語レベルも心配。学校で外国人のための日本語指導が必要だと思う。子供がドンドン勉強できなくなる。
- ・ 学校に相談してもなかなか改善されない場合、どこで誰に相談すれば良いのか具体的な相談窓口などをもっと公表してほしい。

7 その他

- ・ 佐倉市はまだまだ時代から遅れている印象がある。子供にも高齢者にも優しい佐倉になってほしい。市民が求めているものと、実際に行われている政策の温度差を感じるのもっともっと市民の声に耳を傾けてほしい。
- ・ Z世代以降の人たちは、そもそも、恋愛、結婚、出産、子育てに興味、価値を感じていない人が多い。結婚しない、子どもを産まない、特定のパートナーを持たないのが今後、当たり前になってくると思う。子育てや家族が、魅力的と感じるようになっていかないと難しいと思う。

3 中学生保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 部活動の縮小が著しく、子供達の選択肢がなくなって来ている。習い事（クラブ活動、塾）をする際、親の負担金銭的負担がかなり多く、実際に教育、運動は金銭的に裕福な家庭のみが出来ている感じがする。子供がやりたくても、やらせて上げられないのが実情であると思う。1人親で年収が600万以下の子供達は、かなり教育に制限がかかっている（子供が2以上）。
- ・ 少子高齢化社会における学校という施設の根本的な見直しが必要。学校を子供だけの教育施設と考えれば、施設の充実に要する予算も得られずますます老朽化が進むばかり。学校の施設（体育館や運動場、図書室など）にもっと予算をかけて充実させ、子供だけでなく地域に広く開放する公共施設としてほしい。そうすることで地域との世代間交流や活動が増え、学校という施設がソフト面でもハード面でも、普段から地域の幅広い年齢の人にとって活用される場になり、災害や緊急時の活用もスムーズになる。その他にも、一人暮らしの高齢者の孤食、放課後から夜まで両親が不在となる共働き家庭の子供達の孤食を防ぎ、世代を越えた人付き合いの中で協調性を学べる場になる。運動場や体育館も子供だけのものでなく、地域住民の体力健康づくりができる場所としての提供が行われれば素晴らしいと思う。学校という施設の問題を180度変えて考え設備投資することが今後の教育福祉地域活動に必要となる時代になったのではないかなと思う。
- ・ 時代とともに子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきていると実感している。便利で時短がもてはやされる現代で、心はどんどん退化していっているように思う。こどもたちはあらゆることに対して圧倒的な経験不足、加えてコロナ禍でその経験不足はさらに拍車がかかった。先日体育祭があった。午前中だけの体育祭で、演目も個人的なものばかりで、迫力に欠け、やれるだけでもありがたく思わないとならないのかなと残念に思った。6歳差の姉がいるが、姉の時は騎馬戦やロックソーランなど、団体で大きな演目が多く、子どもたちも力を合わせてひとつになっていこうと努力し、かなり盛り上がったことを覚えている。コロナ禍を引きずったまま、行事などは縮小されたままになってしまうのだろうか。子どもたちには小さなことでも丁寧に経験させてほしい。ギガ教育などという無意味なことに莫大な予算を割くのなら、教員の待遇をもっと改善し、校内の環境整備に（通学路の安全確保なども）大きく予算を使ってほしい。
- ・ 学校の先生が少ない、忙しく時間がないため子供や保護者が先生に気軽に相談が出来ていないように感じる。子育ての環境や支援も大事ですが、教師の育成にも力を入れて頂きたい。
- ・ 学校だと授業時間も短縮されて、学力はどこで補充されているのか、また、教員は異動した分の補充はされてなく、担当外の教科を教えているのを見ると、指導が追いつかず、先生達の努力ではどうにも出来ないことが起こりそうで心配。人材不足が深刻に感じる。これから、暑さが深刻になるので子供達の特別教室にもエアコンをつけてあげてほしい。学校の老朽化が激しくて幼稚園は綺麗だったが、そこから、学校に上がった時に、急に汚いことに愕然とする。子供と教員の人数が減って、掃除もまかないきれないのではないかな。

2 地域における子育て支援

- ・ 教育費がかかり、値上げもあり、給与も上がらず生活苦を感じている。佐倉市独自の子供支援を望む。塾代補助、給食費補助、所得関係なくお願いしたい。高齢者がふえ、活気がなく、どの駅前もぱっとしない。観光が無い。18歳まで医療費補助は助かった。
- ・ 年齢が上がるにつれて、お金のかかることが本当に多い。塾や習い事等の教育費、通信機器や持ち物、被服、部活の費用、学校の集金等、どこまでも際限なくお金がかかる。賃金は急に上がらないのに支出がどんどん上がるので少子化が止まるわけがないと思う。個人で解決できるレベルではない。現状でも学校運営の改革等取り組んでいただいているのは理解しているが、高齢者福祉以上に子供達へ、将来への投資として行政、政府に真剣に取り組んでいただきたい。子供達はあつという間に大人になり国を支える側になるので悠長な事は言っていられないと思う。
- ・ 高校、大学と進学するに連れて学費がとてめにかかるので子供が学生の期間は継続して補助金制度があると良いと思う。
- ・ 子供のための支援が子供まで届いていないと思う。教育を支援するとしたら、金銭面以外にも送り迎えや安全性が不可欠となると思う。習い事も無料で通える取組を行っても良いのではと思う。所得によって学力格差が明確になっているなら、尚の事低所得家庭には教育費として支援すべき点だと思う。
- ・ 子供の未来の可能性を広げるために、様々な経験をさせてあげたいと思うが、3人それぞれにかかる費用が大きく、子供の希望に沿ってあげられないと悩みます。幼稚園では預かり保育費用補助がありましたが、学童にはないので、就学するとより負担を感じている。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 幼保、小学生には、せめて公園に遊具設置はしてほしい。広場だけの公園に子供が集まっている姿はほぼ見たことがない。高齢者もいない。ベンチだけで草だらけの公園は誰に向けた施設なのか分からない。あと市民体育館、中学校の部活で他の市営体育館を使うこともあるが、ダントツで劣化が酷い。市民体育館を使うのが恥ずかしいレベル。コレも他と比べてよく見てほしい。お金をかけた夢咲くら館、子供達ほぼ使っていない、残念ながら。4代に渡って市内に住んでいるが40年前と変わらないなと思う。悪い意味で。佐倉市が他と比べて、働きながらの子育てがしやすいと言える要素は何もないと思う。色々課題はあるようだが、子育てのリアルな声を拾い、まずはやってみる、時代に合わせて変化させている他市の子育て支援制度など、参考にしてみしてほしい。
- ・ 部活動に関して、小学生から続けているスポーツの部活がなく、続けたい意思があるのでクラブチームを探し遠くて通うのが大変な状況。地域移行が進められているが、近隣の学校の部活動に参加ができ、スポーツに本当に意欲がある子にとっての環境が充実してくれたら嬉しい。
- ・ 小児夜間救急の対応を改善してもらいたい。
- ・ 放課後にそのまま通える習い事系を斡旋してほしい（限られた学年だけでもよいので）そろばん、書道、楽器演奏、囲碁将棋、空手など。それほどスペースを必要としない、かつ地域でそれらの特性をもつ方々と連携するなど地域でできることだけでもよいと思う。将来の子どもの何かしら選択肢に少しでも繋がれば。子どもが地域の図書館を利用する機会が減っていると聞いている。幼少期、両親が共稼ぎ（パート含む）で平日の夕方、土日にそのような時間をとることができないから。学校に入学して図書室を知るわけだが、佐倉市には大変立派な図書館がある。幼少期から本に触れる機会をもっと持てるような工夫があるといいと思う。活字に触れることは、中学生になり多方面で花開くはず。我が家は中学生なので、もう必要のない事案ばかりだが今後の参考になればと思う。
- ・ 生活している自治体に、子どもが集う環境があれば良いと思う。自治会館の解放などしてもらえるとありがたい。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ 誰かの助けなくして子育ては両親だけではなしえない。共働きで働く社会で子ども中心といえども子どもと親の1日の生活スケジュールを。少しでも家の近くで負担を軽減できる場所や機会があれば親子健やかに生活していける。また、小学校などの学校給食を高齢者や地域の人達に広く提供できる場が近くにあったりすると毎日の食事作りの負担が少なくなり子どもとの関わりや地域との繋がりもしやすい。
- ・ PTA 活動を負担に感じている。難病を患い通院しているなか、PTA 活動は難しいが理解して貰えない。「働いている人も役員やっている人もいる」と強要されるのがつらい。昔の専業主婦家庭が多い時代とは違うので、PTA 活動のあり方を見直してほしい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 人口が少ない地域へのコミュニティバスの利用が可能になると良い。駅までの移動手段がコミュニティバスの廃止により不便になった子供が学校や習い事に行く移動手段がなくなった。障害者がコミュニティバスに乗らせてもらえなかった事例があった。
- ・ 今は本当に心の病を持つ子も多い。しかし、診てもらえる精神科も少なく、実際にかかりたくても数ヶ月待ち。というのが現状。親も病気になってしまう。もう少し、そういう人達に優しい行政活動を行なってほしい。と心から願う。
- ・ 世の中にはたくさんの相談窓口があるが、そこに連絡するのはかなり勇気のいるもの。窓口を設置することだけで子育て支援を充実させていると思い込まず、もう一步踏み込んだ支援を望む。私は2人の子がいるが、2人とも一時期不登校があったり悩みの多い学生時代をすごした。小学校で信頼できるカウンセラーとようやく話ができるようになったと思った矢先に異動されて、とくに引継ぎも挨拶もないままだったこともあった。こどもの心は宙ぶらりんになってしまった。ある時は小学校の養護教諭にとても信頼をよせていたが、小学校卒業と同時に仕方のない事です。もちろんそのつながりも絶たれた。継続的な支援の方法を考えていただきたいと思う。
- ・ 子どもが、学校でカウンセリングを受ける機会を増やしてほしい。いつも予約でいっぱいだったりするので。
- ・ 中学生、高校生に多く見られるようになってきた、起立性調整障害について、もっと認知してもらい、生活しやすく、体調が良くなる夕方に勉強ができるサポートがほしい。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ 日本の学校は性教育が遅れている。海外のようにしっかり教えて行くことで、自分の身を守るようになるし、相手を大切に出来ると思う。とても大切な事が疎かにされていて、不思議に思う。
- ・ 子供主体の社会を目標に大人が立ち上がるべき。

7 その他

- ・ 人口減少に立ち向かうにはやはり出会いの場を設けた方がいいと思う。意外に独身で出会いがなくて困っている人たちが多い。街コンもあるが、佐倉市内でのマッチングアプリを使ってみるのもアリだと思う。そして子供を増やすまずはそこからだと思う。

4 小学生本人

【分類別の主な意見】

1 街づくり

- ・ 甘い食べ物を売っているお店を作ってほしい。
- ・ 身近にお店をつくってほしい。

2 相談する場所

- ・ このように子供の意見を聞いてくれることを増やしていくと「悩みを抱えて他の人に相談できない」のような人が減っていけると思うのでこのような活動を個人的には増やしてほしい。
- ・ 途中の質問で答えたように個人的に子供は勝手に行動することが多いので大人は子供の意見や思いを聞き流すというときが学校や塾で多いので大人は子供の言う意見や思いを少しでも聞いて子供達がどのように思っているのか、どのような意見（発想）があるのかをわかってくれたら子供達も少しは喜んでくれると思う。まとめると子供達の意見や思いを聞いて納得してくれた方が子供達が喜んでくれると思う。
- ・ 自分の事をはっきりいえた。
- ・ もっといろんな人に話したい。

3 苦手の克服

- ・ どうしたら嫌いなマット運動が好きになれるか。
- ・ 国語が苦手。

4 家族の問題

- ・ お母さんとお父さんが一緒に寝ることや、お父さんとお母さんが一緒にいることがない（私はお父さんかお母さんと一緒に寝て、一緒にいるけれど、どっちとも一緒に寝ることや、一緒にいることがない）
- ・ 怒るのは私たちのためって知っているけど、あんまりガミガミ言わないでほしい。

5 スポーツ練習場

- ・ 自分の家の隣のもう一軒すごく利用ができないのでそこを雑草や木を刈り公園やスポーツ練習場にしてほしい。
- ・ サッカー場を作ってほしい。

6 遊びの場所

- ・ 自然がいっぱいな公園で、だれでも自由に遊び、のびのびとできるような公園がほしい。異世界系の本とか、漫画とか、いっぱい書いてほしい、それを見たい。安全な場所がほしい。一人でいれる場所がほしい。自由にいろんな動物が集まって、その動物に触れられるところがほしい。
- ・ おうちの近くの公園がとっても広いのに遊具が、すべり台、ブランコ、ゆすると動くよくわからない遊具しかない。しかもいつも草がぼうぼうなので奥のほうまで行きたくてもいけない。ここに走りやすい陸上競技場にあるような走る所や、バスケットコートか、バスケのゴールがほしい。後はアスレチックがあると嬉しい。もしだめなら1年中葉がある木がほしい。お願い。
- ・ 誰でも無料で遊べる場所佐倉市に作ってほしい。

7 アンケート

- ・ アンケートの悩みで選んだ理由はいつか自分が仲間はずれにされるか、心配だから。
- ・ こういうアンケート調査はいいと思う。一人一人の意見がわかるから。

8 幸せについて

- ・ 子供は物価が高いことを気にしたりしてもいいのか。人生は自由に生きていていいのかなどの人生の話は気にしていいのだろうか。
- ・ みんなが幸せになってほしい。
- ・ 自分のことや自分が安心していられるような場所があんまりないことなどに悩みを抱えているような人もいるから子供に限らず安心して過ごせるような世界になってくれたらいいなと思った。

9 その他

- ・ 給食で、外国のご飯を食べてみたい。
- ・ これからも元気でずっと粘り強くいろんなことを知って行きたい。
- ・ うみ。

5 中学生本人

【分類別の意見】

- ・ 京成佐倉の駅にもっと駅ビルなるものを作ってほしい。
- ・ 大人の人に望む事はない。
- ・ 時間がかかると思うが、個人面談を開いて一人一人に今ハマってる物や趣味を聞いてみるのはいかがでしょうか。
- ・ 遊びたい。
- ・ 学校楽しい。
- ・ なんで人間が損をしないといけないのか、一生懸命生きている人が得をする世界を作ってほしい。
- ・ 頑張ってください！！

6 青少年

【分類別の主な意見】

1 こどもの遊び場・イベント

- ・ 犬の散歩をしていると公園を利用している若者が少ないかと思う。前よりもボール遊びについて厳しくなり、コロナの影響で外よりも中で遊ぶ人が増えてきていると思う。公園の利用が増えるためにもボールで遊べるようにルールが緩和してくるといいと思う。
- ・ こども向けのイベントが割と年間通してあって良いと思うが、消防車やパトカーを見られるイベントの時に交通安全についてグッズがもらえるだけでなく、署員の方から少し説明してもらえたりするといいなと思う。こどもたちは小学校とかでも習ったりするのかもしれないが、親世代祖父母世代も一緒に聞ける機会があるといい。近所で高齢者の危ない道路の渡り方とかをこどもたちがマネしてしまうと危ないので上の世代の意識から変えていかないと、思うことが日々あるので。
- ・ 子供だけでなくその親も交流できる環境やシステムをもっと増やしてほしい。児童センターが発展拡充されるとうれしい。またそういった活動を行う団体への補助の拡大も必要だと思う。
- ・ こどもや若者が、大きくお金をかけずに学んだりできる機会が少なく感じる。広報に載っているようなサークル活動のようなものや集まりは、どうしてもお年寄りが多いのだろうと思ってしまう。以前、ふるさと広場で球根を植えられるイベントに参加させてもらったが、子どもにとってとても良い経験だった。そのような自然に触れる機会や、言語、異文化、食育などについて学べるような若者、子ども向けのイベントやサークル活動などが増えると嬉しい。
- ・ 夢さくら館を活用するが、乳幼児向けのイベントをもっと増やしてほしい（南部保健センターのような毎週事のイベントなど）。地域によってはバスやタクシーなどの公共交通機関が少ない場所もあるので、妊婦タクシーを置いてほしい。

2 交通・防犯

- ・ すごく住みやすく気に入っているが、ベイシアの前の道路がすごく混んでいるので通勤中はかなりストレスになる。ベイシアから出てくる車が歩行者や自転車を見ずにいきなり飛び出してくるため危なく、轢かれそうだったことが過去3回ありベイシアが営業中はペットの散歩は避けている。ペットの糞が放置されていることが多いので、散歩中に一回だけペットが食糞してしまい困った。こどもはまだいないので子育て的な意見はわからない。
- ・ 渋滞スポットが多く（寺崎や朝の東邦大病院前など）広い道も車線が少なく、流れが悪い状態。裏道を進めば手入れされず、ぼこぼこの道、見通しの悪い道にはカーブミラーも設置されておらず、事故の危険性の高い道が多くあります。改善希望。
- ・ 臼井駅に特急が止まらない、JR 臼井がない歩道が少ない、歩道が狭い歩道と車道の区別がないところが多い。臼井周辺に市民体育館を建ててほしい。水道代が高い、給食がおいしい、小中学校の設備の格差が激しい。花火大会の花火の迫力がすごい！綺麗！臼井周辺はのどかで過ごしやすいが、坂が多いのが気になる。田んぼ道が綺麗、道路環境が気になる。
- ・ 先日、出勤前に市立井野小学校付近の信号にて街頭指導をしている方をお見かけした。集団登校している生徒さんの中で1人だけ遅れ気味の子がおり、点滅→赤信号に変わった歩行者信号を走って渡ろうとしていた。車に乗っている我々はこちら側の信号が青になってもまだ生徒が渡っている途中である事は目に見えていたので、発進せずに止まろうと思っていたが街頭指導をしていた女性が生徒さんの危険を感じて身を呈して保護して横断歩道を渡らせずに元の位置へ戻っていた。恐らくは他のお子さんの保護者の方なのかと思われるが、思わず胸を打たれたので今後も市の方からも街頭指導の協力をお願いする。

- ・ 次世代の為に動いている人が少ない。利権や面目、保身に走り地域や周りのために動ける人が少ない。地域資源を蔑ろにし、ヤードが乱立し子供が自然と触れ合える機会が減っている。ヤードが増え大型トラックや廃品回収からの落下物、事故に子供が巻き込まれる事が増えてしまいそう。

3 街づくり

- ・ 佐倉市はもう少し佐倉市を発展させるべきだと思う。休みの日は毎週違う市に行くのはそういうこと。役所も、暗くて雰囲気がいいとは思えない。お年寄りの方の意見も聞くべきだと思うし佐倉市が大事にしなければならない部分もあると思うが若者が離れてく市にするのはいかがなものかと思う。
- ・ ユーカリが丘 20 年在住です。保育園のすぐ側で路上喫煙をされている方をよく見かけます。地面には路上喫煙禁止と書いてありますが、意味を成していません。路上喫煙を全て取り締まるのは難しいと思います。現状、ユーカリが丘には公認の喫煙所がありません。昔は現在の 0K、オリンピックの建物の横に灰皿の設置があった。お金はかかるが、衝立のついた喫煙所が駅前にあれば少しは改善すると思う。駅に向かう人が多いので、北口の銅像の辺りなどの設置がよいと思う。市民の健康被害（特に子ども達）や思わぬ事故を防ぐ為にも力を入れてほしい。
- ・ 臼井近辺に勉強、休憩スペースがほしい。
- ・ 公園の遊具が古くて怪我する恐れ有り。広い公園でイベント開催してほしい(地域だけの物、服フリーマーケット)ママ友交流会や、パパ友交流会などの友達作りをメインとした会(大人になると友達作りが難しい為)子どもが主役のフリーマーケットや、地域の子どもだけの交流会。
- ・ 歩きタバコの規制が緩いと思う。理由はこどもや若者という訳ではないが、登校中仕事に向かう社会人がタバコ(電子・紙共に)を吸っていて肺が痛くなってしまうことがある。

4 子育て支援

- ・ 保育園に通う子どもがいる。保育料やオムツ代などを考えると、妻が時短で働いたお給料はほぼそちらに消える。働くために保育園に預けるが、預けるために働いてるのではないかと思える。兄弟ものぞんでいるが、金銭的な余裕を考えると、望んだ人数を産めるかと考えてしまう。他の市のように複数人の子どもを育てる家庭への支援を望む。
- ・ 子供の医療費が高校生まで安く済むようになってとても良かったと思う。大学まで学費をサポートしてほしい。
- ・ 子育て支援がもっと目に付くところで増えれば良いなと思う。
- ・ 学校給食のような、栄養考えたご飯が食べられる食堂がほしい。民間のお弁当は高価で、冷たく量も少なくて美味しくない。子ども食堂は利用し辛い。子ども食堂が学校であれば利用しやすい。仕事で帰りが遅くなると、家族の夕飯を用意するのも大変。学校が子ども食堂であれば子どもだけでも安心して行かせられる。食料品が高く、家庭でバランスよく食べるのが大変。
- ・ 子供への習い事、塾、色々なことへの体験等させてあげたい。そのための費用はどうする。母が働く、ではその習い事への送迎は母が送迎する。物価高への皺寄せは子育て世代にはキツイ。

5 就業支援・仕事と子育ての両立

- ・ 少子化と言われている中、母親が安心して働きやすい職場環境。
- ・ 就業支援として資格取得などへ向けた講座や補助金など充実させてほしい。
- ・ 物価が上がっているのに、給料はそのままなのはどうかと思う。
- ・ 子育てしながらのフルタイムの仕事が本当に大変。配偶者の健康状態が不安定な為働かざるをえない。仕事での悩み、家庭での悩み色々あるが、悩んでいる暇がないくらい日々やらなくてはいけないことが多く毎日ヘトヘトになる。物価も上がるばかりで経済的にも大変。もっと、子どもがいる家庭が経済的に安定安心して精神的にも余裕がもてる社会にしてほしい。子どもが未就学の場合仕事を休まざるをえないことも多いが職場での理解が得られる事ばかりでは無い。子持ち様みたいな言葉が出て、風当たりが強くなってきているのを感じる。看護休暇もうちの会社の場合は無給だし。とにかく全てにおいて余裕がない。また、経済的に厳しいと習い事すらできないので佐倉市として無料の体験活動など色々と企画してほしい。
- ・ 社会は、親が子供の世話ができるように、5時までに家に帰れるシステムをつくるべき。5時に設定した理由は、子供の体力を考えて5時とした。5時以降は子供が疲れている。また、子供が自由に出入りでき、勉強や読書、運動、お話などができる場所が必要と感じる。例としては、千葉市の「きぼーる」。

6 将来について

- ・ 23歳女。佐倉市だけの問題ではなく、日本という国において、出産、子育て、仕事、定年退職後の不安は皆抱えていると思う。今、将来を考えているパートナーと佐倉で生活していて、もし子供を産んで育てることになれば、このまま佐倉市で生活することを考えている。ただこの不景気の中、専業主婦で子供を育てることなど不可能に近く、自分の今の仕事を続けながら、女として「自分と愛する人の子供がほしい」という願いを叶えられるか、子供が独り立ちするまでちゃんと責任を取りきれのか、とてもとても不安。このままの社会の中で産んでも、私ではなく子供が苦しい思いをするだけなので、子供を諦めることも視野に入れて、パートナーと今後の話をしている。また、年金高いなあと思いながら給与明細を見る度、自分がおばあちゃんになった時、どれだけしか貰えなくなるのだろう、生きていけるのか、と暗い気持ちになる。こういった問題は、ありとあらゆる事の積み重ねで起きた結果であり、すぐに解決することの出来ないこと。少しでも働きやすい社会、生きやすい社会を作るため、税金を今の若者のために使ってくださいと嬉しい。今の若者が未来に希望を抱くことができれば、少しずつ社会が良くなっていくと信じている。長文失礼致。
- ・ 海外で行われている「キャリアデー」のようなものを、佐倉市主体もしくは佐倉市の学校など主体で取り組んでほしい。職業体験も良いが、一定の職業しか体験できないので、実際に働いている大人の話聞ける場があれば、こどもの職業選択の幅が広がって良いと思った。
- ・ 若者が楽しく未来が見えるような街づくりに伴った税金の使い方、政策をしてもらいたい。
- ・ 物価ばかり上がり、給料が上がらず、経済不安によって、就職に対する不安がより大きさを増している。民間企業に就職したとしても、経済が低下していると企業規模の縮小や倒産などの煽りを受けるかもしれないので、受験資格の年齢制限を上げて、公務員の求人数採用率を上げるなどして明るい将来への道標を提供してもらいたい。
- ・ 給料は上がっても天引きされる額が高いので手取りが増えていかない。将来が不安になる。佐倉市は不祥事が続いており市政が信用できない。生活の困りごとを相談したときにきちんと対応してくれるのか、また相談した人と対応した職員が守られる環境が整備されているのか不信感がある。

7 配慮の必要なことも

- ・すでに二児の母ですが子どもが小学校一年生になりたてで、学校はもっと楽しいところだと思っていたと、行き渋り不登校を繰り返している。現在は支援級に通っていて、子どもにあった支援を受けているが、先生が変わるなどして変わることも多いので、先生、学校に関係なく、また普通級も関係なく、公立学校がもっと個性豊かな子を受け入れられる環境になればいいなと心より願っている。
- ・発達障害を抱える方が多いと思う。でも具体的にどこの施設に頼れば良いかわからないのではないかと。学校の遊具が少ない。広い公園には駐車場があると良い。台数も多いと良い。地域でレンタル子供用自転車があると助かる。自転車が重い。サイズアウトする事を考えると買えない。もしくは練習会を開いてもらい自転車を買わなくても練習できる場があればいい。有料でも参加する人いると思う。
- ・コロナウイルスの自粛で失った青春を取り戻せる機会と場所がほしい。
- ・インクルーシブ教育を進めることは良いことだと思っているが、そのためには親、園、学校の先生などがその子の特性をよく知って、教育現場の環境に反映させる必要があると思う。小学校教育ということも考えると、まずは5歳児健診で拾うことが重要であると考えているが、(既に起用していたら申し訳ありませんが)医療、福祉、発達などに精通している作業療法士や言語聴覚士を起用してはいかがか。学校教育においてもその子どもの特性に応じた環境調整やどんな声かけが有効なのか、などのアドバイスなどについても作業療法士の専門性を生かせると思う。健診のみで終わらず、その後のフォローアップ体制を整えていくことが地域で子どもを育てやすい環境を作ることに繋がるのではないかと思う。既にやっていることでしたら申し訳ない。
- ・未だ虐待されている子供がいるので、1人でも多くの子供が幸せに暮らせる社会になってほしい。

8 インターネット・SNS

- ・これからは、経済的に子供が生きにくい世の中だ。インターネットの発達で友達関係に苦労をするのではないかと。
- ・インターネットが普及し自分達の子供の頃より言語発達が見られるがコミュニケーションの能力が低下しているように感じる。
- ・自分達の学生の時よりも、SNSが発達していて生き辛いだろうと思う。悪いことを考えている大人と容易にコンタクトを取ってしまう環境も良くないと思う。
- ・自分が中高生だった時と違い、中高生がネットで場所や時間も関係なく誰とでも繋がっているのは良いこともあるが、いじめや誹謗中傷も気軽に行えるという状況がとても恐ろしく感じている。
- ・小学校の人数が少ない。学校によって違いがあるとは思いますが、学業の低下、運動量の低下、部活などほぼやる時間がないし、今のご時世、難しいことかもしれないが、もう少しやらせてもいいかと思う。先生方の負担もあるでしょうが。SNSなど事件性が多くなってきたのでそこら辺も、真剣に向き合っていてほしいものだ。なんにせよ、昔に比べて大人も若者も住みにくい、過ごしづらくなってしまった。

9 高齢者

- ・ 他人の生活を憶測で噂する老人の暴力性本当に腹立たしい。子供は宝であり未来。障がい者と子供、若者が住みやすい市であってほしい。若者だけでなく老人も孤独な想いをしてほしくないのでもそもカバーされるべき。難しい！近所にいる他人の家の前に勝手に畑を作っている老人が放置されているの本当に面白い。恥知らずすぎて。ルールとマナーの違いを理解してほしい。何も言われないから何してもいい訳ではない。注意されていても無視すれば大丈夫、注意する側も放置することで許されていると相手に思わせている業の深さ。ゴミ捨て場のカラス荒らしもしんどい。東京のように各家の前にゴミを出す方式にしてほしい。前日にゴミを出す人、5時にゴミを出す人。その人らのせいでカラスがゴミを荒らし臭い生ゴミやぐちゃぐちゃの残飯に濡れた紙ゴミ。近所の優しい人やゴミ置き場の前に住んでいる人が片付けている。他にも生ゴミや腐ったパンが庭に落ちている時もある。他人の善意にフリーライドするような人に優しさ奪われ減っていくものはどうやって回復するのか。自然や極論で乗り切ろうとする暇な人と戦うのは難しい！美味しいレストランや豊かな自然だけでなく現実に戻してくれるような愉快な頭おかしい人に囲まれて私たちは何て素敵な所に住んでいるのでしょうか！幸せです！
- ・ 佐倉市政は子どもではなく、高齢者を優先しているように感じる。多数派である高齢者に配慮せざるを得ないのは理解するが、長期的な視野で考えると人口維持につながる子ども優先の施策が全世代にとってメリットがあると考え。一部署で対応できることではないため市長のリーダーシップに期待する。
- ・ 最近では個人化が進み、人との関わりが以前に比べて減りつつあると感じる事がある。親が高齢の方と関わりがなければ子供たちも関わる機会が減ると私は考えている。個人化が進むことは個人の選択肢を増やす機能をもつため悪いことでは無いが地域の互助が減るため、子供とご高齢の方が沢山かかわれる場所があったら良いと思う。私の地域でも班があり清掃や、ミニイベントを通して様々な人と関わりがあるが、最近では班から外してほしい、回覧板を回さないでほしいと言っている人(50代の方)もいる。いずれは同じ地区に住む近所同士の関わりがなくなっていくと感じている。しかし、1人で暮らしている高齢者の方の生活状況や健康状況を近所の人達とコミュニケーションをかわすことによって把握することが出来るため、近所の関わりはとても大切なことだと私は感じている。私は現在学生だが、親が個人化を望む人だった場合、子供も強制的に個人化優位の暮らしになってしまうと考えているため、子供とご高齢の方がかかわれる場所があれば良いと考えている。
- ・ 既に実施されている認知症セミナーのような無料講座がもっとあれば嬉しい。
- ・ 老人が多く外人が増えている今の日本では子供とても不利な立場なので、もっと生活費の適切な割合や投資等のお金の知識をつけさせて自力で生き残る力をつけてあげれば理想的だと思う。

10 政治について

- ・ 私はもう社会人だが、母子家庭で母もパートなので今生活するだけで精一杯。一人暮らしするお金も将来の自分のために使うお金も貯金できない。正社員フルタイムで働いていても将来に希望がないなと思ってしまう。議員の皆さん、朝の時間帯に駅でよく演説しているが、正直若者には響かない。朝からうるさいな~と思っている人が多いと思う。今の若者はタイムパフォーマンス重視の傾向があると思うので、もっとわかりやすく端的に何をしてくれるのか伝えてほしい。選挙の前にはみなさんの主張を端的に一覧にして並べてくれたら、もっと比較しやすく参加しやすいと思う。

- ・ 少子化が進んでいる、経済が衰退している、賃金はあまり上がらずに物価は上昇と、子どもや若者にとっては明るい将来を描けない状況にあると思う。多くの若者は閉塞感を感じていると思う。税金や公共料金が高く、生活費に回せるのはそれほど多くない。これでは子どもを産み育てようとは、なかなかならない。未就学児はもとより、成人するまでは、これまでの政策をゼロベースで見直すくらいの手厚い経済的な支援が必要だ。子どもが増えなければ、経済は衰退する。地域の活力も削がれていく。少子化対策は喫緊の課題である。佐倉市が単体で出来ることは限られているかもしれないが、子育て世代が佐倉市に移住してきたくなるような、かつ、更に子どもを産み育てたくなるような、魅力ある経済的な政策の実現を期待したい。
- ・ こどもの医療費が安すぎる。子どもや若者支援をするのは悪いことではないが、若者に属さない独身や子なし世帯にも優しい世の中になってほしい。そちらに負担や皺寄せがあると思う。
- ・ さっさと政治を変えてほしい。外国人受け入れ増やしたり、私たちの税金が意味のわからないことに使われてるのが日本絶滅に向かってると思う。6ヶ月の子供を育てているが、不安でしかない。
- ・ 国政だけでなく、佐倉市の政治、政策は常に票田である高齢層に向いており、若年層、特に若手労働者への支援は皆無と言えるレベルであると感じている。働けど働けど、高齢者に収入をむしり取られる時代となっており、我が子たちにも「日本で働いたら幸せになれないから、海外へいきなさい」と日々教えており、どんな仕事だとしても海外で就労できるよう教育している。このような現役世代の危機感が現職の議員の皆様が届いていない時点で、日本の終わりを日々感じている。また、こんな状況においても、特に今年度、来年度のスピード感で抜本的な少子化対策、現役世代への支援がされないならば、それは国が衰退することを推進されると受け止めるしかない。ここまで散々裏切られ、散々高齢者に泥水を啜らされたが、今回をラストチャンスとして、若年層向けの抜本的な支援策に取り組まれることを期待する。

11 友達作り

- ・ 新しい友達を作れる出会いの場がほしい。
- ・ 私は佐倉市に結婚を機に引っ越して来たのでまだ日が浅く、街についてわからないことが多いが、私自身ヨガをやっているのもう少し趣味を楽しめる場所があれば近くに友人も出来るのではないかなあと思った。
- ・ コロナウイルスの自粛で失った青春を取り戻せる機会と場所がほしい。

12 若者支援

- ・ 子供や、若者が生活しやすい環境や給付金などの助成、就職にむけて力になってくれるなど、生きやすくて過ごしやすい市になってほしい。
- ・ なんでアンケートを実行してるのか？今の制度を変える事を希望できるか？現在僕は奨学金制度でお金を借りた。まさかの生活費が足りず自立できない、現実に苦しむ、僕らは何の為に勉強を学び社会にでるのか？と考える。自分の未来に不安で結婚も考えられないでいる。子供の夢は両親が共働きで何とか叶うように思うけど、子供は寂しい思いをしてる現実に大人はどう思うのか？苦しんでるのは子供も同じ。親が辛い環境は子供に影響は大きい。どうか、いい制度を完成させてほしい。

- ・ 高齢者に対する社会保障より、若者に対する社会保障をすべきだと思う。特に少子化対策について。日本の課題である少子化は、多くの社会問題の根本にあり、少子化の解決が他の問題の解決につながる事が考えられる。少子化の原因の一つとして、結婚のメリット・子供を産むメリットがない事が挙げられる。そこですべきなのは結婚のメリット・子供を産むメリットを作ることである。結婚に対する取り組みとして、政府は結婚助成金最大 60 万円の給付がある。例として千葉市の補助金交付要綱を挙げるが、沢山の条件があり申し込むことが可能な人は限られてくる。そのためより多くの人にとってメリットとなるよう改定すべきだ。子供を産むメリットについて。
- ・ 子どもや若者のための活動が実際に当事者達に届いているように感じられない現状がある。これは当事者の関心と提供する側の発信力、どちらも足りてないように感じるためきっかけを求める。また、目に見える活動だけでなく思想的部分においての変化が 1 番重要だと考えており、これは決して簡単なことではないと思うが、確実に進めてほしいと思う。
- ・ 現役で働いている若者の税金を安くしたり、色々と補助をしないと、賃金が低い地元では働こうとも思わないし、佐倉市に永住するメリットもないので、これからもどんどん若者や未来の若者達が、佐倉市から他の市に移住したりで結果今のお年寄り達しか残らないと思う。極論今の団塊世代達があと 10 年～15 年前後で亡くなる方が激増して、世代交代の時期が強制的にやってくるので、今からでも 20 代～40 代前後の若者中年世代を大切にしないと、市としてやばいなど危機感を感じる時期になるかと思う。かくいえ自分も結婚する時は、なるべく職場の近い所に家を持ちたいので、このまま佐倉市に住み続けるのはメリットなしでは難しい。

13 その他

- ・ 言葉遣いがわるい。
- ・ 律儀さ？とか気遣いなどが足りない人が多いような気がする。

佐倉市

こども計画策定のためのニーズ調査

発 行 年 月：令和6年9月

発 行：佐倉市 こども支援部 こども政策課

〒285-8501

千葉県佐倉市海隣寺町97番地

電 話：043-484-6139